

saxa

取扱説明書

Web 設定編

ビジネスコミュニケーションシステム

PLATIA III



このたびは、「PLATIA Ⅲ」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり正しくお使いください。

※本書では、PLATIA Ⅲを「主装置」と記載しています。

ご注意

- 本製品は、電話番号に代表される、個人情報の保存または保持可能な商品です。設置工事、保守、廃棄、譲渡および返却される際は、本製品内に保存または保持された個人情報を消去する必要があります。
- ご使用の際は、本書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品は、日本国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This equipment is designed for in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本製品を分解したり改造することは、法律で禁止されていますので絶対に行わないでください。
- 本製品を設置するための配線工事および修理は、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故の元になりますので、絶対におやめください。
- 本書の内容につきましては、万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、販売店にお申しつけください。
- 本書の内容、外観については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載、無断複写することは禁止されています。
- Microsoft、Microsoft Edge、および Windows は米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されている会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の商標または登録商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

免責事項




- 地震および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本装置の使用または使用不能から生じる付随的な損害（記憶内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断、通信機会の喪失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 電話サービスを利用することによる金銭上の損害、および逸失利益について第三者からのいかなる請求についても当社はその責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

安全にお使いいただくために

必ずお読みください

本書には、あなたやほかの人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示の説明



表 示	説 明
 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷(※1)を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷(※1)を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害(※2)を負う可能性が想定される内容および物的損害(※3)のみの発生が想定される内容を示しています。

※1： 重傷とは失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、治療に入院・長期の通院を要するものをさします。












※2： 傷害とは治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。

※3： 物的損害とは家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

表 示	説 明
 禁止	禁止(してはいけないこと)を示します。 この記号のついた警告・注意文が指定する行為は絶対に行わないでください。
 強制	強制(必ずすること)を示します。 この記号のついた警告・注意文が指定する行為は必ず実施してください。

⚠ 危険

 禁止	電池パックの充電は、専用の充電器、ACアダプタを使用して行ってください その他の充電条件で充電すると、電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
 強制	電池パックはプラス⊕・マイナス⊖の向きが決められています。コードレス電話機に接続するときは、プラス⊕、マイナス⊖の向きを確かめてください 電池パックの液もれ・発熱・破壊により、火災・感電・やけど・けがの原因となります。
 禁止	電池パックを単体では充電しないでください 電池パックの液もれ・発熱・破壊により、火災・感電・やけど・けがの原因となります。
 禁止	電池パックは、指定の電話機以外には使用しないでください 電池パックの液もれ・発熱・破壊により、火災・感電・やけど・けがの原因となります。
 禁止	電話機に使用する電池は同梱の電池パックまたは、同一の電池パックを使用してください
 強制	電池パックを使用する場合は、以下のことを必ず守ってください 電池パックの液もれ・発熱・破壊により、火災・感電・やけど・けがの原因となります。 <ul style="list-style-type: none"> ・火の中に投入したり、加熱しない ・直接はんだ付けしない ・プラス⊕・マイナス⊖を針金などの金属類で接触させない ・水・雨水・海水・薬品などにつけたり、ぬらさない ・ネックレスなどの金属製品と一緒に持ち運んだり、保管しない ・針を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたり、投げつけない ・電池カバーを取り付けるとき、電池パックのコードを挟まない ・外装チューブ(被覆)をはがしたり、傷つけない
 禁止  分解禁止	電池パックを分解・改造しないでください 電池パックの液もれ・発熱・破壊により、火災・感電・やけど・けがの原因となります。
 強制	電池パック内部の液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。こすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください
 強制	電池パックの液もれや異臭がするときは直ちに電源を切り、火気より遠ざけてください
 強制	不要になったリチウムイオン電池を廃棄するときは、ショート防止のために、電極に絶縁テープを貼り、地方自治体の条例や規則に従うようにしてください 電極がショートすると、破裂、発火の原因となります。

 **警告**

 禁止	<p>取付位置を変更しないでください 火災・感電・けがの原因となります。 配線工事を行うには資格が必要です。販売店にご相談ください。</p>
  電源プラグを抜く	<p>主装置の通風孔や電話機の開口部などから、金属類を入れないでください 火災・感電・故障の原因となります。万一、金属類が内部に入ったときは、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて販売店にご連絡ください。</p>
  ぬれ手禁止	<p>主装置をぬれた手で操作したり、ぬれた布でふかないでください 感電の原因となります。</p>
  電源プラグを抜く	<p>万一、内部に水などが入った場合、そのまま使用しないでください すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。</p>
  電源プラグを抜く	<p>主装置、電話機の上や近くに液体の入った容器(花びん・植木鉢・コップ・化粧品・薬品など)、小さな金属などを置かないでください 液体や金属が内部に入ると、火災・感電・故障の原因となります。万一、液体や金属が内部に入ったときは、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて販売店にご連絡ください。</p>
  接触禁止	<p>雷が鳴り出したら、主装置・電源コード・LAN ケーブル・USB メモリなどに触れないでください 感電の原因となります。</p>
  電源プラグを抜く	<p>万一、煙が出ている、異常音がする、変なにおいがするなどの異常状態が発生した場合、そのまま使用しないでください すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。 そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。なお、お客様による修理は危険ですからおやめください。</p>
 禁止	<p>一般のゴミとして放置しないでください 火災・けがの原因となります。 廃棄するときは、販売店にご相談ください。</p>
 禁止	<p>AC100V ± 10V の商用電源以外は、絶対に使用しないでください 火災・感電・故障の原因となります。</p>
 禁止	<p>内線・外線の各端子をショートさせないでください 火災・故障の原因となります。</p>
 強制	<p>電源プラグを電源コンセントへ直接接続してください 延長コードは過熱・発火の危険があるので使わないでください。</p>





 **警告**

 禁止	<p>テーブルタップや分岐コンセント・分岐ソケットを使用したタコ足配線はしないでください 火災・過熱の原因となります。</p>
 禁止  電源プラグを抜く	<p>主装置、電話機を傾いた台の上や、振動、衝撃の多いところに置かないでください 落下・転倒により、けがの原因となります。万一、落下・転倒により破損したときは、主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。 そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。</p>
 禁止  ぬれ手禁止	<p>ぬれた手で電源プラグ、LAN ケーブル、USB メモリを抜き差ししないでください 感電・けがの原因となります。</p>
 禁止  火気禁止	<p>主装置、電話機に火の気を近づけたり、加熱しないでください 鉛蓄電池(バッテリー)が液もれ・発熱・破裂し、火災・けがの原因となります。</p>
 禁止  電源プラグを抜く	<p>電源コード、電話機コード、LAN ケーブル、USB メモリを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、高温部に近づけたり、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工しないでください コードや USB メモリが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだ場合は(芯線の露出、断線など)主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて販売店に交換をご依頼ください。</p>
 禁止	<p>工事者以外は、装置の蓋などを開けないでください 感電、故障の原因となります。</p>
 強制	<p>電源プラグは電源コンセントの奥までしっかり差し込んでください 電源プラグの刃に、金属などが触れると火災・感電・故障の原因となります。</p>
 強制	<p>電源プラグの刃および刃の取付面に、ほこりが付着している場合は、よくふいてください 火災の原因となります。</p>
 強制  電源プラグを抜く	<p>主装置に鉛蓄電池(バッテリー)を使用する場合、寿命は(使用頻度にもよりますが)設置後 2～3 年(長寿命バッテリーの場合は 6 年)です。交換時期になりましたら、販売店にまとめて交換をご依頼ください 寿命が過ぎた鉛蓄電池(バッテリー)を使用し続けるとバッテリー内部の液もれの原因となります。万一、バッテリー内部からもれた液が皮膚や衣服についたときは、すぐきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれることがあります。また、バッテリー内部の液もれが発生したときは、主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。</p>
 禁止	<p>機器で指定されていないバッテリーは使用しないでください。また、新しいバッテリーと古いバッテリーと混ぜての使用はしないでください 電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。</p>
 禁止  分解禁止	<p>分解・改造・修理しないでください 火災・感電・故障の原因となります。 電話機の改造は法令違反となります。故障のときは、販売店に修理をご依頼ください。</p>

 **警告**

 強制  電源プラグを抜く	<p>万一異物が、本装置および電話機の内部に入った場合は、まず本装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、販売店にご連絡ください そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。特に小さなお子様のいる家庭ではご注意ください。</p>
 強制	<p>主装置の内部の点検・修理は、販売店に依頼してください</p>
 禁止	<p>歩行中に電話機を操作したり見たりしないでください 転倒・交通事故などの原因となります。</p>
 禁止	<p>電話機を電子レンジや高圧容器に入れたりしないでください 火災・故障の原因となります。</p>
 禁止	<p>引火性ガスが発生する場所では、電話機を絶対に充電しないでください 火災の原因となります。</p>
 禁止  電源プラグを抜く	<p>万一、充電器が落下したり、破損した場合は、そのまま使用しないでください 必ず AC アダプタを電源コンセントから抜いて、お買い求めの販売店に至急ご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。</p>
 禁止	<p>本装置を医療用電子機器（ペースメーカーなど）の近くで使用しないでください 電波により医療用電子機器に影響を与えることがあります。</p>
 禁止	<p>高精度な制御や、微弱な信号を取り扱う電子機器の近くで使用しないでください 電子機器が誤動作するなど影響が出る可能性があります。また、使用を制限された場所での使用はお控えください。 (ご注意いただきたい電子機器の例：補聴器・医療用電子機器（ペースメーカーなど）・火災報知機・自動ドア・自動制御機器など)</p>
 禁止	<p>充電器の開口部から金属類を入れないでください 万一、内部に異物が入った場合は、すぐに AC アダプタを電源コンセントから抜いて、お買い求めの販売店に至急ご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。</p>
 禁止	<p>充電端子を金属でショートさせないでください 火災・故障の原因となります。</p>
 禁止	<p>充電端子に水滴のついたまま充電しないでください 火災・故障の原因となります。</p>
 禁止	<p>無接点充電器や電話機に水滴のついたまま充電しないでください 火災・故障の原因となります。</p>
 禁止	<p>膨れた電池パックを無理に取り付けしないでください 電池パックが変形し、電池パック内部の保護機構が壊れることで、発熱、破裂、発火の原因となります。 電池パックが膨張した場合は、速やかに新しい電池パックと交換してください。</p>
 強制	<p>電池パックが液もれしたり、異臭がするときは、すぐに火気から遠ざけてください</p>
 強制	<p>所定の充電時間を越えても充電が完了しない場合には、すぐに充電をやめて、お買い求めの販売店にご連絡ください</p>





 警告	
 禁止	ぬれた手で電池パックを交換したり、ぬれた手で充電器の AC アダプタを抜き差ししないでください
 ぬれ手禁止	感電の原因となります。
 禁止	付属の AC アダプタ、充電器以外を使用しないでください 火災・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。
 強制	AC アダプタ、充電器は指定の電源コンセントに接続してください それ以外の電源コンセントに接続すると火災・感電・故障の原因となります。
 強制	電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください
 禁止	LAN ポートや PC ポートに接続したネットワークケーブルを電源コンセント、アナログ電話回線、デジタル電話回線 (ISDN)、PBX デジタル電話回線には接続しないでください 火災・感電・故障の原因となります。
 強制	LAN ケーブルのモジュラープラグおよび USB メモリのコネクタは、ほこりが付着していないことを確認してからモジュラージャックまたは USB ポートに差し込んでください。また、モジュラープラグやコネクタにほこりが付着している場合は、よくふいてください ほこりにより火災・感電の原因となります。
 注意	動いている機械の近くでヘッドセットやイヤホンを使用している場合は、コード類の機械への巻き込みに十分注意してください 大怪我の原因となります。
 強制	充電器や AC アダプタの電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。また、半年から 1 年に 1 回は電源プラグを電源コンセントから抜いて点検、清掃をしてください ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関してはお問い合わせの販売店にご相談ください。
 強制	故障したまま使用しないでください 火災・感電の原因となります。電話機の場合は直ちに電源スイッチを切り電池パックを外し、充電器の場合は必ず電源プラグをコンセントから抜いて修理をご依頼ください。
 禁止	電話機をねじったり、重い物をのせたり、強く押しついたりして、圧迫しないでください 破損して、火災・やけど・けがの原因となることがあります。
 強制	無接点充電器にアルミなどのシールや金属製のものや異物など、電話機以外を置かないでください 金属が熱くなり、火災・やけどなどの原因となることがあります。

 注意	
 強制	必ずアースを接続してください アース接続をしないで使用すると感電・故障の原因となることがあります。
 強制	主装置や電話機を壁掛けに変更するときは、販売店にご相談ください 配線工事を行うには資格が必要です。また、主装置や電話機の重みに耐える専用壁掛け金具を使用して適正な取り付けが必要です。
 禁止	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください 電源コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

 注意	
 禁止	振動・衝撃の多い場所に置かないでください 火災・感電・故障の原因となります。また落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
 禁止	主装置や電話機を上下逆さまの状態を設置しないでください 火災・感電・故障の原因となることがあります。
 禁止	主装置、電話機の上に乗ったり、座ったりしないでください けがや故障の原因となることがあります。
 禁止	直射日光の当たるところや、暖房設備・ボイラーなどのため著しく温度が上昇するところに置かないでください 内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
 禁止	湿気やほこりの多い場所、潮風、腐食性ガスのかかる場所、化学反応を起こすような場所(化学実験室など)には置かないでください 火災・感電・故障の原因となることがあります。
 禁止	風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください 火災・感電・故障の原因となることがあります。
 禁止	調理台のそばなど油煙や湯気が当たるような場所、ほこりが多い場所に置かないでください 火災・感電・故障の原因となることがあります。
 禁止	電源コード・電話機コード・LAN ケーブルを熱器具に近づけないでください コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
 禁止	落下させるほどの強い衝撃を与えないでください
 強制	移動させる場合は、電源プラグを電源コンセントから抜き、回線コードや電話機コードなど外部の接続線ははずしたことを確認の上、行ってください コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
 禁止	主装置や電話機の開口部をふさがしないでください 開口部をふさぐと、内部の熱が上昇し、火災の原因となることがあります。
 禁止	電気雑音を発生するものに近い場所に置かないでください 通話に雑音が入ったり、使用できなくなることがあります。 <電気雑音の原因としては> ・車やオートバイが近くを通る場合 ・放送局や無線局(アマチュア無線、CB 無線など)の近くで使用する場合 ・テレビ・ラジオ・蛍光灯・OA 機器・電子レンジ・電気コタツなどの近くで使用する場合 ・高周波溶接機・高周波ミシン・電気溶接機・ワイヤカッタなどの工作機械の近くで使用する場合
 禁止	強い磁界の発生源の近くに設置しないでください 火災・感電・故障の原因となることがあります。
 禁止	火のそばや炎天下などの高温の場所や、布団等かぶせた状態で、充電はしないでください 高温になると危険を防止する保護装置が働き、充電できなくなったり、保護装置が壊れる原因となります。
 強制	電池パックは、事故防止のため、小さいお子様の手の届かないところに保管してください 誤飲、感電の原因となります。
 注意	初めてご使用になる場合や長時間使用されなかった場合は、必ず充電して異常のないことを確認してからお使いください

⚠ 注意

 強制	長時間ご使用にならないときは、安全のため必ず充電器の AC アダプタまたは電源プラグを電源コンセントから抜いてください。また電話機の電源を切り、電池パックも取り出してください 発火・故障の原因となります。 主装置については、常時電源を「ON」の状態にしておいても問題ありません。
 強制	AC アダプタまたは電源プラグを電源コンセントから抜くときは、必ず AC アダプタまたは電源プラグを持って抜いてください 電源コードを引っ張ると、電源コードが傷つき、火災・感電・断線の原因となることがあります。
 禁止	コードレス電話機のアンテナを持って持ち運んだり、アンテナを無理に曲げたり引っ張ったりしないでください 故障の原因となります。
 注意	電話機等の底面には、ゴム製のスベリ止めを使用しています。ゴムとの接触面がまれに変色することがあります
 注意	コードレス電話機のアンテナを誤って目にささないようにしてください
 注意	アンテナなどの突起物を目や口などに入れないようにしてください。特に小さなお子様のいる家庭ではご注意ください
 強制	充電器をお手入れする際は、安全のため、あらかじめ AC アダプタまたは電源プラグを電源コンセントから抜いてください 感電の原因となることがあります。
 禁止	充電器の上に指輪、ネックレスなどの金属類を置かないでください 金属が熱くなり、火災・やけどなどの原因となることがあります。
 強制	充電は周囲温度 5℃～ 35℃の範囲で行ってください 正常な充電ができなかったり、故障の原因となります。
 注意	十分充電しても使用できる時間が短くなった場合は電池パックの寿命の可能性が あります。お買い求めの販売店に電池パックの交換をお申し付けください
 禁止	本製品の近くに、紙などの燃えやすいものを置かないでください 発熱により火災、感電の原因となることがあります。
 禁止	磁気カードや磁気記録メディア、精密機器などを本製品に近づけないでください キャッシュカードなどの登録情報が消去される場合があります。
 強制	充電器で充電する場合は、必ず正しい向きで充電してください 機能が使えなかったり、充電できないことがあります。
 強制	コードレス電話機ご使用時は必ず専用の電池パックを取り付けてご使用ください 電池パックが接続されていないと動作しません。
 強制	お手入れの際は安全のために、本装置の電源スイッチを切ってから電源プラグを 電源コンセントから抜いて行ってください
 強制	水滴がついた場合は、乾いた布でふき取ってください 本装置および電話機の内部に水滴が入ると、火災・故障の原因となることがあり ます。
 禁止	表面が熱に弱い家具の上などの表面が熱に弱い場所には、本装置および電話機を 置かないでください 家具等の表面が変色・変形する場合があります。

 注意	
 禁止	本装置および電話機の上に手をついたり、ものを載せないでください 火災や故障の原因となります。
 禁止	ぬれた雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールおよびシリコン系クリーナーなどで ふかないでください 本装置の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは水で薄 めた中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、柔らかい布でからぶき してください。
 禁止	受話器用カールコードやモジュラープラグで差し込まれている電話機コードを 強く引っ張らないでください 故障の原因となることがあります。

IP 回線の特性について
<p>●下記のような場合には、IP 電話サービスの通話品質が劣化したり、通信が切断される場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ WAN(ブロードバンド)回線の接続状態によって十分な帯域がとれない場合 ・ インターネット上で十分な帯域がとれない場合 ・ 主装置に接続しているパソコンで、ファイル転送やストリーミングサービスのような大きな帯域を必要とするサービスを使用中の場合 <p>●相手の方からの音声品質がよい場合でも、こちらから相手への音声品質が劣化していることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ADSL 回線をご利用の場合は、下りの伝送速度よりも上りの伝送速度のほうが低いため、通話中にインターネット上のサーバへ大きなファイルを送信したり、他拠点との間でファイルを転送することは避けてください。また、LAN 内に、インターネットにアクセスできる Web サーバ、FTP サーバなどを設置しないでください。

SIP 電話機および標準 IP 多機能電話機(NPKT)の特性について
<p>●下記のような場合には、電話機の通話品質が劣化したり、通信が切断される場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ LAN の接続状態によって、十分な帯域がとれない場合 ・ LAN に接続しているパソコンで、ファイル転送やストリーミングサービスのような大きな帯域を必要とするサービスを使用中の場合 <p>●相手の方からの音声品質がよい場合でも、こちらから相手への音声品質が劣化していることがあります。</p>

取扱上のお願ひ / 主装置、電話機、他
<p>停電などの外的要因、あるいは本装置の故障、誤動作、不具合によって通信などの機会を逸したために生じた逸失利益等の金銭的損害につきましては、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください</p>
<p>本装置を人命や、危害に直接的または、間接的に高い安全性が必要とされる環境下では使用しないでください</p>
<p>本装置に登録された内容は故障・修理のときに消失する場合があります</p>

取扱上のお願い / 主装置、電話機、他

テレビ、ラジオ、無線機、電子レンジ、インバータ形蛍光灯などの磁気、電波を発生する場所や違法無線を受ける場所に設置した場合、ノイズや誤動作を引き起こすことがあります

放送局の近くや違法 CB 無線など、強い電波を受ける場所では通話中に雑音が入ることがあります。通話に支障をきたす場合には、販売店にご相談ください

別売品の停電用電源を接続している場合は、電源スイッチが「ON」のまま、電源プラグを抜いたり、配電盤などの電源を切らないでください

バッテリーが放電してしまい、停電時に動作しなくなります。また、バッテリーの寿命を縮める原因となります。

コードレス電話機を設置するときは、親機から約 3m 以上離してください

親機にあまり近い場合は、コードレス電話機が正常に動作しないことがあります。

マルチラインシステムコードレス電話機を除く、コードレス電話機は、防水対応ではありません

寒い戸外から急に暖かい室内にコードレス電話機を持ち込むと、急激な温度変化により、コードレス電話機内部に水滴(結露)がつくことがあります。結露が生じたときは電源を切って、水滴が蒸発するまでしばらく放置しておいてください

結露したままで使用すると、故障の原因となります。

コードレス電話機の通話は盗聴されにくくなっていますが、電波を利用しているため、通常の手段を超えた方法で第三者が故意に通話の内容を傍受する場合があります。この点を十分に留意して使用してください

目次

安全にお使いいただくために…………… i

お使いになる前に…………… **xiii**

取扱説明書の見かた…………… xiii

本書の構成…………… xiv

第 1 章 基本操作…………… **1**

1-1 Web 設定の利用…………… 1

●動作環境について…………… 1

●ユーザ種別について…………… 2

●設定データの反映について…………… 2

Web 設定の起動と終了…………… 3

●Web 設定を起動する(ログイン)…………… 3

●Web 設定画面の各部の名称…………… 5

●ヘルプ情報を参照する…………… 6

●Web 設定を終了する…………… 7

第 2 章 機能設定…………… **8**

2-1 Web 設定でできること…………… 8

2-2 各機能を設定する…………… 10

ログインパスワードの変更(パスワード変更)…………… 10

●特定の内線のパスワードを変更する…………… 10

●すべての内線のパスワードをお買い上げ時の状態に戻す…………… 12

主装置の時刻設定(時計設定)…………… 13

●時計を手動で設定する(手動時計設定)…………… 13

●自動時刻補正を利用する(自動時刻設定)…………… 14

休日や祝祭日の登録(カレンダー設定)…………… 16

●自テナントの毎年決まった休日(特定日)を登録する…………… 16

●システム全体の毎年決まった祝祭日を登録する…………… 20

●特定の年月日の休日/平日を登録する(特定日設定(年月日指定))…………… 25

●特定の年月日の祝祭日を登録する(祝祭日設定(年月日指定))…………… 28

内線番号とドアホン名の設定(内線一覧)…………… 32

●内線一覧を確認する…………… 32

●内線の名称を登録する…………… 34

●ドアホン一覧を確認する…………… 36

●ドアホンの名称を登録する…………… 37

電話帳の登録(共通電話帳/個別電話帳)…………… 39

●共通電話帳の登録内容を確認する…………… 39

●共通電話帳に電話番号などの情報を新規登録する…………… 42

●共通電話帳の登録内容を編集/削除する…………… 45

●共通電話帳のグループを管理する…………… 46

●個別電話帳の登録内容を確認する…………… 49

●個別電話帳に電話番号などの情報を新規登録する…………… 51

●個別電話帳の登録内容を編集/削除する…………… 53

●個別電話帳のグループを管理する…………… 55

電話帳のバックアップと取り込み(電話帳転送)	57
●電話帳のデータを PC にバックアップする	57
●PC にバックアップしたデータを取り込む	59
ボイスメールの管理(内蔵ボイスメール)	60
●ボイスメール一覧を確認する(ボイスメール管理)	61
●ボイスメールを保存する(ボイスメール管理)	66
●ボイスメールを削除する(ボイスメール管理)	69
●ボイスメールにコメントを付加する(ボイスメール管理)	70
●ボイスメール録音の通知先を設定する(録音通知先設定)	71
●ボイスメールを FTP サーバに自動転送する(外部保存設定)	74
●ボイスメールに付加するコメント文を登録する(コメント登録)	76
留守番の設定(留守番)	77
●自動応答利用時の動作を設定する(留守番タイマ連動)	77
●手動応答利用時の動作を設定する(手動切替設定)	82
●留守番機能の起動時間など、留守番関連の機能を設定する(関連設定)	87
ユーザガイダンスの管理(ユーザガイダンス転送)	90
●既存のユーザガイダンスを変更 / 削除 / 転送する(ユーザガイダンス編集)	90
●PC 上の音声ファイルをユーザガイダンスとして登録する(新規登録)	92
各種転送の設定(電話機の各種転送)	95
●不在転送の利用設定および動作設定をする(不在転送)	95
●話中転送の動作を設定する(話中転送)	108
●無応答転送の動作を設定する(無応答転送)	115
●圏外転送の動作を設定する(圏外転送)	125
外線転送の設定(外線転送)	133
●外線自動転送モードを自動的に切り替える(タイマ連動設定)	133
●転送先情報を登録する(外線転送関連設定)	136
●外線転送回線グループごとの動作を転送モードとして登録する(転送先設定)	138
オートダイヤルの割り付け(オートダイヤル登録)	140
●オートダイヤルボタンに機能を割り付ける	140
●Com@WILL ソフトフォンのランプに機能を割り付ける	143
メロディの管理(メロディ転送)	149
●既存のメロディを変更 / 削除 / 転送する	149
●PC 上の音声ファイルを取り込む	151
音声自動応答(IVR)の設定	153
●シナリオ設定前の準備	154
●IVR のシナリオを設定する	155
●IVR のシナリオの設定内容を追加 / 変更 / 削除する	161
●5 階層以上のシナリオを作成する	165
●IVR のシナリオを一覧表示する	167
ですく deRSS の設定	169
●ですく deRSS の利用設定をする	169
セーフティモード / チャイムのタイマ設定(タイマ連動)	171
●セーフティモードへの切り替え時刻を設定する(セーフティ)	171
●チャイム音を鳴らす時刻を設定する(チャイム)	173
Web カメラの設定(Web カメラ)	175
●Web カメラの利用情報を設定する(カメラ情報)	175
メール送信の設定(アドレス登録)	178
●セーフティメール通知の送信先を登録する(セーフティ)	178
●外線着信メール通知の送信先を設定する(外線着信)	181
●不在着信履歴通知の送信先を登録する(着信履歴関連)	183
プリンタ複合機(MFP)の名称変更	185
●プリンタ複合機(MFP)の名称を登録 / 変更する	185

お使いになる前に

取扱説明書の見かた

この取扱説明書は次のフォーマットをベースに記載してあります。

見出し
機能を示す見出し
タイトルです。

機能概要
機能の内容を簡単に
説明しています。

操作手順説明
操作や表示内容を
簡単に説明してい
ます。

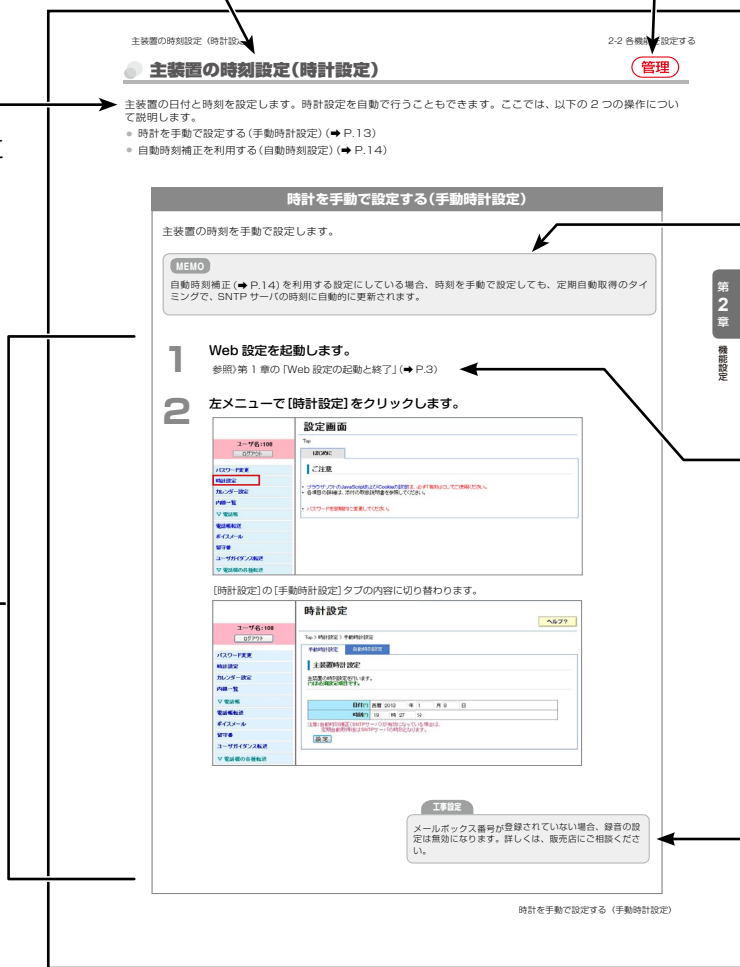
操作対象ユーザ
操作対象のユーザアイコン
を掲載しています(→ P.9)。

MEMO
関連項目や注意点
を説明しています。

章タイトル

補足説明
操作手順の補足的
な内容を説明して
います。

工事設定
工事者による設
定が必要なため、
販売店にご相談
いただきたいこ
とを説明してい
ます。



本書の構成

本書では、Web ブラウザベースのツール「Web 設定」を利用して設定できる内線の機能や、登録できる情報について、概要と操作方法をメインに説明します。
機能の詳細情報については、『取扱説明書(多機能電話機編)』を合わせて参照してください。

お使いになる前に(本章)

本書の見かたと構成についてまとめてあります。

第 1 章 基本機能編

「Web 設定」の起動と終了、操作画面の見かた、ヘルプの参照方法など、基本的な操作について説明しています。

第 2 章 機能設定編

「Web 設定」を利用して設定できる機能の概要と説明、各機能の設定方法について説明しています。



第 1 章 基本操作

1-1 Web 設定の利用

「Web 設定」は、LAN 接続された PC から Web ブラウザを介して、本システムの主装置にログインすることで利用できます。「Web 設定」を利用すると、各内線の機能設定を変更したり、電話帳など各種情報を登録・編集したりすることができます。

動作環境について

「Web 設定」を利用する前に、以下の動作環境をご確認ください。

OS	Windows 8.1、Windows 10
ブラウザ	Microsoft Edge、Google Chrome
Java スクリプト	<p>Java スクリプトが有効であることを確認してください。無効のままアクセスすると、有効にするよう促すメッセージが表示されます。この場合は、以下の操作で Java スクリプトを有効にしてから、再度アクセスしてください。</p> <p>■ JavaScript を有効にするには (Microsoft Edge の場合) 画面右上の … をクリックし、[設定] → [Cookie とサイトのアクセス許可] → [サイトのアクセス許可] - [JavaScript] をクリックし、[サイトのアクセス許可 / JavaScript] で、[許可 (推奨)] をオンにします。</p> 
Cookie の有効化	<p>Cookie が有効であることを確認してください。無効のままアクセスすると、検索処理が動作しません。この場合は、以下の操作で Cookie を有効にしてから、再度アクセスしてください。</p> <p>■ Cookie を有効にするには (Microsoft Edge の場合) 画面右上の … をクリックし [設定] → [Cookie とサイトのアクセス許可] → [保存された Cookie とデータ] - [Cookie とデータの管理と削除] をクリックし、[保存された Cookie とデータ / Cookie とサイトデータ] で、[Cookie データの保存と読み取りをサイトに許可する (推奨)] をオンにします。</p> 

MEMO

本書では、Microsoft Edge (バージョン 97) を使用した操作について説明しています。

ユーザ種別について

「Web 設定」で設定、登録できる機能は、ログインする際のユーザ種別によって異なります。本書では、ユーザ種別を以下のように定義・表現しています。

管理ユーザ	システム管理電話機に指定された内線番号でログインするユーザ
一般ユーザ	システム管理電話機以外の内線番号でログインするユーザ

設定データの反映について

ログアウトしないと反映されないデータがありますので、データ設定後の動作確認をする前に、必ず「Web 設定」からログアウトしてください。
また、内線および回線が空き状態になるまで反映されないデータがありますので、ご注意ください。

使用中（通話中やメニュー操作中など）の内線電話機に対して以下の設定を行った場合、対象の内線電話機がいったん待受状態にならないと設定が反映されません。

対象の内線電話機で受話器を上げている場合は受話器を置いて、一度、待受状態に戻してから、ご使用ください。スピーカランプが点灯している場合は、スピーカボタンを押して、一度、待受状態に戻してからご使用ください。

- 内線名称の登録 (➡ P.34)
- オートダイヤルボタンへの機能の割り付け (➡ P.140)

● Web 設定の起動と終了

ここでは、Web 設定の起動(ログイン)から終了までの基本操作について説明します。

- Web 設定を起動する(ログイン) (➡ P.3)
- Web 設定画面の各部の名称 (➡ P.5)
- ヘルプ情報を参照する (➡ P.6)
- Web 設定を終了する (➡ P.7)

Web 設定を起動する(ログイン)

Web 設定を起動し、本システムの主装置にログインします。

Web 設定では、ログインする際のユーザ種別によって、利用できる機能が異なります。

管理ユーザとしてログインした場合は、すべての機能が利用でき、システムや全内線に対して、設定の変更を行うことができます。一般ユーザとしてログインした場合は、ご自分の内線の設定を変更する機能のみ利用できます。

- ご自分のユーザ種別を確認するには、本章の「ユーザ種別について」(➡ P.2)を、利用できる機能を確認するには、「2-1 Web 設定でできること」(➡ P.8)をそれぞれ参照してください。

1 ブラウザを起動します。

参照》「動作環境について」(➡ P.1)

2 ブラウザのアドレスバーに、主装置本体の LAN 側 IP アドレスを入力し、[Enter]で確定します。

← → ↻ ⓘ 192.168.1.200

ログイン画面が表示されます。

3 ログイン情報を入力し、[サインイン]をクリックします。

このサイトにアクセスするにはサインインしてください
http://192.168.1.200 では認証が必要となります
このサイトへの接続は安全ではありません

ユーザー名

パスワード

項目	内容
ユーザー名	ご自分の内線番号を入力します。 ● ここで入力する内線番号の種類によってユーザ種別が変わります (➡ P.2)。
パスワード	パスワードを半角で入力します。 ● 1～8桁までの半角英数字を入力できます。 ● 初期設定では、すべての内線に「0000」が設定されています。

MEMO

- 一般ユーザとしてログインする場合は、あらかじめ管理ユーザにパスワードを確認してください。
- ログイン時のパスワードは定期的に変更してください。一般ユーザの場合はご自分のパスワードを、管理ユーザの場合は全内線のパスワードを変更できます (➡ P.10)。

Web 設定が起動し、メイン画面が表示されます。

つづく➡

ログイン時のユーザ種別によって、表示される内容が異なります。

<管理ユーザの場合>

設定画面	
ユーザ名:108 <input type="button" value="ログアウト"/>	<p>Top</p> <p>はじめに</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ブラウザのJavaScriptおよびCookieの設定は、必ず「有効」にしてご使用ください。 各項目の詳細は、添付の取扱説明書を参照してください。 パスワードを定期的に更新してください。
パスワード変更	
時計設定	
カレンダー設定	
内線一覧	
▽ 電話帳	
電話帳転送	
ボイスメール	
留守番	
ユーザガイドランス転送	
▽ 電話帳の各種転送	
外線転送	
オートダイヤル登録	
モデム転送	
IVR	
ですくdeRSS	
タイム連動	
Webカメラ	
アドレス登録	
MFP	

<一般ユーザの場合>

設定画面	
ユーザ名:110 <input type="button" value="ログアウト"/>	<p>Top</p> <p>はじめに</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ブラウザのJavaScriptの設定は、必ず「有効」にしてご使用ください。 各項目の詳細は、添付の取扱説明書を参照してください。 パスワードを定期的に更新してください。
パスワード変更	
内線一覧	
▽ 電話帳	
ボイスメール	
▽ 電話帳の各種転送	
ですくdeRSS	
タイム連動	
オートダイヤル登録	

Web 設定画面の各部の名称

Web 設定画面の各部の名称は以下のとおりです。各部の名称は、ユーザ種別にかかわらず共通です。
※管理ユーザとしてログインした場合の共通電話帳の設定画面を例に説明します。

画面タイトル
左メニューで選択した機能名が表示されます。

ユーザ名
ログイン時に入力した内線番号が表示されます。

タブ
左メニューで選択した機能に付加設定がある場合に表示されます。

共通電話帳

ヘルプ?

ユーザ名:108
ログアウト

パスワード変更
時計設定
カレンダー設定
内線一覧
▽ 電話帳
▶ 共通電話帳
▶ 個別電話帳
電話帳転送
ボイスメール
留守番
ユーザガイド転送
▽ 電話帳の各種転送
外線転送
オートダイヤル登録

電話帳一覧 新規登録 電話帳グループ

電話帳一覧

共通電話帳一覧表示および電話帳編集を行います。

並び替え | 番号順 | / | カナ順 前へ 次へ

メモリ番号	漢字名称	カナ名称	電話番号/メモ	電話帳グループ番号
0000	00株式会社	マルマルカンキョ	03-1111-2222	グループ0
0001	△△株式会社	サカサカカカ	03-2222-3333	グループ0

前へ 次へ

左メニュー
設定する機能をクリックして選択します。
▽が表示された機能(電話帳・電話機の各種転送)には、付加機能が格納されています。クリックするたびに付加機能の表示/非表示が切り替わります。

設定領域
左メニューで選択した機能の設定項目が表示されます。
タブが存在する場合、クリックしたタブの設定項目が表示されます。

[ログアウト] ボタン
Web 設定を終了するときをクリックします(➡ P.7)。

[ヘルプ] ボタン
すべての設定画面に表示されます(➡ P.6)。

ヘルプ情報を参照する

Web 設定の各画面右上には [ヘルプ] ボタンが用意されています。[ヘルプ] ボタンをクリックすることで、Web 設定で使用されている各用語の解説を確認できます。

1 画面右上の [ヘルプ] ボタンをクリックします。



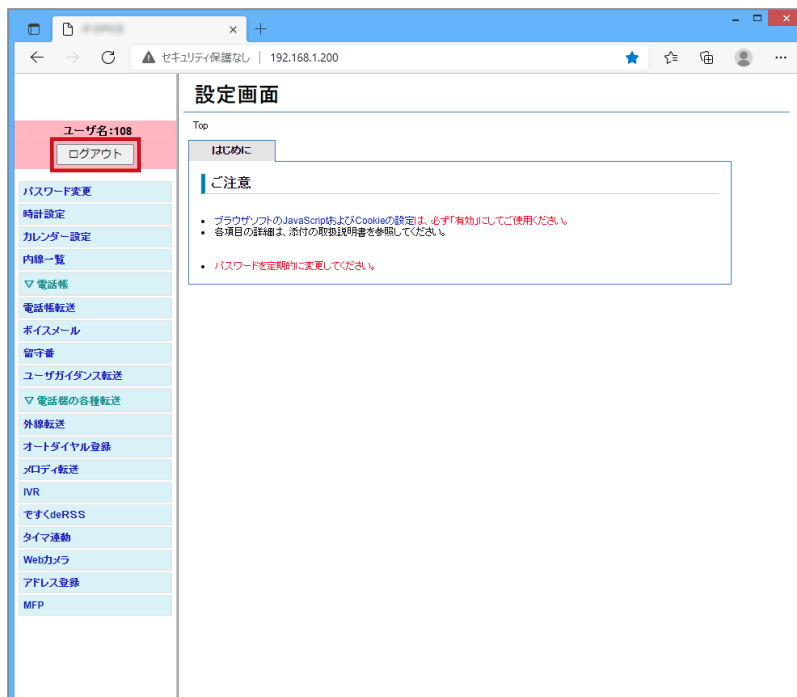
ブラウザまたはブラウザの別タブが起動し、用語集が表示されます。

ヘルプ	
用語集	
【英数字】	
ACR	ダイヤルされた内容によって、最適なキャリア（通信網を提供している会社）を選択して発信できる機能です。
Com@WILL	高度なIPテレフォニー機能をパソコン上で簡単に利用できる高機能なソフトフォンです。
DGLまたはDGLグループ	着信の一つの形式で、内線を例えば組織毎にグループ化し、発信者はそのグループを指定して発信することで、グループ内の内線全てを呼び出せる機能です。 着信は一つのDGLボタンに先着順でキューイングされる。
DGL着信呼数制限	同じDGLまたはDGLグループに着信できる数を制限できる機能です。
IVR	IVR (Interactive Voice Response) とは、対象外線に着信の際、予め用意された音声による案内の再生や、電話をかけてきた相手のダイヤル操作に応じて予め設定された着信先に着信させることができる機能です。
MFP	デジタル複合プリンタ (MultiFunction Printer) の略称です。 PBXとLANを使用して沖電気工業社製のデジタル複合プリンタ（以下MFPとする）と接続し、MFPの状態通知など連携サービスができます。
MSAまたはMSAグループ	DGLが一つのDGLキーに着信がキューイングされるのとは違って、MSAグループの着信ひとつひとつを電話機のボタン（MSAボタン）に着信させる機能です。
MSA呼数	MSAボタンに着信できる最大数のことです。
PBX外線（PBX回線）	PBXの内線をボタン電話の外線に接続して、ボタン電話からPBXの内線発信ができる回線のことをいいます。
PHS	RCR28標準に準拠したデジタルコードレス電話機です。

Web 設定を終了する

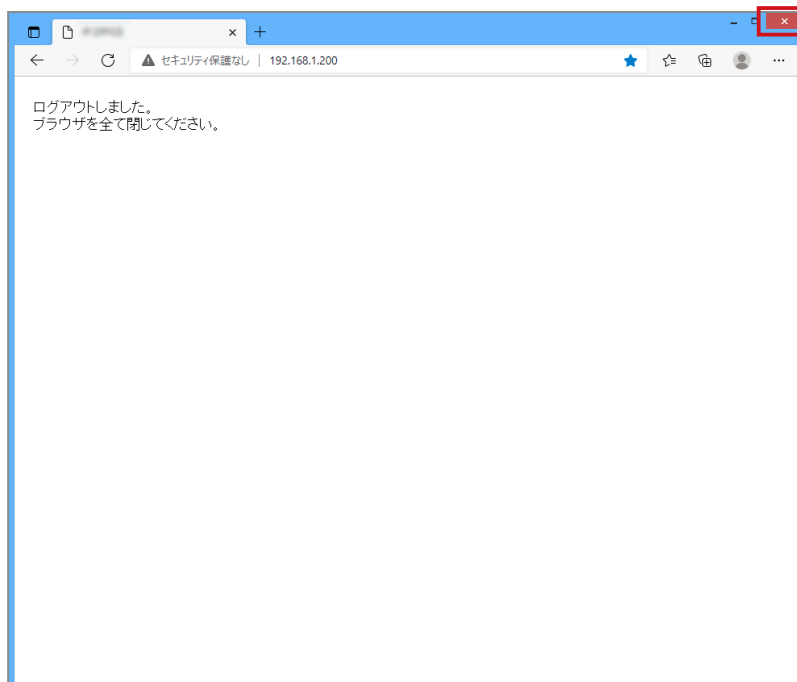
Web 設定からログアウトしたあと、ブラウザを閉じて、Web 設定を終了します。

1 [ログアウト] ボタンをクリックします。



「ログアウトしました・・・」というメッセージが表示されます。

2 ブラウザまたはブラウザタブの[×] (閉じる) ボタンをクリックします。



ブラウザが閉じ、Web 設定が終了します。

第2章 機能設定

本章では、Web 設定で設定できる機能を紹介し、それぞれの設定手順について説明します。

2-1 Web 設定でできること



Web 設定で利用できる機能は、ログイン時のユーザ種別によって異なります。設定を行う前に、ご自分が利用できる機能をご確認ください。

機能名	概要	管理ユーザ	一般ユーザ	参照先
パスワード変更	Web 設定にログインするときのパスワードを設定できます。	○	○	P.10
時計設定	主装置の日付と時刻を設定できます。	○	—	P.13
カレンダー設定	会社の営業形態に合わせ、特定の日にちや曜日を休日や祝祭日としてカレンダーに登録できます。	○	—	P.16
内線一覧	内線一覧やドアホン一覧で登録情報を確認したり、名称を登録したりすることができます。	○	△ (ドアホン名称設定不可)	P.32
共通電話帳	電話帳(共通電話帳と個別電話帳)の登録・確認を行うことができます。	○	△ (参照のみ)	P.39
個別電話帳			○	
電話帳転送	本システムに登録されている共通電話帳と個別電話帳のデータを PC (パソコン) の任意のフォルダに保存し、バックアップデータを作成できます。	○	—	P.57
ボイスメール	ボイスメール(録音メッセージ)の登録や確認を行うことができます。	○	△ (外部保存、コメント登録設定不可)	P.60
留守番	留守番設定時の動作を設定できます。	○	—	P.77
ユーザガイダンス転送	ユーザガイダンスの登録や確認を行うことができます。	○	—	P.90
電話機の各種転送	電話機の転送モードごとに動作を設定できます。	○	○	P.95
外線転送	外線自動転送の動作を設定できます。	○	—	P.133
オートダイヤル登録	オートダイヤルに機能を割り付けることができます。	○	○	P.140
メロディ転送	電話機の着信音など、メロディデータを PC にバックアップしたり、PC からメロディデータを取り込んだりすることができます。	○	—	P.149
IVR	音声自動応答(IVR: Interactive Voice Response)で使用するシナリオ(ダイヤルと動作の組み合わせ)を作成/変更/登録または確認することができます。	○	—	P.153
ですく deRSS	コンテンツ表示機能の利用設定や動作設定を行うことができます。	○	○	P.169
タイマ連動	セーフティモードの起動およびチャイムの鳴動タイミングを設定できます。	○	○	P.171
Web カメラ	セーフティモードで連動させて利用できる Web カメラの情報や連動設定を行うことができます。	○	—	P.175
アドレス登録	セーフティモードや外線自動転送モード時に送信できるメールの相手先や動作について設定できます。	○	—	P.178
MFP	プリンタ複合機(MFP)の名称を登録または変更することができます。	○	—	P.185

○: 操作可能 △: 管理ユーザのみの機能あり —: 操作不可

■対象ユーザの識別方法について

本書では、操作可能 / 不可がひと目でわかるよう、機能ごとに対象のユーザアイコンを掲載しています。

ユーザアイコン	内容
	管理ユーザが設定できる機能です。
	一般ユーザが設定できる機能です。

2-2 各機能を設定する

Web 設定を使って PC (パソコン) から設定できる機能の概要と操作手順について、管理ユーザでログインした場合に表示される左メニューの順番に沿って説明します。

● ログインパスワードの変更(パスワード変更)

管理

一般

Web 設定へのログインパスワードを変更します。
ユーザ種別によって操作できる内容が異なります。

操作	管理ユーザ	一般ユーザ	参照先
特定の内線のパスワードを変更する	○	○	P.10
すべての内線のパスワードをお買い上げ時の状態に戻す	○	—	P.12

○：操作可能

—：操作不可

特定の内線のパスワードを変更する

1 Web 設定を起動します。
参照)第 1 章の「Web 設定の起動と終了」(→ P.3)

2 左メニューで「パスワード変更」をクリックします。

The screenshot shows the '設定画面' (Settings Page) with a left sidebar menu. The 'パスワード変更' (Change Password) item is highlighted with a red box. The main content area shows a 'ご注意' (Notice) section with two red warning messages: 'ブラウザのJavaScriptおよびCookieの設定は、必ず「有効」にしてご使用ください。' and 'パスワードを定期更新に変更してください。'

「パスワード変更」の設定項目に切り替わります。

The screenshot shows the 'パスワード変更' (Change Password) form. The left sidebar menu is visible with 'パスワード変更' highlighted. The main form area has a title 'パスワード変更' and a breadcrumb 'Top > パスワード変更 > パスワード'. Below the title is a 'ログインパスワード変更' section with instructions: 'ログインパスワードの変更を行います。(*)は必須設定項目です。' The form contains three input fields: 'ユーザ名(*)' with value '108', 'パスワード' with masked characters, and 'パスワード確認' with masked characters. There are checkboxes for '(半角数字1~4桁)' and '全ユーザ指定(初期化時のみ有効)'. Below the form are '設定' (Set) and '初期化' (Reset) buttons. A note at the bottom states: '*1 未入力の場合はパスワード無しとなります'.

3 以下の項目を設定します。

パスワード

ログインパスワード変更

ログインパスワードの変更を行います。
(*)は必須設定項目です。

ユーザ名(*)	108 <small>(半角数字1~4桁)</small>	<input type="checkbox"/> 全ユーザ指定(初期化時のみ有効)
パスワード		<small>(半角1~8桁) ※1</small>
パスワード確認		

※1 未入力の場合パスワード無しとなります

(*)の付いた項目は必ず登録してください。

項目	内容
ユーザ名 *	パスワードを設定する内線番号を半角で入力します。 すでにパスワードが登録されている内線番号を選択すると、パスワードが変更されます。
パスワード	設定するパスワードを半角で入力します。 <ul style="list-style-type: none"> ● 1 ~ 8 桁までの半角英数字を入力できます。 ● 初期設定では、すべての内線に「0000」が設定されています。 ● 何も入力しないとパスワードなしでログインできるようになります。
パスワード確認	[パスワード]に入力したパスワードと同じものを確認用に入力します。

4 [設定]をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化]をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。

ポップアップが表示されます。

5 他の内線のパスワードを設定する場合は、手順 3 ~ 4 の操作を繰り返します。

6 表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

指定した内線のパスワードが設定されます。以降、この内線から Web 設定にログインするときは、ここで設定したパスワードの入力が必要になります。

すべての内線のパスワードをお買い上げ時の状態に戻す

管理

すべての内線のパスワードをお買い上げ時の状態「0000」に戻します。

- 1 [ログインパスワード変更] 画面を表示して(⇒ P.10)、[ユーザ名]の[全ユーザ指定(初期化時のみ有効)]をチェックし、[初期化]をクリックします。

パスワード

ログインパスワード変更

ログインパスワードの変更を行います。
(*)は必須設定項目です。

ユーザ名(*)	108 (半角数字1~4桁)	<input checked="" type="checkbox"/> 全ユーザ指定(初期化時のみ有効)
パスワード	●●●●●● (半角1~8桁) ※1	
パスワード確認	●●●●●●	

※1 未入力の場合空白パスワード無しとなります

設定 初期化

ポップアップが表示されます。

- 2 表示されたポップアップで[OK]をクリックします。
すべての内線のパスワードがお買い上げ時の状態「0000」に戻ります。

● 主装置の時刻設定(時計設定)

管理

主装置の日付と時刻を設定します。時計設定を自動で行うこともできます。ここでは、以下の2つの操作について説明します。

- 時計を手動で設定する(手動時計設定) (⇒ P.13)
- 自動時刻補正を利用する(自動時刻設定) (⇒ P.14)

時計を手動で設定する(手動時計設定)

主装置の時刻を手動で設定します。

MEMO

自動時刻補正 (⇒ P.14) を利用する設定にしている場合、時刻を手動で設定しても、定期自動取得のタイミングで、SNTP サーバの時刻に自動的に更新されます。

1 Web 設定を起動します。

参照》第 1 章の「Web 設定の起動と終了」(⇒ P.3)

2 左メニューで [時計設定] をクリックします。

[時計設定] の [手動時計設定] タブの内容に切り替わります。

3 以下の項目を設定します。

時計設定 ヘルプ?

Top > 時計設定 > 手動時計設定

手動時計設定 自動時刻設定

主装置時計設定

主装置の時刻設定を行います。
(*は必須設定項目です。)

日付(*)	西暦	2013	年	1	月	8	日
時刻(*)	19	時	29	分			

注意:自動時刻補正(SNTPサーバ)が有効になっている場合は、定期自動取得時刻はSNTPサーバの時刻となります。

設定

(*)の付いた項目は必ず登録してください。

項目	内容
日付 *	西暦で日付を入力します。
時刻 *	時、分を入力します(24 時間制で入力してください)。

4 [設定] をクリックします。

ポップアップが表示されます。

5 表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

主装置の時刻が設定されます。

自動時刻補正を利用する(自動時刻設定)

インターネット環境で利用している場合、自動時刻補正機能を利用して、主装置の時刻を SNTP サーバの時刻に定期的に合わせることができます。自動時刻補正は、お買い上げ時の状態で利用する設定になっています。自動時刻補正を行わないように設定することもできます。

1 [時計設定] 画面を表示して(⇒ P.13)、[自動時刻設定] タブをクリックします。

ユーザ名:108
ログアウト

パスワード変更

時計設定

カレンダー設定

内線一覧

▽ 電話帳

電話帳転送

ボイスメール

留守番

ユーザガイド転送

時計設定 ヘルプ?

Top > 時計設定 > 手動時計設定

手動時計設定 自動時刻設定

主装置時計設定

主装置の時刻設定を行います。
(*は必須設定項目です。)

日付(*)	西暦	2013	年	1	月	8	日
時刻(*)	19	時	30	分			

注意:自動時刻補正(SNTPサーバ)が有効になっている場合は、定期自動取得時刻はSNTPサーバの時刻となります。

設定

つづく →

[時計設定]の[自動時刻設定]タブの内容に切り替わります。

2 [自動時刻補正利用]で、時刻補正を行うかどうかを設定します。

[利用する]を選択すると、インターネット上のSNTPサーバに定期的にアクセスし、主装置の時刻補正を行い、電話機のディスプレイに表示される時刻が自動的に補正されます（初期設定）。

[利用しない]を選択すると、自動時刻補正は行われず、主装置に手動で設定された時刻が電話機のディスプレイに表示されます。

3 [設定]をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化]をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。

ポップアップが表示されます。

4 表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

自動時刻補正の利用の有無が設定されます。

● 休日や祝祭日の登録(カレンダー設定)

管理

会社の営業形態に合わせ、特定の日にちや曜日を休日としてカレンダーに登録できます。さらに、創立記念日など、特定日を祝祭日として登録することもできます。祝祭日の設定も、毎年固定の日付にするか、第一月曜日など、変動する形式にするかを選ぶことができます。また、年により変動する休日や祝祭日は、年月日を指定して設定することができます。

設定した休日、祝祭日の設定は、必要に応じていつでも解除できます。

- 自テナントの毎年決まった休日(特定日)を登録する(➡ P.16)
 - 日付ごとに休日を登録する(特定日設定(月日指定))(➡ P.16)
 - 曜日ごとに休日を登録する(特定日設定(曜日指定))(➡ P.19)
- システム全体の毎年決まった祝祭日を登録する(➡ P.20)
 - 日付ごとに祝祭日を登録する(祝祭日設定(月日指定))(➡ P.20)
 - 曜日ごとに祝祭日を登録する(祝祭日設定(変動日指定))(➡ P.22)
- 特定の年月日の休日 / 平日を登録する(特定日設定(年月日指定))(➡ P.25)
- 特定の年月日の祝祭日を登録する(祝祭日設定(年月日指定))(➡ P.28)

MEMO

- カレンダーに休日 / 平日(特定日)を登録する場合は、テナントごとに設定します。Web 設定で設定するときは、設定対象のテナントに所属するシステム管理電話機の内線番号でログインしてください。設定した値は、ログインした内線が所属するテナントに設定されます。
- 祝祭日および特定日の各設定で同じ日が重複して登録されている場合は、以下の優先順位で休日または平日として扱われます。

優先順位	設定	参照先
高 ↑ ↓ 低	特定日設定(年月日指定)	P.25
	特定日設定(月日指定)	P.16
	祝祭日設定(年月日指定)	P.28
	祝祭日設定(月日指定)	P.20
	祝祭日設定(変動日指定)	P.22
	特定日設定(曜日指定)	P.19

<例>同じ日がそれぞれ以下のように設定されているとき

(A) 対象日は「休日」として扱われます。

- 特定日設定(年月日指定) : 休日
- 特定日設定(月日指定) : 平日

(B) 対象日は「平日」として扱われます。

- 特定日設定(年月日指定) : 平日
- 祝祭日設定(年月日指定) : 祝祭日

- 祝祭日の設定は、システム全体に設定されます。

自テナントの毎年決まった休日(特定日)を登録する

毎年決まった休日を登録します。休日は、年間で最大 64 日まで登録できます。休日の設定は、以下の 2 通りの方法で設定できます。

- 日付ごとに休日を登録する(特定日設定(月日指定))(➡ P.16)
- 曜日ごとに休日を登録する(特定日設定(曜日指定))(➡ P.19)

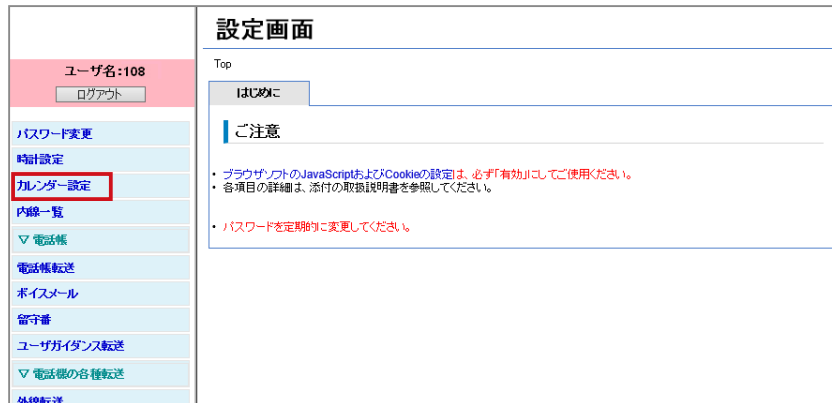
■ 日付ごとに休日を登録する(特定日設定(月日指定))

1

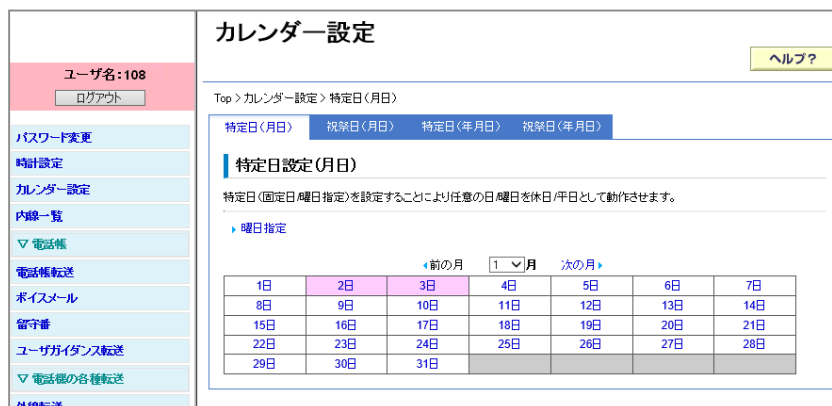
Web 設定を起動します。

参照)第 1 章の「Web 設定の起動と終了」(➡ P.3)

2 左メニューで[カレンダー設定]をクリックします。



[カレンダー設定]の[特定日(月日)]タブの内容に切り替わります。



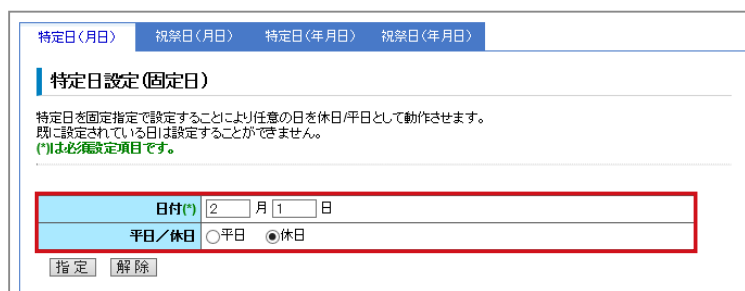
3 プルダウンメニューから目的の月を選択し、休日に設定する日付をクリックします。



[特定日設定(固定日)]の設定内容に切り替わります。

4 [日付]に選択した月と日にちが表示されていることを確認し、[平日 / 休日]で[休日]を選択します。

[平日]を選択すると、選択した日付が平日に設定されます。



5 設定する場合は、[指定]をクリックします。

- 特定日の設定を取り消す場合は、[解除]をクリックします。
- ポップアップが表示されます。

6 表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

- 選択した日付が休日に設定され、[特定日設定(月日)]表示に戻ります。
- 休日に設定した日付は、カレンダー上にピンク色で表示されます。
- 平日に設定した日付は、カレンダー上に水色で表示されます。

特定日(月日)
祝祭日(月日)
特定日(年.月日)
祝祭日(年.月日)

特定日設定(月日)

特定日(固定日/曜日指定)を設定することにより任意の日/曜日を休日/平日として動作させます。

▶ 曜日指定

◀ 前の月
2 ▼ 月
次の月 ▶

1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日
15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日
22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日
29日						

■ 曜日ごとに休日を登録する（特定日設定（曜日指定））

1 [カレンダー設定] 画面を表示して（⇒ P.16）、[曜日指定] をクリックします。

カレンダー設定

ヘルプ?

Top > カレンダー設定 > 特定日(月日)

特定日(月日) 祝祭日(月日) 特定日(年月日) 祝祭日(年月日)

特定日設定(月日)

特定日(固定日/曜日指定)を設定することにより任意の日/曜日を休日/平日として動作させます。

曜日指定

前の月 1月 次の月

1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日
15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日
22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日
29日	30日	31日				

[特定日設定(曜日指定)] の設定内容に切り替わります。

2 目的の曜日のプルダウンメニューから [休日] を選択します。

- [平日] を選択すると、休日の設定が解除されます。
- 複数の曜日を休日に設定することもできます。

特定日(月日) 祝祭日(月日) 特定日(年月日) 祝祭日(年月日)

特定日設定(曜日指定)

特定日(曜日指定)を設定することにより任意の曜日を休日/平日として動作させます。

日曜日 月曜日 火曜日 水曜日 木曜日 金曜日 土曜日

休日 平日 平日 平日 平日 平日 休日

設定

3 [設定] をクリックします。

ポップアップが表示されます。

4 表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

選択した曜日が休日に設定され、[特定日設定(月日)] 表示に戻ります。

特定日(月日) 祝祭日(月日) 特定日(年月日) 祝祭日(年月日)

特定日設定(月日)

特定日(固定日/曜日指定)を設定することにより任意の日/曜日を休日/平日として動作させます。

曜日指定

前の月 1月 次の月

1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日
15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日
22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日
29日	30日	31日				

MEMO

休日に設定した曜日を確認するには、[曜日指定] をクリックし、[特定日設定(曜日指定)] 表示に切り替えます。

システム全体の毎年決まった祝祭日を登録する

毎年決まった祝祭日を登録します。祝祭日は、年間で最大 32 日（00 ～ 31）まで登録できます。

祝祭日の登録は、以下の 2 通りの方法で設定できます。

- 日付ごとに祝祭日を登録する（祝祭日設定（月日指定））（⇒ P.20）
- 曜日ごとに祝祭日を登録する（祝祭日設定（変動日指定））（⇒ P.22）

■ 日付ごとに祝祭日を登録する（祝祭日設定（月日指定））

指定した日付を祝祭日として登録できます。お買い上げ時の設定では、以下の日付が祝祭日としてあらかじめ登録されています。

※春分の日と秋分の日は、年により日付が前後するので登録しなおす必要があります。

登録番号	日付	祝祭日
00	1月1日	元日
01	2月11日	建国記念の日
02	3月21日	春分の日
03	4月29日	昭和の日
04	5月3日	憲法記念日
05	5月4日	みどりの日
06	5月5日	こどもの日
07	8月11日	山の日
08	9月23日	秋分の日
09	11月3日	文化の日
10	11月23日	勤労感謝の日
11	2月23日	天皇誕生日

1 [カレンダー設定] 画面を表示して（⇒ P.16）、[祝祭日（月日）] タブをクリックします。

ユーザー名: 108
ログアウト

パスワード変更
時計設定
カレンダー設定
内線一覧
▽ 電話帳
電話帳転送
ボイスメール
留守番
ユーザガイド転送
▽ 電話帳の各種転送
※40転送

カレンダー設定

ヘルプ?

Top > カレンダー設定 > 特定日(月日)

特定日(月日) **祝祭日(月日)** 特定日(年・月日) 祝祭日(年・月日)

特定日設定(月日)

特定日(固定日/曜日指定)を設定することにより任意の日/曜日/平日として動作させます。

▶ 曜日指定

◀ 前の月 1月 次月 ▶

1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日
15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日
22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日
29日	30日	31日				

[祝祭日(月日)] タブの内容に切り替わります。

ユーザー名: 108
ログアウト

パスワード変更
時計設定
カレンダー設定
内線一覧
▽ 電話帳
電話帳転送
ボイスメール
留守番
ユーザガイド転送
▽ 電話帳の各種転送
※40転送

カレンダー設定

ヘルプ?

Top > カレンダー設定 > 祝祭日(月日)

特定日(月日) 祝祭日(月日) 特定日(年・月日) 祝祭日(年・月日)

祝祭日設定(月日)

祝祭日(固定日/変動日)およびユーザ独自の休日の登録を行います。

▶ 変動日設定

◀ 前の月 1月 次月 ▶

1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日
15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日
22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日
29日	30日	31日				

2 プルダウンメニューから目的の月を選択し、祝祭日に設定する日付をクリックします。

特定日<月日> 祝祭日<月日> 特定日<年月日> 祝祭日<年月日>

祝祭日設定(月日)

祝祭日(固定日(変動日)およびユーザー独自の休日の登録を行います。

▶ 変動日設定

		◀ 前の月		2	▼ 月	次の月 ▶	
1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	
8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	
15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	
22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	
29日							

[祝祭日設定(固定日)]の設定内容に切り替わります。

3 [日付] に選択した日付が表示されていることを確認し、[指定] をクリックします。

祝祭日の設定を取り消す場合は、[解除] をクリックします。

特定日<月日> 祝祭日<月日> 特定日<年月日> 祝祭日<年月日>

祝祭日設定(固定日)

祝祭日に任意の日を設定することができます。
既に設定されている日は設定することができません。
(*)は必須設定項目です。

日付(*) 2 月 1 日

指定 解除

ポップアップが表示されます。

4 表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

- 選択した日付が祝祭日に設定され、[祝祭日設定(月日)]表示に戻ります。
- 祝祭日に設定した日付は、カレンダー上にピンク色で表示されます。

特定日<月日> 祝祭日<月日> 特定日<年月日> 祝祭日<年月日>

祝祭日設定(月日)

祝祭日(固定日(変動日)およびユーザー独自の休日の登録を行います。

▶ 変動日設定

		◀ 前の月		2	▼ 月	次の月 ▶	
1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	
8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	
15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	
22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	
29日							

■ 曜日ごとに祝祭日を登録する（祝祭日設定（変動日指定））

ハッピーマンデーなど、1月第2週の月曜日のように、毎年変動する日を祝祭日として登録できます。

以下の変動日が祝祭日としてあらかじめ登録されています。

登録番号	変動日	祝祭日
00	1月第2月曜日	成人の日
01	10月第2月曜日	スポーツの日
02	7月第3月曜日	海の日
03	9月第3月曜日	敬老の日

1 [カレンダー設定] 画面を表示して（⇒ P.16）、[祝祭日（月日）] タブをクリックします。

The screenshot shows the 'Calendar Settings' page. On the left is a navigation menu with options like 'パスワード変更', '時計設定', 'カレンダー設定', etc. The main content area is titled 'カレンダー設定' and has a 'ヘルプ?' button. Below the title, there are navigation tabs: '特定日(月日)', '祝祭日(月日)', '特定日(年/月/日)', and '祝祭日(年/月/日)'. The '祝祭日(月日)' tab is selected and highlighted in red. Below the tabs, there is a section for '特定日設定(月日)' with a description and a '曜日指定' link. A calendar grid for the month of 1st is shown, with the 2nd day highlighted in pink.

[祝祭日（月日）]タブの内容に切り替わります。

2 [変動日設定] をクリックします。

The screenshot shows the 'Calendar Settings' page with the '祝祭日(月日)' tab selected. In this view, there is a sub-tab '実動日設定' (Variable Day Setting) highlighted in red. The main text below the tabs reads: '祝祭日(固定日/変動日)およびユーザ独自の休日の登録を行います。' Below this, there is a calendar grid for the month of 1st, with the 2nd day highlighted in pink.

[祝祭日設定（変動日）]の設定内容に切り替わります。

3 [変動日]のプルダウンメニューから、月、週数、曜日をそれぞれ選択します。

例：1月の第1週の月曜日

MEMO

すでに祝祭日登録されている変動日は登録できません。登録する場合は、あらかじめ祝祭日の登録を解除してください(➡P.24)。

4 [設定]をクリックします。

ポップアップが表示されます。

5 表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

選択した変動日が祝祭日に設定され、[祝祭日設定(月日)]表示に戻ります。

MEMO

祝祭日に設定した曜日を確認するには、[変動日設定]をクリックし、[祝祭日設定(変動日)]表示に切り替えます。

■ 祝祭日の変動日の設定を解除する

あらかじめ登録されている変動日や独自に登録した変動日をまとめて解除できます。

1 [祝祭日設定(変動日)] 画面を表示して(→ P.22)、登録を解除する変動日をチェックします。

2 [削除] をクリックします。

ポップアップが表示されます。

3 表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

選択した変動日の登録が解除され、[祝祭日設定(月日)] 表示に戻ります。

特定の年月日の休日 / 平日を登録する（特定日設定（年月日指定））

特定の年月日を指定して、休日 / 平日を最大 64 日まで登録することができます。

1 [カレンダー設定] 画面を表示して（⇒ P.16）、[特定日（年月日）] タブをクリックします。

[カレンダー設定] の [特定日（年月日）] タブの内容に切り替わります。

2 [年月日] に休日（または平日）に設定する年、月、日をそれぞれ入力し、[休日]（または[平日]）を選択します。

年は西暦（4桁の半角数字）で入力、月は1～12の半角数字、日は1～31の半角数字で入力してください。

MEMO

すでに祝祭日または特定日に登録されている日を重複登録した場合は、P.16のMEMOに記載した優先順位に従って、休日または平日として扱われます。

3 [設定]をクリックします。

ポップアップが表示されます。

4 表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

入力した年月日が休日（または平日）として設定され、画面下のリストに追加されます。
※リストは年月日の順に並んで表示されます。

特定日<月日> 祝祭日<月日> 特定日<年月日> 祝祭日<年月日>

特定日設定(年月日)

特定日を年月日指定で設定することにより任意の年月日を休日/平日として動作させます。
既に設定されている日は設定することができません。
(*)は必須設定項目です。

年月日(*) 年 月 日 平日 休日

2018年2月24日 休日
 2019年2月24日 休日

注意:削除対象日にチェックしてから削除ボタンを押してください。

■ 年月日に設定した特定日を解除するには

特定日を解除したい場合は、次の操作手順で日付を削除します。

- 1 画面下のリストで、特定日の設定を解除する年月日の行頭のをクリックしてチェックを付けます。

MEMO

過去の日付の特定日設定をすべて解除したい場合は、[今日より前をチェック]をクリックすると、現在の日付と比較し、過去の日付にチェックが付きます。

特定日 (年月日) 祝祭日 (年月日) 特定日 (年月日) 祝祭日 (年月日)

特定日設定 (年月日)

特定日を年月日指定で設定することにより任意の年月日を休日/平日として動作させます。
既に設定されている日は設定することができません。
(*)は必須設定項目です。

年月日 (*) 2019年 2月 24日 ○平日 ●休日

設定

2018年2月24日 休日

2019年2月24日 休日

今日より前をチェック

注意: 削除対象日にチェックしてから削除ボタンを押してください。

削除

- 2 [削除]をクリックします。

ポップアップが表示されます。

- 3 表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

選択した年月日の休日 / 平日設定が解除され、画面下のリストから削除されます。

特定日 (年月日) 祝祭日 (年月日) 特定日 (年月日) 祝祭日 (年月日)

特定日設定 (年月日)

特定日を年月日指定で設定することにより任意の年月日を休日/平日として動作させます。
既に設定されている日は設定することができません。
(*)は必須設定項目です。

年月日 (*) 2019年 2月 24日 ○平日 ●休日

設定

2018年2月24日 休日

今日より前をチェック

注意: 削除対象日にチェックしてから削除ボタンを押してください。

削除

特定の年月日の祝祭日を登録する（祝祭日設定（年月日指定））

春分の日と秋分の日など年により変動するような祝祭日を、年月日で指定して登録することができます（最大64日）。

ここでは、以下の操作について説明します。

- 10年分の春分・秋分の日を一括登録する（→ P.28）
- 年月日指定の祝祭日の設定を解除するには（→ P.30）
- 年月日を指定して祝祭日を登録する（→ P.31）

■ 10年分の春分・秋分の日を一括登録する

2022～2031年（10年分）の春分の日と秋分の日（以下の日付）を祝祭日として一括登録することができます。

年	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
春分の日	3/21	3/21	3/20	3/20	3/20	3/21	3/20	3/20	3/20	3/21
秋分の日	9/23	9/23	9/22	9/23	9/23	9/23	9/22	9/23	9/23	9/23

MEMO

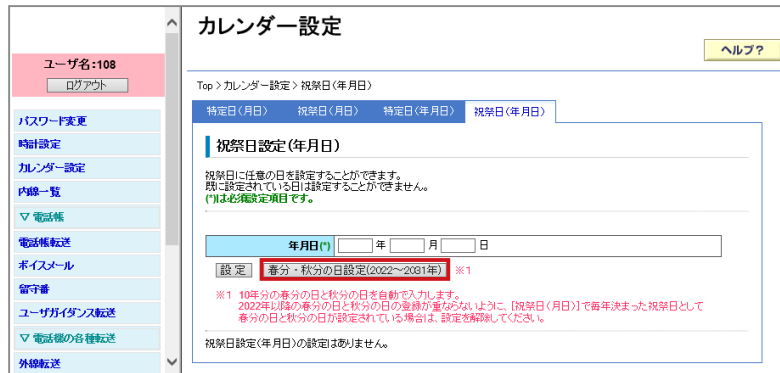
- 手順5の画面のように、[祝祭日設定（年月日）]の画面に上表の日付が一覧表示されている場合は、すでに10年分の春分の日と秋分の日が登録されています。
- ここで登録される春分の日と秋分の日（上表）は「みなし日」です。「みなし日」は、国立天文台のホームページ（<http://www.nao.ac.jp/faq/a0301.html>）に記載されている日付です（主装置内に保存）。
- 春分の日と秋分の日は、『暦象年表』という小冊子に基づき閣議決定され、決定する日の前年2月第1平日付の官報で暦要項として公告されます。公告と「みなし日」が異なる場合は登録しなおしてください。

1 [カレンダー設定]画面を表示して（→ P.16）、[祝祭日（年月日）]タブをクリックします。

[カレンダー設定]の[祝祭日（年月日）]タブの内容に切り替わります。

2

【春分・秋分の日設定(2022～2031年)】をクリックします。

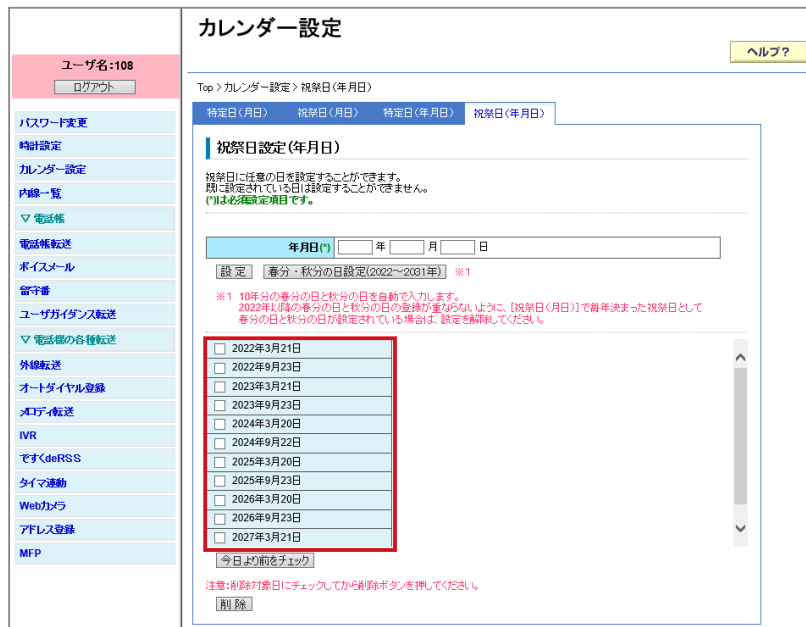


ポップアップが表示されます。

3

表示されたポップアップで【OK】をクリックします。

10年分(2022～2031年)の春分の日と秋分の日が、画面に一覧表示されます。
※リストは年月日の順に並んで表示されます。



以上で、2022～2031年の春分の日と秋分の日の一括登録は完了です。

続けて、2022年以降の春分の日と秋分の日登録が重ならないように、【祝祭日(月日)】で毎年決まった祝祭日として春分の日と秋分の日が設定されている場合は、設定を解除します。

4

【祝祭日(月日)】タブをクリックします。

祝祭日はカレンダー上にピンク色で表示されています。

5

春分の日の日付を選択して、【解除】をクリックします。

カレンダーで3月21日前後のピンク色の日付を探してください。

参照)「システム全体の毎年決まった祝祭日を登録する」-

「■日付ごとに祝祭日を登録する(祝祭日設定(月日指定))」(⇒P.20)

6

秋分の日の日付を選択して、【解除】をクリックします。

カレンダーで9月23日前後のピンク色の日付を探してください。

以上で、2022年～2031年の春分の日と秋分の日の前頁の表の「みなし日」に登録されます。

■ 年月日指定の祝祭日の設定を解除するには

祝祭日を解除したい場合は、次の操作手順で日付を削除します。

1 [祝祭日(年月日)] タブの画面で、画面下のリストから祝祭日の設定を解除する年月日の行頭のをクリックしてチェックを付けます。

MEMO

過去の日付の祝祭日設定をすべて解除したい場合は、[今日より前をチェック]をクリックすると、現在の日付と比較し、過去の日付にチェックが付きます。

特定日(月日) 祝祭日(月日) 特定日(年月日) 祝祭日(年月日)

祝祭日設定(年月日)

祝祭日に任意の日を設定することができます。
既に設定されている日は設定することができません。
(*)は必須設定項目です。

年月日(*) 年 月 日

- 2022年3月21日
- 2022年9月23日
- 2023年3月21日
- 2023年9月23日
- 2024年3月20日
- 2024年9月22日
- 2025年3月20日
- 2025年9月23日
- 2026年3月20日
- 2026年9月23日
- 2027年3月21日

注意:削除対象日にチェックしてから削除ボタンを押してください。

2 [削除]をクリックします。

ポップアップが表示されます。

3 表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

選択した年月日の祝祭日設定が解除され、画面下のリストから削除されます。

特定日(月日) 祝祭日(月日) 特定日(年月日) 祝祭日(年月日)

祝祭日設定(年月日)

祝祭日に任意の日を設定することができます。
既に設定されている日は設定することができません。
(*)は必須設定項目です。

年月日(*) 年 月 日

- 2022年3月21日
- 2022年9月23日
- 2023年3月21日
- 2023年9月23日
- 2024年9月22日
- 2025年3月20日
- 2025年9月23日
- 2026年3月20日
- 2026年9月23日
- 2027年3月21日
- 2027年9月23日

注意:削除対象日にチェックしてから削除ボタンを押してください。

■ 年月日を指定して祝祭日を登録する

1 [祝祭日(年月日)] タブの画面で、[年月日] に祝祭日に設定する年、月、日をそれぞれ入力し、[設定] をクリックします。

年は西暦（4桁の半角数字）で入力、月は1～12の半角数字、日は1～31の半角数字で入力してください。

特定日(年月日) 祝祭日(年月日) 特定日(年月日) 祝祭日(年月日)

祝祭日設定(年月日)

祝祭日に任意の日を設定することができます。
既に設定されている日は設定することができません。
(*)は必須設定項目です。

年月日(*) 2031年7月24日

設定 春分・秋分の日設定(2022～2031年) ※1

※1 10年分の春分の日と秋分の日を自動で入力します。
2022年以降の春分の日と秋分の日が登録が重ならないように、[祝祭日(年月日)]で毎年決まった祝祭日として春分の日と秋分の日が設定されている場合は、設定を解除してください。

祝祭日設定(年月日)の設定はありません。

ポップアップが表示されます。

2 表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

入力した年月日が祝祭日として登録され、画面下のリストに追加されます。
※リストは年月日の順に並んで表示されます。

特定日(年月日) 祝祭日(年月日) 特定日(年月日) 祝祭日(年月日)

祝祭日設定(年月日)

祝祭日に任意の日を設定することができます。
既に設定されている日は設定することができません。
(*)は必須設定項目です。

年月日(*) 年 月 日

設定 春分・秋分の日設定(2022～2031年) ※1

※1 10年分の春分の日と秋分の日を自動で入力します。
2022年以降の春分の日と秋分の日が登録が重ならないように、[祝祭日(年月日)]で毎年決まった祝祭日として春分の日と秋分の日が設定されている場合は、設定を解除してください。

2031年7月24日

今日より前をチェック

注意: 削除対象日にチェックしてから削除ボタンを押してください。

削除

MEMO

- すでに祝祭日または特定日に登録されている日を重複登録した場合は、P.16のMEMOに記載した優先順位に従って、休日または平日として扱われます。
- ここで春分の日と秋分の日を登録した場合は、[祝祭日(年月日)]で登録されていないことを確認してください。[祝祭日(年月日)]でも登録されている場合は、登録が重ならないように[祝祭日(年月日)]で春分の日と秋分の日の設定を解除してください。
[祝祭日(年月日)]での登録確認と設定解除の操作については「■ 10年分の春分・秋分の日を一括登録する」(➡ P.28)の手順4以降を参照してください。

● 内線番号とドアホン名の設定(内線一覧)

自テナントグループに所属する内線の内線一覧やドアホンを表示して、登録されている番号や名称を確認したり、新たに名称を登録したりすることができます。登録した名称は、必要に応じていつでも編集・削除することができます。

内線番号とドアホン名の設定は、ユーザ種別によって操作できる内容が異なります。

操作	管理ユーザ	一般ユーザ	参照先
内線一覧を確認する	○	○	P.32
内線の名称を登録する	○	○	P.34
ドアホンを確認する	○	○	P.36
ドアホンの名称を登録する	○	—	P.37

○：操作可能 —：操作不可

MEMO

内線一覧 / ドアホンを確認するには、他テナントグループの内線は表示されません。対象のテナントグループに所属する内線番号でログインしてください。ログインした内線が所属するテナントグループの内線一覧 / ドアホンを表示し、内線名称 / ドアホン名称を登録、編集することができます。

内線一覧を確認する

管理

一般

内線一覧を表示して、内線番号や名称を確認できます。内線一覧は、50台ごとにプルダウンできるので、目的の番号を素早く見つけることができます。すでに名称が登録されている場合は、一覧の表示をカナ順に並べ替えることもできます。

1

Web 設定を起動します。

参照)第1章の「Web 設定の起動と終了」(→ P.3)

2

左メニューで「内線一覧」をクリックします。

The screenshot shows a user settings page titled '設定画面' (Settings Page). On the left is a sidebar menu with various options. The option '内線一覧' (Line List) is highlighted with a red box. The main content area shows a 'はじめに' (Getting Started) section with a 'ご注意' (Notice) box containing two red warning messages: 'ブラウザのJavaScriptおよびCookieの設定は、必ず「有効」にしてご利用ください。' and 'パスワードを定期的に更新してください。'

つづく →

[内線一覧]の[内線]タブに内線一覧が表示されます。

ヘルプ?

Top > 内線一覧 > 内線

内線 ドアホン

内線一覧

内線番号および名称の変更を行います。
内線番号をクリックし変更画面を表示してください。

並び替え / 前へ 次へ

内線番号	漢字名称	加名称
内線2000		
内線2001		
内線2002		
内線2003		
内線2004		
内線2005		
内線2006		
内線2007		
内線2008		
内線2009		
内線2010		
内線2011		
内線2012		
内線2013		
内線2014		
内線2015		
内線2016		

3

[並び替え]のプルダウンメニューで目的の内線番号のグループを選択します。

内線 ドアホン

内線一覧

内線番号および名称の変更を行います。
内線番号をクリックし変更画面を表示してください。

並び替え / 前へ 次へ

内線番号	漢字名称	加名称
内線2000		
内線2001		
内線2002		
内線2003		
内線2004		
内線2005		
内線2006		
内線2007		
内線2008		
内線2009		
内線2010		
内線2011		
内線2012		
内線2013		
内線2014		

前へ 次へ

- [次へ]をクリックすると、次の50件が表示されます。
- [前へ]をクリックすると、前の50件が表示されます。
- 内線のカナ名称が登録されている場合、[カナ順]をクリックすると、内線一覧がカナ名称順に並び替わります。

内線の名称を登録する

管理

一般

内線に名称を登録することができます。内線に名称を登録すると、待機中や発着信時に電話機のディスプレイにご自分や相手の内線名称が表示されます。内線名称には、漢字名称とカナ名称を登録できます。漢字名称には全角 10 文字まで、カナ名称には半角 20 文字まで登録できます。

- 一般ユーザの場合は、ご自分の内線名称のみ登録できます。
- 管理ユーザの場合は、すべての内線名称を登録できます。

1 [内線一覧] 画面の [内線] タブで (⇒ P.32)、名称を登録する内線番号をクリックします。

すでに名称が登録されている内線番号を選択すると、名称の編集・削除を行うことができます。

内線番号	漢字名称	加名称
内線2000		
内線2001		
内線2002		
内線2003		
内線2004		
内線2005		
内線2006		
内線2007		
内線2008		
内線2009		
内線2010		
内線2011		
内線2012		
内線2013		
内線2014		
内線2015		
内線2016		

2 以下の項目を設定します。

漢字名称とカナ名称の両方、またはどちらかを登録します。

内線2001

漢字名称 山田太郎 (全角10文字/半角20文字以内)

加名称 ヤマダタロウ (半角20文字以内)

設定 削除

項目	内容
漢字名称	<p>選択した内線の漢字名称を入力します。[漢字名称]には、全角文字(漢字、ひらがな、カナ、英字、数字、記号)で最大 10 文字まで、半角文字(カナ、英字、数字)で最大 20 文字まで入力できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 内線の漢字名称には、全角半角を混在させた名称を登録できます。 ● すでに漢字名称が登録された内線を選択した場合、ここで名称を変更できます。 ● 選択した内線からの着信時、ここで登録した漢字名称が電話機のディスプレイに表示されます。
カナ名称	<p>選択した内線のカナ名称を入力します。[カナ名称]は半角文字(カナ、英字、数字)で最大 20 文字まで入力できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● カナ名称を登録すると、内線一覧をカナ名称順に並べ替えることができます。 ● すでにカナ名称が登録された内線を選択した場合、ここで名称を変更できます。 ● 漢字名称を登録せずにカナ名称のみを登録すると、その内線からの着信時、電話機のディスプレイにはカナ名称が表示されます。

3 [設定]をクリックします。

- 名称を削除する場合は、[削除]をクリックします。

ポップアップが表示されます。

4 表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

入力した名称が登録され、内線一覧に表示されます。以降、ここで登録した名称が、待機中や発着信時に電話機のディスプレイに表示されます。

- [削除]をクリックした場合は、名称が削除され、内線一覧には内線番号のみが表示されます。

内線
ドアホン

内線一覧

内線番号および名称の変更を行います。
内線番号をクリックし変更画面を表示してください。

並び替え /
前へ
次へ

内線番号	漢字名称	加名称
内線2000		
内線2001	山田太郎	ヤマタチウ
内線2002		
内線2003		
内線2004		
内線2005		
内線2006		
内線2007		
内線2008		
内線2009		
内線2010		
内線2011		
内線2012		
内線2013		
内線2014		

前へ
次へ

ドアホナー覧を確認する

管理

一般

ドアホナー覧を表示して、ドアホン番号や名称を確認できます。

1

[内線一覧] 画面を表示して(⇒ P.32)、[ドアホン] タブをクリックします。

ヘルプ?

Top > 内線一覧 > 内線

内線 **ドアホン**

内線一覧

内線番号および名称の変更を行います。
内線番号をクリックし変更画面を表示してください。

並び替え | 番号順 ▾ / カナ順 | 前へ 次へ >

内線番号	漢字名称	加名称
内線2000		
内線2001	山田太郎	ヤマダタロウ
内線2002		
内線2003		
内線2004		
内線2005		
内線2006		
内線2007		
内線2008		
内線2009		
内線2010		
内線2011		
内線2012		
内線2013		
内線2014		
内線2015		
内線2016		

[ドアホン] タブに切り替わり、ドアホナー覧が表示されます。

ヘルプ?

Top > 内線一覧 > ドアホン

内線 ドアホン

ドアホナー覧

ドアホナー覧表示および名称の変更を行います。
ドアホン番号をクリックし変更画面を表示してください。

ドアホン番号	漢字名称	加名称
ドアホン1	正面玄関	シヨウメンケンガン
ドアホン2		
ドアホン3		
ドアホン4		
ドアホン5		
ドアホン6		
ドアホン7		
ドアホン8		
ドアホン9		

ドアホンの名称を登録する

管理

本システムには、最大 9 台のドアホンを利用できます。Web 設定を使って、接続されたドアホンにそれぞれ名称を登録できます。ドアホンに名称を登録すると、ドアホン着信時に電話機のディスプレイにドアホン名称が表示されます。ドアホン名称には、漢字名称とカナ名称を登録できます。

1 [内線一覧] 画面を表示して(⇒ P.32)、[ドアホン] タブをクリックします。

内線一覧

ヘルプ?

Top > 内線一覧 > 内線

内線 ドアホン

内線一覧

内線番号および名称の変更を行います。
内線番号をクリックし変更画面を表示してください。

並び替え [番号順] / カナ順

内線番号	漢字名称	加名称
内線2000		
内線2001	山田太郎	ヤマダチロウ
内線2002		
内線2003		
内線2004		
内線2005		
内線2006		
内線2007		
内線2008		
内線2009		
内線2010		
内線2011		
内線2012		
内線2013		
内線2014		
内線2015		
内線2016		

[ドアホン] タブに切り替わり、ドアホン一覧が表示されます。

2 名称を登録するドアホン番号をクリックします。

すでに名称が登録されているドアホン番号を選択すると、名称の編集・削除を行うことができます。

内線一覧

ヘルプ?

Top > 内線一覧 > ドアホン

内線 ドアホン

ドアホン一覧

ドアホン一覧表示および名称の変更を行います。
ドアホン番号をクリックし変更画面を表示してください。

ドアホン番号	漢字名称	加名称
ドアホン1	正面玄関	シウメケンカン
ドアホン2		
ドアホン3		
ドアホン4		
ドアホン5		
ドアホン6		
ドアホン7		
ドアホン8		
ドアホン9		

3 以下の項目を設定します。

漢字名称とカナ名称の両方、またはどちらかを登録します。

項目	内容
漢字名称	<p>選択したドアホンの漢字名称を入力します。[漢字名称]には、全角文字(漢字、ひらがな、カナ、英字、数字、記号)で最大 10 文字まで、半角文字(カナ、英字、数字)で最大 20 文字まで入力できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ドアホンの漢字名称には、全角半角を混在させた名称を登録できます。 ● すでに漢字名称が登録されたドアホンを選択した場合、ここで名称を変更できます。 ● 漢字名称を削除する場合は、[漢字名称]欄を空白にします。 ● 選択したドアホンからの着信時、ここで登録した漢字名称が電話機のディスプレイに表示されます。
カナ名称	<p>選択したドアホンのカナ名称を入力します。[カナ名称]には、半角文字(カナ、英字、数字)で最大 20 文字まで入力できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● すでにカナ名称が登録されたドアホンを選択した場合、ここで名称を変更できます。 ● カナ名称を削除する場合は、[カナ名称]欄を空白にします。 ● 漢字名称を登録せずにカナ名称のみを登録すると、そのドアホンからの着信時、電話機のディスプレイにはカナ名称が表示されます。

4 [設定]をクリックします。

- ドアホンの設定を取り消すには、[削除]をクリックします。

ポップアップが表示されます。

5 表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

入力した名称が登録され、ドアホン一覧に表示されます。以降、ここで登録した名称が、ドアホン着信時に電話機のディスプレイに表示されます。

- [削除]をクリックした場合は、名称が削除され、ドアホン一覧にはドアホン番号のみが表示されます。

ドアホン番号	漢字名称	カナ名称
ドアホン1	正面玄関	シウメケンカン
ドアホン2	裏口	ウラグチ
ドアホン3		
ドアホン4		
ドアホン5		
ドアホン6		
ドアホン7		
ドアホン8		
ドアホン9		

電話帳の登録(共通電話帳 / 個別電話帳)

本システムでは、共通電話帳と個別電話帳 2 つの電話帳を使い分けることができます。共通電話帳は、テナントに所属するすべての内線で利用できます。個別電話帳は各内線ごとに利用できます。それぞれの電話帳に別々の情報(電話番号や漢字名称、カナ名称など)を登録できます。共通電話帳と個別電話帳ともに、登録時にグループを指定して、取引先別など、電話帳をグループ分けすることもできます。共通電話帳と個別電話帳を合わせて、最大 10,000 件までの情報を登録できます。

MEMO

- 共通電話帳はテナントごとに管理されています。対象のテナントに所属するシステム管理電話機の内線番号でログインしてください。ログインした内線が所属するテナントの共通電話帳を登録、編集、削除、閲覧することができます。
- 個別電話帳は内線ごとに管理されています。ログインした内線の個別電話帳を登録、編集、削除、閲覧することができます。

電話帳は、ユーザ種別によって操作できる内容が異なります。

操作	管理ユーザ	一般ユーザ	参照先
共通電話帳の登録内容を確認する	○	○	P.39
共通電話帳に電話番号などの情報を新規登録する	○	—	P.42
共通電話帳の登録内容を編集 / 削除する	○	—	P.45
共通電話帳のグループを管理する	○	△(閲覧のみ)	P.46
個別電話帳の登録内容を確認する	○	○	P.49
個別電話帳に電話番号などの情報を新規登録する	○	○	P.51
個別電話帳の登録内容を編集 / 削除する	○	○	P.53
個別電話帳のグループを管理する	○	○	P.55

○：操作可能

△：閲覧のみ可能

—：操作不可

共通電話帳の登録内容を確認する

管理

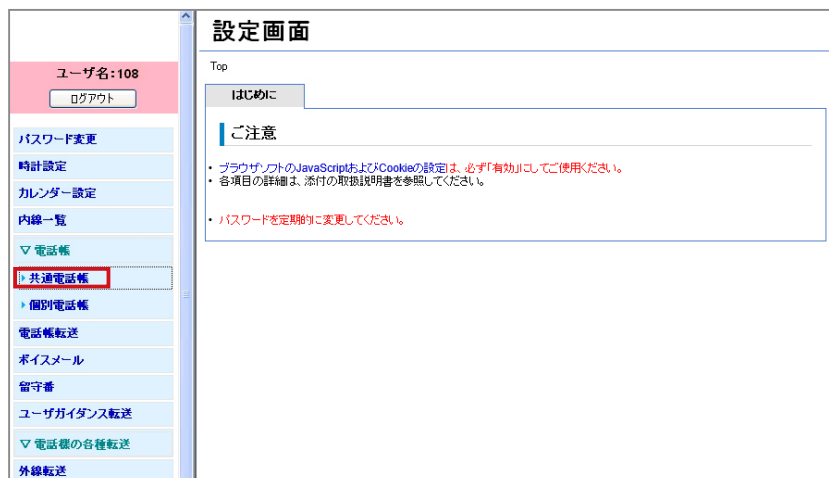
一般

共通電話帳に登録されている内容を確認できます。電話帳一覧では、メモリ番号を 50 件ごとにプルダウンできるので、目的の相手を素早く見つけることができます。カナ名称が登録されている場合は、一覧の表示をカナ順に並べ替えることもできます。

1 Web 設定を起動します。

参照 第 1 章の「Web 設定の起動と終了」(→ P.3)

2 左メニューで「電話帳」 - 「共通電話帳」をクリックします。



つづく →

[共通電話帳]の[電話帳一覧]タブに電話帳一覧が表示されます。

3 [並び替え]のプルダウンメニューで目的のメモリ番号のグループを選択します。

- [次へ]をクリックすると、次の 50 件が表示されます。
- [前へ]をクリックすると、前の 50 件が表示されます。
- 共通電話帳のカナ名称が登録されている場合、[カナ順]をクリックすると、電話帳一覧がカナ名称順に並び替わります。

4 詳細情報を確認する場合は、目的のメモリ番号をクリックします。

- 管理ユーザの場合は [詳細情報] の内容が編集可能な状態で表示されます。共通電話帳の編集については、「共通電話帳の登録内容を編集 / 削除する」(▶ P.45)を参照してください。
- 一般ユーザの場合は [詳細情報] の内容が表示され、内容は編集できません。
- 一覧表示に戻す場合は、[電話帳一覧] タブをクリックします。

<管理ユーザの場合の詳細情報>

電話帳一覧		新規登録	電話帳グループ
詳細情報			
共通電話帳詳細情報を表示します。 (*)は必須設定項目です。			
メモリ番号	0000		
電話番号1(*)	0311112222	(半角32桁以内) ※1	
	外線 00	(方路指定選択時のみ有効、0~63)	
電話番号2(*)		(半角32桁以内) ※1	
	外線 00	(方路指定選択時のみ有効、0~63)	
電話番号3(*)		(半角32桁以内) ※1	
	外線 00	(方路指定選択時のみ有効、0~63)	
漢字名称	〇〇株式会社 (全角16文字 / 半角32文字以内)		
カナ名称	マルマルカフシキカイシャ (半角32文字以内)		
電話帳グループ番号	グループ0		
識別着信音	<input checked="" type="radio"/> 無し <input type="radio"/> トーン 1 <input type="radio"/> メロディ <input type="radio"/> 着信メモディ <input type="radio"/> 外部音源 1		
着信形式	昼	無し	※2
	夜間A-1	無し	※2
	夜間A-2	無し	※2
	夜間A-3	無し	※2
	夜間B	無し	※2
ACR機能	<input type="radio"/> 利用しない <input checked="" type="radio"/> 利用する		
発番号通知	網契約に従う		
メモ			

※1 設定口は電話番号1~3の最低1つの登録が必要です
(未入力の場合は番号無しとなります)

※2 内線選択時 : 内線番号1~4桁
DGL選択時 : グループ 0~99
MSA選択時 : グループ 0~99
開番号選択時 : 番号1~4桁
着信代行選択時 : MBX番号1~8桁

<一般ユーザの場合の詳細情報>

電話帳一覧		電話帳グループ
詳細情報		
共通電話帳詳細情報を表示します。		
メモリ番号	0000	
電話番号1	0311112222 (発信種別: 外線)	
電話番号2		
電話番号3		
漢字名称	〇〇株式会社	
カナ名称	マルマルカフシキカイシャ	
電話帳グループ番号	グループ0	
識別着信音	無し	
着信形式	昼	無し
	夜間A-1	無し
	夜間A-2	無し
	夜間A-3	無し
	夜間B	無し
ACR機能	利用する	
発番号通知	網契約に従う	
メモ		

共通電話帳に電話番号などの情報を新規登録する

管理

共通電話帳に電話番号や漢字名称、カナ名称などを新規に登録します。

1 [共通電話帳] 画面を表示して(⇒ P.39)、[新規登録] タブをクリックします。

共通電話帳

ユーザ名:108
ログアウト

パスワード変更
時計設定
カレンダー設定
内線一覧
▼ 電話帳
▶ 共通電話帳
▶ 個別電話帳
電話帳転送
ボイスメール

Top > 共通電話帳 > 電話帳一覧

電話帳一覧 [新規登録] 電話帳グループ

電話帳一覧

共通電話帳一覧表示および電話帳編集を行います。

並び替え [番号順] / カナ順 前へ 次へ

メモリ番号	漢字名称	カナ名称	電話番号/メモ	電話帳グループ番号
0000	〇〇株式会社	マルマルカクカク	0311112222	グループ0
0001	△△株式会社	サンサンカクカク	0322223333	グループ0

前へ 次へ

[新規登録] タブに切り替わり、電話帳の項目が表示されます。

2 基本情報を登録します。

電話帳一覧 [新規登録] 電話帳グループ

新規登録

共通電話帳を新規に作成します。
全項目を設定する場合は、「全設定項目表示」をクリックしてください。
(*)は必須設定項目です。

メモリ番号(*) * <0000~9999>:空き番号へ登録)

電話番号1(*) (半角32桁以内) ※1
外線 00 (方路指定選択時のみ有効、0~63)

電話番号2(*) (半角32桁以内) ※1
外線 00 (方路指定選択時のみ有効、0~63)

電話番号3(*) (半角32桁以内) ※1
外線 00 (方路指定選択時のみ有効、0~63)

漢字名称 (全角16文字/半角32文字以内)

カナ名称 (半角32文字以内)

メモ (全角16文字/半角32文字以内)

※1 登録口は電話番号1~3の最低1つの登録が必要です
(未入力の場合は番号無しとなります)

設定 全設定項目表示

(*)の付いた項目は必ず登録してください。

項目	内容
メモリ番号 *	<p>メモリ番号を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「*」を入力すると、空き番号のなかで、一番若い番号が自動的に選択されます。 0 ~ 9999 の範囲で選択できます。 すでに登録されているメモリ番号を選択すると、保存時にエラーメッセージが表示され、上書きできませんのでご注意ください。 <p>※すでに登録されているメモリ番号に電話番号を登録(変更)したい場合は、編集画面を表示して(⇒ P.45)、変更してください。</p>

つづく➡

項目	内容
電話番号 1*	最低 1 つの電話番号の登録が必要です。
電話番号 2*	電話番号を入力し、プルダウンメニューから電話番号種別を選択します。
電話番号 3*	<p>外線: 外線番号の登録時に選択します。</p> <p>特番展開: 主装置に接続されている内線電話の電話番号 (内線番号) の登録時に選択します。</p> <p>PBX: 構内交換機 (PBX) に接続されている内線電話の電話番号 (内線番号) の登録時に選択します。</p> <p>方路指定: 方路を指定する場合、方路番号を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> それぞれ最大 32 桁まで登録できます。 半角の 0 ~ 9、*、#、特殊コード (- : オートポーズ、P : PB 切替、E : 自動終話コード、[] (スペース) : ネスティングダイヤル) が入力できます。
	<p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> 電話番号登録の詳細については、『取扱説明書 (多機能電話機編)』 - 「1-7 電話帳の登録」を参照してください。 方路番号などの用語については、『取扱説明書 (多機能電話機編)』 - 「A-1 用語説明」を参照してください。
漢字名称	<p>必要に応じて、漢字名称を入力します。[漢字名称] を登録すると、以降、この相手からの着信時に漢字名称が電話機のディスプレイに表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 全角 / 半角のカナ、英数、記号を入力できます。 最大全角 16 文字まで入力できます。
カナ名称	<p>必要に応じて、カナ名称を入力します。[カナ名称] を登録すると、電話帳一覧をカナ順に並べ替えることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 半角のカナ、英数、記号を入力できます。 最大半角 32 文字 漢字名称を登録せずにカナ名称を登録すると、以降、この相手からの着信時にカナ名称が電話機のディスプレイに表示されます。
メモ	<p>必要に応じて、メモを入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 全角 / 半角のカナ、英数、記号を入力できます。 最大全角 16 文字まで入力できます。

3 必要に応じて、[全設定項目表示] をクリックし、詳細情報を登録します。

The screenshot shows a settings interface for phone registration. It includes fields for phone numbers (1, 2, 3), Japanese and Kanji names, and a memo. A red box highlights the 'Call Information' (着信形式) section, which includes options for call identification (識別着信音), call patterns (着信形式) such as 'Night A1', 'Night A2', 'Night A3', and 'Night B', and ACR (Automatic Call Recognition) settings. Below the form, there are explanatory notes and a '設定' (Settings) button.



項目	内容						
電話帳グループ番号	プルダウンメニューからグループ番号を選択します。 0～9のグループ番号を選択できます。 <ul style="list-style-type: none"> 管理ユーザの場合、共通電話帳グループの名称や着信ランプの種類などを設定できます（➡ P.46）。 						
識別着信音	着信音の種類をクリックし、プルダウンメニューからパターンを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> 識別着信しない場合は[無し]をクリックします。 						
着信形式	<table border="1"> <tr> <td>昼</td> <td rowspan="5">プルダウンメニューから[無し]、[内線]、[DGL グループ]、[MSA グループ]、[閉番号]、[付加番号 DID]、[着信代行]、[転送リモコン]、[留守リモコン]、[一般着信]のいずれかの着信形式を選択し、着信先番号が必要な場合は、番号を入力します。</td> </tr> <tr> <td>夜間 A1</td> </tr> <tr> <td>夜間 A2</td> </tr> <tr> <td>夜間 A3</td> </tr> <tr> <td>夜間 B</td> </tr> </table>	昼	プルダウンメニューから[無し]、[内線]、[DGL グループ]、[MSA グループ]、[閉番号]、[付加番号 DID]、[着信代行]、[転送リモコン]、[留守リモコン]、[一般着信]のいずれかの着信形式を選択し、着信先番号が必要な場合は、番号を入力します。	夜間 A1	夜間 A2	夜間 A3	夜間 B
昼	プルダウンメニューから[無し]、[内線]、[DGL グループ]、[MSA グループ]、[閉番号]、[付加番号 DID]、[着信代行]、[転送リモコン]、[留守リモコン]、[一般着信]のいずれかの着信形式を選択し、着信先番号が必要な場合は、番号を入力します。						
夜間 A1							
夜間 A2							
夜間 A3							
夜間 B							
ACR 機能	[利用しない]または[利用する]のどちらかをクリックします。						
発番号通知	発信時に電話番号を通知するかどうかを設定します。 プルダウンメニューから[網契約に従う]、[非通知]または[通知]のいずれかを選択します。						

4 [設定]をクリックします。
ポップアップが表示されます。

5 表示されたポップアップで[OK]をクリックします。
登録した内容が共通電話帳に保存され、共通電話帳の電話帳一覧に表示されます。

電話帳一覧		新規登録		電話帳グループ	
電話帳一覧					
共通電話帳一覧表示および電話帳編集を行います。					
並び替え		番号順	カナ順	前へ	次へ
メモリ番号	漢字名称	加名称	電話番号/メモ	電話帳グループ番号	
0000	〇〇株式会社	マルマルカシキイテ	0311112222	グループ0	
0001	△△株式会社	サカサカカシキイテ	0322223333	グループ0	
0002	△一株式会社	ヤマイチカシキイテ	03444555	グループ0	
				前へ	次へ

共通電話帳の登録内容を編集 / 削除する

管理

共通電話帳にすでに登録されている相手の情報を編集または削除します。

1 [共通電話帳] の [電話帳一覧] タブで (⇒ P.39)、目的のメモリ番号をクリックします。

メモリ番号	漢字名称	加名称	電話番号/メモ	電話帳グループ番号
0000	〇〇株式会社	七五カブツカイヤ	0311112222	グループ0
0001	△△株式会社	サカサカカブツカイヤ	0322223333	グループ0
0002	△一株式会社	ヤマカブツカイヤ	0344445555	グループ0

[電話帳一覧] タブの [詳細情報] に切り替わり、電話帳の登録内容が表示されます。

2 必要に応じて、登録内容を編集します。

(*)の付いた項目を空欄にしないでください。

メモリ番号	0002	
電話番号1(*)	03444555 (半角32桁以内) ※1	
電話番号2(*)	外線 00 (方路指定選択時のみ有効、0~63) (半角32桁以内) ※1	
電話番号3(*)	外線 00 (方路指定選択時のみ有効、0~63) (半角32桁以内) ※1	
漢字名称	△一株式会社 (全角16文字/半角32文字以内)	
加名称	ヤマカブツカイヤ (半角32文字以内)	
電話帳グループ番号	グループ0	
識別着信音	<input checked="" type="radio"/> 無し <input type="radio"/> トーン 1 <input type="radio"/> モロディ 着信モロディ1 <input type="radio"/> 外部音源 1	
着信形式	昼	無し ※2
	夜間A1	無し ※2
	夜間A2	無し ※2
	夜間A3	無し ※2
	夜間B	無し ※2
ACR機能	<input type="radio"/> 利用しない <input checked="" type="radio"/> 利用する	
発番号通知	網契約に従う	
メモ	(全角16文字/半角32文字以内)	

※1 設定には電話番号1~3の最低1つの登録が必要です
(未入力の場合は番号無しとなります)

※2 内線選択時 : 内線番号1~4桁
DGL選択時 : グループ 0~99
MSA選択時 : グループ 0~99
開番号選択時 : 番号1~4桁
着信代行選択時 : MBX番号1~8桁

設定 削除

設定項目については、「共通電話帳に電話番号などの情報を新規登録する」(⇒ P.42)の手順2~3を参照してください。

3 [設定]をクリックします。

- 登録を削除する場合は、[削除]をクリックします。

ポップアップが表示されます。

4 表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

編集した内容が共通電話帳に保存され、電話帳一覧の内容が更新されます。

共通電話帳のグループを管理する

共通電話帳には、あらかじめ 10 個のグループが用意されています。このグループに漢字名称やカナ名称、リモートコールバック利用の有無、着信ランプの色を登録できます。

- 共通電話帳グループの場合、一般ユーザが操作できるのはグループ一覧の閲覧のみです。
- 登録先のグループは、電話帳の新規登録時（⇒ P.42）または編集時（⇒ P.45）に指定します。

ここでは、以下の 2 つの操作について説明します。

- すでに登録されているグループ情報を確認する（⇒ P.46）
- グループ情報を登録する（⇒ P.47）

■ すでに登録されているグループ情報を確認する 管理 一般

1 [共通電話帳] 画面を表示して（⇒ P.39）、[電話帳グループ] タブをクリックします。

共通電話帳

Top > 共通電話帳 > 電話帳一覧

電話帳一覧 | 新規登録 | 電話帳グループ

電話帳一覧

共通電話帳一覧表示および電話帳編集を行います。

並び替え / カナ順 前へ 次へ

メモリ番号	漢字名称	カナ名称	電話番号/メモ	電話帳グループ番号
0000	OO株式会社	オオオオオオオオオオ	0311112222	グループ0
0001	△△株式会社	サカサカカカカカ	0322223333	グループ0

前へ 次へ

[電話帳グループ] タブに切り替わり、共通電話帳のグループ一覧が表示されます。

つづく →

<管理ユーザの共通電話帳グループ一覧>

管理ユーザの場合、このままグループ情報を登録することもできます。

電話帳一覧 新規登録 電話帳グループ

電話帳グループ

共通電話帳グループを編集します。

電話帳グループ番号	漢字名称 (全角5文字/半角10文字以内)	か名称 (半角10文字以内)	リモート コールバック	着信ランプ
グループ0	グループ0	グループ0	する	設定無し
グループ1	グループ1	グループ1	する	設定無し
グループ2	グループ2	グループ2	しない	設定無し
グループ3	グループ3	グループ3	しない	設定無し
グループ4	グループ4	グループ4	しない	設定無し
グループ5	グループ5	グループ5	しない	設定無し
グループ6	グループ6	グループ6	しない	設定無し
グループ7	グループ7	グループ7	しない	設定無し
グループ8	グループ8	グループ8	しない	設定無し
グループ9	グループ9	グループ9	しない	設定無し

設定 初期化

<一般ユーザの共通電話帳グループ一覧>

電話帳一覧 電話帳グループ

電話帳グループ

共通電話帳グループを表示します。

電話帳グループ番号	漢字名称	か名称	リモート コールバック	着信ランプ
グループ0	グループ0	グループ0	する	設定無し
グループ1	グループ1	グループ1	する	設定無し
グループ2	グループ2	グループ2	しない	設定無し
グループ3	グループ3	グループ3	しない	設定無し
グループ4	グループ4	グループ4	しない	設定無し
グループ5	グループ5	グループ5	しない	設定無し
グループ6	グループ6	グループ6	しない	設定無し
グループ7	グループ7	グループ7	しない	設定無し
グループ8	グループ8	グループ8	しない	設定無し
グループ9	グループ9	グループ9	しない	設定無し

■ グループ情報を登録する 管理

- 1 [共通電話帳] の [電話帳グループ] タブで (⇒ P.46)、目的のグループ番号の以下の項目を設定します。

電話帳一覧 新規登録 電話帳グループ

電話帳グループ

共通電話帳グループを編集します。

電話帳グループ番号	漢字名称 (全角5文字/半角10文字以内)	か名称 (半角10文字以内)	リモート コールバック	着信ランプ
グループ0	グループ0	グループ0	する	設定無し
グループ1	グループ1	グループ1	する	設定無し
グループ2	グループ2	グループ2	しない	設定無し
グループ3	グループ3	グループ3	しない	設定無し
グループ4	グループ4	グループ4	しない	設定無し
グループ5	グループ5	グループ5	しない	設定無し
グループ6	グループ6	グループ6	しない	設定無し
グループ7	グループ7	グループ7	しない	設定無し
グループ8	グループ8	グループ8	しない	設定無し
グループ9	グループ9	グループ9	しない	設定無し

設定 初期化

つづく →

項目	内容
漢字名称	<p>選択したグループの漢字名称を入力します。[漢字名称]には、全角文字(漢字、ひらがな、カナ、英字、数字、記号)で最大5文字まで、半角文字(カナ、英字、数字)で最大10文字まで入力できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● グループの漢字名称には、全角半角を混在させた名称を登録できます。 ● すでに漢字名称が登録されたグループの場合、ここで名称を変更できます。
カナ名称	<p>選択したグループのカナ名称を入力します。[カナ名称]には、半角文字(カナ、英字、数字)で最大10文字まで入力できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● すでにカナ名称が登録されたグループの場合、ここで名称を変更できます。
リモートコールバック	<p>リモートコールバック機能を利用するかどうかを設定します。プルダウンメニューから[する]/[しない]のどちらかを選択します。</p>
着信ランプ	<p>該当グループに所属する電話番号からの着信時に表示するランプの色を選択します。プルダウンメニューから目的の色を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [設定無し]を選択すると、電話機に設定されている着信ランプの色になります。

2 [設定]をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化]をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。

ポップアップが表示されます。

3 表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

登録したグループ情報が登録され、グループ一覧に表示されます。

個別電話帳の登録内容を確認する

管理

一般

個別電話帳に登録されている内容を確認できます。電話帳一覧では、メモリ番号を50件ごとにプルダウンできるので、目的の相手を素早く見つけることができます。カナ名称が登録されている場合は、一覧の表示をカナ順に並べ替えることもできます。

1 Web 設定を起動します。

参照》第1章の「Web 設定の起動と終了」(→ P.3)

2 左メニューで「電話帳」－「個別電話帳」をクリックします。

The screenshot shows the '設定画面' (Settings screen) with a sidebar on the left. The sidebar contains various settings options, and '個別電話帳' (Individual Phonebook) is highlighted with a red box. The main content area shows a 'Top' section with a 'はじめに' (Getting Started) tab and a 'ご注意' (Important Notice) section with several bullet points.

「個別電話帳」の「電話帳一覧」タブに電話帳一覧が表示されます。

The screenshot shows the '個別電話帳' (Individual Phonebook) screen. The left sidebar is the same as in the previous screenshot. The main content area shows a 'Top > 個別電話帳 > 電話帳一覧' breadcrumb and a '電話帳一覧' (Phonebook List) section. Below this, there is a search bar for '内線番号(*)' (Internal Number) and a table of phonebook entries.

並び替え	番号順	カナ順	前へ	次へ
メモリ番号	漢字名称	かな名称	電話番号/メモ	電話帳グループ番号
0000	〇〇商事	マルマルノウジ	031112222	グループ0
0001	△△株式会社	ヤマヤマカンキカイ	032223333	グループ0

3 [並び替え] のプルダウンメニューで目的のメモリ番号のグループを選択します。

電話帳一覧

電話帳毎の個別電話帳一覧表示および電話帳編集を行います。
(*)は必須設定項目です。

内線番号(*) 108 選択 (半角数字1~4桁)

並び替え 番号順 / カナ順

メモ番号順	漢字名称	加名称	電話番号/メモ	電話帳グループ番号
0000	〇〇商事	マルマルショップ	0311112222	グループ0
0001	△△株式会社	ヤマヤマカウキウキ	032223333	グループ0

- [次へ] をクリックすると、次の 50 件が表示されます。
- [前へ] をクリックすると、前の 50 件が表示されます。
- 個別電話帳のカナ名称が登録されている場合、[カナ順] をクリックすると、電話帳一覧がカナ名称順に並び替わります。

4 詳細情報を確認する場合は、目的のメモリ番号をクリックします。

電話帳一覧

電話帳毎の個別電話帳一覧表示および電話帳編集を行います。
(*)は必須設定項目です。

内線番号(*) 108 選択 (半角数字1~4桁)

並び替え 番号順 / カナ順

メモ番号	漢字名称	加名称	電話番号/メモ	電話帳グループ番号
0000	〇〇商事	マルマルショップ	0311112222	グループ0
0001	△△株式会社	ヤマヤマカウキウキ	032223333	グループ0

選択したメモリ番号の詳細情報が表示されます。

- 一覧表示に戻す場合は、[電話帳一覧] タブをクリックします。

電話帳一覧

電話帳毎の個別電話帳を編集します。
(*)は必須設定項目です。

メモリ番号 0000

電話番号1(*) 0311112222 (半角32桁以内) ※1
外線 (方路指定選択時のみ有効、0~63)

電話番号2(*) (半角32桁以内) ※1
外線 (方路指定選択時のみ有効、0~63)

電話番号3(*) (半角32桁以内) ※1
外線 (方路指定選択時のみ有効、0~63)

漢字名称 〇〇商事 (全角16文字 / 半角32文字以内)

加名称 マルマルショップ (半角32文字以内)

電話帳グループ番号 グループ0

選別着信音 無し トーン メロディ 着信メロディ 外部音源

ACR機能 利用しない 利用する

発着音通知 網契約に従う

メモ (全角16文字 / 半角32文字以内)

※1 設定には電話番号1~3の最上位1つの登録が必要です
(未入力の場合は番号無しとなります)

設定 削除

個別電話帳に電話番号などの情報を新規登録する

管理

一般

個別電話帳に電話番号や漢字名称、カナ名称などを新規に登録します。

1 [個別電話帳] 画面を表示して(⇒ P.49)、[新規登録] タブをクリックします。

個別電話帳

ユーザ名: 108

ログアウト

パスワード変更
時計設定
カレンダー設定
内線一覧
電話帳
共通電話帳
個別電話帳
電話帳転送
ボイスメール
留守番
ユーザガイド転送
電話帳の各種転送

ヘルプ?

Top > 個別電話帳 > 電話帳一覧

電話帳一覧 新規登録 電話帳グループ

電話帳一覧

電話帳毎の個別電話帳一覧表示および電話帳編集を行います。
(*)は必須設定項目です。

内線番号(*) 108 選択 (半角数字1~4桁)

並び替え	番号順	カナ順	前へ	次へ
メモリ番号	漢字名称	加名称	電話番号/メモ	電話帳グループ番号
0000	〇〇商事	マルマルカンジ	031112222	グループ0
0001	△△株式会社	ヤマヤマカンパニー	032223333	グループ0

前へ 次へ

[新規登録] タブに切り替わり、電話帳の項目が表示されます。

2 基本情報を登録します。

電話帳一覧 新規登録 電話帳グループ

新規登録

個別電話帳を新規に作成します。
全項目を設定する場合は、「全設定項目表示」をクリックしてください。
(*)は必須設定項目です。

内線番号(*) 108 選択 (半角数字1~4桁)

メモリ番号(*) * (0000~9999/空き番号へ登録)

電話番号1(*) 033334444 (半角32桁以内) ※1
外線 00 (方路指定選択時のみ有効、0~63)

電話番号2(*) (半角32桁以内) ※1
外線 00 (方路指定選択時のみ有効、0~63)

電話番号3(*) (半角32桁以内) ※1
外線 00 (方路指定選択時のみ有効、0~63)

漢字名称 山田 (全角16文字/半角32文字以内)

加名称 ヤマキ (半角32文字以内)

メモ (全角16文字/半角32文字以内)

※1 登録口は電話番号1~3の最低1つの登録が必要です
(未入力の場合は番号無しとなります)

設定 全設定項目表示

(*)の付いた項目は必ず登録してください。

項目	内容
メモリ番号 *	<p>メモリ番号を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「*」を入力すると、空き番号のなかで、一番若い番号が自動的に選択されます。 0 ~ 9999 の範囲で選択できます。 すでに登録されているメモリ番号を選択すると、保存時にエラーメッセージが表示され、上書きできませんのでご注意ください。 <p>※すでに登録されているメモリ番号に電話番号を登録(変更)したい場合は、編集画面を表示して(⇒ P.53)、変更してください。</p>

つづく➡

項目	内容
電話番号 1*	最低 1 つの電話番号の登録が必要です。
電話番号 2*	電話番号を入力し、プルダウンメニューから電話番号種別を選択します。
電話番号 3*	<p>外線: 外線番号の登録時に選択します。</p> <p>特番展開: 主装置に接続されている内線電話の電話番号(内線番号)の登録時に選択します。</p> <p>PBX: 構内交換機(PBX)に接続されている内線電話の電話番号(内線番号)の登録時に選択します。</p> <p>方路指定: 方路を指定する場合、方路番号を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> それぞれ最大 32 桁まで登録できます。 半角の 0 ~ 9、*、#、特殊コード(-: オートポーズ、P: PB 切替、E: 自動終話コード、[] (スペース): ネスティングダイヤル)が入力できます。
	<p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> 電話番号登録の詳細については、『取扱説明書(多機能電話機編)』 - 「1-7 電話帳の登録」を参照してください。 方路番号などの用語については、『取扱説明書(多機能電話機編)』 - 「A-1 用語説明」を参照してください。
漢字名称	<p>必要に応じて、漢字名称を入力します。漢字名称を登録すると、以降、この相手からの着信時に漢字名称が電話機のディスプレイに表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 全角 / 半角のカナ、英数、記号を入力できます。 最大全角 16 文字まで入力できます。
カナ名称	<p>必要に応じて、カナ名称を入力します。カナ名称を登録すると、電話帳一覧をカナ順に並べ替えることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 半角のカナ、英数、記号を入力できます。 最大半角 32 文字 漢字名称を登録せずにカナ名称を登録すると、以降、この相手からの着信時にカナ名称が電話機のディスプレイに表示されます。
メモ	<p>必要に応じて、メモを入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 全角 / 半角のカナ、英数、記号を入力できます。 最大全角 16 文字まで入力できます。

3 必要に応じて、[全設定項目表示]をクリックし、詳細情報を登録します。

電話帳一覧 新規登録 電話帳グループ

新規登録

個別電話帳を新規に作成します。
(*)は必須設定項目です。

内線番号(*) 108 選択 (半角数字1~4桁)

メモリ番号(*)	* (0000~9999*: 空き番号へ登録)
電話番号1(*)	0333334444 (半角32桁以内) ※1 外線 00 (方路指定選択時のみ有効、0~63)
電話番号2(*)	(半角32桁以内) ※1 外線 00 (方路指定選択時のみ有効、0~63)
電話番号3(*)	(半角32桁以内) ※1 外線 00 (方路指定選択時のみ有効、0~63)
漢字名称	山田 (全角16文字 / 半角32文字以内)
カナ名称	ヤマダ (半角32文字以内)
電話帳グループ番号	グループ1
識別着信音	<input type="radio"/> 無し <input type="radio"/> トーン 1 <input type="radio"/> メロディ 着信メロディ <input type="radio"/> 外部音源 1
ACR機能	<input type="radio"/> 利用しない <input checked="" type="radio"/> 利用する
番号通知	網契約に従う
メモ	(全角16文字 / 半角32文字以内)

※1 登録には電話番号1~3の最低1つの登録が必要です
(未入力の場合は番号無しとなります)

項目	内容
電話帳グループ番号	プルダウンメニューからグループ番号を選択します。 0～9のグループ番号を選択できます。 ● 個別電話帳グループの名称や着信ランプの種類などを設定できます（⇒ P.55）。
識別着信音	着信音の種類をクリックし、プルダウンメニューからパターンを選択します。 ● 識別着信しない場合は[無し]をクリックします。
ACR 機能	[利用しない]または[利用する]のどちらかをクリックします。
発番号通知	発信時に電話番号を通知するかどうかを設定します。 プルダウンメニューから[網契約に従う]、[非通知]または[通知]のいずれかを選択します。

4 [設定]をクリックします。

ポップアップが表示されます。

5 表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

登録した内容が個別電話帳に保存され、個別電話帳の電話帳一覧に表示されます。

個別電話帳の登録内容を編集 / 削除する

管理

一般

個別電話帳にすでに登録されている相手の情報を編集または削除します。

1 [個別電話帳]の[電話帳一覧]タブで（⇒ P.49）、目的のメモリ番号をクリックします。

個別電話帳

ヘルプ?

Top > 個別電話帳 > 電話帳一覧

電話帳一覧 新規登録 電話帳グループ

電話帳一覧

電話帳毎の個別電話帳一覧表示および電話帳編集を行います。
(*)は必須設定項目です。

内線番号(*) 108 選択 (半角数字1~4桁)

並び替え	番号順	力加順	前へ	次へ
メモリ番号	通字名称	加名称	電話番号/メモ	電話帳グループ番号
0000	〇〇商事	76767676	031112222	グループ0
0001	△△株式会社	76767676	032223333	グループ0
0002	山田	7676	033334444	グループ1

前へ 次へ

[電話帳一覧]タブの[詳細情報]に切り替わり、電話帳の登録内容が表示されます。

2 必要に応じて、登録内容を編集します。

(*)の付いた項目を空欄にしないでください。ただし、[電話番号 1]～[電話番号 3]のいずれか 1 つに電話番号が入力されていれば、残りの 2 つが空欄でも問題ありません。

電話帳一覧
新規登録
電話帳グループ

詳細情報

電話帳毎の個別電話帳を編集します。

(*)は必須設定項目です。

メモリ番号	0002		
電話番号1(*)	033334444	〔半角32桁以内〕※1	
	外線	00	〔方路指定選択時のみ有効、0～63〕
電話番号2(*)	外線	00	〔半角32桁以内〕※1
	外線	00	〔方路指定選択時のみ有効、0～63〕
電話番号3(*)	外線	00	〔半角32桁以内〕※1
	外線	00	〔方路指定選択時のみ有効、0～63〕
漢字名称	山田		
か名称	ヤマダ		
電話帳グループ番号	グループ1		
識別着信音	<input checked="" type="radio"/> 無し	<input type="radio"/> トーン	1
	<input type="radio"/> Xロディ	着信Xロディ	1
	<input type="radio"/> 外部音源	1	
ACR機能	<input type="radio"/> 利用しない <input checked="" type="radio"/> 利用する		
電話番号通知	網契約に従う		
メモ			
	〔全角16文字 / 半角32文字以内〕		

※1 設定には電話番号1～3の最低1つの登録が必要です
(未入力の場合は番号無しとなります)

設定
削除

設定項目については、「個別電話帳に電話番号などの情報を新規登録する」(➡ P.51)の手順 2～3 を参照してください。

3 [設定]をクリックします。

- 登録を削除する場合は、[削除]をクリックします。

ポップアップが表示されます。

4 表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

編集した内容が個別電話帳に保存され、電話帳一覧の内容が更新されます。

電話帳一覧
新規登録
電話帳グループ

電話帳一覧

電話帳毎の個別電話帳一覧表示および電話帳編集を行います。

(*)は必須設定項目です。

内線番号(*) 108 選択 (半角数字1～4桁)

並び替え ▼ / カナ順 前へ 次へ

メモリ番号	漢字名称	か名称	電話番号/メモ	電話帳グループ番号
0000	〇〇商事	マルマルショップ	031112222	グループ0
0001	△△株式会社	ヤマヤマカクシカクシ	032223333	グループ0
0002	山田	ヤマダ	033334444	グループ1

前へ 次へ

個別電話帳のグループを管理する

管理

一般

個別電話帳には、あらかじめ10個のグループが用意されています。このグループに漢字名称やカナ名称、リモートコールバック利用の有無、着信ランプの色を登録できます。

- 登録先のグループは、電話帳の新規登録時(⇒P.51)または編集時に指定します(⇒P.53)。

ここでは、以下の2つの操作について説明します。

- すでに登録されているグループ情報を確認する(⇒P.55)
- グループ情報を登録する(⇒P.56)

■すでに登録されているグループ情報を確認する

1 [個別電話帳] 画面を表示して(⇒P.49)、[電話帳グループ] タブをクリックします。

個別電話帳

Top > 個別電話帳 > 電話帳一覧

電話帳一覧 新規登録 電話帳グループ

電話帳一覧

電話帳毎の個別電話帳一覧表示および電話帳編集を行います。
(*)は必須設定項目です。

内線番号(*) 108 選択 (半角数字1~4桁)

並び替え 番号順 / カナ順 前へ 次へ

メモ番号	漢字名称	カナ名称	電話番号/メモ	電話帳グループ番号
0000	〇〇商事	マルマル商会	0311112222	グループ0
0001	△△株式会社	ヤマヤマ株式会社	032223333	グループ0
0002	山田	ヤマダ	0333334444	グループ1

前へ 次へ

[電話帳グループ] タブに切り替わり、個別電話帳のグループ一覧が表示されます。このままグループ情報を登録することもできます。

電話帳一覧 新規登録 電話帳グループ

電話帳グループ

電話帳毎の個別電話帳グループを編集します。
(*)は必須設定項目です。

内線番号(*) 108 選択 (半角数字1~4桁)

電話帳グループ番号	漢字名称 (全角5文字/半角10文字以内)	カナ名称 (半角10文字以内)	着信ランプ
グループ0	グループ0	グループ0	設定無し
グループ1	〇〇課	マルマル科	設定無し
グループ2	グループ2	グループ2	設定無し
グループ3	グループ3	グループ3	設定無し
グループ4	グループ4	グループ4	設定無し
グループ5	グループ5	グループ5	設定無し
グループ6	グループ6	グループ6	設定無し
グループ7	グループ7	グループ7	設定無し
グループ8	グループ8	グループ8	設定無し
グループ9	グループ9	グループ9	設定無し

設定 初期化

■ グループ情報を登録する

1 [個別電話帳] の [電話帳グループ] タブで (⇒ P.55)、目的のグループ番号の以下の項目を設定します。

電話帳グループ番号	漢字名称 (<small>全角5文字 / 半角10文字以内</small>)	かな名称 (<small>半角10文字以内</small>)	着信ランプ
グループ0	グループ0	グループ0	設定無し
グループ1	〇〇課	マルマル科	設定無し
グループ2	グループ2	グループ2	設定無し
グループ3	グループ3	グループ3	設定無し
グループ4	グループ4	グループ4	設定無し
グループ5	グループ5	グループ5	設定無し
グループ6	グループ6	グループ6	設定無し
グループ7	グループ7	グループ7	設定無し
グループ8	グループ8	グループ8	設定無し
グループ9	グループ9	グループ9	設定無し

項目	内容
漢字名称	<p>選択したグループの漢字名称を入力します。[漢字名称]には、全角文字(漢字、ひらがな、カナ、英字、数字、記号)で最大5文字まで、半角文字(カナ、英字、数字)で最大10文字まで入力できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● グループの漢字名称には、全角半角を混在させた名称を登録できます。 ● すでに漢字名称が登録されたグループの場合、ここで名称を変更できます。
カナ名称	<p>選択したグループのカナ名称を入力します。[カナ名称]には、半角文字(カナ、英字、数字)で最大10文字まで入力できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● すでにカナ名称が登録されたグループの場合、ここで名称を変更できます。
着信ランプ	<p>該当グループに所属する電話番号からの着信時に表示するランプの色を選択します。プルダウンメニューから目的の色を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [設定無し]を選択すると、電話機に設定されている着信ランプの色になります。

2 [設定] をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化] をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。

ポップアップが表示されます。

3 表示されたポップアップで [OK] をクリックします。
登録したグループ情報が登録され、グループ一覧に表示されます。

電話帳のバックアップと取り込み(電話帳転送)

管理

本システムに登録されている共通電話帳と個別電話帳のデータを PC (パソコン) の任意のフォルダに保存し、バックアップデータを作成できます。また、PC に保存したバックアップデータを本システムに取り込んで復元することもできます。

電話帳のデータを PC にバックアップする

共通電話帳または個別電話帳を PC 上の任意のフォルダに保存し、バックアップファイルを作成します。

1 Web 設定を起動します。
参照 第 1 章の「Web 設定の起動と終了」(→ P.3)

2 左メニューで [電話帳転送] をクリックします。

The screenshot shows the '設定画面' (Settings screen) with a left sidebar menu. The '電話帳転送' (Phone Book Transfer) option is highlighted with a red box. The main content area shows a 'はじめに' (Getting Started) section with a 'ご注意' (Notice) box containing the following text:

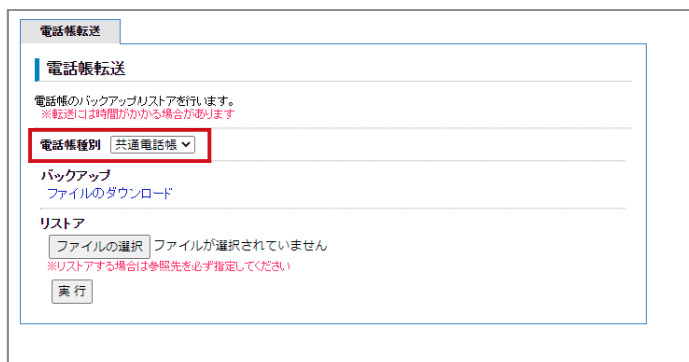
- ブラウザソフトのJavaScriptおよびCookieの設定は、必ず「有効」にしてご使用ください。
- 各項目の詳細は、添付の取扱説明書を参照してください。
- パスワードを定期的に更新してください。

[電話帳転送] の設定内容が表示されます。

The screenshot shows the '電話帳転送' (Phone Book Transfer) settings page. The left sidebar menu has '電話帳転送' highlighted. The main content area shows the following settings:

- 電話帳種類: 共通電話帳
- バックアップ: ファイルのダウンロード
- リストア:
 - ファイルの選択: ファイルが選択されていません
 - ※リストアする場合は参照先を必ず指定してください
 - 実行

3 [電話帳種別] のプルダウンメニューから [共通電話帳] または [個別電話帳] を選択します。

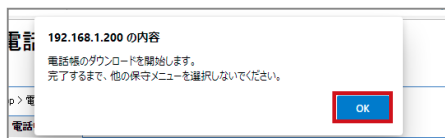


4 [バックアップ] の [ファイルのダウンロード] をクリックします。




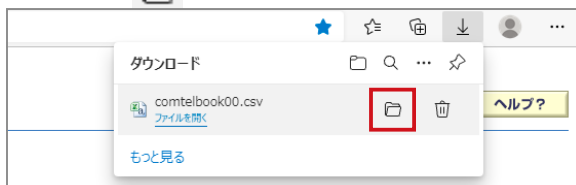
ポップアップが表示されます。

5 表示されたポップアップで [OK] をクリックします。



選択した電話帳データが PC のダウンロードフォルダに保存(転送)され、画面上部のツールバーにダウンロード情報がポップアップ表示されます。

ポップアップで  ([フォルダに表示]) をクリックすると、ダウンロードフォルダを確認できます。



PC にバックアップしたデータを取り込む

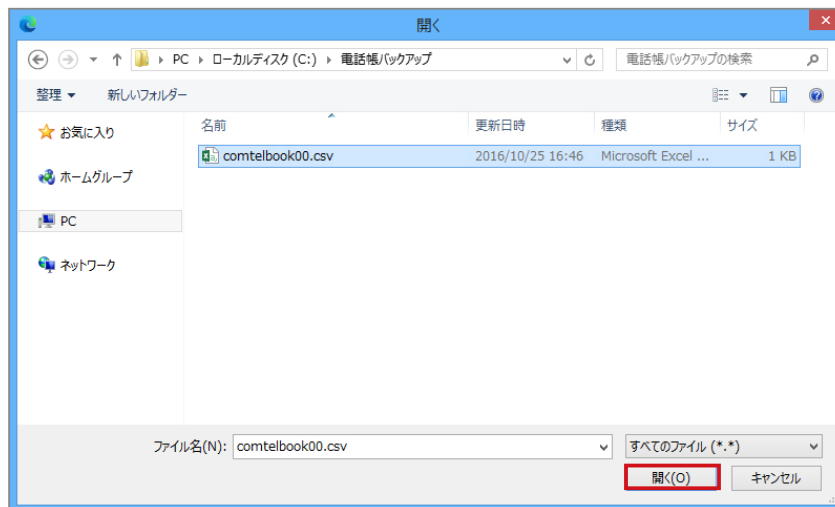
PC(パソコン)にバックアップした共通電話帳または個別電話帳のデータを本システムの主装置に取り込みます。

1 [電話帳転送] 画面で (⇒ P.57)、[リストア] の [ファイルの選択] をクリックします。



Windows の [開く] ダイアログが表示されます。

2 復元するファイルを指定し、[開く] をクリックします。



ファイルの取り込みが完了すると、選択したファイル名が [リストア] に表示されます。

3 [実行] をクリックします。

選択した電話帳のバックアップデータが本システムの主装置に取り込まれます。

● ボイスメールの管理(内蔵ボイスメール)

留守番や各種代行、通話録音などでメールボックス内に録音されたボイスメール(メッセージ)を一覧表示して録音日時などを確認し、削除/コメント付加/PC(パソコン)上の任意のフォルダへの保存などをすることができます。ボイスメールの保存は、手動/自動で行うことができます。

また、ボイスメールが録音されたことを決まった時間帯に指定の電話番号へ電話でお知らせするか、または指定のEメールアドレスへEメールでお知らせするように設定することもできます。

また、ボイスメールに付加するコメント文とそれに対応するコメント番号を登録することができます。ここでコメントを登録しておくことで、通話録音中やメッセージ再生中に、電話機のボタン操作でメッセージにコメントを付加することができます(『取扱説明書(多機能電話機編)』を参照)。

- 一般ユーザの場合は、ご自分の内線またはテナントに指定されたメールボックス内のボイスメールのみ管理できます(外部自動保存を除く)。
- 管理ユーザの場合は全メールボックス内のボイスメールを管理できます。

ボイスメールの管理は、ユーザ種別によって操作できる内容が異なります。

操作	管理ユーザ	一般ユーザ	参照先
ボイスメール一覧を確認する(ボイスメール管理)	○	○	P.61
ボイスメールを保存する(ボイスメール管理)	○	○	P.66
ボイスメールを削除する(ボイスメール管理)	○	○	P.69
ボイスメールにコメントを付加する(ボイスメール管理)	○	○	P.70
ボイスメール録音の通知先を設定する(録音通知先設定)	○	○	P.71
ボイスメールをFTPサーバに自動転送する(外部保存設定)	○	—	P.74
ボイスメールに付加するコメント文を登録する(コメント登録)	○	—	P.76

○:操作可能 —:操作不可

工事設定

- 主装置のIPアドレスが登録されていない場合、外部保存設定は無効になります。詳しくは、販売店にご相談ください。
- メールボックス番号が登録されていない場合、外部保存設定は無効になります。詳しくは、販売店にご相談ください。

MEMO

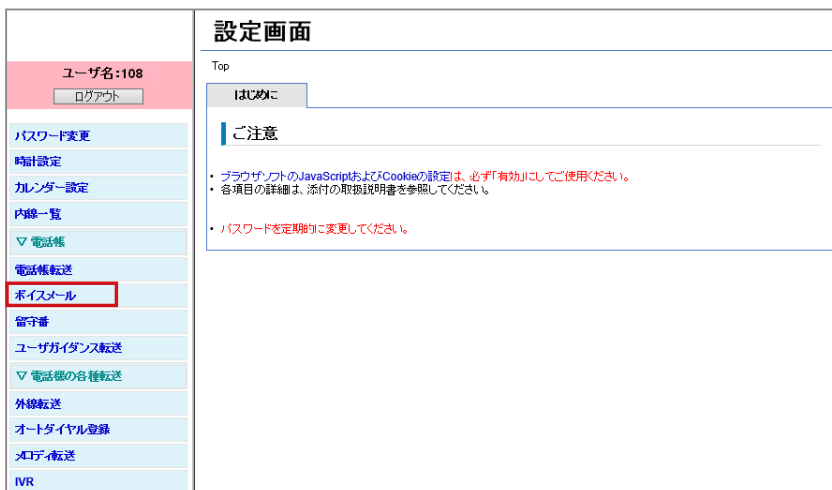
- ボイスメールをPC(パソコン)上に保存するとwav形式のファイルとして保存されます。
- wav形式ファイルは、Windows Media Player等を使用してパソコン上で再生することができます。
- 保存されるwavファイルの詳細については「ボイスメールを保存する(ボイスメール管理)」(➡P.66)を参照してください。

ボイスメール一覧を確認する(ボイスメール管理) **管理** **一般**

指定したメールボックス内のボイスメール(メッセージ)を一覧表示して、録音日時や通話相手などを確認することができます。録音日時順などに並び替えたり、検索条件を指定して検索し、目的のボイスメールを素早く見つけることもできます。

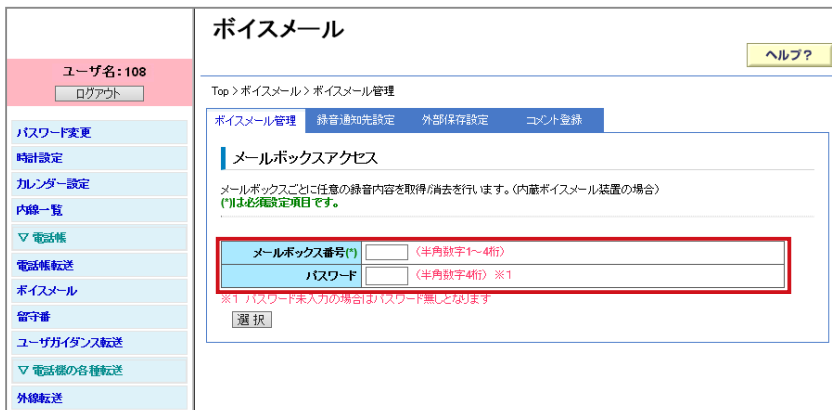
1 Web 設定を起動します。
参照》第1章の「Web 設定の起動と終了」(→ P.3)

2 左メニューで[ボイスメール]をクリックします。



[ボイスメール]の[ボイスメール管理]タブの内容が表示されます。

3 メールボックスを指定します。
以下の項目を設定します。



(*)の付いた項目は必ず登録してください。

項目	内容
メールボックス番号 *	対象のメールボックス番号を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> 一般ユーザの場合、ご自分の内線またはテナントに指定されている共通メールボックス番号を入力します。
パスワード	メールボックスにパスワードが設定されている場合はパスワードを入力します。 <ul style="list-style-type: none"> パスワードが設定されていない場合は空欄のままにします。

4 [選択]をクリックします。
指定したメールボックス内のボイスメールが一覧表示されます。

5 メールボックス内のボイスメールを確認します。

ボイスメール管理 録音通知先設定 外部保存設定 コントロール

メールボックス: 80
対象範囲 [1~1000件] / MBX録音:3件 / MBX残り録音:2997件 (システム残り録音:9979件)

+ 検索フィルタ:

並び替え [番号順] 簡易表示 詳細表示 全項目表示

全て選択 ◀前へ [1] / 1ページ(3件) 次へ▶

選択	番号	既読/ 未読	録音 時間	録音日時	通話相手	最終通話者
<input type="checkbox"/>	0001	未読	250:00	13/01/14(月) 08:18	9000900900	システム
<input type="checkbox"/>	0002	未読	250:00	13/01/14(月) 04:08	9000900900	内線 112
<input type="checkbox"/>	0003	未読	130:25	13/01/13(日) 23:51	200	内線 112

取得 削除 ▶前へ [1] / 1ページ(3件) 次へ▶

- [対象範囲] のプルダウンメニューで、表示または検索対象のボイスメールの範囲を選択します (1000 件ごと)。表示、検索、並び替えは、設定した対象範囲で行われます。
- [ページ] のプルダウンメニューでページ番号を選択すると、指定したページが表示されます (50 件ごと)。
- [次へ] をクリックすると、次のページが表示されます。
- [前へ] をクリックすると、前のページが表示されます。
- [並び替え] のプルダウンメニューで並び順 ([番号順]、[録音日時順]、[録音時間昇順]、[録音時間降順]) を選択すると、それぞれの順に並び替わります。初期設定は [番号順] です。
- 検索条件を指定すると、特定の条件のボイスメールだけを表示させることができます。詳細は「**ボイスメール検索フィルタの使いかた**」(➡ P.64) を参照してください。
- [簡易表示]、[詳細表示]、[全項目表示] の選択により、表示項目が変わります。詳細は「**[簡易表示]、[詳細表示]、[全項目表示] の表示項目**」(➡ P.63) を参照してください。

■ [簡易表示]、[詳細表示]、[全項目表示] の表示項目

[簡易表示]、[詳細表示]、[全項目表示] を選択すると、それぞれ以下のような項目が表示されます。初期設定は [簡易表示] です。

< 簡易表示の場合 >

選択	番号	既読/ 未読	録音 時間	録音日時	通話相手	最終通話者
<input type="checkbox"/>	0001	未読	250:00	13/01/14(月) 08:18	9000900900	システム
<input type="checkbox"/>	0002	未読	250:00	13/01/14(月) 04:08	9000900900	内線 112

< 詳細表示の場合 >

選択	番号	既読/ 未読	録音 時間	録音日時	通話相手	ダイヤルイン番号	通話回線	最終通話者	コメント
<input type="checkbox"/>	0001	未読	250:00	13/01/14(月) 08:18	9000900900		外線001	システム	(未登録) <input type="button" value="設定"/>
<input type="checkbox"/>	0002	未読	250:00	13/01/14(月) 04:08	9000900900		外線001	内線 112	1折り返し電話する <input type="button" value="設定"/>

< 全項目表示の場合 >

選択	番号	既読/ 未読	録音 時間	録音日時	通話相手名称	通話相手番号	ダイヤルイン番号	通話回線	最終通話者名称	最終通話者番号	コメント
<input type="checkbox"/>	0001	未読	250:00	13/01/14(月) 08:18		9000900900		外線001		システム	(未登録) <input type="button" value="設定"/>
<input type="checkbox"/>	0002	未読	250:00	13/01/14(月) 04:08		9000900900		外線001		内線 112	1折り返し電話する <input type="button" value="設定"/>

項目	内容	
選択	取得または削除対象のボイスメールの行にチェックを入れて選択します。	
番号	ボイスメール一覧に登録されているメッセージの通し番号です。	
既読 / 未読	ボイスメールが既読であるか、未読であるかを表示します。	
録音時間	ボイスメールの録音時間を表示します。	
録音日時	ボイスメールが録音開始された日時を表示します。	
通話相手 (※ 1)	番号	着信した電話の相手の電話番号(外線)を表示します。
	名称	相手の番号が共通電話帳に登録してある場合に、相手の名称が表示されます。
ダイヤルイン番号	着信時に受信したダイヤルイン番号が表示されます。この項目は簡易表示のときは表示されません。	
通話回線	外線、専用線、DGL グループ番号、MSA グループ番号、内線番号、ドアホン、ナースコール(※ 2)が表示されます。この項目は簡易表示のときは表示されません。	
最終通話者(※ 1)	番号	通話録音の場合、最後に通話した電話の内線番号が表示されます。留守番モードや転送で録音された場合には、「システム」と表示されます。
	名称	表示された内線番号に名称が登録されている場合に、内線名称が表示されます。
コメント	ボイスメールに付加されているコメントが表示されます。この項目は簡易表示のときは表示されません。また、[設定] ボタンを押して、コメントを付けたり、変更することもできます(「ボイスメールにコメントを付加する(ボイスメール管理)」(▶ P.70)を参照)。	

(※ 1) 簡易表示、詳細表示のときは、番号か名称のどちらかが表示されます。

共通電話帳または内線名称が登録されている場合は、名称が表示されます。

(※ 2) ナースコール装置の機種によっては専用線として表示されることがあります。

■ボイスメール検索フィルタの使いかた

ボイスメール一覧では、以下の方法でボイスメールを検索することができます。

1 [検索フィルタ]の左の[+]をクリックします。

[条件 1]～[条件 3]の選択領域が表示されます。

ボイスメール管理 録音通知先設定 外部保存設定 コメント登録

メールボックス: 80
対象範囲 1~1000件 / MBX録音: 3件 / MBX残録音: 2997件 (システム残録音: 9979件)

検索フィルタ:

検索方法: どれか含む(OR) すべて含む(AND)

条件1

条件2

条件3

検索

並べ替え 番号順 簡易表示 詳細表示 全項目表示

全て選択 前へ 1 / 1ページ(3件) 次へ

選択	番号	既読/未読	録音時間	録音日時	通話相手	最終通話者
<input type="checkbox"/>	0001	未読	250:00	13/01/14(月) 08:18	9000900900	システム
<input type="checkbox"/>	0002	未読	250:00	13/01/14(月) 04:08	9000900900	内線 112
<input type="checkbox"/>	0003	未読	130:25	13/01/13(日) 23:51	200	内線 112

取得 削除 前へ 1 / 1ページ(3件) 次へ

2 [条件 1]～[条件 3]のいずれかのプルダウンメニューから検索条件を選択します。

選択した検索条件に応じて、右側にプルダウンメニュー、ラジオボタンなど検索サブフィルタとして選択できる条件が表示されます。

< [既読 / 未読]、[録音日時]、[録音時間] を選択した場合の例 >

条件1 既読/未読 既読 未読

条件2 録音日時 2015年 11月 01日 00時 00分 ~ 2015年 11月 30日 23時 59分

条件3 録音時間 000分 03秒 ~ 006分 00秒

検索

< [通話回線]、[最終通話者]、[通話相手番号] を選択した場合の例 >

条件1 通話回線 外線

条件2 最終通話者 外線

条件3 通話相手番号 番号

検索

< [ダイヤルイン番号]、[コメント] を選択した場合の例 >

条件1 ダイヤルイン番号

条件2 コメント 2:折り返し電話する

条件3

検索

[条件 1]～[条件 3]で選択できる検索条件と、それぞれの検索サブフィルタは以下のとおりです。

No	検索条件	検索サブフィルタ
1	既読 / 未読	[既読]、[未読] から選択します。
2	録音日時	表示される数字入力欄に年月日、時間を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> 年は4桁、月日、時間は2桁で入力します。 有効範囲は、2000年01月01日00時00分～2099年12月31日23時59分です。 月は01～12、日は01～31、時は00～23、分は00～59で指定してください。

つづく➡

No	検索条件	検索サブフィルタ
3	録音時間	表示される数字入力欄に分秒を入力します。 ● 有効な範囲は 000 分 03 秒～ 255 分 00 秒までです。
4	通話回線	プルダウンメニューの[外線]、[専用線]、[DGL]、[MSA]、[ドアホン]、[ナースコール]、[内線]から選択します。 ● [内線] を選択した場合には、内線番号入力欄が表示されます。内線番号として入力できるのは、0～9999 です。内線名称での検索はできません。 ● [ドアホン] を選択した場合は、選択可能なドアホンがプルダウンメニューに表示されます。
5	最終通話者	プルダウンメニューの[外線]、[専用線]、[システム]、[内線]、[ドアホン]、[ナースコール]から選択します。 ● [内線] を選択した場合には、[番号]、[名称(カナ)]、[名称(漢字)]から選んで、文字列入力欄に検索文字列を指定します。 [名称(カナ)]：半角文字 [名称(漢字)]：全角文字と半角文字 [番号]：0～9999 ● [ドアホン] を選択した場合は、選択可能なドアホンがプルダウンメニューに表示されます。
6	通話相手番号	プルダウンメニューの[番号]、[名称(カナ)]、[名称(漢字)]から選択します。文字列入力欄に検索したい文字列を指定します。 ● [名称(カナ)]：半角文字 [名称(漢字)]：全角文字と半角文字 [番号]：半角の0～9、*、#、特殊コード(-:オートポーズ、P:PB切替)が入力できます(最大20桁)。
7	ダイヤルイン番号	表示される番号入力欄に検索したい番号を入力します。 ● 半角の0～9、*、#、特殊コード(-:オートポーズ、P:PB切替)が入力できます(最大20桁)。
8	コメント	プルダウンメニューから選択します。プルダウンメニューには、登録されているコメントが表示されます(コメント登録については「ボイスメールに付加するコメント文を登録する(コメント登録)」(▶ P.76)を参照)。 [(未登録)]を指定すると、コメントが付いていないボイスメールを検索できます。

MEMO

- [条件 1]～[条件 3]に同じ検索条件を選択し、検索サブフィルタだけ、別々の条件を選択して検索することもできます。例えば、[通話回線]の[外線]と[専用線]を検索したい場合に利用できます。
- 文字の検索では、入力された文字列を「含む」ものを抽出します。また、ひらがなとカタカナ、全角と半角を区別します。

3 [どれか含む(OR)]または[すべて含む(AND)]のどちらかをクリックします。

[条件 1]～[条件 3]に選択した条件のうちのいずれかを含むものを検索するか、あるいはすべてを含むものを検索するかを選択します。

— 検索フィルタ:

検索方法:
 どれか含む(OR) すべて含む(AND)

条件1 既読/未読 既読 未読

条件2 録音日時 年 月 日 時 分 ~ 年 月 日 時 分

条件3 録音時間 分 秒 ~ 分 秒

4 [検索]をクリックします。

検索条件(および検索サブフィルタ)と一致したボイスメールだけが、一覧に表示されます。

ボイスメールを保存する(ボイスメール管理) **管理** **一般**

指定したメールボックス内のボイスメールを手動で PC (パソコン) 上に保存することができます。

1

[ボイスメール] 画面の [ボイスメール管理] タブで、メールボックスを指定します(⇒ P.61)。

指定したメールボックス内のボイスメールが一覧表示されます。

ボイスメール

[ヘルプ?](#)

Top > ボイスメール > ボイスメール管理

ボイスメール管理 | 録音通知先設定 | 外部保存設定 | コメント登録

メールボックス: 80

対象範囲 1~1000件 / MBX録音: 3件 / MBX残り録音: 2997件 (システム残り録音: 9979件)

+ 検索フィルタ:

並べ替え 番号順 | 簡易表示 | 詳細表示 | 全項目表示

全て選択 | <前へ 1 / 1ページ(3件) 次へ>

選択	番号	既読/未読	録音時間	録音日時	通話相手	最終通話者
<input type="checkbox"/>	0001	未読	250:00	13/01/14(月) 08:18	9000900900	システム
<input type="checkbox"/>	0002	未読	250:00	13/01/14(月) 04:08	9000900900	内線 112
<input type="checkbox"/>	0003	未読	130:25	13/01/13(日) 23:51	200	内線 112

取得 | 削除 | <前へ 1 / 1ページ(3件) 次へ>

2

PC 上に保存するボイスメールをチェックして選択します。

全て選択 | <前へ 1 / 1ページ(3件) 次へ>

選択	番号	既読/未読	録音時間	録音日時	通話相手	最終通話者
<input checked="" type="checkbox"/>	0001	未読	250:00	13/01/14(月) 08:18	9000900900	システム
<input type="checkbox"/>	0002	未読	250:00	13/01/14(月) 04:08	9000900900	内線 112
<input type="checkbox"/>	0003	未読	130:25	13/01/13(日) 23:51	200	内線 112

取得 | 削除 | <前へ 1 / 1ページ(3件) 次へ>

[取得] ボタンが選択可能状態になります。

- ボイスメールを複数選択した場合は、一括保存ファイル(取得用ファイル)の作成にかかる概算時間が[取得] ボタンの上に表示されます。

<ボイスメールを複数選択したときの表示例>

全て選択 | <前へ 1 / 1ページ(3件) 次へ>

選択	番号	既読/未読	録音時間	録音日時	通話相手	最終通話者
<input checked="" type="checkbox"/>	0001	未読	250:00	13/01/14(月) 08:18	9000900900	システム
<input checked="" type="checkbox"/>	0002	未読	250:00	13/01/14(月) 04:08	9000900900	内線 112
<input type="checkbox"/>	0003	未読	130:25	13/01/13(日) 23:51	200	内線 112

取得用ファイル作成時間: 約19分50秒

取得 | 削除 | <前へ 1 / 1ページ(3件) 次へ>

MEMO

[全て選択] をクリックした場合、Web 画面に表示されていない行は操作の対象にはなりません。

3 [取得]をクリックします。

全て選択 ◀前へ 1 / 1ページ(3件) 次へ▶

選択	番号	既読/未読	録音時間	録音日時	通話相手	最終通話者
<input checked="" type="checkbox"/>	0001	未読	250:00	13/01/14(月) 08:18	9000900900	システム
<input type="checkbox"/>	0002	未読	250:00	13/01/14(月) 04:08	9000900900	内線 112
<input type="checkbox"/>	0003	未読	130:25	13/01/13(日) 23:51	200	内線 112

取得 ◀前へ 1 / 1ページ(3件) 次へ▶

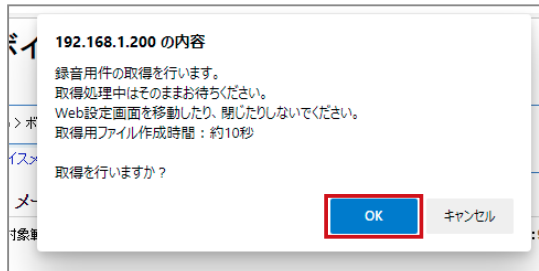
「・・・取得を行いますか?」というポップアップが表示されます。

- ボイスメールを複数選択した場合は、ポップアップに一括保存ファイル(取得用ファイル)作成時間の目安も表示されます。

MEMO


一括保存ファイル(取得用ファイル)の作成にかかる時間が規定の範囲を超えている場合は、選択するボイスメールの変更を促すメッセージが表示されます。規定時間内に収まるように、一度に選択/保存するボイスメールの数や録音時間(ファイルサイズ)の合計などを調整してください。

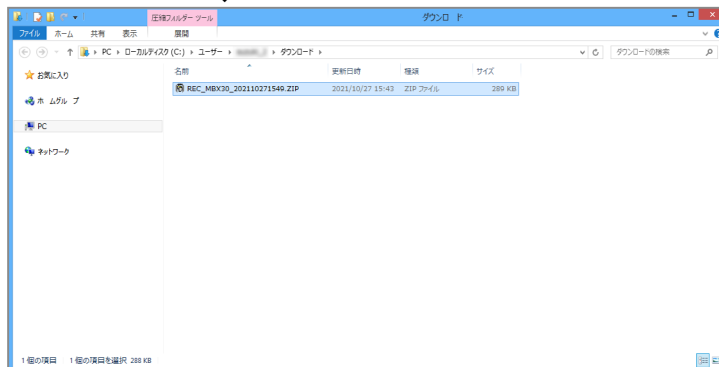
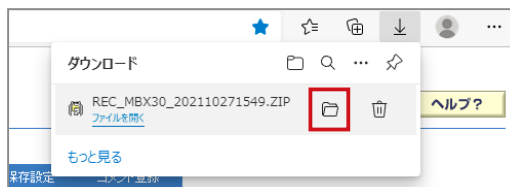
4 ポップアップで[OK]をクリックします。



選択したボイスメールが PC のダウンロードフォルダに保存(転送)されます。

- ボイスメールを複数選択した場合は、保存ファイル作成中、画面([取得]ボタンの上)に、一括保存ファイルの作成が完了するまでの残り時間が、カウントダウン形式で表示されます(表示例:しばらくお待ちください。取得用ファイル作成中 残: 19分 40秒)。

画面上部のツールバーに表示されたダウンロード情報のポップアップで  ([フォルダに表示]) をクリックすると、ダウンロードフォルダを確認できます。



MEMO

- PC 上には wav 形式のファイルとして保存されます。ファイル名を特に指定しない場合、「メールボックス番号+録音日時+管理番号 .WAV」のようなファイル名が自動的に付与されます。例えば、メールボックス番号が 80、録音日時が 2013 年 1 月 14 日 8 時 18 分のボイスメールを PC 上に保存した場合、以下のようなファイル名になります。

例: MBX80_201301140818_0002.WAV

- 複数のボイスメールを同時に保存したときは、zip 形式の圧縮ファイルとして保存され、ファイル名を特に指定しない場合、「REC + メールボックス番号 + 保存ファイル作成日時 .ZIP」のようなファイル名が自動的に付与されます。例えば、メールボックス番号が 80、保存ファイルの作成された日時が 2015 年 11 月 16 日 10 時 17 分の場合、以下のようなファイル名になります。

例: REC_MBX80_201511161017.ZIP

※ zip 形式のファイルには、wav 形式の複数のボイスメール保存ファイルが圧縮されて入っています。必要に応じて解凍してください。保存ファイルの名前は、1 ファイルずつ保存したときの名前と同じです。

ボイスメールを削除する（ボイスメール管理）

管理

一般

指定したメールボックス内のボイスメールを削除することができます。

1 [ボイスメール] 画面の [ボイスメール管理] タブで、メールボックスを指定します(⇒ P.61)。

指定したメールボックス内のボイスメールが一覧表示されます。

ボイスメール

[ヘルプ?](#)

Top > ボイスメール > ボイスメール管理

ボイスメール管理 | 録音通知先設定 | 外部保存設定 | コメント登録

メールボックス: 80

対象範囲: 1~1000件 | MBX録音: 3件 | MBX残録音: 2997件 (システム残録音: 9979件)

+ 検索フィルタ:

並び替え: 番号順 | 簡易表示 | 詳細表示 | 全項目表示

全て選択 | [前へ](#) | 1 / 1ページ(3件) | [次へ](#)

選択	番号	既読/未読	録音時間	録音日時	通話相手	最終通話者
<input type="checkbox"/>	0001	未読	250:00	13/01/14(月) 08:18	9000900900	システム
<input type="checkbox"/>	0002	未読	250:00	13/01/14(月) 04:08	9000900900	内線 112
<input type="checkbox"/>	0003	未読	130:25	13/01/13(日) 23:51	200	内線 112

[取得](#) | [削除](#) | [前へ](#) | 1 / 1ページ(3件) | [次へ](#)

2 削除するボイスメールをチェックして選択します。

全て選択 | [前へ](#) | 1 / 1ページ(3件) | [次へ](#)

選択	番号	既読/未読	録音時間	録音日時	通話相手	最終通話者
<input checked="" type="checkbox"/>	0001	未読	250:00	13/01/14(月) 08:18	9000900900	システム
<input type="checkbox"/>	0002	未読	250:00	13/01/14(月) 04:08	9000900900	内線 112
<input type="checkbox"/>	0003	未読	130:25	13/01/13(日) 23:51	200	内線 112

[取得](#) | [削除](#) | [前へ](#) | 1 / 1ページ(3件) | [次へ](#)

[削除] ボタンが選択可能状態になります。

MEMO

[全て選択] をクリックした場合、Web 画面に表示されていない行は操作の対象にはなりません。

3 [削除] をクリックします。

全て選択 | [前へ](#) | 1 / 1ページ(3件) | [次へ](#)

選択	番号	既読/未読	録音時間	録音日時	通話相手	最終通話者
<input checked="" type="checkbox"/>	0001	未読	250:00	13/01/14(月) 08:18	9000900900	システム
<input type="checkbox"/>	0002	未読	250:00	13/01/14(月) 04:08	9000900900	内線 112
<input type="checkbox"/>	0003	未読	130:25	13/01/13(日) 23:51	200	内線 112

[取得](#) | [削除](#) | [前へ](#) | 1 / 1ページ(3件) | [次へ](#)

「削除を実行します。」というポップアップが表示されます。

4 ポップアップで [OK] をクリックします。

選択したメッセージが削除されます。

ボイスメールにコメントを付加する(ボイスメール管理) 管理 一般

指定したメールボックス内のボイスメールにコメントを付加したり、他のコメントに変更することができます。

1 [ボイスメール] 画面の [ボイスメール管理] タブで、メールボックスを指定します(⇒ P.61)。

指定したメールボックス内のボイスメールが一覧表示されます。

ボイスメール

[ヘルプ?](#)

Top > ボイスメール > ボイスメール管理

ボイスメール管理 録音通知先設定 外部保存設定 コメント登録

メールボックス: 80

対象範囲 1~1000件 / MBX録音: 3件 / MBX残り録音: 2997件 (システム残り録音: 9979件)

+ 検索フィルタ:

並び替え 番号順 簡易表示 詳細表示 全項目表示

全て選択 前へ 1 / 1ページ(3件) 次へ

選択	番号	既読/未読	録音時間	録音日時	通話相手	最終通話者
<input type="checkbox"/>	0001	未読	250:00	13/01/14(月) 08:18	9000900900	システム
<input type="checkbox"/>	0002	未読	250:00	13/01/14(月) 04:08	9000900900	内線 112
<input type="checkbox"/>	0003	未読	130:25	13/01/13(日) 23:51	200	内線 112

取得 削除 前へ 1 / 1ページ(3件) 次へ

2 [詳細表示] または [全項目表示] を選択して、[コメント] 列が表示されるようにします。

並び替え 番号順 簡易表示 詳細表示 全項目表示

全て選択 前へ 1 / 1ページ(3件) 次へ

選択	番号	既読/未読	録音時間	録音日時	通話相手	ダイヤルイン番号	通話回線	最終通話者	コメント
<input type="checkbox"/>	0001	未読	250:00	13/01/14(月) 08:18	9000900900		外線001	システム	(未登録) <input type="button" value="設定"/>
<input type="checkbox"/>	0002	未読	250:00	13/01/14(月) 04:08	9000900900		外線001	内線 112	1折り返し電話する <input type="button" value="設定"/>
<input type="checkbox"/>	0003	未読	130:25	13/01/13(日) 23:51	200		内線 200	内線 112	(未登録) <input type="button" value="設定"/>

3 コメントを付加(または変更)する対象のボイスメールを見つけます。

対象のボイスメールがすぐに見つからない場合は、「ボイスメール一覧を確認する(ボイスメール管理)」(⇒ P.61)を参照して、並び替えや検索をして見つけてください。

4 対象のボイスメールの行の[コメント]列で、プルダウンメニューから追加(または変更)したいコメントを選択します。

プルダウンメニューには、登録されているコメント文が表示されます。コメント文の登録については、「ボイスメールに付加するコメント文を登録する(コメント登録)」(⇒ P.76)を参照してください。

5 [設定] をクリックします。

選択	番号	既読/未読	録音時間	録音日時	通話相手	ダイヤルイン番号	通話回線	最終通話者	コメント
<input type="checkbox"/>	0001	未読	250:00	13/01/14(月) 08:18	9000900900		外線001	システム	(未登録) <input style="border: 2px solid red;" type="button" value="設定"/>
<input type="checkbox"/>	0002	未読	250:00	13/01/14(月) 04:08	9000900900		外線001	内線 112	2回合わせ <input style="border: 2px solid red;" type="button" value="設定"/>
<input type="checkbox"/>	0003	未読	130:25	13/01/13(日) 23:51	200		内線 200	内線 112	(未登録) <input type="button" value="設定"/>

選択したコメント文が対象のボイスメールに付加されます。

ボイスメール録音の通知先を設定する（録音通知先設定） **管理** **一般**

ボイスメールが録音されたことを決まった時間帯に指定の電話番号へ電話でお知らせするように設定します。または、ボイスメールが録音されたことを指定のEメールアドレスへEメールでお知らせするように設定します。

工事設定

Eメールでの通知を使用するにはインターネット接続環境、およびEメール機能利用情報やメール送信 / 受信サーバ情報などの設定が必要です。販売店にご相談ください。

1 【ボイスメール】画面を表示して(⇒ P.61)、【録音通知先設定】タブをクリックします。

ボイスメール

ヘルプ?

Top > ボイスメール > ボイスメール管理

ボイスメール管理 **録音通知先設定** 外部保存設定 コントロール

メールボックスアクセス

メールボックスごとに任意の録音内容を取得/消去を行います。(内蔵ボイスメール装置の場合)
(*)は必須設定項目です。

メールボックス番号(*) (半角数字1~4桁)

パスワード (半角数字4桁) ※1

※1 パスワード未入力の場合パスワード無しとなります

【録音通知先設定】タブに切り替わり、通知先の登録内容が表示されます。

ボイスメール

ヘルプ?

Top > ボイスメール > 録音通知先設定

ボイスメール管理 **録音通知先設定** 外部保存設定 コントロール

メッセージ録音通知先設定

留守番各種着信代行※/各種通話録音※の各機能で発信者からの用件が録音されると、あらかじめ設定した通知先に自動的に通知する設定を行います。
※ 着信代行: 外線着信代行/不在代行/着中代行/無応答代行/圏外代行
通話録音: 応答録音/メッセージ録音/通知通話録音/イクスメッセージ録音
(*)は必須設定項目です。

メールボックス番号(*) (半角数字1~4桁)

通知用番号設定

通知先番号 (半角32桁以内) ※1

通知時間帯 : : ~ : : (00:00~00:00:24時間動作) ※1

メッセージ録音再通知指定 再通知しない 再通知する

通知用メールアドレス設定

録音通知用メールアドレス (半角64文字以内) ※2

※1 未入力の場合は電話通知無しとなります
※2 未入力の場合はメール通知無しとなります

2 以下の項目を設定します。

ボイスメール管理 録音通知先設定 外部保存設定 コメント登録

メッセージ録音通知先設定

留守番・各種着信代行※各種通話録音※の各機能で発信者からの用件が録音されると、あらかじめ設定した通知先に自動的に通知する設定を行います。
 ※着信代行: 外線着信代行/不在代行/話中代行/無応答代行/圏外代行
 通話録音: 応答録音/メッセージ録音/通知5通話録音/クイックメッセージ録音
 (*)は必須設定項目です。

メールボックス番号(*) 80 選択 (半角数字1~4桁)

通知用番号設定

通知先番号 12345678900 (半角32桁以内) ※1

通知時間帯 : : ~ : : (00:00~00:00:24時間動作) ※1

メッセージ録音再通知指定 再通知しない 再通知する

通知用メールアドレス設定

録音通知用メールアドレス (半角64文字以内) ※2

※1 未入力の場合は電話通知無しとなります
 ※2 未入力の場合はメール通知無しとなります

(*)の付いた項目は必ず登録してください。

項目	内容
メールボックス番号 *	対象のメールボックス番号を入力し、[選択]をクリックします。 <ul style="list-style-type: none"> 一般ユーザの場合、ご自分の内線またはテナントに指定されている共通メールボックス番号を入力します。
通知用番号設定 (電話呼出)	通知先電話番号を特番から入力します。 通知時間帯 通知時間帯の開始と終了時間をそれぞれ入力します。 メッセージ録音再通知指定 ボイスメールが録音されても、前回の録音通知で通知先が応答しなかった場合には、(再)通知しないように、設定することができます。 <ul style="list-style-type: none"> (再)通知しない場合は、[再通知しない]を選択します。初期設定では[再通知する]が選択されています。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> [再通知しない]を選択することにより、通知先が不応答だった場合の再通知(リトライ)と、新たなボイスメールが録音されたときの通知が重複しないようにすることができます。 [再通知しない]を選択した場合でも、メールボックス内に残っているすべての未再生メッセージを再生したあとであれば、メッセージ録音通知が行われます。 </div>
通知用メールアドレス設定 (Eメール通知)	録音通知用メールアドレス * 通知先のEメールアドレスを入力します(半角64文字以内)。 <ul style="list-style-type: none"> 未入力の場合は、Eメールによる通知は行われません。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> Eメールでの通知の場合、通知する時間帯の設定はできません。ボイスメールが録音されると即座に通知(メール送信)されます。 メールサーバへの送信に失敗した場合は、メールは破棄されません。再通知は行われません。 </div>

※電話での通知(電話呼出)とEメールでの通知(Eメール通知)は、両方同時またはどちらか片方だけを設定することもできます。

3 [設定]をクリックします。

- 設定を取り消す場合は、[削除]をクリックします。

ポップアップが表示されます。

4 表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

以降、指定したメールボックスにボイスメールが録音されると、[通知先番号]で指定した電話番号に、[通知時間帯]で指定した時間帯に電話がかかり、ボイスメールの録音が通知されます。ただし、[メッセージ録音再通知指定]の設定と前回の通知が不応答かどうかにより、通知されない場合もあります。

また、ボイスメールが録音されると即座に[録音通知用メールアドレス]で指定したEメールアドレスに、以下のようなEメールが送信されます。

メールサーバへの送信に失敗した場合は、メールは破棄されます。再通知は行われません。

< 送信されるメールの例 >

タイトル: 【MBX100】新規メッセージがありました
本文:
【MBX100】に新規録音がありました。
(メッセージを聴取するには、電話番号「XXXXXXXXXX」にかけてください。)
件数 3 件 / 新規 2 件
最新 1 件メッセージの情報は下記の通りです。
「相手名称」 ○○太郎
「相手番号」 XXXXXXXXXXX
「メモ」 ○○○株式会社
「着信情報」 外線 001
「録音日時」 4月13日(水)午後 10:15
「録音時間」 0分 50 秒

ボイスメールを FTP サーバに自動転送する(外部保存設定) 管理

指定したタイミングで、メールボックスに録音されたすべてのボイスメールを自動的にネットワーク上の FTP サーバに転送するように設定できます。ボイスメールをサーバに転送したあと、メールボックスから自動的に削除するように設定することもできます。一度転送されたボイスメールは再転送されません。

1 [ボイスメール] 画面を表示して(⇒ P.61)、[外部保存設定] タブをクリックします。

[外部保存設定] タブに切り替わり、外部保存設定の内容が表示されます。

2 [外部保存実施] で[する]をクリックし、以下の項目を設定します。

つづく➡

項目	内容	
外部保存実施	ボイスメールをFTP サーバに転送するかどうかを設定します。 ● 初期設定は [しない] です。	
外部保存間隔	転送のタイミング(間隔)を日にち単位または分単位で指定します。 [日時指定] を選択した場合: [日間隔] のプルダウンメニューから日にちを選択し、[時] のプルダウンメニューから時間を選択します。 ● 日にちは、1 ~ 10 日の範囲から、時間は 0 ~ 23 時の範囲から選択できます。指定した日にち間隔で指定した時刻に保存されます。 [送信後の間隔] を選択した場合: [分後] のプルダウンメニューから、次の送信までの間隔を 1 ~ 60 分の範囲から選択します。 ※登録後にシステム時刻を変更しても、転送日時 / 転送間隔は再計算されません。	
送信先ドメイン / IP アドレス	保存する FTP サーバの送信先ドメインまたは IP アドレスを入力します。	
保存先フォルダ	FTP サーバの保存先フォルダを入力します。 ● 入力可能文字は以下の半角英数字記号です。 ・半角英数字: A-Z, a-z, 0-9 ・記号: _ . ! * ' () : / ? @ & = + \$, \ ※ FTP サーバによっては、使えない記号があります。 ● 最大 64 文字まで入力できます。 指定した保存先フォルダ内に、メールボックス番号名のフォルダが作成され、録音メッセージファイル(.wav)が保存されます。	
FTP アカウント	ユーザ ID	FTP サーバに登録したユーザ ID を入力します。
	パスワード	FTP サーバに登録したパスワードを入力します。
外部保存時のメッセージ自動削除	FTP サーバに転送されたボイスメールをメールボックスから削除するかどうかを設定します。 ● 初期設定は [しない] です。	
FTP データ転送方式	FTP クライアントの転送方式を設定します ([PASV] / [ACTIVE])。 ● 初期設定は [PASV] です。	

3 [設定] をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化] をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。
- 外部保存をすぐに実行する場合は、[実行] をクリックします。

ポップアップが表示されます。

4 表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

以降、指定された日時または指定された間隔で、録音されたボイスメールが FTP サーバに自動的に転送されます。

ボイスメールに付加するコメント文を登録する(コメント登録) 管理

ボイスメールに付加するコメント文を登録して、コメント文とコメント番号との対応付けを行います。ここでコメントを登録しておく、通話録音中やボイスメールの再生中に、電話機のボタン操作でボイスメールにコメントを付加することができます(『取扱説明書(多機能電話機編)』を参照)。

また、ここで登録したコメント文は、「ボイスメール管理」画面の検索サブフィルタまたはコメント列のプルダウンメニューに表示されます。

※ここで登録したコメントは、システム全体で共通に利用されます。

1 [ボイスメール] 画面を表示して(⇒ P.61)、[コメント登録] タブをクリックします。

[コメント登録] タブに切り替わり、コメント文の登録内容が表示されます。

2 コメント文(全角 10 文字まで)を入力して、[設定] をクリックします。 登録できるコメントは最大 50 個までです。

入力したコメントが、登録されます。対応するコメント番号は入力した欄の番号になります。

留守番の設定(留守番)

管理

留守番設定時の動作について設定します。
以下の内容を設定できます。

- 自動応答利用時の動作を設定する(留守番タイマ連動) (⇒ P.77)
- 手動応答利用時の動作を設定する(手動切替設定) (⇒ P.82)
- 留守番機能の起動時間など、留守番関連の機能を設定する(関連設定) (⇒ P.87)

MEMO

留守番の動作は、テナントごとに設定します。Web 設定で動作を設定するときは、設定対象のテナントに所属するシステム管理電話機の内線番号でログインしてください。設定した値は、ログインした内線が所属するテナントに設定されます。

自動応答利用時の動作を設定する(留守番タイマ連動)

留守番タイマ連動とは、外線着信に自動応答する機能です。留守番タイマ連動機能を使うと、曜日ごとに動作を、時間帯ごとに起動時間や留守番グループごとのモード、留守番モニタの有無、応答/終了ガイダンスの種類、録音通知の有無と録音通知方法を設定できます。

1 Web 設定を起動します。

参照》第 1 章の「Web 設定の起動と終了」(⇒ P.3)

2 左メニューで[留守番]をクリックします。

[留守番]の[タイマ連動設定]タブの設定内容が表示されます。

	日	月	火	水	木	金	土	休日/祝日
00:00	在宅	在宅	在宅	在宅	在宅	在宅	在宅	在宅
01:00								
02:00								
03:00								
04:00								
05:00								
06:00								
07:00								
08:00								
09:00								
10:00								
11:00								
12:00								
13:00								
14:00								

3 留守番タイムの動作を設定する曜日をクリックします。

タイム連動設定 関連設定 手動切替設定

留守番タイム連動設定

外線着信時の自動応答による着信録音機能について、曜日/時間帯に動作設定を行います。
各曜日をクリックし設定画面を表示してください。(内蔵ボイスメールの場合のみ有効な設定です)

	日	月	火	水	木	金	土	休日/祝祭日
00:00	在宅	在宅	在宅	在宅	在宅	在宅	在宅	在宅
01:00								
02:00								
03:00								
04:00								
05:00								
06:00								
07:00								
08:00								
09:00								
10:00								
11:00								
12:00								
13:00								
14:00								
15:00								
16:00								

4 選択した曜日の 00:00 に切り替わる動作モードを選択し、[時間帯 1] の設定を行います。

タイム連動設定 関連設定 手動切替設定

留守番タイム連動設定(日曜日)

動作選択

動作選択 在宅 前日モードを継続 スケジュールに従う

時間帯1

開始時間 00:00

留守番グループ動作
グループA 在宅 ▼ グループB 在宅 ▼
グループC 在宅 ▼ グループD 在宅 ▼ ※2

留守番モニタ指定 サイレント モニタ

応答録音ガイダンス指定 固定ガイダンス1 ▼ 番号 (ユーザガイダンス選択時のみ有効、00~99)

応答専用ガイダンス指定 固定ガイダンス1 ▼ 番号 (ユーザガイダンス選択時のみ有効、00~99)

終了ガイダンス指定 固定ガイダンス ▼ 番号 (ユーザガイダンス選択時のみ有効、00~99)

録音通知方法 電話呼出 Eメール ※3

項目	内容	
動作選択	在宅	[時間帯 1] (00:00)の留守番機能を OFF に設定します。
	前日モードを継続	前日と同じモードに設定します。
	スケジュールに従う	登録したスケジュールどおりに動作させます。
時間帯 1	開始時間	[時間帯 1]は 00:00 に固定されています。
	留守番グループ動作	留守番グループごとの動作をプルダウンメニューから選択します。 在宅 :留守番機能を OFF に設定します。 応答録音 :外線着信に自動応答し、応答録音ガイダンスを流してガイダンス終了後にメッセージを録音します。 応答専用 :外線着信に自動応答し、応答専用ガイダンスを2回流します。 ※全グループで「在宅」を選択した場合は、留守番モードに切り替わりません。

工事設定

録音終了後または応答専用ガイダンスが流れたあと、自動的に電話が切れるように(または切れないように)設定することができます。また、自動的に電話が切れるように設定されている場合、電話が切れる前に「ご利用ありがとうございました」のようなガイダンスを流すかを設定することができます。詳しくは、販売店にご相談ください。



項目	内容
留守番モニタ指定	留守番モニタ動作を選択します。 サイレント :録音中に相手のメッセージが聞こえないように設定します。 モニタ :録音中に相手のメッセージが聞こえるように設定します。
応答録音ガイダンス指定	<p>プルダウンメニューから応答録音ガイダンスの種類を選択します。 [無し]、[固定ガイダンス 1]、[固定ガイダンス 2]のほか、[ユーザガイダンス]から選択できます。 [ユーザガイダンス]を選択した場合、ユーザガイダンス番号を入力します。 固定ガイダンスの内容は以下のとおりです。</p> <p>固定ガイダンス 1:ただ今、留守にしています。発信音のあとにメッセージをお話してください。</p> <p>固定ガイダンス 2:お電話ありがとうございます。申し訳ございませんが、本日の業務は終了いたしました。メッセージを承ります。ピーという発信音のあとに、お名前とご用件をお話してください。</p> <p>工事設定</p> <p>メールアドレスが登録されていない場合、応答録音の設定は無効になります。詳しくは、販売店にご相談ください。</p> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> • [無し]を選択した場合は、応答ガイダンスは流れず、応答直後に録音開始告知音が「ピー」と鳴ります。 • ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送] (➡ P.90) を使って登録できます。
応答専用ガイダンス指定	<p>プルダウンメニューから応答専用ガイダンスの種類を選択します。 [無し]、[固定ガイダンス 1]、[固定ガイダンス 2]のほか、[ユーザガイダンス]から選択できます。 [ユーザガイダンス]を選択した場合、ユーザガイダンス番号を入力します。 固定ガイダンスの内容は以下のとおりです。</p> <p>固定ガイダンス 1:ただ今、留守にしています。しばらくしてからおかけ直してください。</p> <p>固定ガイダンス 2:お電話ありがとうございます。申し訳ございませんが、本日の業務は終了いたしました。後程、お電話いただきますようお願いいたします。</p> <p>MEMO</p> <p>ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送] (➡ P.90) を使って登録できます。</p>

項目	内容
終了ガイダンス指定	<p>プルダウンメニューから、最大録音時間を超えた状態で留守番タイマが起動したときに、「ピーピー」のお知らせ音のあとに流す終了ガイダンスを選択します。[ユーザガイダンス]を選択した場合、ユーザガイダンス番号を入力します。 無し:「ピーピー」のお知らせ音のみを流します。 固定ガイダンス:「ピーピー」のお知らせ音のあとに「制限時間になりましたので、録音を終了します。」のガイダンスを流します。</p> <div data-bbox="719 443 1327 636" style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送]を使って登録できます (➡ P.90)。 メッセージの録音最大時間は 1 ~ 255 分の範囲で指定できます。 </div> <div data-bbox="719 667 1327 904" style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>工事設定</p> <p>録音終了後、お知らせ音や終了ガイダンスが流れたあと、自動的に電話が切れるように (または切れないように) 設定することができます。また、自動的に電話が切れるように設定されている場合、電話が切れる前に「ご利用ありがとうございました」のようなガイダンスを流すかを設定することができます。詳しくは、販売店にご相談ください。</p> </div>
録音通知方法	<p>メッセージ(留守録)が録音されたことを通知する方法(電話/Eメール)を選択します。 [電話呼出]または[Eメール] (あるいは両方)をチェックして選択します。録音通知しない場合は、両項目ともチェックを外します。</p> <div data-bbox="719 1115 1327 1263" style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>工事設定</p> <p>Eメールを使用するには、工事設定(Eメール機能利用情報、メール送受信サーバ情報など)が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。</p> </div> <div data-bbox="719 1294 1327 1442" style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>MEMO</p> <p>メッセージ録音の通知は、[ボイスメール]の通知先に指定した電話番号またはEメールアドレスに通知されます (➡ P.71)。</p> </div>

5 手順4に従って、[時間帯2]～[時間帯10]の項目を設定します。設定した内容を違う曜日にコピーする場合、[コピー先]で目的の曜日にチェックを入れます。

必要な時間帯のみ設定します。

不要な時間帯を削除するには[削除]をクリックします。

時間帯2 削除	
開始時間	<input type="text"/> : <input type="text"/> (00:01~23:59) ※1
留守番グループ動作	グループA <input type="text"/> 在宅 <input type="text"/> グループB <input type="text"/> 在宅 <input type="text"/> グループC <input type="text"/> 在宅 <input type="text"/> グループD <input type="text"/> 在宅 <input type="text"/> ※2
留守番モニタ指定	<input checked="" type="radio"/> サイレント <input type="radio"/> モニタ
応答録音ガイダンス指定	固定ガイダンス1 <input type="text"/> 番号 <input type="text"/> (ユーザガイダンス選択時のみ有効、00~99)
応答専用ガイダンス指定	固定ガイダンス1 <input type="text"/> 番号 <input type="text"/> (ユーザガイダンス選択時のみ有効、00~99)
終了ガイダンス指定	固定ガイダンス <input type="text"/> 番号 <input type="text"/> (ユーザガイダンス選択時のみ有効、00~99)
録音通知方法	<input checked="" type="checkbox"/> 電話呼出 <input type="checkbox"/> Eメール ※3
時間帯3 削除	
開始時間	<input type="text"/> : <input type="text"/> (00:01~23:59) ※1
留守番グループ動作	グループA <input type="text"/> 在宅 <input type="text"/> グループB <input type="text"/> 在宅 <input type="text"/> グループC <input type="text"/> 在宅 <input type="text"/> グループD <input type="text"/> 在宅 <input type="text"/> ※2
留守番モニタ指定	<input checked="" type="radio"/> サイレント <input type="radio"/> モニタ
応答録音ガイダンス指定	固定ガイダンス1 <input type="text"/> 番号 <input type="text"/> (ユーザガイダンス選択時のみ有効、00~99)
応答専用ガイダンス指定	固定ガイダンス1 <input type="text"/> 番号 <input type="text"/> (ユーザガイダンス選択時のみ有効、00~99)
終了ガイダンス指定	固定ガイダンス <input type="text"/> 番号 <input type="text"/> (ユーザガイダンス選択時のみ有効、00~99)
録音通知方法	<input checked="" type="checkbox"/> 電話呼出 <input type="checkbox"/> Eメール ※3
時間帯4 削除	
開始時間	<input type="text"/> : <input type="text"/> (00:01~23:59) ※1
留守番グループ動作	グループA <input type="text"/> 在宅 <input type="text"/> グループB <input type="text"/> 在宅 <input type="text"/> グループC <input type="text"/> 在宅 <input type="text"/> グループD <input type="text"/> 在宅 <input type="text"/> ※2
留守番モニタ指定	<input checked="" type="radio"/> サイレント <input type="radio"/> モニタ
応答録音ガイダンス指定	固定ガイダンス1 <input type="text"/> 番号 <input type="text"/> (ユーザガイダンス選択時のみ有効、00~99)
応答専用ガイダンス指定	固定ガイダンス1 <input type="text"/> 番号 <input type="text"/> (ユーザガイダンス選択時のみ有効、00~99)
終了ガイダンス指定	固定ガイダンス <input type="text"/> 番号 <input type="text"/> (ユーザガイダンス選択時のみ有効、00~99)
録音通知方法	<input checked="" type="checkbox"/> 電話呼出 <input type="checkbox"/> Eメール ※3
時間帯9 削除	
開始時間	<input type="text"/> : <input type="text"/> (00:01~23:59) ※1
留守番グループ動作	グループA <input type="text"/> 在宅 <input type="text"/> グループB <input type="text"/> 在宅 <input type="text"/> グループC <input type="text"/> 在宅 <input type="text"/> グループD <input type="text"/> 在宅 <input type="text"/> ※2
留守番モニタ指定	<input checked="" type="radio"/> サイレント <input type="radio"/> モニタ
応答録音ガイダンス指定	固定ガイダンス1 <input type="text"/> 番号 <input type="text"/> (ユーザガイダンス選択時のみ有効、00~99)
応答専用ガイダンス指定	固定ガイダンス1 <input type="text"/> 番号 <input type="text"/> (ユーザガイダンス選択時のみ有効、00~99)
終了ガイダンス指定	固定ガイダンス <input type="text"/> 番号 <input type="text"/> (ユーザガイダンス選択時のみ有効、00~99)
録音通知方法	<input checked="" type="checkbox"/> 電話呼出 <input type="checkbox"/> Eメール ※3
時間帯10 削除	
開始時間	<input type="text"/> : <input type="text"/> (00:01~23:59) ※1
留守番グループ動作	グループA <input type="text"/> 在宅 <input type="text"/> グループB <input type="text"/> 在宅 <input type="text"/> グループC <input type="text"/> 在宅 <input type="text"/> グループD <input type="text"/> 在宅 <input type="text"/> ※2
留守番モニタ指定	<input checked="" type="radio"/> サイレント <input type="radio"/> モニタ
応答録音ガイダンス指定	固定ガイダンス1 <input type="text"/> 番号 <input type="text"/> (ユーザガイダンス選択時のみ有効、00~99)
応答専用ガイダンス指定	固定ガイダンス1 <input type="text"/> 番号 <input type="text"/> (ユーザガイダンス選択時のみ有効、00~99)
終了ガイダンス指定	固定ガイダンス <input type="text"/> 番号 <input type="text"/> (ユーザガイダンス選択時のみ有効、00~99)
録音通知方法	<input checked="" type="checkbox"/> 電話呼出 <input type="checkbox"/> Eメール ※3
コピー先 <input checked="" type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 休日/祝祭日	
※1 未入力の場合は時間帯切替無しとなります ※2 グループA～Dが全て在宅に設定した場合は在宅モードとなります ※3 通知先はボイスメールの画面から設定してください	
<input type="button" value="設定"/> <input type="button" value="初期化"/>	

6 [設定]をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化]をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。

ポップアップが表示されます。

7

表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

選択した曜日と時間帯の留守番タイマの動作が登録され、タイムテーブルに表示されます。

	日	月	火	水	木	金	土	休日/祝祭日
00:00	留守番	在宅	在宅	在宅	在宅	在宅	在宅	在宅
01:00								
02:00								
03:00								
04:00								
05:00								
06:00								
07:00								
08:00								
09:00								
10:00								

手動応答利用時の動作を設定する (手動切替設定)

手動で留守番に切り替えたときの動作を留守番グループごとに設定します。またテナントごとに、ガイダンスの種類や、手動切り替え時に選択可能な留守番モードなども設定できます。

1

[留守番] 画面を表示して (➡ P.77)、[手動切替設定] タブをクリックします。

	日	月	火	水	木	金	土	休日/祝祭日
00:00	在宅	在宅	在宅	在宅	在宅	在宅	在宅	在宅
01:00								
02:00								
03:00								
04:00								
05:00								
06:00								
07:00								
08:00								
09:00								
10:00								
11:00								
12:00								
13:00								

[手動切替設定] タブに切り替わり、手動切替設定の内容が表示されます。

留守番グループ動作	グループA	応答録音	グループB	在宅
	グループC	在宅	グループD	在宅

ガイダンス1	応答録音ガイダンス	固定ガイダンス1	番号	(00~99) ※2
	応答専用ガイダンス <td>固定ガイダンス2 <td>番号 <td>(00~99) ※2</td> </td></td>	固定ガイダンス2 <td>番号 <td>(00~99) ※2</td> </td>	番号 <td>(00~99) ※2</td>	(00~99) ※2
	終了ガイダンス <td>固定ガイダンス <td>番号 <td>(00~99) ※2</td> </td></td>	固定ガイダンス <td>番号 <td>(00~99) ※2</td> </td>	番号 <td>(00~99) ※2</td>	(00~99) ※2

ガイダンス2 ※3	応答録音ガイダンス	無し	番号	(00~99) ※2
	応答専用ガイダンス <th>無し</th> <th>番号</th> <th>(00~99) ※2</th>	無し	番号	(00~99) ※2
	終了ガイダンス <th>無し</th> <th>番号</th> <th>(00~99) ※2</th>	無し	番号	(00~99) ※2

ガイダンス3 ※3	応答録音ガイダンス	無し	番号	(00~99) ※2
	応答専用ガイダンス <th>無し</th> <th>番号</th> <th>(00~99) ※2</th>	無し	番号	(00~99) ※2
	終了ガイダンス <th>無し</th> <th>番号</th> <th>(00~99) ※2</th>	無し	番号	(00~99) ※2

録音通知方法 電話呼出 メール ※4

※1 グループA~Dが全て在宅に設定した場合は在宅モードとなります
 ※2 ガイダンス番号はユーザーガイダンス選択時のみ有効です
 ※3 ガイダンス2・3はユーザー選択式の留守番ボタン押下時のみ有効です
 ※4 通知はボイスメールの画面から設定してください

2

手動で留守番切替を行ったときの動作を設定します。

タイム運動設定		関連設定		手動切替設定	
留守番手動切替設定					
手動で留守番切替を行った時の動作設定を行います。(内蔵ボイスメールの場合のみ有効な設定です)					
留守番グループ動作		グループA グループC	応答録音 在宅	グループB グループD	在宅 在宅 ※1
留守番モニタ指定		<input checked="" type="radio"/> サイレント <input type="radio"/> モニタ			
ガイドンス1	応答録音ガイドンス	固定ガイドンス2	▼	番号	(00~99) ※2
	応答専用ガイドンス	固定ガイドンス2	▼	番号	(00~99) ※2
	終了ガイドンス	固定ガイドンス	▼	番号	(00~99) ※2
ガイドンス2 ※3	応答録音ガイドンス	無し	▼	番号	(00~99) ※2
	応答専用ガイドンス	無し	▼	番号	(00~99) ※2
	終了ガイドンス	無し	▼	番号	(00~99) ※2
ガイドンス3 ※3	応答録音ガイドンス	無し	▼	番号	(00~99) ※2
	応答専用ガイドンス	無し	▼	番号	(00~99) ※2
	終了ガイドンス	無し	▼	番号	(00~99) ※2
録音通知方法		<input checked="" type="checkbox"/> 電話呼出 <input type="checkbox"/> Eメール ※4			
<small>※1 グループA~Dが全て在宅に設定した場合は在宅モードとなります ※2 ガイドンス番号はユーザガイドンス選択時のみ有効です ※3 ガイドンス2、3はユーザ選択式の留守番ボタン押下時のみ有効です ※4 通知先はボイスメールの画面から設定してください</small>					
<input type="button" value="設定"/> <input type="button" value="初期化"/>					

項目	内容
留守番グループ動作	<p>留守番グループごとの動作をプルダウンメニューから選択します。 在宅:留守番機能をOFFに設定します。 応答録音:外線着信に自動応答し、応答録音ガイドンスを流してガイドンス終了後にメッセージを録音します。 応答専用:外線着信に自動応答し、応答専用ガイドンスを2回流します。 ※全グループで「在宅」を選択した場合は、留守番モードに切り替えられません。</p> <p style="text-align: center;">工事設定</p> <p>録音終了後または応答専用ガイドンスが流れたあと、自動的に電話が切れるように（または切れないように）設定することができます。また、自動的に電話が切れるように設定されている場合、電話が切れる前に「ご利用ありがとうございました」のようなガイドンスを流すかを設定することができます。詳しくは、販売店にご相談ください。</p>
留守番モニタ指定	<p>留守番モニタ動作を選択します。 サイレント:録音中に相手のメッセージが聞こえないように設定します。 モニタ:録音中に相手のメッセージが聞こえるように設定します。</p>

項目	内容
ガイダンス 1、 ガイダンス 2、 ガイダンス 3	<p>留守番中に電話がかかってきたとき相手に流すガイダンスや留守番モードを選択します(テナントごと)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 留守番ボタン(ユーザ選択方式)を押して切り替える場合: ガイダンス 1～3 で、応答録音ガイダンスや応答専用ガイダンスの各パターンを指定しておく、留守番ボタンを押すたびにガイダンスや留守番モードを切り替えることができます。 ガイダンス 1～3 の設定は、留守番グループ A～D のいずれかが「応答録音」か「応答専用」の場合に有効になります。また、留守番グループごと(A～D)に指定された動作よりも、ガイダンス 1～3 に指定された留守番モードが優先されます。 ガイダンス 1～3 の設定は、テナント内の全グループに同時に適用されます。 ● 留守番ボタン(設定に従う)を押して切り替える場合: 留守番グループごと(A～D)に指定された動作に従って、ガイダンス 1 に指定されたガイダンスが流れるようになります。この場合は、ガイダンス 2、3 に指定されたガイダンスは使用されません。また、ガイダンス 1 に指定されたガイダンスでも、グループに指定された動作と異なるガイダンスは使用されません。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 留守番ボタンはオートダイヤルボタンです。付加情報(留守番動作指定)として、「設定に従う」または「ユーザ選択方式」を設定できます。オートダイヤルボタンの登録については「オートダイヤルの割り付け(オートダイヤル登録)」(▶ P.140)、付加情報については、『取扱説明書(多機能電話機編)』-「A-7 オートダイヤルボタン機能一覧表」を参照してください。 ● 留守番ボタンを使用した留守番モードの切替操作については、『取扱説明書(多機能電話機編)』-「留守番機能の設定と使いかた(手動切替)」を参照してください。 </div>
応答録音ガイダンス	<p>プルダウンメニューから応答録音ガイダンスの種類を選択します。[無し]、[固定ガイダンス 1]、[固定ガイダンス 2]のほか、[ユーザガイダンス]から選択できます。 [ユーザガイダンス]を選択した場合、ユーザガイダンス番号を入力します。 固定ガイダンスの内容は以下のとおりです。</p> <p>固定ガイダンス 1:ただ今、留守にしています。発信音のあとにメッセージをお話してください。</p> <p>固定ガイダンス 2:お電話ありがとうございます。 申し訳ございませんが、本日の業務は終了いたしました。 メッセージを承ります。ピーという発信音のあとに、お名前とご用件をお話してください。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>工事設定</p> <p>メールアドレスが登録されていない場合、応答録音の設定は無効になります。詳しくは、販売店にご相談ください。</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [無し]を選択した場合、留守番ボタンの動作指定が「設定に従う」(ガイダンス 1)のときは、応答ガイダンスは流れず応答直後に録音開始告知音が「ピー」と鳴ります。留守番ボタンの動作指定が「ユーザ選択方式」のときは、留守番ボタンでのパターン切替時にこのガイダンスはスキップされます(候補として表示されません)。 ● ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送](▶ P.90)を使って登録できます。 </div>

項目	内容
応答専用ガイダンス	<p>プルダウンメニューから応答専用ガイダンスの種類を選択します。 [無し]、[固定ガイダンス 1]、[固定ガイダンス 2]のほか、[ユーザガイダンス]から選択できます。 [ユーザガイダンス]を選択した場合、ユーザガイダンス番号を入力します。 固定ガイダンスの内容は以下のとおりです。</p> <p>固定ガイダンス 1:ただ今、留守にしています。しばらくしてからおかけ直してください。</p> <p>固定ガイダンス 2:お電話ありがとうございます。 申し訳ございませんが、本日の業務は終了いたしました。 後程、お電話いただきますようお願いいたします。</p> <div data-bbox="671 640 1353 927" style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [無し]を選択した場合、留守番ボタンの動作指定が「設定に従う」(ガイダンス 1)のときは、応答ガイダンスは流れません。留守番ボタンの動作指定が「ユーザ選択方式」のときは、留守番ボタンでのパターン切替時にこのガイダンスはスキップされます(候補として表示されません)。 ● ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送] (➡ P.90) を使って登録できます。 </div>
終了ガイダンス	<p>プルダウンメニューから、最大録音時間を超えた状態で留守番タイマが起動したときに、「ピーピー」のお知らせ音のあとに流す終了ガイダンスを選択します。[ユーザガイダンス]を選択した場合、ユーザガイダンス番号を入力します。</p> <p>無し:「ピーピー」のお知らせ音のみ流します。</p> <p>固定ガイダンス:「ピーピー」のお知らせ音のあとに「制限時間になりましたので、録音を終了します。」のガイダンスを流します。</p> <div data-bbox="671 1256 1353 1451" style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送] を使って登録できます(➡ P.90)。 ● メッセージの録音最大時間は 1 ~ 255 分の範囲で指定できます。 </div> <div data-bbox="671 1473 1353 1715" style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>工事設定</p> <p>録音終了後、お知らせ音や終了ガイダンスが流れたあと、自動的に電話が切れるように(または切れないように)設定することができます。また、自動的に電話が切れるように設定されている場合、電話が切れる前に「ご利用ありがとうございました」のようなガイダンスを流すかを設定することができます。詳しくは、販売店にご相談ください。</p> </div>

項目	内容
録音通知方法	<p>メッセージ(留守録)が録音されたことを通知する方法(電話/Eメール)を選択します。</p> <p>[電話呼出]または[Eメール](あるいは両方)をチェックして選択します。録音通知しない場合は、両項目ともチェックを外します。</p> <p>工事設定</p> <p>Eメールを使用するには、工事設定(Eメール機能利用情報、メール送受信サーバ情報など)が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。</p> <p>MEMO</p> <p>メッセージ録音の通知は、[ボイスメール]の通知先に指定した電話番号またはEメールアドレスに通知されます(▶P.71)。</p>

3 [設定]をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化]をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。

ポップアップが表示されます。

4 表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

留守番機能の手動切替時の動作が登録されます。

留守番機能の起動時間など、留守番関連の機能を設定する（関連設定）

在宅モード / 留守番モードで自動応答するまでの時間やワンショット留守番機能で応答する際の応答ガイダンス、ワンショット留守番中にメッセージが録音されたことを通知する方法（電話 / Eメール）、留守番切替時に優先させる動作の指定を行います。

1 [留守番] 画面を表示して（⇒ P.77）、[関連設定] タブをクリックします。

留守番

ヘルプ?

Top > 留守番 > タイマ連動設定

タイマ連動設定 | 関連設定 | 手動切替設定

留守番タイマ連動設定

外線着信時の自動応答による用件録音機能について、曜日(時間帯)に動作設定を行います。各曜日をクリックし、設定画面を表示してください。(内蔵ボイスメールの場合のみ有効な設定です)

	日	月	火	水	木	金	土	休日/祝日
00:00	在宅	在宅	在宅	在宅	在宅	在宅	在宅	在宅
01:00								
02:00								
03:00								
04:00								
05:00								
06:00								
07:00								
08:00								
09:00								
10:00								
11:00								
12:00								
13:00								
14:00								
15:00								
16:00								

[関連設定] タブに切り替わり、設定内容が表示されます。

留守番

ヘルプ?

Top > 留守番 > 関連設定

タイマ連動設定 | 関連設定 | 手動切替設定

留守番関連設定

在宅モード留守番モードで自動応答するまでの時間およびワンショット留守番機能にて応答する場合の応答ガイダンスおよび留守番切替動作の指定を行います。(内蔵ボイスメールの場合のみ有効な設定です) (*)は必須設定項目です。

留守番起動時間(*)	在宅モード時	0	秒 (0~180, 0:応答無し)
	留守番モード時	9	秒 (0~180, 0:即時応答)
ワンショット留守番動作	固定ガイダンス1		
	番号		(ユーザーガイダンス選択時のみ有効, 00~99)
録音通知方法	<input type="checkbox"/> 電話呼出	<input type="checkbox"/> Eメール	*1
留守番切替指定	<input checked="" type="radio"/> 手動優先	<input type="radio"/> 自動優先	

*1 通知先はボイスメールの画面から設定してください

設定 | 初期化

2 以下の項目を設定します。

留守番関連設定

在宅モード留守番モードで自動応答するまでの時間およびワンショット留守番機能にて応答する場合の応答ガイダンスおよび留守番切替動作の指定を行います。(内蔵ボイスメールの場合のみ有効な設定です) (*)は必須設定項目です。

留守番起動時間(*)	在宅モード時	0	秒 (0~180, 0:応答無し)
	留守番モード時	9	秒 (0~180, 0:即時応答)
ワンショット留守番動作	固定ガイダンス1		
	番号		(ユーザーガイダンス選択時のみ有効, 00~99)
録音通知方法	<input type="checkbox"/> 電話呼出	<input type="checkbox"/> Eメール	
留守番切替指定	<input checked="" type="radio"/> 手動優先	<input type="radio"/> 自動優先	

設定 | 初期化

つづく➡

(*)の付いた項目は必ず登録してください。

項目	内容
留守番起動時間 *	留守番起動時間を指定します。 在宅モード時: 留守番が OFF の状態のときに、留守番を起動させる秒数を入力します。「0」を入力すると、着信に応答しない設定になります。 留守番モード時: 留守番が ON の状態のときに、留守番を起動させる時間を入力します。「0」を入力すると、着信に即時応答する設定になります。 <ul style="list-style-type: none"> 在宅モード、留守番モードともに 0 ~ 180 秒の間で指定できます。
ワンショット留守番動作	プルダウンメニューからワンショット留守番で使うガイダンスの種類を選択します。 [固定ガイダンス 1]、[固定ガイダンス 2]のほか、[ユーザガイダンス]から選択できます。 [ユーザガイダンス]を選択した場合、ユーザガイダンス番号を入力します。 固定ガイダンスの内容は以下のとおりです。 固定ガイダンス 1 (録音あり): ただ今、留守にしています。発信音のあとにメッセージをお話してください。 固定ガイダンス 2 (録音あり): お電話ありがとうございます。申し訳ございませんが、本日の業務は終了いたしました。メッセージを承ります。ピーという発信音のあとに、お名前とご用件をお話してください。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center; margin: 0;">工事設定</p> <p>メールボックス番号が登録されていない場合、応答録音の設定は無効になります。詳しくは、販売店にご相談ください。</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center; margin: 0;">MEMO</p> <p>ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送] (➡ P.90) を使って登録できます。</p> </div>
録音通知方法	ワンショット留守番中に、メッセージ(留守録)が録音されたことを通知する方法(電話/Eメール)を選択します。 [電話呼出]または[Eメール](あるいは両方)をチェックして選択します。録音通知しない場合は、両項目ともチェックを外します。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center; margin: 0;">工事設定</p> <p>Eメールを使用するには、工事設定(Eメール機能利用情報、メール送受信サーバ情報など)が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center; margin: 0;">MEMO</p> <p>メッセージ録音の通知は、[ボイスメール]の通知先に指定した電話番号またはEメールアドレスに通知されます(➡ P.71)。</p> </div>
留守番切替指定	優先させる動作を指定します。 [手動優先]または[自動優先]のどちらかをクリックします。

3 [設定]をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化]をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。

ポップアップが表示されます。

4 表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

留守番関連の設定が登録されます。

ユーザガイドランスの管理(ユーザガイドランス転送)

管理

ユーザガイドランスとは、留守番や転送などのサービス設定時に利用できるシステム管理電話機で録音した音声ファイルです。

録音音声のほか、PC(パソコン)に保存されている任意の音声ファイルを本システムに取り込んでユーザガイドランスとして登録することもできます。また、既存のユーザガイドランスの名称を変更したり、ファイルを削除したり、PCに転送したりすることもできます。

ここでは、以下の2つの操作について説明します。

- 既存のユーザガイドランスを変更 / 削除 / 転送する(ユーザガイドランス編集) (⇒ P.90)
- PC上の音声ファイルをユーザガイドランスとして登録する(新規登録) (⇒ P.92)

既存のユーザガイドランスを変更 / 削除 / 転送する(ユーザガイドランス編集)

すでに登録されているユーザガイドランスの名称を変更したり、ファイルを削除したり、ファイルをPC上の任意のフォルダに転送し、バックアップすることができます。

1 Web 設定を起動します。

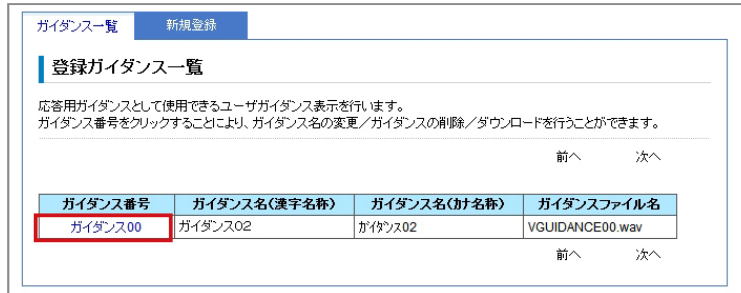
参照)第1章の「Web 設定の起動と終了」(⇒ P.3)

2 左メニューで[ユーザガイドランス転送]をクリックします。

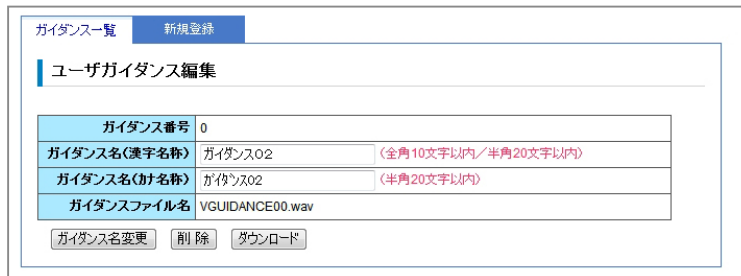
[ユーザガイドランス転送]の[ガイドランス一覧]タブが表示され、既存のユーザガイドランス一覧が表示されます。

ガイドランス番号	ガイドランス名(漢字名称)	ガイドランス名(かな名称)	ガイドランスファイル名
ガイドランス00	ガイドランス02	ガイドランス02	VGUIDANCE00.wav

3 編集、削除または転送するユーザガイドランス番号をクリックします。



[ユーザガイドランス編集]の設定内容が表示されます。



4 ■ユーザガイドランス名称を変更する場合

- ① [ガイドランス名(漢字名称)] と [ガイドランス名(カナ名称)] の内容を修正し、[ガイドランス名変更] をクリックします。
 - [ガイドランス名(漢字名称)] には、全角 10 文字または半角 20 文字まで入力できます。
 - [ガイドランス名(カナ名称)] には、半角 20 文字まで入力できます。
- ② 表示されたポップアップで [OK] をクリックします。
 選択したユーザガイドランス名称が変更されます。


■ユーザガイドランスを削除する場合

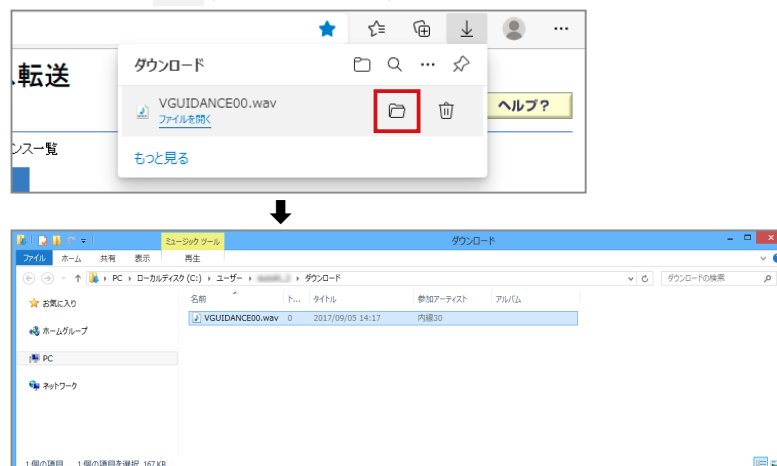
- ① [削除] をクリックします。
- ② 表示されたポップアップで [OK] をクリックします。
 選択したユーザガイドランス名称が削除されます。

■ユーザガイドランスの音声ファイルを転送する場合

[ダウンロード] をクリックします。

選択したユーザガイドランスが PC のダウンロードフォルダに保存(転送)され、画面上部のツールバーにダウンロード情報がポップアップ表示されます。

ポップアップで  ([フォルダに表示]) をクリックすると、ダウンロードフォルダを確認できます。



PC上の音声ファイルをユーザガイドランスとして登録する(新規登録)

PC(パソコン)上の任意のフォルダに保存されている音声ファイルをユーザガイドランスとして本システムに取り込むことができます。

取り込むことが可能な音声ファイルの形式とサイズの条件は以下のとおりです。

圧伸アルゴリズム / 圧伸ビットレート	G.711 μ -Law(64kbps)
ファイル形式	WAV
1 ファイルサイズ	最大 2.4Mbyte (5分)

※音声ファイルのファイル名には、半角英数記号を使用してください。全角英数字、日本語、特殊文字などのファイル名の音声ファイルは取り込むことができません。

1 [ユーザガイドランス転送] 画面を表示して(⇒ P.90)、[新規登録] タブをクリックします。

The screenshot shows the 'ユーザガイドランス転送' (User Guidance Transfer) page. The '新規登録' (New Registration) tab is highlighted. The page title is 'ユーザガイドランス転送' and there is a 'ヘルプ?' (Help?) button. The breadcrumb trail is 'Top > ユーザガイドランス転送 > ガイドランス一覧'. The main content area is titled '登録ガイドランス一覧' (Registered Guidance List). Below the title, there is a note: '応用ガイドランスとして使用できるユーザガイドランス表示を行います。ガイドランス番号をクリックすることにより、ガイドランス名の変更/ガイドランスの削除/ダウンロードを行うことができます。' (We will display user guidance that can be used as application guidance. By clicking the guidance number, you can change the guidance name/delete the guidance/download it.) There are '前へ' (Previous) and '次へ' (Next) navigation links. A table lists the registered guidance files:

ガイドランス番号	ガイドランス名(漢字名称)	ガイドランス名(かな名称)	ガイドランスファイル名
ガイドランス00	ガイドランス02	ガイドランス02	VGUIDANCE00.wav

There are '前へ' (Previous) and '次へ' (Next) navigation links below the table.

[新規登録] タブに切り替わり、設定内容が表示されます。

The screenshot shows the 'ユーザガイドランス転送' (User Guidance Transfer) page with the '新規登録' (New Registration) tab selected. The page title is 'ユーザガイドランス転送' and there is a 'ヘルプ?' (Help?) button. The breadcrumb trail is 'Top > ユーザガイドランス転送 > 新規登録'. The main content area is titled 'ユーザガイドランス登録' (User Guidance Registration). Below the title, there is a note: '応用ガイドランスを新規に登録します。(*)は必須設定項目です。' (We will register application guidance as new. (*) is a required setting item.) There are several input fields: 'ガイドランス番号(*)' (Guidance Number) with a note '(00~99/*: 空き番号へ登録)', 'ガイドランス名(漢字名称)' (Guidance Name (Kanji Name)) with a note '(全角10文字以内/半角20文字以内) ※1', 'ガイドランス名(かな名称)' (Guidance Name (Kana Name)) with a note '(半角20文字以内) ※1', and 'ファイル指定(*)' (File Selection) with a note 'ファイルの選択 ファイルが選択されていません'. There is a '登録' (Register) button at the bottom. A note at the bottom says '※1 未入力の場合は名称無しとなります' (※1 If not entered, the name will be empty).

2 ユーザガイドランス名称などを設定します。

ガイダンス一覧 新規登録

ユーザガイドランス登録

応答用ガイドランスを新規に登録します。
(*)は必須設定項目です。

ガイダンス番号(*)	*	(00~99/*:空き番号へ登録)
ガイダンス名(漢字名称)	ガイダンス02	(全角10文字以内/半角20文字以内) ※1
ガイダンス名(か名称)	ガイダンス02	(半角20文字以内) ※1
ファイル指定(*)	ファイルの選択	ファイルが選択されていません

※1 未入力の場合は名称無しとなります

登録

(*)の付いた項目は必ず登録してください。

項目	内容
ガイダンス番号 *	登録先のガイダンス番号を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> すでに登録されている番号には登録できません。 「*」を入力すると、一番若い空き番号が自動的に選択されます。
ガイダンス名(漢字名称)	ユーザガイドランスの漢字名称を入力します。[ガイダンス名(漢字名称)]には、全角文字(漢字、ひらがな、カナ、英字、数字、記号)で最大10文字まで、半角文字(カナ、英字、数字)で最大20文字まで入力できます。 <ul style="list-style-type: none"> ユーザガイドランスの漢字名称には、全角半角を混在させた名称を登録できます。 ここで登録した漢字名称がユーザガイドランス一覧や電話機のディスプレイに表示されます。
ガイダンス名(カナ名称)	ユーザガイドランスのカナ名称を入力します。[ガイダンス名(カナ名称)]には、半角文字(カナ、英字、数字)で最大20文字まで入力できます。 <ul style="list-style-type: none"> 漢字名称を登録せずにカナ名称のみを登録すると、ユーザガイドランス一覧や電話機のディスプレイにはカナ名称が表示されます。

3 [ファイルの選択]をクリックします。

ガイダンス一覧 新規登録

ユーザガイドランス登録

応答用ガイドランスを新規に登録します。
(*)は必須設定項目です。

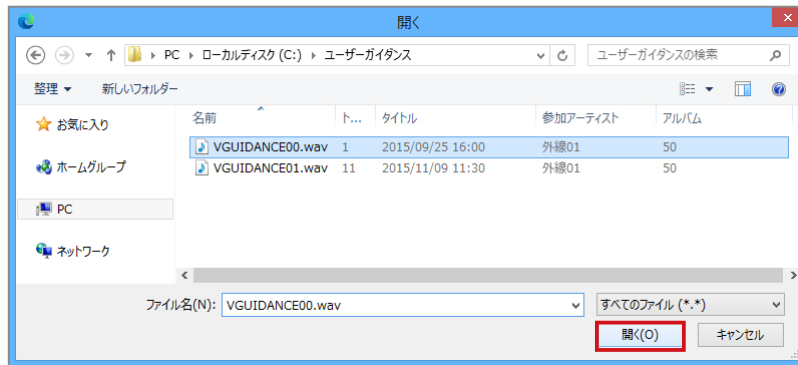
ガイダンス番号(*)	*	(00~99/*:空き番号へ登録)
ガイダンス名(漢字名称)	ガイダンス02	(全角10文字以内/半角20文字以内) ※1
ガイダンス名(か名称)	ガイダンス02	(半角20文字以内) ※1
ファイル指定(*)	ファイルの選択	ファイルが選択されていません

※1 未入力の場合は名称無しとなります

登録

Windows の[開く]ダイアログが表示されます。

4 取り込む音声ファイルを選択し、[開く]をクリックします。



選択した音声ファイル名が[ファイル指定]に表示されます。

5 [登録]をクリックします。

ポップアップが表示されます。

6 表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

選択した音声ファイルがユーザガイドランスとして登録され、登録ガイドランス一覧に表示されます。

各種転送の設定（電話機の各種転送）

管理

一般

電話機の各種転送サービス（不在転送、話中転送、無応答転送、圏外転送）利用時の動作を着信種別ごとに設定できます。

一般ユーザの場合は、ご自分の内線の転送動作のみ、管理ユーザの場合は全内線の転送動作を設定できます。ここでは、以下の4つの転送について説明します。

- 不在転送の利用設定および動作設定をする（不在転送）（⇒ P.95）
- 話中転送の動作を設定する（話中転送）（⇒ P.108）
- 無応答転送の動作を設定する（無応答転送）（⇒ P.115）
- 圏外転送の動作を設定する（圏外転送）（⇒ P.125）

不在転送の利用設定および動作設定をする（不在転送）

不在転送の利用設定や不在理由の内容変更、着信種別ごとの動作設定を行います。ここでは、以下の6つの操作について説明します。

- 不在転送の利用設定を行う（不在モード設定）（⇒ P.95）
- 不在転送の転送理由を変更する（不在理由設定）（⇒ P.97）
- 内線着信時の転送動作を設定する（内線着信）（⇒ P.98）
- 外線着信時の転送動作を設定する（外線着信）（⇒ P.100）
- 専用線着信時の転送動作を設定する（専用線着信）（⇒ P.103）
- 発番号ごとに転送動作を設定する（発番号別）（⇒ P.106）

■ 不在転送の利用設定を行う（不在モード設定）

内線、外線または専用線から着信があったときに、不在転送を行うかどうかを設定します。

1 Web 設定を起動します。

参照 第1章の「Web 設定の起動と終了」（⇒ P.3）

2 左メニューで[電話機の各種転送] - [不在転送] をクリックします。



[電話機の各種転送] - [不在転送] の [不在モード設定] タブが表示されます。



3 [内線番号]に不在モードを設定する内線番号を入力し、[選択]をクリックします。

- 一般ユーザの場合は、ご自分の内線のみ設定できます。

不在モード設定

不在モード設定

外線専用線または内線からの個別着信時、予め設定した不在転送先への転送有無設定を行います。
(*)は必須設定項目です。

内線番号(*) 108 選択 (半角数字1~4桁)

不在モード OFF ON 外出中

設定 初期化

4 [不在モード]の[ON]/[OFF]をクリックし、不在転送モードを利用するかどうかを設定します。

[ON]（転送する）を選択した場合、プルダウンメニューから不在理由を選択します。

- 初期設定は[OFF]（転送しない）です。

不在モード設定

不在モード設定

外線専用線または内線からの個別着信時、予め設定した不在転送先への転送有無設定を行います。
(*)は必須設定項目です。

内線番号(*) 108 選択 (半角数字1~4桁)

不在モード OFF ON 外出中

設定 初期化

5 [設定]をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化]をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。

ポップアップが表示されます。

6 表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

選択した内線が不在転送モードになります。

■不在転送の転送理由を変更する（不在理由設定）

不在転送機能には、あらかじめ9つの不在理由が用意されています（初期設定）。設定されている不在理由の内容を変更することができます。

1 [電話機の各種転送] – [不在転送] 画面を表示して（⇒ P.95）、[不在理由設定] タブをクリックします。

[不在理由設定] タブの設定内容に切り替わります。

2 [内線番号] に不在理由を変更する内線番号を入力し、[選択] をクリックします。

- 一般ユーザの場合は、ご自分の内線のみ設定できます。

3 不在理由の内容を直接修正します。

不在理由	不在理由設定	制限
不在理由1	外出中	(全角10文字／半角20文字以内)
不在理由2	会議中	(全角10文字／半角20文字以内)
不在理由3	来客中	(全角10文字／半角20文字以内)
不在理由4	食事中	(全角10文字／半角20文字以内)
不在理由5	出張中	(全角10文字／半角20文字以内)
不在理由6	休暇中	(全角10文字／半角20文字以内)
不在理由7	帰宅	(全角10文字／半角20文字以内)
不在理由8	直帰	(全角10文字／半角20文字以内)
不在理由9	直行直帰	(全角10文字／半角20文字以内)

4 [設定] をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化] をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。

ポップアップが表示されます。

5 表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

選択した内線の不在理由の選択肢が修正した内容に変わります。

■内線着信時の転送動作を設定する(内線着信)

不在転送モード中に内線から着信があった場合の転送先など、内線着信に対する転送動作を設定します。

1 [電話機の各種転送] - [不在転送] 画面を表示して(⇒ P.95)、[内線着信] タブをクリックします。

[内線着信] タブの設定内容に切り替わります。

2 [内線番号] に転送動作を設定する内線番号を入力し、[選択] をクリックします。

- 一般ユーザの場合は、ご自分の内線のみ設定できます。

3 [転送種別] で目的の転送先をクリックし、必要に応じて [付加情報] の項目を設定します。

項目	内容	
内線転送	内線からの着信を指定した内線番号に転送します。	
	内線番号	転送先の内線番号を入力します。
	ツインコール	内線への転送時に、転送元の着信を停止するか継続するかを選択します。 停止する場合は[無し]を、継続する場合は[有り]を選択します。

つづく➡

項目	内容
外線転送	内線からの着信を指定した外線の電話番号に転送します。
相手先番号	転送先の電話番号を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> 最大 32 桁まで登録できます。 半角の 0 ~ 9、*、#、特殊コード（-：オートポーズ、P：PB 切替）が入力できます。
発信種別	プルダウンメニューから転送先の電話番号種別を選択します。 外線 : 回線を指定せず、使用できるいずれかの外線で転送します。 特番展開 : 入力した閉番号により専用線で転送します。 PBX : 主装置に接続されている構内交換機 (PBX) を経由して外線へ転送します。 方路指定 : 方路 (回線の束) を指定して転送します。この場合、方路番号も入力します。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> 転送先の設定については、『取扱説明書（多機能電話機編）』- 「3-5 電話に回答できないときの便利な機能」を参照してください。 方路番号などの用語については、『取扱説明書（多機能電話機編）』- 「A-1 用語説明」を参照してください。 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>工事設定</p> <ul style="list-style-type: none"> [特番展開] は [相手先番号] として閉番号を利用する場合に選択します。閉番号の設定については、販売店にご確認ください。 設定されている方路番号については、販売店にご確認ください。 </div>
ツインコール	外線への転送時に、転送元の着信を停止するか継続するかを選択します。 停止する場合は [無し] を、継続する場合は [有り] を選択します。
DGL グループ転送	内線からの着信を指定した DGL グループ内の内線に転送します。
グループ番号	転送先の DGL グループ番号を入力します。
内線代表転送	内線からの着信を内線代表機能に基づいて転送します。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>工事設定</p> <p>内線代表機能については、販売店にご相談ください。</p> </div>
転送無し [切断]	内線からの着信を転送せずに、そのまま切断します。
転送せずに着信を継続	内線からの着信を転送せずに、そのまま継続させます。
鳴動無し / 鳴動有り	継続時に着信音を鳴らすかどうかを選択します。着信音を鳴らす場合は [鳴動有り] を、鳴らさない場合は [鳴動無し] を選択します。

4 [設定] をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化] をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。
- ここでの設定を外線、専用線からの着信にも適用する場合は、[一括設定] をクリックします。

ポップアップが表示されます。

5 表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

内線から着信があった場合の不在転送動作が設定されます。

- [一括設定] をクリックした場合は、外線および専用線からの着信時にも同じ設定が適用されます。

■外線着信時の転送動作を設定する(外線着信)

不在転送モード中に外線から個別着信があった場合の転送先など、外線着信に対する転送動作を設定します。

1 [電話機の各種転送] - [不在転送] 画面を表示して(⇒ P.95)、[外線着信] タブをクリックします。

[外線着信] タブの設定内容に切り替わります。

2 [内線番号] に転送動作を設定する内線番号を入力し、[選択] をクリックします。

- 一般ユーザの場合は、ご自分の内線のみ設定できます。

3 [転送種別] で目的の転送先をクリックし、必要に応じて[付加情報]の項目を設定します。

転送種別	付加情報
<input type="radio"/> 内線転送	内線番号 <input type="text"/> (半角数字1~4桁) ※1 ツインコール <input checked="" type="radio"/> 無し <input type="radio"/> 有り
<input type="radio"/> 外線転送	相手先番号 <input type="text"/> (半角32桁以内) ※1 発信種別 <input type="text"/> 外線 方路番号 <input type="text"/> (方路指定選択時のみ有効、0~63) ツインコール <input checked="" type="radio"/> 無し <input type="radio"/> 有り
<input type="radio"/> DGLグループ転送	グループ番号 <input type="text"/> (0~99) ※1
<input type="radio"/> MSAグループ転送	グループ番号 <input type="text"/> (0~99) ※1
<input type="radio"/> 内線代表転送	
<input type="radio"/> 一般着信	
<input type="radio"/> ガイダンス応答録音	<input checked="" type="radio"/> 固定ガイダンス <input type="text"/> パターン2 <input type="radio"/> ユーザガイダンス <input type="text"/> 00 (0~99) ※2 <input checked="" type="radio"/> 録音無し <input type="radio"/> 録音有り メールボックス番号 <input type="text"/> (半角数字1~8桁) ※3 録音通知方法 <input type="checkbox"/> 電話呼出 <input type="checkbox"/> Eメール ※4
<input checked="" type="radio"/> 転送無し[切替]	<input checked="" type="radio"/> 固定ガイダンス <input type="radio"/> ユーザガイダンス <input type="text"/> 00 (0~99) ※2

※1 対象の転送種別が選択された時のみ必須設定項目です
 ※2 ユーザガイダンスが選択された時のみ必須設定項目です
 ※3 録音有りが選択された時のみ必須設定項目です
 ※4 通知先はボイスメールの画面から設定してください

項目	内容
内線転送	外線からの着信を指定した内線番号に転送します。
内線番号	転送先の内線番号を入力します。
ツインコール	内線への転送時に、転送元の着信を停止するか継続するかを選択します。 停止する場合は[無し]を、継続する場合は[有り]を選択します。
外線転送	外線からの着信を指定した外線の電話番号に転送します。
相手先番号	転送先の電話番号を入力します。 ● 最大 32 桁まで登録できます。 ● 半角の 0～9、*、#、特殊コード（-: オートポーズ、P:PB 切替）が入力できます。
発信種別	プルダウンメニューから転送先の電話番号種別を選択します。 外線 : 回線を指定せず、使用できるいずれかの外線で転送します。 特番展開 : 入力した閉番号により専用線で転送します（※ 1）。 PBX : 主装置に接続されている構内交換機(PBX)を経由して外線へ転送します。 方路指定 : 方路(回線の束)を指定して転送します。この場合、方路番号も入力します。
	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 転送先の設定については、『取扱説明書（多機能電話機編）』－「3-5 電話に回答できないときの便利な機能」を参照してください。 ● 方路番号などの用語については、『取扱説明書（多機能電話機編）』－「A-1 用語説明」を参照してください。 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>工事設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [特番展開] は [相手先番号] として閉番号を利用する場合に選択します。閉番号の設定については、販売店にご確認ください。 ● 設定されている方路番号については、販売店にご確認ください。 </div> <p>(※ 1) 転送リモコン特番も入力できます。</p>
ツインコール	外線への転送時に、転送元の着信を停止するか継続するかを選択します。 停止する場合は[無し]を、継続する場合は[有り]を選択します。
DGL グループ転送	外線からの着信を指定した DGL グループ内の内線に転送します。
グループ番号	転送先の DGL グループ番号を入力します。
MSA グループ転送	外線からの着信を指定した MSA グループ内の内線に転送します。
グループ番号	転送先の MSA グループ番号を入力します。
内線代表転送	外線からの着信を内線代表機能に基づいて転送します。
	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>工事設定</p> <p>内線代表機能については、販売店にご相談ください。</p> </div>
一般着信	不在の場合、個別着信などを着信しても一般着信になります。

項目		内容
ガイダンス応答録音		外線からの着信に音声ガイダンスで応答し、メールボックスにメッセージを録音します。
応答ガイダンス	固定ガイダンス / ユーザガイダンス	<p>ガイダンスの種類を [固定ガイダンス] ([パターン 1] / [パターン 2]) または [ユーザガイダンス] から選択します。 [ユーザガイダンス] を選択した場合は、利用するユーザガイダンス番号を入力します。</p> <p>MEMO</p> <p>ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送] を使って登録できます (→ P.90)。</p>
	録音無し / 録音有り	<p>相手のメッセージを録音するかどうかを選択します。 [録音有り] を選択した場合、メールボックス番号を入力します。 また、[録音通知方法] でメールボックスにメッセージが録音されたことを通知する方法を選択します。[電話呼出] または [Eメール] (あるいは両方) をチェックして選択します。録音通知しない場合は、両項目ともチェックを外します。</p> <p>工事設定</p> <p>Eメールを使用するには、工事設定 (Eメール機能利用情報、メール送受信サーバ情報など) が必要です。</p> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> メッセージ録音の通知は、[ボイスメール] の通知先に指定した電話番号または Eメールアドレスに通知されます (→ P.71)。 メッセージの録音最大時間は 1 ~ 255 分の範囲で指定できます。
終了ガイダンス	固定ガイダンス / ユーザガイダンス	<p>ガイダンスの種類を [固定ガイダンス] または [ユーザガイダンス] から選択します。 [ユーザガイダンス] を選択した場合は、利用するユーザガイダンス番号を入力します。</p> <p>MEMO</p> <p>ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送] を使って登録できます (→ P.90)。</p>
転送無し [切断]		外線からの着信を転送せずに、そのまま切断します。

4 [設定] をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化] をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。
- ここでの設定を内線、専用線からの着信にも適用する場合は、[一括設定] をクリックします。

ポップアップが表示されます。

5 表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

外線から着信があった場合の不在転送動作が設定されます。

- [一括設定] をクリックした場合は、内線および専用線からの着信時にも同じ設定が適用されます。

■専用線着信時の転送動作を設定する（専用線着信）

不在転送モード中に専用線から着信があった場合の転送先など、専用線着信に対する転送動作を設定します。

1 [電話機の各種転送] - [不在転送] 画面を表示して（⇒ P.95）、[専用線着信] タブをクリックします。

[専用線着信] タブの設定内容に切り替わります。

2 [内線番号] に転送動作を設定する内線番号を入力し、[選択] をクリックします。

- 一般ユーザの場合は、ご自分の内線のみ設定できます。

3 [転送種別] で目的の転送先をクリックし、必要に応じて [付加情報] を設定します。

※1 対象の転送種別が選択された時のみ必須設定項目です
 ※2 ユーザガイダンスが選択された時のみ必須設定項目です
 ※3 録音有りが選択された時のみ必須設定項目です
 ※4 通知先はボイスメールの画面から設定してください

設定 初期化 一括設定

項目	内容
内線転送	専用線からの着信を指定した内線番号に転送します。
内線番号	転送先の内線番号を入力します。
ツインコール	内線への転送時に、転送元の着信を停止するか継続するかを選択します。 停止する場合は[無し]を、継続する場合は[有り]を選択します。
外線転送	専用線からの着信を指定した外線の電話番号に転送します。
相手先番号	転送先の電話番号を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> ● 最大 32 桁まで登録できます。 ● 半角の 0 ~ 9、*、#、特殊コード（-：オートポーズ、P：PB 切替）が入力できます。
発信種別	プルダウンメニューから転送先の電話番号種別を選択します。 外線 ：回線を指定せず、使用できるいずれかの外線で転送します。 特番展開 ：入力した閉番号により専用線で転送します。 PBX ：主装置に接続されている構内交換機(PBX)を経由して外線へ転送します。 方路指定 ：方路(回線の束)を指定して転送します。この場合、方路番号も入力します。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 転送先の設定については、『取扱説明書(多機能電話機編)』-「3-5 電話に应答できないときの便利な機能」を参照してください。 ● 方路番号などの用語については、『取扱説明書(多機能電話機編)』-「A-1 用語説明」を参照してください。 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>工事設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [特番展開] は [相手先番号] として閉番号を利用する場合に選択します。閉番号の設定については、販売店にご確認ください。 ● 設定されている方路番号については、販売店にご確認ください。 </div>
ツインコール	外線への転送時に、転送元の着信を停止するか継続するかを選択します。 停止する場合は[無し]を、継続する場合は[有り]を選択します。
DGL グループ転送	専用線からの着信を指定した DGL グループ内の内線に転送します。
グループ番号	転送先の DGL グループ番号を入力します。
内線代表転送	専用線からの着信を内線代表機能に基づいて転送します。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>工事設定</p> <p>内線代表機能については、販売店にご相談ください。</p> </div>

項目	内容									
ガイダンス応答録音	専用線からの着信に音声ガイダンスで応答し、メールボックスにメッセージを録音します。									
<table border="1"> <tr> <td>応答ガイダンス</td> <td>固定ガイダンス / ユーザガイダンス</td> <td> ガイダンスの種類を [固定ガイダンス] ([パターン 1] / [パターン 2]) または [ユーザガイダンス] から選択します。 [ユーザガイダンス] を選択した場合は、利用するユーザガイダンス番号を入力します。 MEMO ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送] を使って登録できます (➡ P.90)。 </td> </tr> <tr> <td></td> <td>録音無し / 録音有り</td> <td> 相手のメッセージを録音するかどうかを選択します。 [録音有り] を選択した場合、メールボックス番号を入力します。また、[録音通知方法] でメールボックスにメッセージが録音されたことを通知する方法を選択します。[電話呼出] または [E メール] (あるいは両方) をチェックして選択します。録音通知しない場合は、両項目ともチェックを外します。 工事設定 E メールを使用するには、工事設定 (E メール機能利用情報、メール送受信サーバ情報など) が必要です。 MEMO <ul style="list-style-type: none"> メッセージ録音の通知は、[ボイスメール] の通知先に指定した電話番号または E メールアドレスに通知されます (➡ P.71)。 メッセージの録音最大時間は 1 ~ 255 分の範囲で設定できます。 </td> </tr> <tr> <td>終了ガイダンス</td> <td>固定ガイダンス / ユーザガイダンス</td> <td> ガイダンスの種類を [固定ガイダンス] または [ユーザガイダンス] から選択します。 [ユーザガイダンス] を選択した場合は、利用するユーザガイダンス番号を入力します。 MEMO ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送] を使って登録できます (➡ P.90)。 </td> </tr> </table>	応答ガイダンス	固定ガイダンス / ユーザガイダンス	ガイダンスの種類を [固定ガイダンス] ([パターン 1] / [パターン 2]) または [ユーザガイダンス] から選択します。 [ユーザガイダンス] を選択した場合は、利用するユーザガイダンス番号を入力します。 MEMO ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送] を使って登録できます (➡ P.90)。		録音無し / 録音有り	相手のメッセージを録音するかどうかを選択します。 [録音有り] を選択した場合、メールボックス番号を入力します。また、[録音通知方法] でメールボックスにメッセージが録音されたことを通知する方法を選択します。[電話呼出] または [E メール] (あるいは両方) をチェックして選択します。録音通知しない場合は、両項目ともチェックを外します。 工事設定 E メールを使用するには、工事設定 (E メール機能利用情報、メール送受信サーバ情報など) が必要です。 MEMO <ul style="list-style-type: none"> メッセージ録音の通知は、[ボイスメール] の通知先に指定した電話番号または E メールアドレスに通知されます (➡ P.71)。 メッセージの録音最大時間は 1 ~ 255 分の範囲で設定できます。 	終了ガイダンス	固定ガイダンス / ユーザガイダンス	ガイダンスの種類を [固定ガイダンス] または [ユーザガイダンス] から選択します。 [ユーザガイダンス] を選択した場合は、利用するユーザガイダンス番号を入力します。 MEMO ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送] を使って登録できます (➡ P.90)。	
応答ガイダンス	固定ガイダンス / ユーザガイダンス	ガイダンスの種類を [固定ガイダンス] ([パターン 1] / [パターン 2]) または [ユーザガイダンス] から選択します。 [ユーザガイダンス] を選択した場合は、利用するユーザガイダンス番号を入力します。 MEMO ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送] を使って登録できます (➡ P.90)。								
	録音無し / 録音有り	相手のメッセージを録音するかどうかを選択します。 [録音有り] を選択した場合、メールボックス番号を入力します。また、[録音通知方法] でメールボックスにメッセージが録音されたことを通知する方法を選択します。[電話呼出] または [E メール] (あるいは両方) をチェックして選択します。録音通知しない場合は、両項目ともチェックを外します。 工事設定 E メールを使用するには、工事設定 (E メール機能利用情報、メール送受信サーバ情報など) が必要です。 MEMO <ul style="list-style-type: none"> メッセージ録音の通知は、[ボイスメール] の通知先に指定した電話番号または E メールアドレスに通知されます (➡ P.71)。 メッセージの録音最大時間は 1 ~ 255 分の範囲で設定できます。 								
終了ガイダンス	固定ガイダンス / ユーザガイダンス	ガイダンスの種類を [固定ガイダンス] または [ユーザガイダンス] から選択します。 [ユーザガイダンス] を選択した場合は、利用するユーザガイダンス番号を入力します。 MEMO ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送] を使って登録できます (➡ P.90)。								
転送無し [切断]	専用線からの着信を転送せずに、そのまま切断します。									
転送せずに着信を継続	専用線からの着信を転送せずに、そのまま継続させます。									
	鳴動無し / 鳴動有り	継続時に着信音を鳴らすかどうかを選択します。着信音を鳴らす場合は [鳴動有り] を、鳴らさない場合は [鳴動無し] を選択します。								

4 [設定] をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化] をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。
- ここでの設定を内線、外線からの着信にも適用する場合は、[一括設定] をクリックします。

ポップアップが表示されます。

5 表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

専用線から着信があった場合の不在転送動作が設定されます。

- [一括設定] をクリックした場合は、内線および外線からの着信時にも同じ設定が適用されます。

■発番号ごとに転送動作を設定する(発番号別)

電話帳に登録されている相手を発番号として登録することで、転送先などを設定できます。

1 [電話機の各種転送]－[不在転送]画面を表示して(⇒ P.95)、[発番号別]タブをクリックします。

[発番号別] タブの設定内容に切り替わります。

2 [内線番号] に転送動作を設定する内線番号を入力し、[選択] をクリックします。

- 一般ユーザの場合は、ご自分の内線のみ設定できます。

3 [発番号] で転送動作を設定する発番号をクリックします。

発番号	発番号設定	転送先設定
発番号 1		転送無し
発番号 2		転送無し
発番号 3		転送無し
発番号 4		転送無し
発番号 5		転送無し
発番号 6		転送無し
発番号 7		転送無し
発番号 8		転送無し
発番号 9		転送無し
発番号 10		転送無し

[発番号 X(内線 YYYY)] (X は選択した発番号、Y は内線番号)の設定項目が表示されます。

4 [発番号設定]で以下の項目を設定します。

(*)の付いた項目は必ず登録してください。

項目	内容
電話帳種別	発番号に登録する電話番号が登録されている電話帳を選択します。
電話帳メモリ番号 *	電話帳のメモリ番号を入力します。

5 目的の転送先をクリックし、必要に応じて[付加情報]の項目を設定します。

発番号別の転送先設定は、外線着信と同じです。
参照「■外線着信時の転送動作を設定する(外線着信)」(P.100)の手順3

6 [設定]をクリックします。

- 発番号の登録を取り消す場合は、[削除]をクリックします。

ポップアップが表示されます。

7 表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

発番号に登録した電話番号から電話があった場合の不在転送動作が設定されます。

話中転送の動作を設定する（話中転送）

話中転送とは、話中にかかってきた電話を指定した転送先に転送する機能です。話中転送モード中の着信種別ごとの動作を設定できます。

ここでは、以下の3つの操作について説明します。

- 内線着信時の転送動作を設定する（内線着信）（→ P.108）
- 外線着信時の転送動作を設定する（外線着信）（→ P.110）
- 専用線着信時の転送動作を設定する（専用線着信）（→ P.112）

■内線着信時の転送動作を設定する（内線着信）

話中転送モード中に内線から着信があった場合の転送先など、内線着信に対する転送動作を設定します。

1 Web 設定を起動します。

参照)第1章の「Web 設定の起動と終了」(→ P.3)

2 左メニューで[電話機の各種転送]－[話中転送]をクリックします。



[電話機の各種転送]－[話中転送]の[内線着信]タブが表示されます。



3 [内線番号] に転送動作を設定する内線番号を入力し、[選択] をクリックします。

- 一般ユーザの場合は、ご自分の内線のみ設定できます。

4 [転送種別] で目的の転送先をクリックし、必要に応じて [付加情報] の項目を設定します。

項目	内容
内線転送	内線からの着信を指定した内線番号に転送します。
内線番号	転送先の内線番号を入力します。
DGL グループ転送	内線からの着信を指定した DGL グループ内の内線に転送するときに選択します。
グループ番号	転送先の DGL グループ番号を入力します。
内線代表転送	内線からの着信を内線代表機能に基づいて転送します。 <div style="text-align: center;"> 工事設定 内線代表機能については、販売店にご相談ください。 </div>
転送無し[コールウェーティング]	内線からの着信を転送せずに、話中の通話が終了したタイミングで着信音を鳴らします。
転送無し[切断]	内線からの着信を転送せずに、そのまま切断します。

5 [設定] をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化] をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。
- ここでの設定を外線、専用線からの着信にも適用する場合は、[一括設定] をクリックします。

ポップアップが表示されます。

6 表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

内線から着信があった場合の話中転送動作が設定されます。

- [一括設定] をクリックした場合は、外線および専用線からの着信時にも同じ設定が適用されます。

■外線着信時の転送動作を設定する(外線着信)

話中転送モード中に外線から個別着信があった場合の転送先など、外線着信に対する転送動作を設定します。

1 [電話機の各種転送] - [話中転送] 画面を表示して (⇒ P.108)、[外線着信] タブをクリックします。

話中転送

ユーザ名: 108
ログアウト

パスワード変更
時計設定
カレンダー設定
内線一覧
▽ 電話帳
電話帳転送
ボイスメール
留守番
ユーザガイドランス転送
▽ 電話機の各種転送
▶ 不在転送
▶ 話中転送
▶ 無応答転送

Top > 話中転送 > 内線着信

内線着信 外線着信 専用線着信

内線着信時転送設定

内線からの個別着信時に話中の場合、設定した話中転送先への転送設定を行います。
(*)は必須設定項目です。

内線番号(*) 108 選択 (半角数字1~4桁)

転送種別	付加情報
<input type="radio"/> 内線転送	内線番号 <input type="text"/> (半角数字1~4桁) ※1
<input type="radio"/> DGLグループ転送	グループ番号 <input type="text"/> (0~99) ※1
<input type="radio"/> 内線代表転送	
<input checked="" type="radio"/> 転送無し[コルウェイティング]	
<input type="radio"/> 転送無し[切断]	

※1 対象の転送種別が選択された時のみ必須設定項目です

設定 初期化 一括設定

[外線着信] タブの設定内容に切り替わります。

2 [内線番号] に転送動作を設定する内線番号を入力し、[選択] をクリックします。

- 一般ユーザの場合は、ご自分の内線のみ設定できます。

3 [転送種別] で目的の転送先をクリックし、必要に応じて [付加情報] を設定します。

内線着信 外線着信 専用線着信

外線着信時転送設定

外線からの個別着信時に話中の場合、設定した話中転送先への転送設定を行います。
(*)は必須設定項目です。

内線番号(*) 108 選択 (半角数字1~4桁)

転送種別	付加情報
<input type="radio"/> 内線転送	内線番号 <input type="text"/> (半角数字1~4桁) ※1
<input type="radio"/> DGLグループ転送	グループ番号 <input type="text"/> (0~99) ※1
<input type="radio"/> MSAグループ転送	グループ番号 <input type="text"/> (0~99) ※1
<input type="radio"/> 内線代表転送	
<input type="radio"/> 一般着信	
<input type="radio"/> ガイダンス応答録音	<input checked="" type="radio"/> 固定ガイダンス <input type="text"/> バター1 <input type="radio"/> ユーザガイダンス <input type="text"/> (0~99) ※2 <input checked="" type="radio"/> 録音無し <input type="radio"/> 録音有り - メールボックス番号 <input type="text"/> (半角数字1~8桁) ※3 - 録音通知方法 <input type="checkbox"/> 電話呼出 <input type="checkbox"/> Eメール
	<input checked="" type="radio"/> 固定ガイダンス <input type="radio"/> ユーザガイダンス <input type="text"/> (0~99) ※2
<input checked="" type="radio"/> 転送無し[切断]	

※1 対象の転送種別が選択された時のみ必須設定項目です
 ※2 ユーザガイダンスが選択された時のみ必須設定項目です
 ※3 録音有りが選択された時のみ必須設定項目です

設定 初期化 一括設定

項目		内容
内線転送		外線からの着信を指定した内線番号に転送します。
	内線番号	転送先の内線番号を入力します。
DGL グループ転送		外線からの着信を指定した DGL グループ内の内線に転送します。
	グループ番号	転送先の DGL グループ番号を入力します。
MSA グループ転送		外線からの着信を指定した MSA グループ内の内線に転送します。
	グループ番号	転送先の MSA グループ番号を入力します。
内線代表転送		外線からの着信を内線代表機能に基づいて転送します。 <div style="text-align: center;">工事設定</div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">内線代表機能については、販売店にご相談ください。</div>
一般着信		話中の場合、個別着信などを着信しても一般着信になります。
ガイダンス応答録音		外線からの着信に音声ガイダンスで応答し、メールボックスにメッセージを録音します。
応答ガイダンス	固定ガイダンス / ユーザガイダンス	ガイダンスの種類を [固定ガイダンス] ([パターン 1]) / [パターン 2]) または [ユーザガイダンス] から選択します。 [ユーザガイダンス] を選択した場合は、利用するユーザガイダンス番号を入力します。 <div style="text-align: center;">MEMO</div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px;">ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送] を使って登録できます (⇒ P.90)。</div>
	録音無し / 録音有り	相手のメッセージを録音するかどうかを選択します。 [録音有り] を選択した場合、メールボックス番号を入力します。また、[録音通知方法] でメールボックスにメッセージが録音されたことを通知する方法を選択します。[電話呼出] または [E メール] (あるいは両方) をチェックして選択します。録音通知しない場合は、両項目ともチェックを外します。 <div style="text-align: center;">工事設定</div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px;">E メールを使用するには、工事設定 (E メール機能利用情報、メール送受信サーバ情報など) が必要です。 <div style="text-align: center;">MEMO</div> <ul style="list-style-type: none"> ● メッセージ録音の通知は、[ボイスメール] の通知先に指定した電話番号または E メールアドレスに通知されます (⇒ P.71)。 ● メッセージの録音最大時間は 1 ~ 255 分の範囲で指定できます。 </div>
終了ガイダンス	固定ガイダンス / ユーザガイダンス	ガイダンスの種類を [固定ガイダンス] または [ユーザガイダンス] から選択します。 [ユーザガイダンス] を選択した場合は、利用するユーザガイダンス番号を入力します。 <div style="text-align: center;">MEMO</div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px;">ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送] を使って登録できます (⇒ P.90)。</div>
転送無し [切断]		外線からの着信を転送せずに、そのまま切断します。

4 [設定] をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化] をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。
- ここでの設定を内線、専用線からの着信にも適用する場合は、[一括設定] をクリックします。

ポップアップが表示されます。

5 表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

外線から着信があった場合の話中転送動作が設定されます。

- [一括設定] をクリックした場合は、内線および専用線からの着信時にも同じ設定が適用されます。

■専用線着信時の転送動作を設定する（専用線着信）

話中転送モード中に専用線から着信があった場合の転送先など、専用線着信に対する転送動作を設定します。

1 [電話機の各種転送] - [話中転送] 画面を表示して (⇒ P.108)、[専用線着信] タブをクリックします。

話中転送

ヘルプ?

Top > 話中転送 > 内線着信

内線着信 外線着信 専用線着信

内線着信時転送設定

内線からの個別着信時、話中の場合、設定した話中転送先への転送設定を行います。
(※1は必須設定項目です。)

内線番号(*) 108 選択 (半角数字1~4桁)

転送種別	付加情報
<input type="radio"/> 内線転送	内線番号 <input type="text" value="108"/> (半角数字1~4桁) ※1
<input type="radio"/> DOLグループ転送	グループ番号 <input type="text"/> (0~99) ※1
<input type="radio"/> 内線代表転送	
<input checked="" type="radio"/> 転送無し[コールウェイトイング]	
<input type="radio"/> 転送無し[切断]	

※1 対象の転送種別が選択された時のみ必須設定項目です

設定 初期化 一括設定

[専用線着信] タブの設定内容に切り替わります。

2 [内線番号] に転送動作を設定する内線番号を入力し、[選択] をクリックします。

- 一般ユーザの場合は、ご自分の内線のみ設定できます。

3 [転送種別] で目的の転送先をクリックし、必要に応じて [付加情報] の項目を設定します。

項目	内容
内線転送	専用線からの着信を指定した内線番号に転送します。
内線番号	転送先の内線番号を入力します。
DGL グループ転送	専用線からの着信を指定した DGL グループ内の内線に転送します。
グループ番号	転送先の DGL グループ番号を入力します。
内線代表転送	専用線からの着信を内線代表機能に基づいて転送します。
<div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;"> 工事設定 内線代表機能については、販売店にご相談ください。 </div>	



項目		内容
ガイダンス応答録音		専用線からの着信に音声ガイダンスで応答し、メールボックスにメッセージを録音します。
応答ガイダンス	固定ガイダンス / ユーザガイダンス	<p>ガイダンスの種類を [固定ガイダンス] ([パターン 1]/[パターン 2]) または [ユーザガイダンス] から選択します。 [ユーザガイダンス] を選択した場合は、利用するユーザガイダンス番号を入力します。</p> <p>MEMO</p> <p>ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送] を使って登録できます (➡ P.90)。</p>
	録音無し / 録音有り	<p>相手のメッセージを録音するかどうかを選択します。 [録音有り] を選択した場合、メールボックス番号を入力します。また、[録音通知方法] でメールボックスにメッセージが録音されたことを通知する方法を選択します。[電話呼出] または [Eメール] (あるいは両方) をチェックして選択します。録音通知しない場合は、両項目ともチェックを外します。</p> <p>工事設定</p> <p>Eメールを使用するには、工事設定 (Eメール機能利用情報、メール送受信サーバ情報など) が必要です。</p> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> ● メッセージ録音の通知は、[ボイスメール] の通知先に指定した電話番号または Eメールアドレスに通知されます (➡ P.71)。 ● メッセージの録音最大時間は 1 ~ 255 分の範囲で指定できます。
終了ガイダンス	固定ガイダンス / ユーザガイダンス	<p>ガイダンスの種類を [固定ガイダンス] または [ユーザガイダンス] から選択します。 [ユーザガイダンス] を選択した場合は、利用するユーザガイダンス番号を入力します。</p> <p>MEMO</p> <p>ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送] を使って登録できます (➡ P.90)。</p>
転送無し [切断]		専用線からの着信を転送せずに、そのまま切断します。

4 [設定] をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化] をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。
- ここでの設定を内線、外線からの着信にも適用する場合は、[一括設定] をクリックします。

ポップアップが表示されます。

5 表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

- 専用線から着信があった場合の話中転送動作が設定されます。
- [一括設定] をクリックした場合は、内線および外線からの着信時にも同じ設定が適用されます。

無応答転送の動作を設定する（無応答転送）

無応答転送とは、かかってきた電話に一定時間応答しないときに、指定した転送先に電話を転送する機能です。無応答転送モード中の着信種別ごとの動作を設定できます。また、無応答転送するまでの時間を指定することもできます。

ここでは、以下の4つの操作について説明します。

- 内線着信時の転送動作を設定する（内線着信）（→ P.115）
- 外線着信時の転送動作を設定する（外線着信）（→ P.118）
- 専用線着信時の転送動作を設定する（専用線着信）（→ P.121）
- 無応答転送するまでの時間を設定する（関連設定）（→ P.124）

■ 内線着信時の転送動作を設定する（内線着信）

無応答転送モード中に内線から着信があった場合の転送先など、内線着信に対する転送動作を設定します。

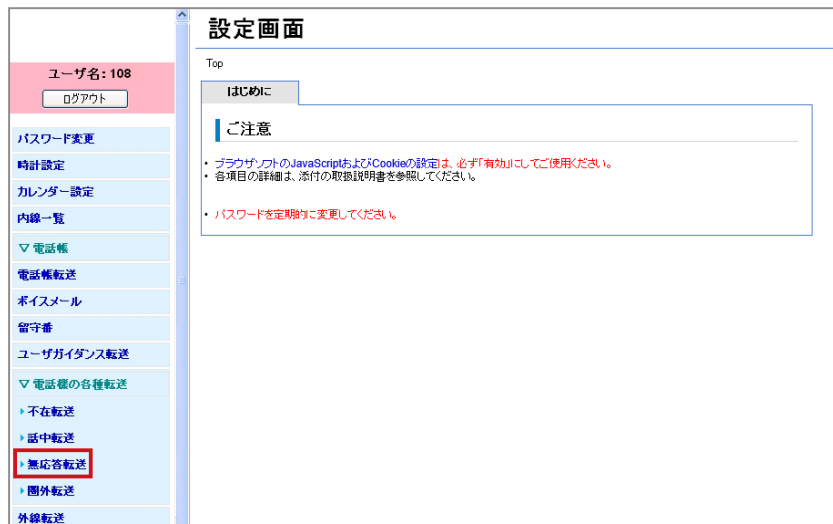
1

Web 設定を起動します。

参照》第1章の「Web 設定の起動と終了」（→ P.3）

2

左メニューで「電話機の各種転送」－「無応答転送」をクリックします。



「電話機の各種転送」－「無応答転送」の「内線着信」タブが表示されます。



3

「内線番号」に転送動作を設定する内線番号を入力し、「選択」をクリックします。

- 一般ユーザの場合は、ご自分の内線のみ設定できます。

4 [転送種別] で目的の転送先をクリックし、必要に応じて [付加情報] の項目を設定します。

内線着信時転送設定

内線からの個別着信時に一定時間応答しなかった場合、設定した無応答転送先への転送設定を行います。
(*)は必須設定項目です。

内線番号(*) 108 選択 (半角数字1~4桁)

転送種別	付加情報
<input type="radio"/> 内線転送	内線番号 <input type="text"/> (半角数字1~4桁) ※1 ツインコール <input checked="" type="radio"/> 無し <input type="radio"/> 有り
<input type="radio"/> 外線転送	相手先番号 <input type="text"/> (半角32桁以内) ※1 発信種別 <input type="text"/> 外線 方路番号 <input type="text"/> 0 (方路指定選択時のみ有効、0~63) ツインコール <input checked="" type="radio"/> 無し <input type="radio"/> 有り
<input type="radio"/> DGLグループ転送	グループ番号 <input type="text"/> (0~99) ※1
<input type="radio"/> 内線代表転送	
<input checked="" type="radio"/> 転送せずに着信を継続	

※1 対象の転送種別が選択された時のみ必須設定項目です

項目	内容				
内線転送	内線からの着信を指定した内線番号に転送します。				
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">内線番号</td> <td>転送先の内線番号を入力します。</td> </tr> <tr> <td>ツインコール</td> <td>内線への転送時に、転送元の着信を停止するか継続するかを選択します。 停止する場合は[無し]を、継続する場合は[有り]を選択します。</td> </tr> </table>	内線番号	転送先の内線番号を入力します。	ツインコール	内線への転送時に、転送元の着信を停止するか継続するかを選択します。 停止する場合は[無し]を、継続する場合は[有り]を選択します。
内線番号	転送先の内線番号を入力します。				
ツインコール	内線への転送時に、転送元の着信を停止するか継続するかを選択します。 停止する場合は[無し]を、継続する場合は[有り]を選択します。				
外線転送	内線からの着信を指定した外線の電話番号に転送します。				
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">相手先番号</td> <td> 転送先の電話番号を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> 最大 32 桁まで登録できます。 半角の 0 ~ 9、*、#、特殊コード(-:オートポーズ、P:PB 切替)が入力できます。 </td> </tr> <tr> <td>発信種別</td> <td> プルダウンメニューから転送先の電話番号種別を選択します。 外線: 回線を指定せず、使用できるいずれかの外線で転送します。 特番展開: 入力した閉番号により専用線で転送します。 PBX: 主装置に接続されている構内交換機(PBX)を経由して外線へ転送します。 方路指定: 方路(回線の束)を指定して転送します。この場合、方路番号も入力します。 </td> </tr> </table> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p style="text-align: center; margin: 0;">MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> 転送先の設定については、『取扱説明書(多機能電話機編)』-「3-5 電話に回答できないときの便利な機能」を参照してください。 方路番号などの用語については、『取扱説明書(多機能電話機編)』-「A-1 用語説明」を参照してください。 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p style="text-align: center; margin: 0;">工事設定</p> <ul style="list-style-type: none"> [特番展開] は [相手先番号] として閉番号を利用する場合に選択します。閉番号の設定については、販売店にご確認ください。 設定されている方路番号については、販売店にご確認ください。 </div>	相手先番号	転送先の電話番号を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> 最大 32 桁まで登録できます。 半角の 0 ~ 9、*、#、特殊コード(-:オートポーズ、P:PB 切替)が入力できます。 	発信種別	プルダウンメニューから転送先の電話番号種別を選択します。 外線: 回線を指定せず、使用できるいずれかの外線で転送します。 特番展開: 入力した閉番号により専用線で転送します。 PBX: 主装置に接続されている構内交換機(PBX)を経由して外線へ転送します。 方路指定: 方路(回線の束)を指定して転送します。この場合、方路番号も入力します。
	相手先番号	転送先の電話番号を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> 最大 32 桁まで登録できます。 半角の 0 ~ 9、*、#、特殊コード(-:オートポーズ、P:PB 切替)が入力できます。 			
発信種別	プルダウンメニューから転送先の電話番号種別を選択します。 外線: 回線を指定せず、使用できるいずれかの外線で転送します。 特番展開: 入力した閉番号により専用線で転送します。 PBX: 主装置に接続されている構内交換機(PBX)を経由して外線へ転送します。 方路指定: 方路(回線の束)を指定して転送します。この場合、方路番号も入力します。				
ツインコール	外線への転送時に、転送元の着信を停止するか継続するかを選択します。 停止する場合は[無し]を、継続する場合は[有り]を選択します。				

つづく➡

項目	内容
DGL グループ転送	内線からの着信を指定した DGL グループ内の内線に転送します。
グループ番号	転送先の DGL グループ番号を入力します。
内線代表転送	内線からの着信を内線代表機能に基づいて転送します。 <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px 0;"> 工事設定 内線代表機能については、販売店にご相談ください。 </div>
転送せずに着信を継続	内線からの着信を転送せずに、そのまま継続させます。

5 [設定]をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化]をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。
- ここでの設定を外線、専用線からの着信にも適用する場合は、[一括設定]をクリックします。

ポップアップが表示されます。

6 表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

内線から着信があった場合の無応答転送動作が設定されます。

- [一括設定]をクリックした場合は、外線および専用線からの着信時にも同じ設定が適用されます。

■外線着信時の転送動作を設定する（外線着信）

無応答転送モード中に外線から個別着信があった場合の転送先など、外線着信に対する転送動作を設定します。

1 [電話機の各種転送] - [無応答転送] 画面を表示して（⇒ P.115）、[外線着信] タブをクリックします。

無応答転送

ヘルプ?

Top > 無応答転送 > 内線着信

内線着信 | 外線着信 | 専用線着信 | 関連設定

内線着信時転送設定

内線からの個別着信時に一定時間応答しなかった場合、設定した無応答転送先への転送設定を行います。
(*)は必須設定項目です。

内線番号(*) 108 選択 (半角数字1~4桁)

転送種別	付加情報
<input type="radio"/> 内線転送	内線番号 <input type="text"/> (半角数字1~4桁) ※1 ツインコール <input type="radio"/> 無し <input type="radio"/> 有り
<input type="radio"/> 外線転送	相手先番号 <input type="text"/> (半角32桁以内) ※1 発信種別 外線 方路番号 <input type="text"/> (方路指定選択時のみ有効、0~63) ツインコール <input type="radio"/> 無し <input type="radio"/> 有り
<input type="radio"/> DGLグループ転送	グループ番号 <input type="text"/> (0~99) ※1
<input type="radio"/> 内線代表転送	
<input checked="" type="radio"/> 転送せずに着信を継続	

※1 対象の転送種別が選択された時のみ必須設定項目です

設定 初期化 一括設定

[外線着信] タブの設定内容に切り替わります。

2 [内線番号] に転送動作を設定する内線番号を入力し、[選択] をクリックします。

- 一般ユーザの場合は、ご自分の内線のみ設定できます。

3 [転送種別] で目的の転送先をクリックし、必要に応じて [付加情報] の項目を設定します。

外線着信 | 外線着信 | 専用線着信 | 関連設定

外線着信時転送設定

外線からの個別着信時に一定時間応答しなかった場合、設定した無応答転送先への転送設定を行います。
(*)は必須設定項目です。

内線番号(*) 108 選択 (半角数字1~4桁)

転送種別	付加情報
<input type="radio"/> 内線転送	内線番号 <input type="text"/> (半角数字1~4桁) ※1 ツインコール <input type="radio"/> 無し <input type="radio"/> 有り
<input type="radio"/> 外線転送	相手先番号 <input type="text"/> (半角32桁以内) ※1 発信種別 外線 方路番号 <input type="text"/> (方路指定選択時のみ有効、0~63) ツインコール <input type="radio"/> 無し <input type="radio"/> 有り
<input type="radio"/> DGLグループ転送	グループ番号 <input type="text"/> (0~99) ※1
<input type="radio"/> MSAグループ転送	グループ番号 <input type="text"/> (0~99) ※1
<input type="radio"/> 内線代表転送	
<input type="radio"/> 一般着信	
<input type="radio"/> ガイダンス応答録音	<input checked="" type="radio"/> 固定ガイダンス <input type="text"/> /パターン1 <input type="radio"/> ユーザガイダンス <input type="text"/> (0~99) ※2 <input checked="" type="radio"/> 録音無し <input type="radio"/> 録音有り - メールボックス番号 <input type="text"/> (半角数字1~8桁) ※3 - 録音通知方法 <input type="checkbox"/> 電話呼出 <input type="checkbox"/> Eメール ※4
<input type="radio"/> 終了ガイダンス	<input checked="" type="radio"/> 固定ガイダンス <input type="radio"/> ユーザガイダンス <input type="text"/> (0~99) ※2

※1 対象の転送種別が選択された時のみ必須設定項目です
 ※2 ユーザガイダンスが選択された時のみ必須設定項目です
 ※3 録音有りを選択された時のみ必須設定項目です
 ※4 通知先はボイスメールの画面から設定してください

設定 初期化 一括設定

項目	内容
内線転送	外線からの着信を指定した内線番号に転送します。
	内線番号 転送先の内線番号を入力します。
	ツインコール 外線への転送時に、転送元の着信を停止するか継続するかを選択します。 停止する場合は[無し]を、継続する場合は[有り]を選択します。
外線転送	外線からの着信を指定した外線の電話番号に転送します。
	相手先番号 転送先の電話番号を入力します。 ● 最大 32 桁まで登録できます。 ● 半角の 0 ~ 9、*、#、特殊コード（-：オートポーズ、P：PB 切替）が入力できます。
	発信種別 プルダウンメニューから転送先の電話番号種別を選択します。 外線 ：回線を指定せず、使用できるいずれかの外線で転送します。 特番展開 ：入力した閉番号により専用線で転送します（※ 1）。 PBX ：主装置に接続されている構内交換機（PBX）を経由して外線へ転送します。 方路指定 ：方路（回線の束）を指定して転送します。この場合、方路番号も入力します。
	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 転送先の設定については、『取扱説明書（多機能電話機編）』－「3-5 電話に応答できないときの便利な機能」を参照してください。 ● 方路番号などの用語については、『取扱説明書（多機能電話機編）』－「A-1 用語説明」を参照してください。 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>工事設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [特番展開] は [相手先番号] として閉番号を利用する場合に選択します。閉番号の設定については、販売店にご確認ください。 ● 設定されている方路番号については、販売店にご確認ください。 </div> <p>（※ 1）転送リモコン特番も入力できます。</p>
ツインコール 外線への転送時に、転送元の着信を停止するか継続するかを選択します。 停止する場合は[無し]を、継続する場合は[有り]を選択します。	
DGL グループ転送	外線からの着信を指定した DGL グループ内の内線に転送します。
グループ番号	転送先の DGL グループ番号を入力します。
MSA グループ転送	外線からの着信を指定した MSA グループ内の内線に転送します。
グループ番号	転送先の MSA グループ番号を入力します。
内線代表転送	外線からの着信を内線代表機能に基づいて転送します。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>工事設定</p> <p>内線代表機能については、販売店にご相談ください。</p> </div>
一般着信	一定時間応答がない場合、個別着信などを着信しても一般着信になります。

項目		内容
ガイダンス応答録音		外線からの着信に音声ガイダンスで応答し、メールボックスにメッセージを録音します。
応答ガイダンス	固定ガイダンス / ユーザガイダンス	<p>ガイダンスの種類を [固定ガイダンス] ([パターン 1]/[パターン 2]) または [ユーザガイダンス] から選択します。 [ユーザガイダンス] を選択した場合は、利用するユーザガイダンス番号を入力します。</p> <p>MEMO</p> <p>ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送] を使って登録できます (➡ P.90)。</p>
	録音無し / 録音有り	<p>相手のメッセージを録音するかどうかを選択します。 [録音有り] を選択した場合、メールボックス番号を入力します。 また、[録音通知方法] でメールボックスにメッセージが録音されたことを通知する方法を選択します。 [電話呼出] または [Eメール] (あるいは両方) をチェックして選択します。 録音通知しない場合は、両項目ともチェックを外します。</p> <p>工事設定</p> <p>Eメールを使用するには、工事設定 (Eメール機能利用情報、メール送受信サーバ情報など) が必要です。</p> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> ● メッセージ録音の通知は、[ボイスメール] の通知先に指定した電話番号または Eメールアドレスに通知されます (➡ P.71)。 ● メッセージの録音最大時間は 1 ~ 255 分の範囲で指定できます。
終了ガイダンス	固定ガイダンス / ユーザガイダンス	<p>ガイダンスの種類を [固定ガイダンス] または [ユーザガイダンス] から選択します。 [ユーザガイダンス] を選択した場合は、利用するユーザガイダンス番号を入力します。</p> <p>MEMO</p> <p>ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送] を使って登録できます (➡ P.90)。</p>
転送せずに着信を継続		外線からの着信を転送せずに、そのまま継続させます。

4 [設定] をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化] をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。
- ここでの設定を内線、専用線からの着信にも適用する場合は、[一括設定] をクリックします。

ポップアップが表示されます。

5 表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

外線から着信があった場合の無応答転送動作が設定されます。

- [一括設定] をクリックした場合は、内線および専用線からの着信時にも同じ設定が適用されます。

■専用線着信時の転送動作を設定する（専用線着信）

無応答転送モード中に専用線から着信があった場合の転送先など、専用線着信に対する転送動作を設定します。

- 1 [電話機の各種転送] - [無応答転送] 画面を表示して（⇒ P.115）、[専用線着信] タブをクリックします。

[専用線着信] タブの設定内容に切り替わります。

- 2 [内線番号] に転送動作を設定する内線番号を入力し、[選択] をクリックします。

- 一般ユーザの場合は、ご自分の内線のみ設定できます。

- 3 [転送種別] で目的の転送先をクリックし、必要に応じて [付加情報] の項目を設定します。



項目	内容
内線転送	専用線からの着信を指定した内線番号に転送します。
内線番号	転送先の内線番号を入力します。
ツインコール	内線への転送時に、転送元の着信を停止するか継続するかを選択します。 停止する場合は[無し]を、継続する場合は[有り]を選択します。
外線転送	専用線からの着信を指定した外線の電話番号に転送します。
相手先番号	転送先の電話番号を入力します。 ● 最大 32 桁まで登録できます。 ● 半角の 0 ~ 9、*、#、特殊コード（-: オートポーズ、P: PB 切替）が入力できます。
発信種別	プルダウンメニューから転送先の電話番号種別を選択します。 外線: 回線を指定せず、使用できるいずれかの外線で転送します。 特番展開: 入力した閉番号により専用線で転送します。 PBX: 主装置に接続されている構内交換機 (PBX) を経由して外線へ転送します。 方路指定: 方路 (回線の束) を指定して転送します。この場合、方路番号も入力します。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 転送先の設定については、『取扱説明書 (多機能電話機編)』- 「3-5 電話に应答できないときの便利な機能」を参照してください。 ● 方路番号などの用語については、『取扱説明書 (多機能電話機編)』- 「A-1 用語説明」を参照してください。 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>工事設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [特番展開] は [相手先番号] として閉番号を利用する場合に選択します。閉番号の設定については、販売店にご確認ください。 ● 設定されている方路番号については、販売店にご確認ください。 </div>
ツインコール	外線への転送時に、転送元の着信を停止するか継続するかを選択します。 停止する場合は[無し]を、継続する場合は[有り]を選択します。
DGL グループ転送	専用線からの着信を指定した DGL グループ内の内線に転送します。
グループ番号	転送先の DGL グループ番号を入力します。
内線代表転送	専用線からの着信を内線代表機能に基づいて転送します。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>工事設定</p> <p>内線代表機能については、販売店にご相談ください。</p> </div>

項目		内容
ガイダンス応答録音		専用線からの着信に音声ガイダンスで応答し、メールボックスにメッセージを録音します。
応答ガイダンス	固定ガイダンス / ユーザガイダンス	<p>ガイダンスの種類を [固定ガイダンス] ([パターン 1] / [パターン 2]) または [ユーザガイダンス] から選択します。 [ユーザガイダンス] を選択した場合は、利用するユーザガイダンス番号を入力します。</p> <p>MEMO</p> <p>ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送] を使って登録できます (→ P.90)。</p>
	録音無し / 録音有り	<p>相手のメッセージを録音するかどうかを選択します。 [録音有り] を選択した場合、メールボックス番号を入力します。また、[録音通知方法] でメールボックスにメッセージが録音されたことを通知する方法を選択します。[電話呼出] または [E メール] (あるいは両方) をチェックして選択します。録音通知しない場合は、両項目ともチェックを外します。</p> <p>工事設定</p> <p>E メールを使用するには、工事設定 (E メール機能利用情報、メール送受信サーバ情報など) が必要です。</p> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> メッセージ録音の通知は、[ボイスメール] の通知先に指定した電話番号または E メールアドレスに通知されず (→ P.71)。 メッセージの録音最大時間は 1 ~ 255 分の範囲で指定できます。
終了ガイダンス	固定ガイダンス / ユーザガイダンス	<p>ガイダンスの種類を [固定ガイダンス] または [ユーザガイダンス] から選択します。 [ユーザガイダンス] を選択した場合は、利用するユーザガイダンス番号を入力します。</p> <p>MEMO</p> <p>ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送] を使って登録できます (→ P.90)。</p>
転送せずに着信を継続		専用線からの着信を転送せずに、そのまま継続させます。

4 [設定] をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化] をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。
- ここでの設定を内線、外線からの着信にも適用する場合は、[一括設定] をクリックします。

ポップアップが表示されます。

5 表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

専用線から着信があった場合の無応答転送動作が設定されます。

- [一括設定] をクリックした場合は、内線および外線からの着信時にも同じ設定が適用されます。

■無応答転送するまでの時間を設定する（関連設定）

無応答転送を始めるまでの時間を設定します。

1 [電話機の各種転送] - [無応答転送] 画面を表示して (⇒ P.115)、[関連設定] タブをクリックします。

[関連設定] タブの設定内容に切り替わります。

無応答転送

ヘルプ?

Top > 無応答転送 > 内線着信

内線着信 外線着信 専用線着信 **関連設定**

内線着信時転送設定

内線からの個別着信時に一定時間応答しなかった場合、設定した無応答転送先への転送設定を行います。
(*)は必須設定項目です。

内線番号(*) 108 選択 (半角数字1~4桁)

転送種別	付加情報
<input type="radio"/> 内線転送	内線番号 (半角数字1~4桁) ※1 ツインコール <input type="radio"/> 無し <input type="radio"/> 有り
<input type="radio"/> 外線転送	相手先番号 (半角32桁以内) ※1 発信種別 外線 方路番号 0 (方路指定選択時のみ有効、0~63) ツインコール <input type="radio"/> 無し <input type="radio"/> 有り
<input type="radio"/> DGLグループ転送	グループ番号 (0~99) ※1
<input type="radio"/> 内線代表転送	
<input checked="" type="radio"/> 転送せずに着信を継続	

※1 対象の転送種別が選択された時のみ必須設定項目です

設定 初期化 一括設定

2 [内線番号] に転送動作を設定する内線番号を入力し、[選択] をクリックします。

- 一般ユーザの場合は、ご自分の内線のみ設定できます。

3 [無応答タイム指定] に無応答転送を始めるまでの秒数を入力します。

- 10～180秒の間で指定できます。

内線着信 外線着信 専用線着信 **関連設定**

関連設定

一定時間応答しなかった場合、無応答となり転送先への転送動作を行う時間の設定を行います。
(*)は必須設定項目です。

内線番号(*) 108 選択 (半角数字1~4桁)

無応答タイム指定(*) 30 秒 (10~180)

設定 初期化

4 [設定] をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化] をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。

ポップアップが表示されます。

5 表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

無応答転送が始まるまでの時間が設定されます。

圏外転送の動作を設定する（圏外転送）

圏外転送とは、電話がかかってきたときにデジタルコードレス電話機（UM）や SIP 電話機が圏外で応答できない場合に、指定した転送先に電話を転送する機能です。圏外転送モード中の着信種別ごとの動作を設定できます。

ここでは、以下の3つの操作について説明します。

- 内線着信時の転送動作を設定する（内線着信）（⇒ P.125）
- 外線着信時の転送動作を設定する（外線着信）（⇒ P.127）
- 専用線着信時の転送動作を設定する（専用線着信）（⇒ P.130）

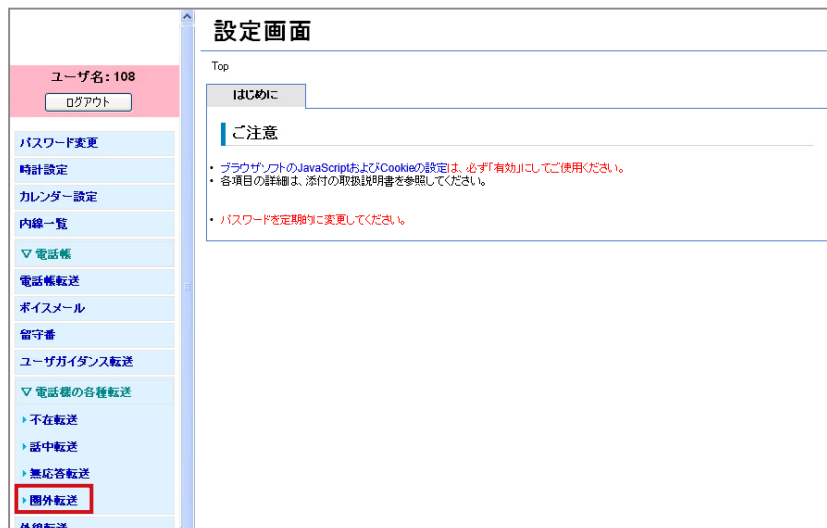
■ 内線着信時の転送動作を設定する（内線着信）

圏外転送モード中に内線から着信があった場合の転送先など、内線着信に対する転送動作を設定します。

1 Web 設定を起動します。

参照 第1章の「Web 設定の起動と終了」（⇒ P.3）

2 左メニューで「電話機の各種転送」－「圏外転送」をクリックします。



「電話機の各種転送」－「圏外転送」の「内線着信」タブが表示されます。



3 [内線番号] に転送動作を設定する内線番号を入力し、[選択] をクリックします。

- 一般ユーザの場合は、ご自分の内線のみ設定できます。

4 [転送種別] で目的の転送先をクリックし、必要に応じて [付加情報] の項目を設定します。

項目	内容
内線転送	内線からの着信を指定した内線番号に転送します。
内線番号	転送先の内線番号を入力します。
外線転送	内線からの着信を指定した外線の電話番号に転送します。
相手先番号	転送先の電話番号を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> ● 最大 32 桁まで登録できます。 ● 半角の 0 ~ 9、*、#、特殊コード（-：オートポーズ、P：PB 切替）が入力できます。
発信種別	プルダウンメニューから転送先の電話番号種別を選択します。 外線 ：回線を指定せず、使用できるいずれかの外線で転送します。 特番展開 ：入力した閉番号により専用線で転送します。 PBX ：主装置に接続されている構内交換機（PBX）を経由して外線へ転送します。 方路指定 ：方路（回線の束）を指定して転送します。この場合、方路番号も入力します。
<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 転送先の設定については、『取扱説明書（多機能電話機編）』－「3-5 電話に应答できないときの便利な機能」を参照してください。 ● 方路番号などの用語については、『取扱説明書（多機能電話機編）』－「A-1 用語説明」を参照してください。 </div>	
<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>工事設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [特番展開] は [相手先番号] として閉番号を利用する場合に選択します。閉番号の設定については、販売店にご確認ください。 ● 設定されている方路番号については、販売店にご確認ください。 </div>	
DGL グループ転送	内線からの着信を指定した DGL グループ内の内線に転送します。
グループ番号	転送先の DGL グループ番号を入力します。

つづく➡

項目	内容
内線代表転送	内線からの着信を内線代表機能に基づいて転送します。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 工事設定 内線代表機能については、販売店にご相談ください。 </div>
転送無し[切断]	内線からの着信を転送せずに、そのまま切断します。

5 [設定]をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化]をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。
- ここでの設定を外線、専用線からの着信にも適用する場合は、[一括設定]をクリックします。

ポップアップが表示されます。

6 表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

- 内線から着信があった場合の圏外転送動作が設定されます。
- [一括設定]をクリックした場合は、外線および専用線からの着信時にも同じ設定が適用されます。

■外線着信時の転送動作を設定する(外線着信)

圏外転送モード中に外線から個別着信があった場合の転送先など、外線着信に対する転送動作を設定します。

1 [電話機の各種転送] - [圏外転送] 画面を表示して (⇒ P.125)、[外線着信] タブをクリックします。

The screenshot shows the '圏外転送' (Out of Area Transfer) configuration page. The '外線着信' (Out of Area Incoming Call) tab is selected. The main content area is titled '内線着信時転送設定' (In-line Incoming Call Transfer Setting). It includes a note about setting transfer destinations for calls from internal lines during out-of-area transfer mode. Below this, there are input fields for '内線番号(*)' (Internal Number) and a '選択' (Select) button. A table titled '付加荷役' (Additional Services) lists various transfer options with their respective settings:

転送種別	付加荷役
<input type="radio"/> 内線転送	内線番号 <input type="text"/> (半角数字1~4桁) ※1
<input type="radio"/> 外線転送	相手先番号 <input type="text"/> (半角32桁以内) ※1 発信種別 <input type="text"/> (発信種別選択時のみ有効、0~63) 方路番号 <input type="text"/> (方路指定選択時のみ有効、0~63)
<input type="radio"/> DGLグループ転送	グループ番号 <input type="text"/> (0~99) ※1
<input type="radio"/> 内線代表転送	
<input checked="" type="radio"/> 転送無し[切断]	

At the bottom, there are buttons for '設定' (Set), '初期化' (Reset), and '一括設定' (Batch Setting).

[外線着信] タブの設定内容に切り替わります。

2 [内線番号] に転送動作を設定する内線番号を入力し、[選択] をクリックします。

- 一般ユーザの場合は、ご自分の内線のみ設定できます。

3 [転送種別] で目的の転送先をクリックし、必要に応じて [付加情報] の項目を設定します。

内線着信 外線着信 専用線着信

外線着信時転送設定

外線からの個別着信時に端末（PHSまたはSIP端末）が圏外だった場合、設定した圏外転送先への転送設定を行います。
(*)は必須設定項目です。

内線番号(*) 108 選択 (半角数字1~4桁)

転送種別	付加情報
<input type="radio"/> 内線転送	内線番号 <input type="text"/> (半角数字1~4桁) ※1
<input type="radio"/> 外線転送	相手先番号 <input type="text"/> (半角32桁以内) ※1 発信種別 <input type="text"/> 外線 方路番号 <input type="text"/> (方路指定選択時のみ有効、0~63)
<input type="radio"/> DGLグループ転送	グループ番号 <input type="text"/> (0~99) ※1
<input type="radio"/> MSAグループ転送	グループ番号 <input type="text"/> (0~99) ※1
<input type="radio"/> 内線代表転送	
<input type="radio"/> 一般着信	
<input type="radio"/> ガイダンス応答録音	<input checked="" type="radio"/> 固定ガイダンス <input type="text"/> パターン1 <input type="radio"/> ユーザガイダンス <input type="text"/> (0~99) ※2 <input checked="" type="radio"/> 録音無し <input type="radio"/> 録音有り - メールボックス番号 <input type="text"/> (半角数字1~8桁) ※3 - 録音通知方法 <input type="checkbox"/> 電話呼出 <input type="checkbox"/> Eメール※4 <input checked="" type="radio"/> 固定ガイダンス <input type="radio"/> ユーザガイダンス <input type="text"/> (0~99) ※2

※1 対象の転送種別が選択された時のみ必須設定項目です
 ※2 ユーザガイダンスが選択された時のみ必須設定項目です
 ※3 録音有りを選択された時のみ必須設定項目です
 ※4 通知先はボイスメールの画面から設定してください

設定 初期化 一括設定

項目	内容
内線転送	外線からの着信を指定した内線番号に転送します。
内線番号	転送先の内線番号を入力します。
外線転送	外線からの着信を指定した外線の電話番号に転送します。
相手先番号	転送先の電話番号を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> 最大 32 桁まで登録できます。 半角の 0 ~ 9、*、#、特殊コード (-: オートポーズ、P: PB 切替) が入力できます。
発信種別	プルダウンメニューから転送先の電話番号種別を選択します。 外線 : 回線を指定せず、使用できるいずれかの外線で転送します。 特番展開 : 入力した閉番号により専用線で転送します。 PBX : 主装置に接続されている構内交換機 (PBX) を経由して外線へ転送します。 方路指定 : 方路 (回線の束) を指定して転送します。この場合、方路番号も入力します。
	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> 転送先の設定については、『取扱説明書 (多機能電話機編)』- 「3-5 電話に应答できないときの便利な機能」を参照してください。 方路番号などの用語については、『取扱説明書 (多機能電話機編)』- 「A-1 用語説明」を参照してください。 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>工事設定</p> <ul style="list-style-type: none"> [特番展開] は [相手先番号] として閉番号を利用する場合に選択します。閉番号の設定については、販売店にご確認ください。 設定されている方路番号については、販売店にご確認ください。 </div>
DGL グループ転送	外線からの着信を指定した DGL グループ内の内線に転送します。
グループ番号	転送先の DGL グループ番号を入力します。
MSA グループ転送	外線からの着信を指定した MSA グループ内の内線に転送します。
グループ番号	転送先の MSA グループ番号を入力します。

つづく➡

項目		内容
内線代表転送		<p>外線からの着信を内線代表機能に基づいて転送します。</p> <p>工事設定</p> <p>内線代表機能については、販売店にご相談ください。</p>
一般着信		圏外の場合、個別着信などを着信しても一般着信になります。
ガイダンス応答録音		<p>外線からの着信に音声ガイダンスで応答し、メールボックスにメッセージを録音します。</p>
応答ガイダンス	固定ガイダンス / ユーザガイダンス	<p>ガイダンスの種類を[固定ガイダンス]([パターン 1]/[パターン 2])または[ユーザガイダンス]から選択します。 [ユーザガイダンス]を選択した場合は、利用するユーザガイダンス番号を入力します。</p> <p>MEMO</p> <p>ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送]を使って登録できます(➡ P.90)。</p>
	録音無し / 録音有り	<p>相手のメッセージを録音するかどうかを選択します。 [録音有り]を選択した場合、メールボックス番号を入力します。また、[録音通知方法]でメールボックスにメッセージが録音されたことを通知する方法を選択します。[電話呼出]または[Eメール](あるいは両方)をチェックして選択します。録音通知しない場合は、両項目ともチェックを外します。</p> <p>工事設定</p> <p>Eメールを使用するには、工事設定(Eメール機能利用情報、メール送受信サーバ情報など)が必要です。</p> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> ●メッセージ録音の通知は、[ボイスメール]の通知先に指定した電話番号またはEメールアドレスに通知されます(➡ P.71)。 ●メッセージの録音最大時間は1～255分の範囲で指定できます。
終了ガイダンス	固定ガイダンス / ユーザガイダンス	<p>ガイダンスの種類を[固定ガイダンス]または[ユーザガイダンス]から選択します。 [ユーザガイダンス]を選択した場合は、利用するユーザガイダンス番号を入力します。</p> <p>MEMO</p> <p>ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送]を使って登録できます(➡ P.90)。</p>
転送無し[切断]		外線からの着信を転送せずに、そのまま切断します。

4 [設定]をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化]をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。
- ここでの設定を内線、専用線からの着信にも適用する場合は、[一括設定]をクリックします。ポップアップが表示されます。

5 表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

- 外線から着信があった場合の圏外転送動作が設定されます。
- [一括設定]をクリックした場合は、内線および専用線からの着信時にも同じ設定が適用されます。

■専用線着信時の転送動作を設定する（専用線着信）

圏外転送モード中に専用線から着信があった場合の転送先など、専用線着信に対する転送動作を設定します。

1 [電話機の各種転送] - [圏外転送] 画面を表示して（⇒ P.125）、[専用線着信] タブをクリックします。

[専用線着信] タブの設定内容に切り替わります。

2 [内線番号] に転送動作を設定する内線番号を入力し、[選択] をクリックします。

- 一般ユーザの場合は、ご自分の内線のみ設定できます。

3 [転送種別] で目的の転送先をクリックし、必要に応じて [付加情報] の項目を設定します。

項目	内容
内線転送	専用線からの着信を指定した内線番号に転送します。
内線番号	転送先の内線番号を入力します。
外線転送	専用線からの着信を指定した外線の電話番号に転送します。
相手先番号	転送先の電話番号を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> 最大 32 桁まで登録できます。 半角の 0 ~ 9、*、#、特殊コード（-：オートポーズ、P：PB 切替）が入力できます。
発信種別	プルダウンメニューから転送先の電話番号種別を選択します。 外線 ：回線を指定せず、使用できるいずれかの外線で転送します。 特番展開 ：入力した閉番号により専用線で転送します。 PBX ：主装置に接続されている構内交換機(PBX)を経由して外線へ転送します。 方路指定 ：方路(回線の束)を指定して転送します。この場合、方路番号も入力します。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> 転送先の設定については、『取扱説明書(多機能電話機編)』-「3-5 電話に应答できないときの便利な機能」を参照してください。 方路番号などの用語については、『取扱説明書(多機能電話機編)』-「A-1 用語説明」を参照してください。 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>工事設定</p> <ul style="list-style-type: none"> [特番展開] は [相手先番号] として閉番号を利用する場合に選択します。閉番号の設定については、販売店にご確認ください。 設定されている方路番号については、販売店にご確認ください。 </div>
DGL グループ転送	専用線からの着信を指定した DGL グループ内の内線に転送します。
グループ番号	転送先の DGL グループ番号を入力します。
内線代表転送	専用線からの着信を内線代表機能に基づいて転送します。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>工事設定</p> <p>内線代表機能については、販売店にご相談ください。</p> </div>

項目		内容
ガイダンス応答録音		専用線からの着信に音声ガイダンスで応答し、メールボックスにメッセージを録音します。
応答ガイダンス	固定ガイダンス / ユーザガイダンス	<p>ガイダンスの種類を [固定ガイダンス] ([パターン 1]) / [パターン 2]) または [ユーザガイダンス] から選択します。 [ユーザガイダンス] を選択した場合は、利用するユーザガイダンス番号を入力します。</p> <p>MEMO</p> <p>ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送] を使って登録できます (→ P.90)。</p>
	録音無し / 録音有り	<p>相手のメッセージを録音するかどうかを選択します。 [録音有り] を選択した場合、メールボックス番号を入力します。また、[録音通知方法] でメールボックスにメッセージが録音されたことを通知する方法を選択します。[電話呼出] または [E メール] (あるいは両方) をチェックして選択します。録音通知しない場合は、両項目ともチェックを外します。</p> <p>工事設定</p> <p>E メールを使用するには、工事設定 (E メール機能利用情報、メール送受信サーバ情報など) が必要です。</p> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> ● メッセージ録音の通知は、[ボイスメール] の通知先に指定した電話番号または E メールアドレスに通知されません (→ P.71)。 ● メッセージの録音最大時間は 1 ~ 255 分の範囲で指定できます。
終了ガイダンス	固定ガイダンス / ユーザガイダンス	<p>ガイダンスの種類を [固定ガイダンス] または [ユーザガイダンス] から選択します。 [ユーザガイダンス] を選択した場合は、利用するユーザガイダンス番号を入力します。</p> <p>MEMO</p> <p>ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送] を使って登録できます (→ P.90)。</p>
転送無し [切断]		専用線からの着信を転送せずに、そのまま切断します。

4 [設定] をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化] をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。
- ここでの設定を内線、外線からの着信にも適用する場合は、[一括設定] をクリックします。

ポップアップが表示されます。

5 表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

専用線から着信があった場合の圏外転送動作が設定されます。

- [一括設定] をクリックした場合は、内線および外線からの着信時にも同じ設定が適用されます。

外線転送の設定(外線転送)

管理

外線自動転送とは、外線から一般着信や DGL/MSA 着信があった場合に自動的に指定した転送先に電話を転送する機能です。外線自動転送モード中の転送先や転送動作などをテナントごとに設定できます。ここでは、以下の 3 つの操作について説明します。

- 外線自動転送モードを自動的に切り替える(タイマ連動設定) (→ P.133)
- 転送先情報を登録する(外線転送関連設定) (→ P.136)
- 外線転送回線グループごとの動作を転送モードとして登録する(転送先設定) (→ P.138)

MEMO

外線自動転送の動作は、テナントごとに設定します。Web 設定で動作を設定するときは、設定対象のテナントに所属するシステム管理電話機の内線番号でログインしてください。設定した値は、ログインした内線が所属するテナントに設定されます。

外線自動転送モードを自動的に切り替える(タイマ連動設定)

タイマ連動設定を行うと、曜日と時間帯ごとに外線自動転送モードを自動的に切り替えることができます。

- 1 Web 設定を起動します。
参照》第 1 章の「Web 設定の起動と終了」(→ P.3)
- 2 左メニューで「外線転送」をクリックします。

「外線転送」の「タイマ連動設定」タブの設定内容が表示されます。

	日	月	火	水	木	金	土	休日/祝日
00:00	転送無し	転送無し	転送無し	転送無し	転送無し	転送無し	転送無し	転送無し
01:00								
02:00								
03:00								
04:00								
05:00								
06:00								
07:00								
08:00								
09:00								
10:00								
11:00								
12:00								

3 自動切替を設定する曜日をクリックします。

タイム連動設定 関連設定 転送先設定

外線転送タイム連動設定

外線からの一斉着信、DGLUMSA着信時、外線自動転送モード中の状態であった場合、あらかじめ登録していた転送先に着信を自動的に転送を行います。
本動作モードについて、曜日[時間帯]に動作設定を行います。
各曜日をクリックし設定画面を表示してください。

	日	月	火	水	木	金	土	休日/祝祭日
00:00	転送無し	転送無し	転送無し	転送無し	転送無し	転送無し	転送無し	転送無し
01:00								
02:00								
03:00								
04:00								
05:00								
06:00								
07:00								
08:00								
09:00								
10:00								
11:00								
12:00								
13:00								
14:00								
15:00								
16:00								

4 [動作選択]で、選択した曜日の00:00に切り替わる動作モードを選択し、[時間帯1]の設定を行います。

タイム連動設定 関連設定 転送先設定

外線転送タイム連動設定(日曜日)

動作選択

動作選択 スケジュールに従う 前日モードを継続

時間帯1

開始時間 00:00

外線転送モード 外線転送1

項目	内容	
動作選択	スケジュールに従う	登録したスケジュールどおりに動作させます。
	前日モードを継続	前日と同じモードに設定します。
時間帯1	開始時間	[時間帯1]は00:00に固定されています。
	外線転送モード	外線転送モードをプルダウンメニューから選択します。 転送無し:外線自動転送をOFFに設定します。 外線転送1~外線転送8:[転送先設定]タブで設定した転送モード1~転送モード8にそれぞれ対応しています(➡P.138)。

5 [時間帯 2] ~ [時間帯 10] の項目を設定します。

必要な時間帯のみ設定します。

不要な時間帯を削除するには [削除] をクリックします。

項目	内容
開始時間	00:01 ~ 23:59 の範囲で時間帯を入力します。
外線転送モード	外線転送モードをプルダウンメニューから選択します。 転送無し : 外線自動転送を OFF に設定します。 外線転送 1 ~ 外線転送 8 : [転送先設定] タブで設定した転送モード 1 ~ 転送モード 8 にそれぞれ対応しています (➡ P.138)。
コピー先	設定した内容を違う曜日にコピーする場合、[コピー先] で目的の曜日にチェックを入れます。

6 [設定] をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化] をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。

ポップアップが表示されます。

7 表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

選択した曜日と時間帯の外線転送モードが登録され、タイムテーブルに表示されます。

転送先情報を登録する(外線転送関連設定)

外線自動転送モード中に外線からの一般着信、DGL/MSA 着信があったときの転送先と転送開始時間を登録します。最大 8 件まで登録できます。

1 [外線転送] 画面を表示して(⇒ P.133)、[関連設定] タブをクリックします。

[関連設定] タブの設定内容に切り替わります。

2 転送先情報を設定します。

相手先	相手先番号	発信種別	方路番号
相手先1	090-1111-2222	外線	0
相手先2		外線	0
相手先3		外線	0
相手先4		外線	0
相手先5		外線	0
相手先6		外線	0
相手先7		外線	0
相手先8		外線	0

外線転送起動時間(*) 9 秒 (0~180)

転送中着信鳴動 鳴動しない 鳴動する

*1 未入力の場合は相手先番号無しとなります

設定 初期化

つづく →

(*)の付いた項目は必ず登録してください。

項目		内容
相手先情報	相手先 1 ~ 相手先 8	<p>転送先の電話番号を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 最大 32 桁まで登録できます。 半角の 0 ~ 9、*、#、特殊コード（-:オートポーズ、P:PB 切替）が入力できます。 <p>[発信種別]のプルダウンメニューから転送先の電話番号種別を選択します。</p> <p>外線:回線を指定せず、使用できるいずれかの外線で転送します。 特番展開:入力した閉番号により専用線で転送します。 PBX:主装置に接続されている構内交換機(PBX)を経由して外線へ転送します。 方路指定:方路(回線の束)を指定して転送します。この場合、方路番号も入力します。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> 転送先の設定については、『取扱説明書(多機能電話機編)』-「3-5 電話に应答できないときの便利な機能」を参照してください。 方路番号などの用語については、『取扱説明書(多機能電話機編)』-「A-1 用語説明」を参照してください。 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>工事設定</p> <ul style="list-style-type: none"> [特番展開]は[相手先番号]として閉番号を利用する場合に選択します。閉番号の設定については、販売店にご確認ください。 設定されている方路番号については、販売店にご確認ください。 </div>
	外線転送起動時間 *	<p>外線自動転送を開始するまでの秒数を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 0 ~ 180 秒の範囲で指定できます。
	転送中着信鳴動	<p>外線自動転送中に転送先と着信先(着信設定に従った着信先)の内線を同時に呼び出すか、転送先のみ呼び出すかを設定することができます。</p> <p>鳴動しない:転送先のみ呼び出す設定です。転送が開始されるとともに着信先(着信設定に従った着信先)の内線の着信音は鳴り止みます。 鳴動する:転送先呼出中に内線も同時に呼び出します。転送開始後も着信先(着信設定に従った着信先)の内線の着信音が鳴り続けます。</p>

3 [設定]をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化]をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。

ポップアップが表示されます。

4 表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

外線自動転送の転送先と起動時間が設定されます。

外線転送回線グループごとの動作を転送モードとして登録する(転送先設定)

外線自動転送モード中に外線からの一般着信、DGL/MSA 着信があったときの、外線転送回線グループごとの動作を転送モードとして登録します。8 種類の転送モード([モード 1]～[モード 8])を登録できます。

1 [外線転送] 画面を表示して(⇒ P.133)、[転送先設定] タブをクリックします。

ユーザ名:108
ログアウト

パスワード変更
時計設定
カレンダー設定
内線一覧
電話帳
電話帳転送
ボイスメール
留守番
ユーザガイド転送
電話帳の各種転送
外線転送
オートダイヤル登録
メモ転送
IVR
ですでRSS
タイム連動

ヘルプ?

Top > 外線転送 > タイム連動設定

タイム連動設定 関連設定 **転送先設定**

外線転送タイム連動設定

外線からの一般着信、DGL/MSA着信時、外線自動転送モード中の状態であった場合、あらかじめ登録していた転送先に着信を自動的に転送を行います。
本転送動作について、曜日・時間帯に動作設定を行います。
各曜日をクリックし設定画面を表示してください。

	日	月	火	水	木	金	土	休日/祝日
00:00	モード1	転送無し	転送無し	転送無し	転送無し	転送無し	転送無し	転送無し
01:00								
02:00								
03:00								
04:00								
05:00								
06:00								
07:00								
08:00								
09:00								
10:00								
11:00								
12:00								
13:00								
14:00								
15:00								
16:00								

[転送先設定] タブの設定内容に切り替わります。

2 [外線転送] のプルダウンメニューから登録先の転送モードを選択し、[選択] をクリックします。

タイム連動設定 関連設定 **転送先設定**

外線転送先設定

外線からの一般着信、DGL/MSA着信時、外線自動転送モード中の状態であった場合、外線転送関連で設定した転送先番号を外線転送回線グループ(グループA～D)毎に設定を行います。

外線転送 モード1 選択

3 以下の項目を設定し、外線転送回線グループ(グループA～グループD)ごとの動作を指定します。

タイム連動設定 関連設定 **転送先設定**

外線転送先設定

外線からの一般着信、DGL/MSA着信時、外線自動転送モード中の状態であった場合、外線転送関連で設定した転送先番号を外線転送回線グループ(グループA～D)毎に設定を行います。

外線転送 モード1 選択

グループA

転送種別: 通常

相手先指定: 1: 相手先1/090-1111-2222, 2: 相手先2 (転送先2は順次、同時選択のみ有効)

グループB

転送種別: 通常

相手先指定: 1: 相手先1/090-1111-2222, 2: 相手先2 (転送先2は順次、同時選択のみ有効)

グループC

転送種別: 通常

相手先指定: 1: 相手先1/090-1111-2222, 2: 相手先2 (転送先2は順次、同時選択のみ有効)

グループD

転送種別: 通常

相手先指定: 1: 相手先1/090-1111-2222, 2: 相手先2 (転送先2は順次、同時選択のみ有効)

設定 初期化

つづく →

項目	内容
転送種別	プルダウンメニューから転送種別を選択します。 転送無し : 転送を行いません。 通常 : [相手先指定]の[1:]で選択した相手先に転送します。 順次 : [相手先指定]の[1:]で選択した相手先に転送を試み、相手先が話中または無応答転送モードの場合、[2:]で選択した相手先に転送します。 同時 : [相手先指定]の[1:]と[2:]で選択した相手先に同時に転送します。
相手先指定	[1:]のプルダウンメニューから転送先電話番号を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> プルダウンメニューには、[外線転送関連]タブで登録した相手先電話番号が表示されます。 [転送種別]で[順次]または[同時]を選択した場合のみ、[2:]の相手先を選択します。

4 [設定]をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化]をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。

ポップアップが表示されます。

5 表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

外線自動転送の転送モードが設定されます。

オートダイヤルの割り付け(オートダイヤル登録)

管理

一般

多機能電話機のオートダイヤルボタンに外線、ワンタッチダイヤルなどの機能を割り付けることができます。すでに割り付けられている機能を変更することもできます。また、Com@WILL ソフトフォンのランプに機能を割り付けて、ランプ表示を設定することができます。

オートダイヤルボタンに機能を割り付ける

オートダイヤルボタンに外線、ワンタッチダイヤルなどの機能を割り付けることができます。また、すでに割り付けられている機能を変更することもできます。

1

Web 設定を起動します。

参照)第 1 章の「Web 設定の起動と終了」(→ P.3)

2

左メニューで[オートダイヤル登録]をクリックします。

[オートダイヤル登録]の設定内容が表示されます。

3 [内線番号]にオートダイヤルに機能を割り付ける内線番号を入力し、[選択]をクリックします。

- 一般ユーザの場合は、ご自分の内線のみ設定できます。

4 オートダイヤルボタンをクリックします。

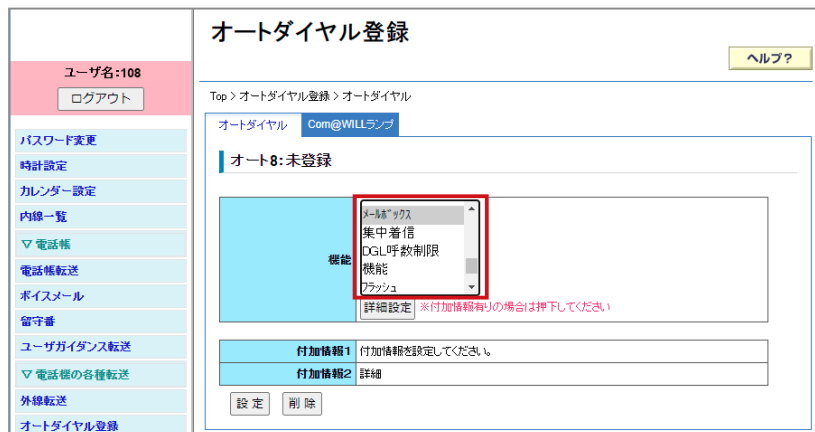
- すでに機能が割り付けられているオートダイヤルボタンをクリックすると、機能を割り付けなおすことができます。



選択したオートダイヤルボタンの設定画面に切り替わります。

5 [機能]の一覧から目的の機能を選択します。

- 機能一覧には、オートダイヤルに割り付けられる機能がすべて表示されています。



- 付加情報の入力が必要な場合は、手順 6 ~ 7 を操作してください。
- 付加情報の入力が不要な場合は、手順 9 へ進んでください。

6 (付加情報の入力が必要な場合) [詳細設定]をクリックします。

選択した機能の詳細設定画面に切り替わります。

7 詳細設定画面で、プルダウンメニューから付加情報を選択し、[確定]をクリックします。

ポップアップが表示されます。

8 表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

オートダイヤルボタンの設定画面に戻ります。

9 [設定] をクリックします。

- 未登録にするには、[削除] をクリックします。

ポップアップが表示されます。

10 表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

オートダイヤルに機能が割り付けられます。

Com@WILL ソフトフォンのランプに機能を割り付ける **管理** **一般**

Com@WILL ソフトフォンのランプに機能を割り付けて、ランプ表示を設定することができます。同じ機能が割り付けられた Com@WILL ソフトフォンのランプと多機能電話機のオートダイヤルボタンのランプは、連動して点滅 / 消灯します。

MEMO

本バージョンでランプ設定が可能なソフトフォンは、Com@WILL Light (R11.5.006以降)のみです。Com@WILL Soft Phone Smart はサポートしておりません。

工事設定

本バージョンでランプ設定が可能な機能(ランプ種別)は、「パーク保留」のみです。この機能を使用する場合は、あらかじめ電話機のオートダイヤルボタンにパーク保留機能を割り付け、以下のいずれかの特番を登録しておく必要があります。オートダイヤルボタンの割り付けと特番の登録は工事者が行います。販売店にご相談ください。

- パークシーケンス保留 / 応答特番 + パークシーケンス番号 (000 ~ 127)
 - パーク保留 / 応答特番 + パークトランク番号 (000 ~ 127)
 - 拡張内線番号 (例: 17, 18, 19 ···)
- ※パーク保留については『取扱説明書(多機能電話機編)』を参照してください。

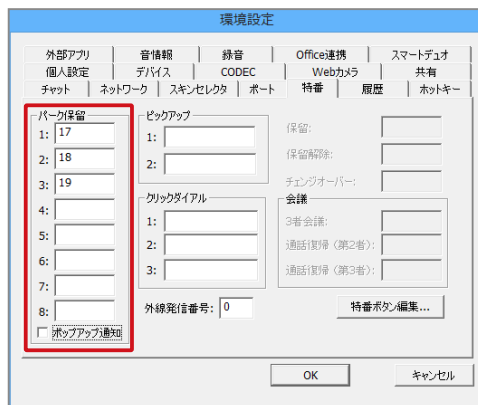
ここでは、Com@WILL ソフトフォンのランプに、パーク保留の機能を割り付ける方法について説明します。

まず、Com@WILL ソフトフォンに特番を設定したあと、**Web 設定**でランプに機能を割り付けます。

1 Com@WILL ソフトフォンを起動し、パーク保留の特番を設定します。

[環境設定] - [特番] タブの [パーク保留 1 ~ 8] に、主装置に設定されたパーク保留 1 ~ 8 の特番を入力します (詳細は Com@WILL ヘルプマニュアルを参照)。主装置に設定された特番は工事者にお尋ねください。

■ [環境設定] - [特番] タブ画面の入力例

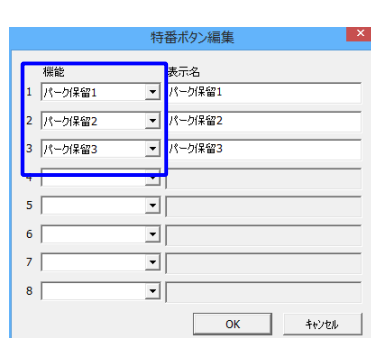


■ 主装置の特番設定 (例)

機能種別	主装置に設定された特番	ダイヤル番号
パーク保留 1	17 拡張内線番号	14120
パーク保留 2	18 拡張内線番号	14121
パーク保留 3	19 拡張内線番号	14122
パーク保留 4	20 拡張内線番号	14123
パーク保留 5	21 拡張内線番号	14124
パーク保留 6	22 拡張内線番号	14125
パーク保留 7	23 拡張内線番号	14126
パーク保留 8	24 拡張内線番号	14127

※パーク保留 / 応答特番: 14、
パークトランク番号: 120 ~ 127 の場合

- [環境設定] - [特番] タブ画面で [特番ボタン編集] をクリックすると、「特番ボタン編集」画面が表示されます。[機能] 欄のプルダウンから機能を選択して、特番ボタンに機能を割り付けてください。



※パーク保留 1、2、3 の特番を設定した場合は、特番ボタン 1、2、3 にそれぞれパーク保留 1、2、3 を割り付けてください。



Com@WILL ソフトフォン

2

Web 設定を起動します。

参照)第 1 章の「Web 設定の起動と終了」(→ P.3)

- 一般ユーザの場合は、設定対象の Com@WILL ソフトフォンの内線番号でログインしてください。

3

左メニューで[オートダイヤル登録]をクリックします。

[オートダイヤル登録]画面が表示されます。

4

[Com@WILL ランプ]タブをクリックします。

オートダイヤル登録

ヘルプ?

ユーザ名:108
ログアウト

パスワード変更
時計設定
カレンダー設定
内線一覧
▽ 電話帳
電話帳転送
ボイスメール
留守番
ユーザガイド転送
▽ 電話帳の各種転送
外線転送
オートダイヤル登録
Xロディ転送
IVR
ですくdeRSS
タイマ運動
Webカメラ

Top > オートダイヤル登録 > オートダイヤル

オートダイヤル **Com@WILL ランプ**

オートダイヤル

電話帳のオートダイヤルボタンの登録はボタンのランプユニットにワンタッチダイヤル、ファンクション、電話帳ワンタッチ、内線番号、メールボックス番号などの割り付け設定を行います。
各オート番号をクリックし設定画面を表示してください。
(*は必須設定項目です。)

内線番号 (*) 108 選択 (半角数字1~4桁)

25	26	27	28	29	30
留守番	未登録	未登録	未登録	未登録	自己保留
19	20	21	22	23	24
未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録
13	14	15	16	17	18
パーク	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録
7	8	9	10	11	12
未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録
1	2	3	4	5	6
外線専用線	外線専用線	外線専用線	外線専用線	未登録	未登録

Com@WILL ランプ設定画面が表示されます。

オートダイヤル登録

ヘルプ?

ユーザ名:108
ログアウト

パスワード変更
時計設定
カレンダー設定
内線一覧
▽ 電話帳
電話帳転送
ボイスメール
留守番
ユーザガイド転送

Top > オートダイヤル登録 > Com@WILL ランプ

オートダイヤル Com@WILL ランプ

Com@WILL ランプ

Com@WILLのランプユニットコバーク保留などの割り付け設定を行います。
登録箇所をクリックし設定画面を表示してください。
(*は必須設定項目です。)

内線番号 (*) 108 選択 (半角数字1~4桁)

1	2	3	4	5	6	7	8
未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録

5

[内線番号]に設定対象の Com@WILL ソフトフォンの内線番号(例:200)を入力し、[選択]をクリックします。

- 一般ユーザはここでは入力できません。

選択した内線 (Com@WILL ソフトフォン) のランプ表示エリア 1 ~ 8 (ランプユニット) の機能の登録状況が画面に表示されます。

オートダイヤル Com@WILL ランプ

Com@WILL ランプ

Com@WILLのランプユニットコバーク保留などの割り付け設定を行います。
登録箇所をクリックし設定画面を表示してください。
(*は必須設定項目です。)

内線番号 (*) 200 選択 (半角数字1~4桁)

1	2	3	4	5	6	7	8
未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録

ランプ表示エリア
(ランプ 1 ~ 8)



※機能が登録されているランプのボタンには機能名が表示されます。

※グレー表示されている場合は正しくデータ設定が行われていません。販売店にご相談ください。

6 ランプ(1～8)のボタンをクリックします。

- すでに機能が割り付けられているランプのボタンをクリックすると、機能を割り付けなおすことができます。

機能登録画面が表示されます。

7 [機能] 欄で、割り付ける機能を選択して、[情報設定] をクリックします。

「ランプ1」に機能を割り付ける場合は、「パーク保留1」を選択します。

情報設定画面が表示されます。

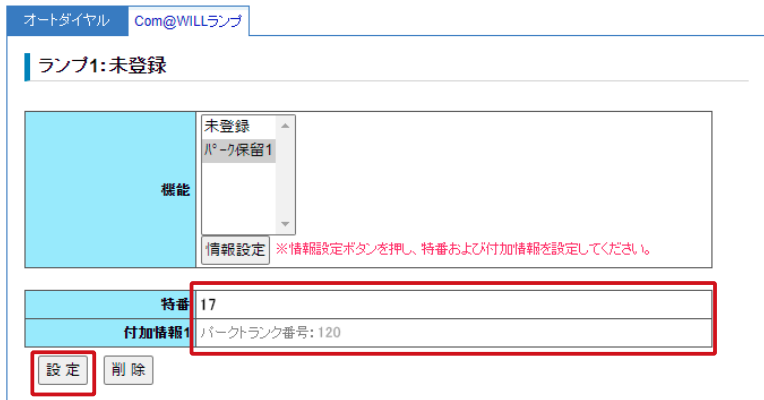
8 [特番] 欄に、機能に対応する特番を入力して、[確定] をクリックします。

機能に対応する特番は、Com@WILL ソフトフォンの [環境設定] - [特番] タブ画面で確認します。前の手順で「パーク保留1」を選択した場合は、[特番] タブの「パーク保留1」に設定されている特番（以下の画面例では「17」）を入力してください。

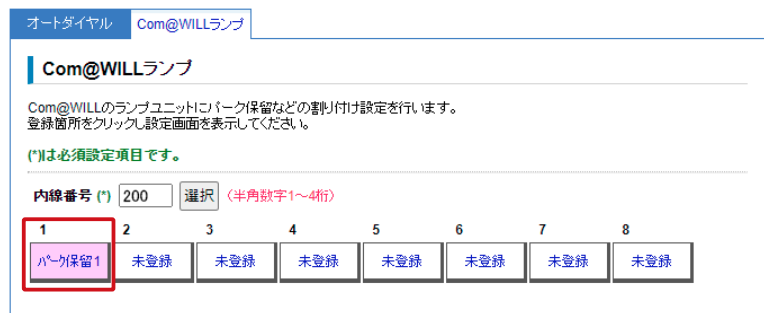
< Com@WILL ソフトフォンの [環境設定] - [特番] タブ画面 >

機能登録画面に戻り、設定した特番とそれに対応する付加情報が表示されます。

9 特番と付加情報を確認し、[設定]をクリックします。

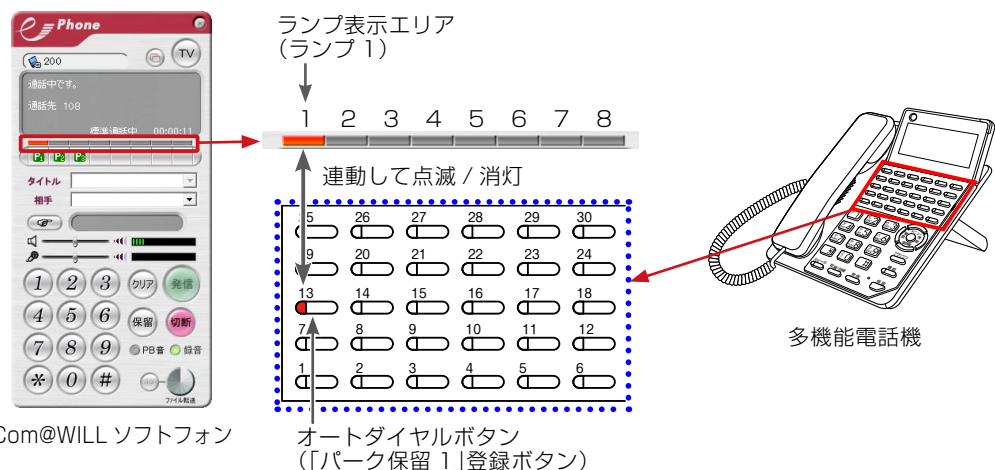


Com@WILL ランプ設定画面に戻ります。機能が割り付けられたランプボタンは、機能名が表示されピンク色になります。



上の画面は、Com@WILL ソフトフォンのランプ 1 に、[パーク保留 1]の機能が割り付けられたことを示しています。

設定が完了すると、Com@WILL ソフトフォンのランプ 1 は、同じ機能が割り付けられた多機能電話機のオートダイヤルボタンのランプと連動して点滅 / 消灯ようになります。



■ Com@WILL ソフトフォンのランプと多機能電話機のオートダイヤルボタンのランプ表示:

パーク保留の状態	対象	Com@WILL ソフトフォン	多機能電話機
保留なし	—	消灯	消灯
パーク保留中	操作内線	点滅 (緑)	中点滅 (緑)
パーク保留の強制転送警報中	操作内線以外	点滅 (赤)	中点滅 (赤)
パーク保留警報中	操作内線	点滅 (黄)	間隙速点滅 (緑)
強制転送中	転送先内線	—	間隙速点滅 (赤)
着信ウェイト中	応答操作内線	—	間隙点灯 2 (緑)
着信ウェイト中	応答操作内線以外	点滅 (赤)	間隙点灯 2 (緑)

■情報不整合の場合

Com@WILL ソフトフォンのランプの機能割り付け設定後に、主装置側で特番の設定 (拡張内線番号やパークトランク番号など) が変更されると、情報不整合となり、Web 設定画面のランプボタンが黄色になります。黄色のランプボタンをクリックして、以下の操作で整合してください。

オートダイヤル Com@WILLランプ

Com@WILLランプ

Com@WILLのランプユニットコイック保留などの割り付け設定を行います。
登録箇所をクリックし設定画面を表示してください。

(*)は必須設定項目です。

内線番号 (*) 200 選択 (半角数字1~4桁)

1	2	3	4	5	6	7	8
パーク保留1	パーク保留2	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録

※黄色のランプはシステム側にて設定が変更されています。
設定を確認し、Com@WILLランプの割り付け設定を行ってください。



オートダイヤル Com@WILLランプ

ランプ2:パーク保留2

機能	未登録 パーク保留2
	情報設定

※情報設定ボタンを押し、特番および付加情報を設定してください。

特番	18
付加情報1	パークトランク番号:121

現在の設定 (情報不整合) は赤文字で表示されます。

設定 削除 ※情報更新が必要です。設定を確認し、Com@WILLランプの割り付け設定を行ってください。

[情報設定] ボタンをクリックし、手順 8 ~ 9 の操作で特番を再度入力し、機能割り付けを設定しなおします。

MEMO

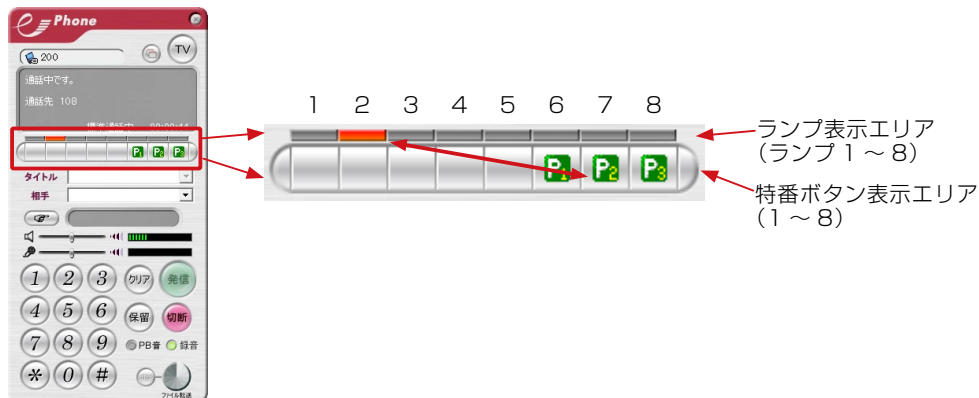
主装置側で拡張内線番号 (特番の番号) が変更された場合は、Com@WILL ソフトフォンで特番を再設定する必要があります。手順 1 の操作を再度、実行してください。

■ご注意

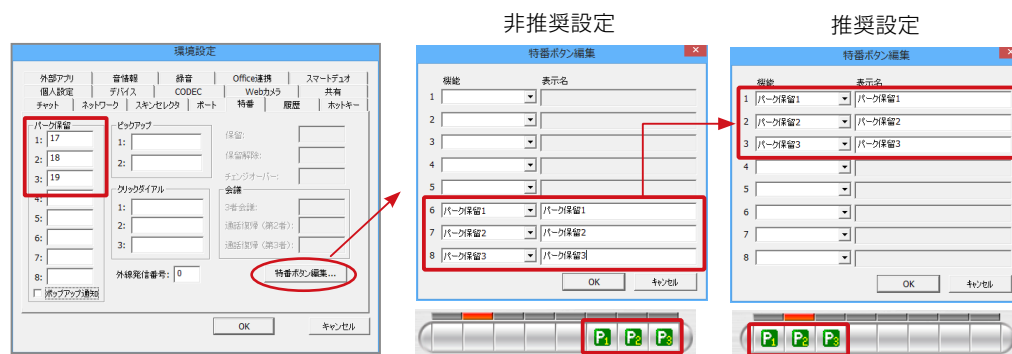
Com@WILL ソフトフォンのランプ表示エリアは、ランプ表示専用のエリアとなっており、特番ボタンエリアとは連動しません。そのため、点滅するランプ位置は割り付けられたボタン位置とは異なります。

例) ランプ2にパーク保留2、特番ボタン7にパーク保留2が割り付けられている場合:

パーク保留2にパーク保留されたときは、ランプ2が点滅します。



点滅するランプ位置と割り付けられたボタン位置は同じになるように設定することをお勧めします。以下のように[特番ボタン編集]をクリックして、[特番ボタン編集]画面でランプと特番ボタンの位置を合わせてください。



※ Com@WILL ソフトフォンの特番ボタン割付方法の詳細は、Com@WILL ヘルプマニュアルを参照してください。

メロディの管理(メロディ転送)

管理

PC(パソコン)に保存されている音声ファイルを電話機の着信音などに利用できるメロディとして取り込むことができます。また、既存のメロディの名前を変更したり、PCの任意のフォルダに保存してバックアップすることもできます。

ここでは、以下の2つの操作について説明します。

- 既存のメロディを変更 / 削除 / 転送する (⇒ P.149)
- PC上の音声ファイルを取り込む (⇒ P.151)

既存のメロディを変更 / 削除 / 転送する

すでに登録されているメロディの名称を変更したり、ファイルを削除したり、ファイルをPC上の任意のフォルダに転送し、バックアップすることができます。

1 Web設定を起動します。

参照 第1章の「Web設定の起動と終了」(⇒ P.3)

2 左メニューで[メロディ転送]をクリックします。

The screenshot shows the '設定画面' (Settings screen) with a left-hand navigation menu. The menu items include: ユーザー名:108, ログアウト, パスワード変更, 時計設定, カレンダー設定, 内線一覧, 電話帳, 電話帳転送, ボイスメール, 留守番, ユーザーガイド転送, 電話帳の各種転送, 外線転送, オートダイヤル登録, **メロディ転送** (highlighted in red), and IVR. The main content area shows a 'Top' section with a 'はじめに' (Getting Started) tab and a 'ご注意' (Important Notice) section containing two bullet points: 'ブラウザのJavaScriptおよびCookieの認定は、必ず「有効」にしてご使用ください。' and 'パスワードを定期的に更新してください。'

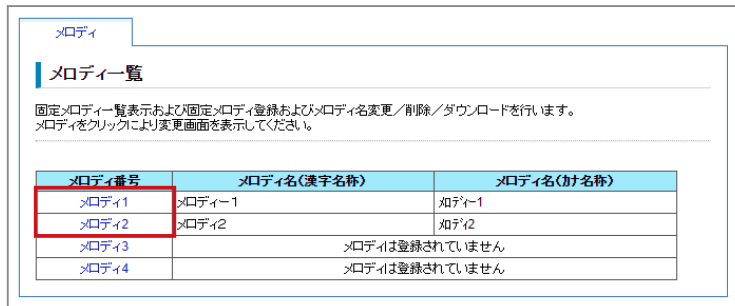
[メロディ転送]に切り替わりメロディー一覧が表示されます。

The screenshot shows the 'メロディ転送' (Melody Transfer) screen. The left navigation menu is the same as in the previous screenshot. The main content area shows a breadcrumb trail 'Top > メロディ転送 > メロディ' and a 'メロディー一覧' (Melody List) section. Below the list is a table with the following data:

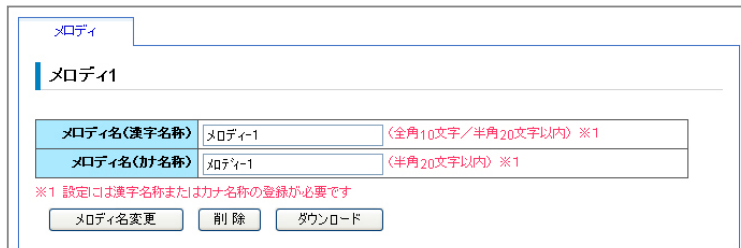
メロディ番号	メロディ名(漢字名称)	メロディ名(かな名称)
メロディ1	メロディー1	メロディー1
メロディ2	メロディー2	メロディー2
メロディ3		メロディは登録されていません。
メロディ4		メロディは登録されていません。

3

編集、削除または転送するメロディ番号をクリックします。



メロディ編集の設定内容が表示されます。



4

■メロディ名称を変更する場合

① [メロディ名(漢字名称)] と [メロディ名(カナ名称)] の内容を修正し、[メロディ名変更] をクリックします。

- [メロディ名(漢字名称)] には、全角 10 文字または半角 20 文字まで入力できます。
- [メロディ名(カナ名称)] には、半角 20 文字まで入力できます。

②表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

選択したメロディ名称が変更されます。

■メロディを削除する場合

① [削除] をクリックします。

②表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

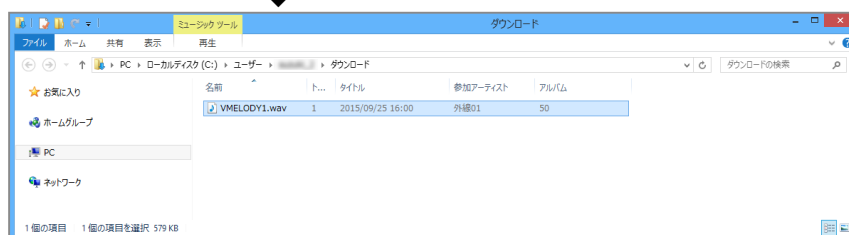
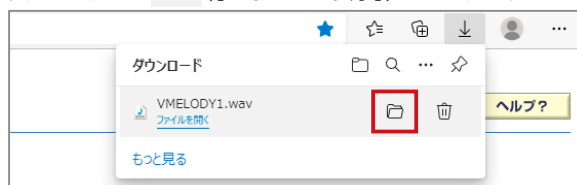
選択したメロディが削除されます。

■メロディの音声ファイルを転送する場合

[ダウンロード] をクリックします。

選択したメロディが PC のダウンロードフォルダに保存(転送)され、画面上部のツールバーにダウンロード情報がポップアップ表示されます。

ポップアップで  ([フォルダに表示]) をクリックすると、ダウンロードフォルダを確認できます。



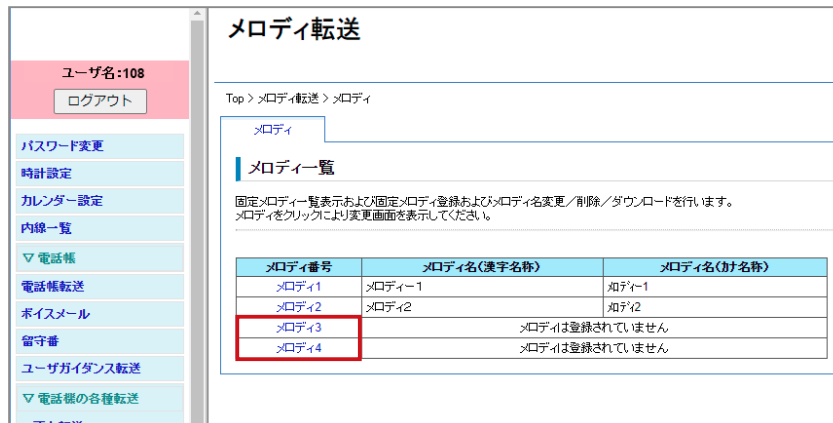
PC 上の音声ファイルを取り込む

PC (パソコン) 上の任意の音声ファイルを電話機の固定メロディとして取り込みます。取り込むことが可能な音声ファイルの形式とサイズの条件は以下のとおりです。

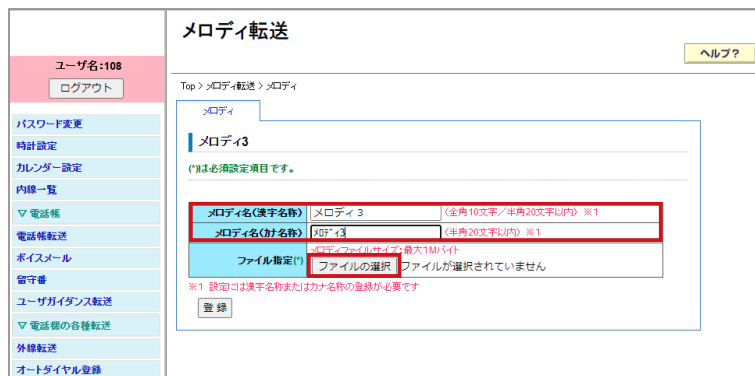
圧伸アルゴリズム / 圧伸ビットレート	G.711 μ -Law (64kbps)
ファイル形式	WAV
1 ファイルサイズ	最大 1Mbyte (2分)

※音声ファイルのファイル名には、半角英数記号を使用してください。全角英数字、日本語、特殊文字などのファイル名の音声ファイルは取り込むことができません。

1 [メロディ転送] 画面で (⇒ P.149)、メロディ番号をクリックします。



2 メロディ名称などを設定し、[ファイルの選択] をクリックします。



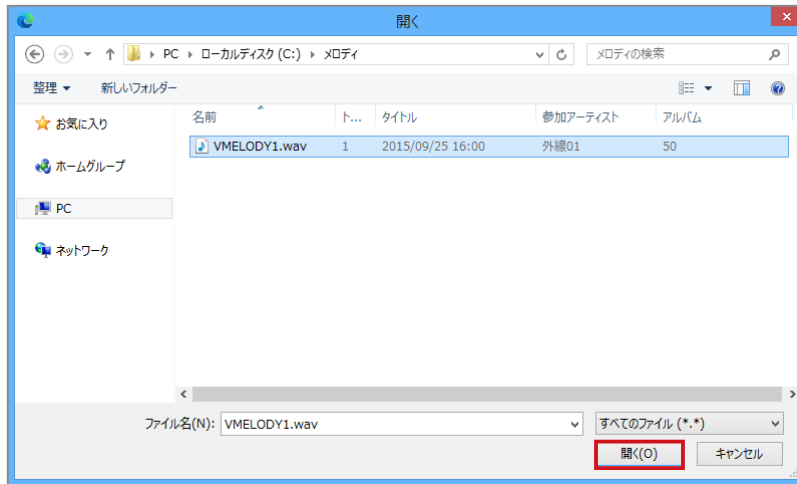
項目	内容
メロディ名(漢字名称)	メロディの漢字名称を入力します。[メロディ名(漢字名称)]には、全角文字(漢字、ひらがな、カナ、英字、数字、記号)で最大10文字まで、半角文字(カナ、英字、数字)で最大20文字まで入力できます。 <ul style="list-style-type: none"> メロディの漢字名称には、全角半角を混在させた名称を登録できます。
メロディ名(カナ名称)	メロディのカナ名称を入力します。[メロディ名(カナ名称)]には、半角文字(カナ、英字、数字)で最大20文字まで入力できます。 <ul style="list-style-type: none"> 漢字名称を登録せずにカナ名称のみを登録すると、メロディー一覧や電話機のディスプレイにはカナ名称が表示されます。

Windows の [開く] ダイアログが表示されます。

3 表示されたダイアログで取り込む音声ファイルを選択し、[開く]をクリックします。

MEMO

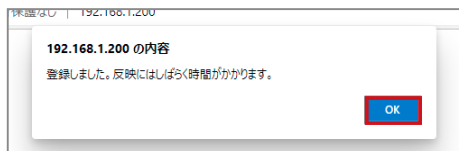
音声ファイルには、半角英数記号のファイル名ものを選択してください。全角英数字、日本語、特殊文字などのファイル名の音声ファイルは取り込むことができません。



選択した音声ファイル名が[ファイル指定]に表示されます。

4 [登録]をクリックします。 ポップアップが表示されます。

5 表示されたポップアップで[OK]をクリックします。



選択した音声ファイルがメロディとして登録され、メロディー一覧に表示されます。

音声自動応答(IVR)の設定

管理

音声自動応答 (IVR: Interactive Voice Response) 機能を利用すると、お客様から電話がかかってきたときに、あらかじめ用意した音声案内 (操作ガイダンス) を自動再生し、お客様のダイヤル操作に応じて、目的の部署 (問い合わせ窓口など) に着信させたり、音声ガイダンスを流したりすることができます。

IVR 機能を利用するには、電話をかけてきた相手のダイヤル操作に応じた動作の進行手順を設定しておく必要があります。この進行手順を記述した一連の処理定義を「シナリオ」と呼びます。

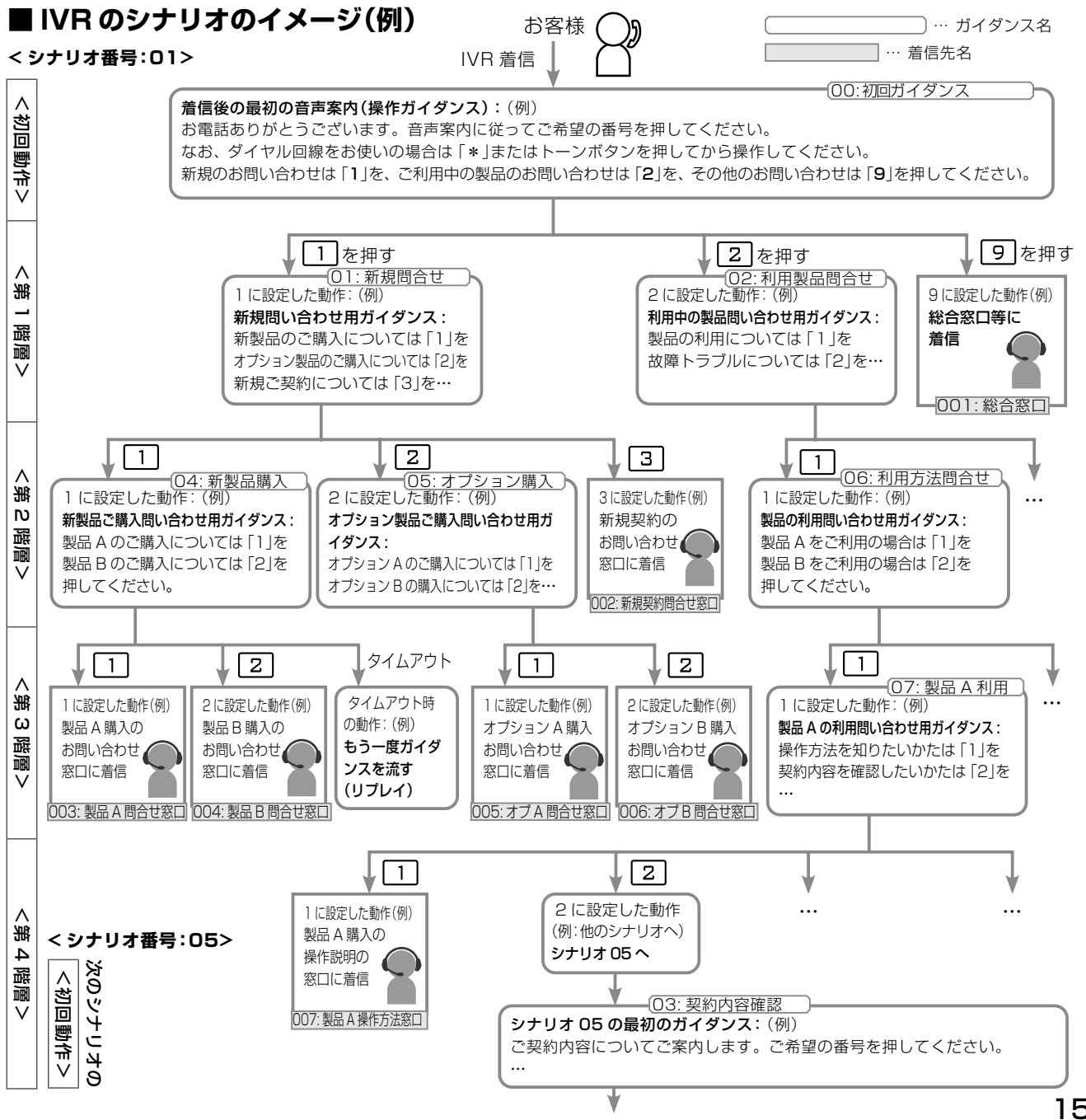
ここでは、IVR のシナリオの設定について、以下の順で説明します。既存のシナリオを変更する場合は (3) から操作してください。

- (1) シナリオ設定前の準備 (➡ P.154)
- (2) IVR のシナリオを設定する (➡ P.155)
- (3) IVR のシナリオの設定内容を追加 / 変更 / 削除する (➡ P.161)
- (4) 5 階層以上のシナリオを作成する (➡ P.165)
- (5) IVR のシナリオを一覧表示する (➡ P.167)

以下の「■ IVR のシナリオのイメージ (例)」に沿って各操作を説明します。

- シナリオには、**[0]**~**[9]**、**[*]**、**[#]** を押すお客様のダイヤル操作と、それに対応する動作 (再生するガイダンスや着信先など) を設定します。動作には、先頭または 1 つ前のガイダンスの再生、他のシナリオへの移動、切断なども設定できます。また、時間帯によって着信先の着信形式を切り替えることもできます。
- 1 つのシナリオには 4 階層までのダイヤル操作 (またはタイムアウト) とそれに対応する動作を設定できます。
- 2 つのシナリオをつなげることで、最大 8 階層のシナリオを作成することができます。

■ IVR のシナリオのイメージ (例)



シナリオ設定前の準備

Web 設定で IVR のシナリオの設定を開始する前に、まずシナリオ全体の構成を検討し、机上でシナリオを作成してください。また、シナリオに必要な着信先とガイダンスもあらかじめ準備しておく必要があります。以下の手順で作業を進めてください。

1 シナリオの構成を検討して作成します。

シナリオ全体の構成を検討し、机上でシナリオを作成します。

参照》「■ IVR のシナリオのイメージ(例)」(⇒ P.153)

MEMO

選択肢・階層は最小限に抑え、お客様がガイダンスを聞く時間をできる限り短くできるようなシナリオを作成することをお勧めします。

2 音声ガイダンスを準備します。

音声ガイダンスをユーザガイダンスとして登録します。登録したユーザガイダンス番号や名称は、メモしておいてください。

※ Web 設定でのシナリオ設定時はガイダンスリストから登録済のユーザガイダンスを選択します。ガイダンスリストには、番号とガイダンス名称が表示されるので、ガイダンス名称に、「初回ガイダンス」、「新規問合せ」などガイダンス内容を把握しやすい名称を付けておくとう便利です(ガイダンス名称は全角 10 文字まで)。

登録したユーザガイダンスの例：(番号と名称)：

00: 初回ガイダンス	03: 契約内容確認	06: 利用方法問合せ	99: 終了ガイダンス
01: 新規問合せ	04: 新製品購入	07: 製品 A 利用	
02: 利用製品問合せ	05: オプション購入	12: ただいまお繋ぎします	

MEMO

ユーザガイダンスを登録するには以下の 3 つの方法があります。

- [ユーザガイダンス転送] (⇒ P.90) を使って登録する。
- システム管理電話機から録音する。
電話機から録音する場合は、『取扱説明書(多機能電話機編)』-「4-7 主装置の設定」で、ユーザガイダンスの録音の操作手順を参照して録音してください。
- 販売店に相談し、工事者に登録を依頼する。

3 シナリオに応じた着信先を準備します(工事設定)。

シナリオの設定を開始する前に、必要なすべての「着信先」を用意しておく必要があります。

工事設定

着信先の設定は工事者が行います。販売店にご相談ください。

「着信先」には、IVR 番号(1 ~ 255)と着信先名が設定されます(例:「001: 総合窓口」、「002: 新規契約問合せ窓口、…」)。「着信先」には、時間帯ごとに着信形式(= 実際の着信先)を設定できます。時間帯は、昼夜モード(「昼間」「夜間 A-1」「夜間 A-2」「夜間 A-3」「夜間 B」)で設定します。

着信先の設定例：

IVR 番号	着信先名	昼夜モードと実際の着信先				
		昼間	夜間 A-1	夜間 A-2	夜間 A-3	夜間 B
001	総合窓口	内線 :20 (日中の窓口の担当者)	内線 :19 (夜間窓口の担当者)	開番号 :820 (他拠点の窓口。拠点番号 8、内線番号 20)	着信代行 :50 (MBX50 に着信。自動応答 / 録音)	着信代行 :50 (MBX50 に着信。自動応答 / 録音)
002	新規契約問合せ窓口	一般着信 (日中の窓口テナント)	DGL:100 (夜間窓口のグループ)	着信代行 :51 (MBX51 に着信。自動応答 / 録音)	着信代行 :51 (MBX51 に着信。自動応答 / 録音)	着信代行 :51 (MBX51 に着信。自動応答 / 録音)
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

参照》『取扱説明書(多機能電話機編)』-「3-2 電話を受けるときの便利な使いかた」-「音声自動応答(IVR)機能を利用する」-「IVR 機能で設定できる着信先」

IVR のシナリオを設定する

作成したシナリオに従い、Web 設定で IVR のシナリオを設定します。
ここでは、「■ IVR のシナリオのイメージ (例)」(→ P.153)のシナリオを例として説明します。

- 1 Web 設定を起動します。
参照)第 1 章の「Web 設定の起動と終了」(→ P.3)
- 2 左メニューで [IVR] をクリックします。

設定画面

Top

はじめに

ご注意

- ブラウザのJavaScriptおよびCookieの設定は、必ず「有効」にしてご使用ください。
- 各項目の詳細は、添付の取扱説明書を参照してください。
- パスワードを定期的に更新してください。

[IVR シナリオ設定] タブの内容が表示されます。

IVR

ヘルプ?

Top > IVR > IVRシナリオ設定

IVRシナリオ設定 IVRシナリオ一覧

IVRシナリオ動作

電話をかけた相手ダイヤル操作に応じた動作や再生するガイダンスを指定します。

シナリオ選択

シナリオ番号 ※1

※1 シナリオ番号を変更すると編集するシナリオが切り替わります ※2 シナリオ番号で選択中のシナリオが対象

登録済み応答動作(シナリオ01: 0件 残: 977/1000件)

ダイヤル(階層) ※3	動作	ガイダンスシナリオ	着信先
選択したシナリオの登録済み応答動作はありません。			

※3 ダイヤル(階層)をクリックすると設定値が応答動作追加・変更欄に表示されます
※4 シナリオ構成異常時、グレー表示されます(上位階層無し、上位階層がガイダンス以外、動作がガイダンスで下位階層無し)

応答動作追加・変更

ダイヤル(階層)	<input type="text" value="初回動作"/>
動作	<input type="text" value="ガイダンス"/>
ガイダンスシナリオ	ガイダンス <input type="text" value="00初回ガイダンス"/>
着信先	<input type="text"/>

3 [シナリオ選択] - [シナリオ番号] で、設定するシナリオの番号 (01 ~ 50) を選択します。

- シナリオは最大 50 件 (シナリオ番号 1 ~ 50) 設定できます。

IVRシナリオ設定 IVRシナリオ一覧

IVRシナリオ動作

電話をかけた相手のダイヤル操作に応じた動作や再生するガイダンスを指定します。

シナリオ選択

シナリオ番号 ※1

※1 シナリオ番号を変更すると編集するシナリオが切り替わります ※2 シナリオ番号で選択中のシナリオが対象

MEMO

右のようなメッセージが表示された場合は、
[OK] を押して、操作を続けてください。
設定済の応答動作は破棄されません。

192.168.1.200 の内容

シナリオ02に変更します。
現在編集中の応答動作は破棄されます。シナリオ番号を変更しますか？

4 着信後の最初の応答動作を設定します。 [応答動作追加・変更] で、以下の項目を入力します。

登録済み応答動作(シナリオ01: 0件 残: 977/1000件) ▼拡大 縮小▲

ダイヤル(階層) ※3	動作	ガイダンスシナリオ	着信先
選択したシナリオの登録済み応答動作はありません			

※3 ダイヤル(階層)をクリックすると設定値が応答動作追加・変更欄に表示されます
※4 シナリオ構成異常時、グレー表示されます(上位階層無し、上位階層がガイダンス以外、動作がガイダンスで下位階層無し)

応答動作追加・変更

ダイヤル(階層)	<input type="text" value="初回動作"/>
動作	<input type="text" value="ガイダンス"/>
ガイダンス/シナリオ	ガイダンス <input type="text" value="00初回ガイダンス"/>
着信先	

項目	内容
ダイヤル(階層)	プルダウンメニューから[初回動作]を選択します。
動作	プルダウンメニューから[ガイダンス]を選択します。
ガイダンス / シナリオ	プルダウンメニューから着信後最初に流すガイダンスを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> プルダウンメニュー(ガイダンスリスト)には、事前に登録したユーザガイダンスの番号と名称が表示されます。作成したシナリオに従ってガイダンスを選択します。例:「00: 初回ガイダンス」

5 [追加・変更] をクリックします。

ポップアップが表示されます。

6 表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

設定した動作が「登録済み応答動作」に表示されます。

登録済み応答動作(シナリオ01: 1件 残: 976/1000件) ▼拡大 縮小▲

ダイヤル(階層) ※3	動作	ガイダンスシナリオ	着信先
(初回動作)	ガイダンス	00:初回ガイダンス	

※3 ダイヤル(階層)をクリックすると設定値が応答動作追加・変更欄に表示されます
 ※4 シナリオ構成異常時、グレー表示されます(上位階層無し、上位階層がガイダンス以外、動作がガイダンスで下位階層無し)

応答動作追加・変更

ダイヤル(階層)	1			
動作	ガイダンス			

7 続けて、ダイヤル操作と応答動作を設定します。 [応答動作追加・変更]で、以下の項目を入力します。

例として、「■ IVRのシナリオのイメージ(例)」(⇒ P.153)の第1階層で「1」をダイヤルしたときの応答動作の設定について説明します。

応答動作追加・変更

ダイヤル(階層)	1			
動作	ガイダンス			
ガイダンスシナリオ	ガイダンス	01:新規問合せ		
着信先				

追加・変更 削除

項目	内容
ダイヤル(階層)	プルダウンメニューから、設定するダイヤル操作を選択します。第1階層のダイヤル操作は一番左のプルダウンメニューから選択します。 ● 上記シナリオの例では、「1」を選択します。
動作	プルダウンメニューから、ダイヤル操作に対応する応答動作を選択します。 ● 上記シナリオの例では、「ガイダンス」を選択します。
ガイダンス/シナリオ	[動作]で[ガイダンス]を選択した場合は、「ガイダンス」が表示されます。
ガイダンス	プルダウンメニューからガイダンスを選択します。 ● 上記シナリオの例では、「01:新規問合せ」を選択します。
着信先	この欄は、[動作]で[着信]を選択した場合のみ表示されます。 ● 上記シナリオの例では空欄になります。

MEMO

- [動作]で[着信]を選択した場合は、[着信先]欄に着信先リストが表示されます。
- 以下の画面は、「■ IVRのシナリオのイメージ(例)」(⇒ P.153)の第1階層で「1」、第2階層で「1」、第3階層で「1」をダイヤルしたときの応答動作の設定例です。

応答動作追加・変更

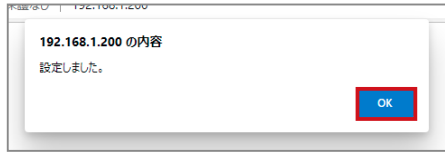
ダイヤル(階層)	1	1	1	
動作	着信			
ガイダンスシナリオ	ガイダンス	12:ただいまお繋ぎします		
着信先	009:製品A問合せ窓口	▶ 着信先情報表示		

追加・変更 削除

8 [追加・変更] をクリックします。

ポップアップが表示されます。

9 表示されたポップアップで [OK] をクリックします。



設定した動作が [登録済み応答動作] に表示されます。

登録済み応答動作(シナリオ01: 2件 残: 975/1000件) ▼拡大 縮小▲

ダイヤル(階層)	動作	着信先
(初期動作)	ガイダンス 00.初回ガイダンス	
1	ガイダンス 01.新規問合せ	

※3 ダイヤル(階層)をクリックすると設定値が応答動作追加・変更欄に表示されます
 ※4 シナリオ構成異常時、グレー表示されます(上位階層無し、上位階層がガイダンス以外、動作がガイダンスで下位階層無し)

応答動作追加・変更

ダイヤル(階層)	1			
動作	ガイダンス			

MEMO

[登録済み応答動作] の行は、シナリオの構成で上位階層がない場合や上位階層がガイダンスでない場合、またガイダンスの動作の下に階層がない場合にグレーになります。そのため、シナリオ入力の途中ではグレー表示になりますが、問題ありません。最後にグレー表示になっていないことを確認してください。

10 手順7～9を繰り返して、シナリオのすべての階層のダイヤル操作と応答動作を設定します。

■ [応答動作追加・変更] の入力項目

項目	内容																			
ダイヤル(階層)	<p>プルダウンメニューから、設定する階層のダイヤル操作を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 選択できるダイヤル操作は、0～9、*、#、Timeout です。 [Timeout] は一定時間ダイヤル操作が行われなかったとき (タイムアウト時) の動作を設定するときに選択します。 ● 左から順に第 1 階層、第 2 階層、第 3 階層、第 4 階層のダイヤル操作選択用プルダウンメニューです。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本システムでは、1 件のシナリオに付き、ダイヤル操作とそれに 応じた動作を 4 階層まで設定できます。 参照》「5 階層以上のシナリオを作成する」(⇒ P.165) ● ダイヤル操作とそれに応じた動作は、システム内で最大 1,000 種類登録できます。 ● タイムアウト時の動作を設定していない場合は、初期設定に従っ た動作 (工場出荷時は「一般着信」) になります。設定する場合は 階層ごとに設定します。 </div>																			
動作	<p>プルダウンメニューからダイヤル操作に対応する応答動作を選択します。 以下の動作を選択できます。</p> <p>ガイダンス: ガイダンスを流します。[ガイダンス / シナリオ] で、どの ガイダンスを流すかを選択します。</p> <p>着信: 指定した着信先に着信させます。[着信先] で、着信先リストから 着信先を選択します。</p> <p>切断: 切断します。</p> <p>リプレイ: もう一度、ガイダンスを流します。</p> <p>先頭に戻る: 初回動作に戻ります。</p> <p>1 階層戻る: ダイヤル(階層) が 1 つ前に戻ります。</p> <p>シナリオ: 他のシナリオに移動して、さらに階層動作を作ることができ ます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● シナリオを完結させるには、[着信] か [切断] を選択する必要があ ります。 ● タイムアウト時の動作として選択できるのは [着信]、[切断]、[リプ レイ]、[先頭に戻る] です。 																			
ガイダンス / シナリオ	<ul style="list-style-type: none"> ● [動作] で [ガイダンス]、[着信]、[切断] を選択した場合は、 「ガイダンス」とガイダンスリストが表示されます。 ● [動作] で [シナリオ] を選択した場合は、「シナリオ」とシナリオリ ストが表示されます。 																			
ガイダンス	<p>プルダウンメニューからガイダンスを選択します。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>応答動作追加・変更</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">ダイヤル(階層)</td> <td style="width: 15%;">1</td> <td style="width: 15%;">▼</td> <td style="width: 15%;">▼</td> <td style="width: 15%;">▼</td> <td style="width: 15%;">▼</td> </tr> <tr> <td>動作</td> <td colspan="5">ガイダンス ▼</td> </tr> <tr> <td>ガイダンス/シナリオ</td> <td>ガイダンス</td> <td colspan="4">01 新規問合せ ▼</td> </tr> </table> </div> <ul style="list-style-type: none"> ● プルダウンメニュー (ガイダンスリスト) には、「シナリオ設定前の 準備」(⇒ P.154) で登録したユーザガイダンスの番号と名称が 表示されます。 例: 「00: 初回ガイダンス」、「01: 新規問合せ」など。 	ダイヤル(階層)	1	▼	▼	▼	▼	動作	ガイダンス ▼					ガイダンス/シナリオ	ガイダンス	01 新規問合せ ▼				
ダイヤル(階層)	1	▼	▼	▼	▼															
動作	ガイダンス ▼																			
ガイダンス/シナリオ	ガイダンス	01 新規問合せ ▼																		
シナリオ	<p>プルダウンメニューから、移動先のシナリオ番号を選択します。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>応答動作追加・変更</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">ダイヤル(階層)</td> <td style="width: 15%;">2</td> <td style="width: 15%;">▼</td> <td style="width: 15%;">1</td> <td style="width: 15%;">▼</td> <td style="width: 15%;">2</td> <td style="width: 15%;">▼</td> </tr> <tr> <td>動作</td> <td colspan="5">シナリオ ▼</td> </tr> <tr> <td>ガイダンス/シナリオ</td> <td>シナリオ</td> <td colspan="4">05 ▼</td> </tr> </table> </div> <ul style="list-style-type: none"> ● [動作] で [リプレイ]、[先頭に戻る]、[1 階層戻る] を選択した場 合は、この欄は空欄です。 	ダイヤル(階層)	2	▼	1	▼	2	▼	動作	シナリオ ▼					ガイダンス/シナリオ	シナリオ	05 ▼			
ダイヤル(階層)	2	▼	1	▼	2	▼														
動作	シナリオ ▼																			
ガイダンス/シナリオ	シナリオ	05 ▼																		



項目	内容																																																																				
着信先	<p>[動作] で [着信] を選択した場合、プルダウンメニューに着信先リストが表示されます。プルダウンメニューから着信先を選択します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>応答動作追加・変更</p> <table border="1"> <tr> <td>ダイヤル(階層)</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>動作</td> <td colspan="4">着信</td> </tr> <tr> <td>ガイダンス/シナリオ</td> <td colspan="4">ガイダンス 12.ただいまお禁じます</td> </tr> <tr> <td>着信先</td> <td colspan="4">003.製品A問合せ窓口 ▶ 着信先情報表示</td> </tr> </table> </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 着信先リストには、「シナリオ設定前の準備」(➡ P.154) で用意(工事設定)した着信先の IVR 番号 (1 ~ 255) と名前が表示されます。 ● [着信先情報表示] をクリックすると、以下のような着信先の詳細画面がポップアップ表示されます。詳細画面の [着信先] 列の着信先名(青い文字)をクリックして、着信先を選択することもできます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>着信先情報 「着信先」を選択してください。</p> <p style="text-align: right;">閉じる</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>着信先</th> <th>昼</th> <th>夜間A-1</th> <th>夜間A-2</th> <th>夜間A-3</th> <th>夜間B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>001.総合窓口</td> <td>内線:20</td> <td>内線:19</td> <td>閉番号:820</td> <td>着信代行:50</td> <td>着信代行:50</td> </tr> <tr> <td>002.製品問合せ窓口</td> <td>一般着信</td> <td>DGL:100</td> <td>着信代行:51</td> <td>着信代行:51</td> <td>着信代行:51</td> </tr> <tr> <td>003.製品A問合せ窓口</td> <td>内線:10</td> <td>内線グループ均等:0</td> <td>着信代行:52</td> <td>着信代行:52</td> <td>着信代行:52</td> </tr> <tr> <td>004.製品B問合せ窓口</td> <td>内線:19</td> <td>内線グループ均等:10</td> <td>着信代行:53</td> <td>着信代行:53</td> <td>着信代行:53</td> </tr> <tr> <td>005.オプA問合せ窓口</td> <td>MSA:0</td> <td>MSA:0</td> <td>着信代行:54</td> <td>着信代行:54</td> <td>メールアクセス</td> </tr> <tr> <td>006.オプB問合せ窓口</td> <td>MSA:10</td> <td>MSA:10</td> <td>着信代行:55</td> <td>着信代行:55</td> <td>着信代行:55</td> </tr> <tr> <td>007.製品A操作方法窓口</td> <td>内線グループ均等:127</td> <td>内線グループ均等:127</td> <td>着信代行:56</td> <td>着信代行:56</td> <td>着信代行:56</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>参照) 「シナリオ設定前の準備」(➡ P.154) の着信先の設定</p>	ダイヤル(階層)	1	1	1		動作	着信				ガイダンス/シナリオ	ガイダンス 12.ただいまお禁じます				着信先	003.製品A問合せ窓口 ▶ 着信先情報表示				着信先	昼	夜間A-1	夜間A-2	夜間A-3	夜間B	001.総合窓口	内線:20	内線:19	閉番号:820	着信代行:50	着信代行:50	002.製品問合せ窓口	一般着信	DGL:100	着信代行:51	着信代行:51	着信代行:51	003.製品A問合せ窓口	内線:10	内線グループ均等:0	着信代行:52	着信代行:52	着信代行:52	004.製品B問合せ窓口	内線:19	内線グループ均等:10	着信代行:53	着信代行:53	着信代行:53	005.オプA問合せ窓口	MSA:0	MSA:0	着信代行:54	着信代行:54	メールアクセス	006.オプB問合せ窓口	MSA:10	MSA:10	着信代行:55	着信代行:55	着信代行:55	007.製品A操作方法窓口	内線グループ均等:127	内線グループ均等:127	着信代行:56	着信代行:56	着信代行:56
ダイヤル(階層)	1	1	1																																																																		
動作	着信																																																																				
ガイダンス/シナリオ	ガイダンス 12.ただいまお禁じます																																																																				
着信先	003.製品A問合せ窓口 ▶ 着信先情報表示																																																																				
着信先	昼	夜間A-1	夜間A-2	夜間A-3	夜間B																																																																
001.総合窓口	内線:20	内線:19	閉番号:820	着信代行:50	着信代行:50																																																																
002.製品問合せ窓口	一般着信	DGL:100	着信代行:51	着信代行:51	着信代行:51																																																																
003.製品A問合せ窓口	内線:10	内線グループ均等:0	着信代行:52	着信代行:52	着信代行:52																																																																
004.製品B問合せ窓口	内線:19	内線グループ均等:10	着信代行:53	着信代行:53	着信代行:53																																																																
005.オプA問合せ窓口	MSA:0	MSA:0	着信代行:54	着信代行:54	メールアクセス																																																																
006.オプB問合せ窓口	MSA:10	MSA:10	着信代行:55	着信代行:55	着信代行:55																																																																
007.製品A操作方法窓口	内線グループ均等:127	内線グループ均等:127	着信代行:56	着信代行:56	着信代行:56																																																																

シナリオのすべての階層のダイヤル操作と応答動作の設定が完了したら、シナリオの設定は完了です。設定したすべての応答動作が [登録済み応答動作] に表示されます。

※リストの下のほうを表示するには、スクロールバーまたは [拡大] をクリックします。[拡大] をクリックすると、表示される領域が拡大され、下のほうのリストが表示されます。[縮小] をクリックすると、表示領域が縮小されます。

登録済み応答動作(シナリオ01: 16件 残: 963/1000件) ▼拡大 縮小▲

ダイヤル(階層)※3	動作	ガイダンス/シナリオ	着信先
(初回動作)	ガイダンス	00.初回ガイダンス	
1	ガイダンス	01.新規問合せ	
1 1	ガイダンス	04.新製品購入	
1 1 1	着信	12.ただいまお禁じます	003.製品A問合せ窓口
1 1 2	着信	12.ただいまお禁じます	004.製品B問合せ窓口
1 1 T	リプレイ		
1 2	ガイダンス	05.オプション購入	
1 2 1	着信	12.ただいまお禁じます	005.オプA問合せ窓口
1 2 2	着信	12.ただいまお禁じます	006.オプB問合せ窓口

※3 ダイヤル(階層)をクリックすると設定値が応答動作追加・変更欄に表示されます
 ※4 シナリオ構成異常時、グレー表示されます(上位階層無し、上位階層がガイダンス以外、動作がガイダンスで下位階層無し)

最後に、[登録済み応答動作] にグレーの行がないことを確認してください。

シナリオの構成で上位階層がない場合や上位階層がガイダンスでない場合、またガイダンスの動作の下に階層がない場合にグレーになります。

登録した全シナリオを確認するには、[IVR シナリオ一覧] タブで一覧表示すると便利です。

[IVR のシナリオを一覧表示する](➡ P.167) を参照してください。

IVR のシナリオの設定内容を追加 / 変更 / 削除する

登録済みの IVR のシナリオの設定内容を追加 / 変更 (または削除) します。

1 IVR の画面を開きます (⇒ P.155)。

[IVR シナリオ設定] タブの内容が表示されます。

ヘルプ?

Top > IVR > IVRシナリオ設定

IVRシナリオ設定 IVRシナリオ一覧

IVRシナリオ動作

電話をかけた相手のダイヤル操作に応じた動作や再生するガイダンスを指定します。

シナリオ選択

シナリオ番号 ※1 01 シナリオ一括削除

※1 シナリオ番号を変更すると編集するシナリオが切り替わります ※2 シナリオ番号で選択中のシナリオが対象

登録済み応答動作(シナリオ01: 16件 残: 963/1000件) ▼拡大 縮小▲

ダイヤル(階層) ※3	動作	ガイダンスシナリオ	着信先
(初回動作)	ガイダンス	00初回ガイダンス	
1	ガイダンス	01新規問合せ	
1 1	ガイダンス	04新製品購入	
1 1 1	着信	12.たたいまお禁じます	003製品A問合せ窓口
1 1 2	着信	12.たたいまお禁じます	004製品B問合せ窓口
1 1 T	リプレイ		
1 2	ガイダンス	05オプション購入	
1 2 1	着信	12.たたいまお禁じます	005オプA問合せ窓口
1 2 2	着信	12.たたいまお禁じます	006オプB問合せ窓口

※3 ダイヤル(階層)をクリックすると設定値が応答動作追加・変更欄に表示されます
 ※4 シナリオ構成異常時、グレー表示されます(上位階層無し、上位階層がガイダンス以外、動作がガイダンスで下位階層無し)

応答動作追加・変更

ダイヤル(階層)	1			
動作	ガイダンス			
ガイダンスシナリオ	ガイダンス	00初回ガイダンス		
着信先				

追加・変更 削除

2 [シナリオ選択] - [シナリオ番号] で、設定内容を追加 / 変更 (または削除) するシナリオの番号を選択します。

IVRシナリオ設定 IVRシナリオ一覧

IVRシナリオ動作

電話をかけた相手のダイヤル操作に応じた動作や再生するガイダンスを指定します。

シナリオ選択

シナリオ番号 ※1 01 シナリオ一括削除

※1 シナリオ番号を変更すると編集するシナリオが切り替わります ※2 シナリオ番号で選択中のシナリオが対象

MEMO

右のようなメッセージが表示された場合は、[OK]を押して、操作を続けてください。
設定済の応答動作は破棄されません。

192.168.1.200 の内容

シナリオ02に変更します。
現在編集中の応答動作は破棄されます。シナリオ番号を変更しますか？

OK キャンセル

- 追加の場合は、手順 4 に進みます。
- 変更 (または削除) の場合は、手順 3 に進みます。

3

[登録済み応答動作]で、変更(または削除)するシナリオの行を選択します。

変更(または削除)する行で、[ダイヤル(階層)]の列の数字部分をクリックしてください。

ダイヤル(階層)	動作	ガイダンスシナリオ	着信先
(初回動作)	ガイダンス	00:初回ガイダンス	
1	ガイダンス	01:新規問合せ	
1 1	ガイダンス	04:新製品購入	
1 1 1	着信	12:たたいまお繋ぎします	003:製品A問合せ窓口
1 1 2	着信	12:たたいまお繋ぎします	004:製品B問合せ窓口
1 1 T	リプレイ		
1 2	ガイダンス	05:オプション購入	
1 2 1	着信	12:たたいまお繋ぎします	005:オプA問合せ窓口
1 2 2	着信	12:たたいまお繋ぎします	006:オプB問合せ窓口

選択した行が黄色でハイライト表示され、選択した行に設定されているダイヤル操作と動作が、[応答動作追加・変更]に表示されます。

ダイヤル(階層)	動作	ガイダンスシナリオ	着信先
(初回動作)	ガイダンス	00:初回ガイダンス	
1	ガイダンス	01:新規問合せ	
1 1	ガイダンス	04:新製品購入	
1 1 1	着信	12:たたいまお繋ぎします	003:製品A問合せ窓口
1 1 2	着信	12:たたいまお繋ぎします	004:製品B問合せ窓口
1 1 T	リプレイ		
1 2	ガイダンス	05:オプション購入	
1 2 1	着信	12:たたいまお繋ぎします	005:オプA問合せ窓口
1 2 2	着信	12:たたいまお繋ぎします	006:オプB問合せ窓口

※3 ダイヤル(階層)をクリックすると設定値が応答動作追加・変更欄に表示されます
 ※4 シナリオ構成異常時、グレー表示されます(上位階層無し、上位階層がガイダンス以外、動作がガイダンスで下位階層無し)

応答動作追加・変更			
ダイヤル(階層)	1	1	1
動作	着信		
ガイダンスシナリオ	ガイダンス	12:たたいまお繋ぎします	
着信先	003:製品A問合せ窓口	▶ 着信先情報表示	

追加・変更 削除

4

[応答動作追加・変更]で、追加または変更したい情報を入力します。

参照)「■[応答動作追加・変更]の入力項目」(⇒ P.159)

以下の画面例では、ガイダンスを「12:たたいまお繋ぎします」から「無し」に変更しています。

応答動作追加・変更			
ダイヤル(階層)	1	1	1
動作	着信		
ガイダンスシナリオ	ガイダンス	無し	
着信先	003:製品A問合せ窓口	▶ 着信先情報表示	

追加・変更 削除

5

[追加・変更]をクリックします。

選択した行の応答動作を削除する場合は [削除] をクリックします。

ポップアップが表示されます。

6

表示された2つのポップアップで[OK]をクリックします。

■ [追加・変更] をクリックした場合:



● 追加の場合は、「設定しました」というポップアップだけが表示されます。

■ [削除] をクリックした場合:



設定内容の変更が[登録済み応答動作]に反映されます。

ダイヤル(階層)※3	動作	ガイダンスシナリオ	着信先
(初回動作)	ガイダンス	00初回ガイダンス	
1	ガイダンス	01新規問合せ	
1 1	ガイダンス	04新製品購入	
1 1 1	着信	無し	003.製品A問合せ窓口
1 1 2	着信	12.たたいまお繋ぎします	004.製品B問合せ窓口
1 1 T	リブレイ		
1 2	ガイダンス	05オプション購入	
1 2 1	着信	12.たたいまお繋ぎします	005.オプA問合せ窓口
1 2 2	着信	12.たたいまお繋ぎします	006.オプB問合せ窓口

※3 ダイヤル(階層)をクリックすると設定値が応答動作(追加・変更欄)に表示されます
 ※4 シナリオ構成異常時、グレー表示されます(上位階層無し、上位階層がガイダンス以外、動作がガイダンスで下位階層無し)

● [削除] をクリックした場合は選択した行が消えます。

■シナリオを削除するには

シナリオ自体を削除するには、以下の操作で削除します。

1

IVR の画面を開き (⇒ P.155)、[シナリオ選択] - [シナリオ番号] で削除対象のシナリオの番号を選択します。

ユーザ名: 108
 ログアウト

ヘルプ?

Top > IVR > IVRシナリオ設定

IVRシナリオ設定 IVRシナリオ一覧

IVRシナリオ動作

電話をかけた相手のダイヤル操作に応じた動作や再生するガイダンスを指定します。

シナリオ選択

シナリオ番号 ※1 シナリオ一括削除

※1 シナリオ番号を変更すると編集するシナリオが切り替わります ※2 シナリオ番号で選択中のシナリオが対象

登録済み応答動作(シナリオ01: 16件 残: 963/1000件) ▼拡大 縮小▲

ダイヤル(階層)※3	動作	ガイダンスシナリオ	着信先
(初回動作)	ガイダンス	00初回ガイダンス	
1	ガイダンス	01新規問合せ	
1 1	ガイダンス	04新製品購入	
1 1 1	着信	12.たたいまお繋ぎします	003.製品A問合せ窓口
1 1 2	着信	12.たたいまお繋ぎします	004.製品B問合せ窓口
1 1 T	リブレイ		
1 2	ガイダンス	05オプション購入	
1 2 1	着信	12.たたいまお繋ぎします	005.オプA問合せ窓口
1 2 2	着信	12.たたいまお繋ぎします	006.オプB問合せ窓口

2 [シナリオ一括削除] ボタンを押します。

Top > IVR > IVRシナリオ設定

IVRシナリオ設定 IVRシナリオ一覧

IVRシナリオ動作

電話をかけた相手のダイヤル操作に応じた動作や再生するガイダンスを指定します。

シナリオ選択

シナリオ番号 ※1

※1 シナリオ番号を変更すると編集するシナリオが切り替わります ※2 シナリオ番号で選択中のシナリオが対象

登録済み応答動作(シナリオ01: 16件 残: 963/1000件) ▼拡大 縮小▲

ダイヤル(階層) ※3	動作	ガイダンスシナリオ	着信先
(初回動作)	ガイダンス	00.初回ガイダンス	
1	ガイダンス	01.新規問合せ	

ポップアップが表示されます。

3 表示された2つのポップアップで[OK]をクリックします。

192.168.1.200 の内容

選択しているシナリオの登録済み応答動作を全て削除しますが、よろしいですか？

→

192.168.1.200 の内容

削除しました。

選択したシナリオ番号の応答動作がすべて削除され、[登録済み応答動作] の表示内容が空になります。

IVRシナリオ設定 IVRシナリオ一覧

IVRシナリオ動作

電話をかけた相手のダイヤル操作に応じた動作や再生するガイダンスを指定します。

シナリオ選択

シナリオ番号 ※1

※1 シナリオ番号を変更すると編集するシナリオが切り替わります ※2 シナリオ番号で選択中のシナリオが対象

登録済み応答動作(シナリオ01: 0件 残: 977/1000件) ▼拡大 縮小▲

ダイヤル(階層) ※3	動作	ガイダンスシナリオ	着信先
選択したシナリオの登録済み応答動作はありません。			

※3 ダイヤル(階層)をクリックすると設定値が各動作に追加・変更欄に表示されます

5 階層以上のシナリオを作成する

本システムで 1 つのシナリオに登録できる階層は 4 階層までですが、2 つのシナリオをつなげることで、最大 8 階層のシナリオを作成することができます。

ここでは以下の例で説明します。

■ 「シナリオ 01」の 4 階層目から「シナリオ 05」へ接続

<シナリオ 01 >

登録済み応答動作(シナリオ01: 16件 残: 963/1000件)			
ダイヤル(階層)※3	動作	ガイダンスシナリオ	着信先
1 2 1	着信	12 くださいをお禁じます	005:オプA問合せ窓口
1 2 2	着信	12 くださいをお禁じます	006:オプB問合せ窓口
1 3	着信	12 くださいをお禁じます	002:製品問合せ窓口
2	ガイダンス	02 利用製品問合せ	
2 1	ガイダンス	06 利用方法問合せ	
2 1 1	ガイダンス	07 製品A操作方法窓口	
2 1 1 1	着信	12 くださいをお禁じます	007:製品A操作方法窓口
2 1 1 2	シナリオ	▶05	
9	着信	12 くださいをお禁じます	001:総合窓口

<シナリオ 05 >

登録済み応答動作(シナリオ05: 8件 残: 960/1000件)			
ダイヤル(階層)※3	動作	ガイダンスシナリオ	着信先
<初回動作>	ガイダンス	20 操作方法	
1	ガイダンス	10 契約内容の確認	
1 1	着信	無し	001:総合窓口
1 2	ガイダンス	10 契約内容の確認	
1 2 4	ガイダンス	11 故障トラブル	
1 2 4 1	着信	12 くださいをお禁じます	002:製品問合せ窓口
4	先頭に戻る		
0	切断	99 終了ガイダンス	

1 IVR の画面を開き (⇒ P.155)、[シナリオ選択] - [シナリオ番号] で、変更するシナリオの番号を選択します。

ユーザ名: 108
ログアウト

パスワード変更

時計設定

カレンダー設定

内線一覧

▽ 電話帳

電話帳転送

ポイメール

留守番

ユーザガイダンス転送

▽ 電話帳の各種転送

IVR

[ヘルプ?](#)

Top > IVR > IVRシナリオ設定

IVRシナリオ設定 IVRシナリオ一覧

IVRシナリオ動作

電話をかけた相手のダイヤル操作に応じた動作や再生するガイダンスを指定します。

シナリオ選択

シナリオ番号 ※1

01 ▼

シナリオ一括削除

※1 シナリオ番号を変更すると編集するシナリオが切り替わります ※2 シナリオ番号で選択中のシナリオが対象

登録済み応答動作(シナリオ01: 16件 残: 963/1000件)

ダイヤル(階層)※3	動作	ガイダンスシナリオ	着信先
<初回動作>	ガイダンス	00 初回ガイダンス	
1	ガイダンス	01 新規問合せ	
1 1	ガイダンス	04 新製品購入	

2

[応答動作追加・変更]で、以下のように入力します。

参照) 「■ [応答動作追加・変更]の入力項目」(→ P.159)

以下の画面では、ダイヤル操作 **2** **1** **1** **2** の応答動作に、シナリオ 05 への移動を設定しています。

応答動作追加・変更				
ダイヤル(階層)	2	1	1	2
動作	シナリオ			
ガイダンス/シナリオ	シナリオ 05			
着信先				

追加・変更 削除

項目	内容
ダイヤル(階層)	プルダウンメニューから、設定する階層のダイヤル操作を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ● 選択できるダイヤル操作は、0～9、*、#、Timeout です。 ● 左から順に第 1 階層、第 2 階層、第 3 階層、第 4 階層のダイヤル操作選択用プルダウンメニューです。
動作	プルダウンメニューからダイヤル操作に対応する応答動作として [シナリオ] を選択します。 シナリオ: 他のシナリオに移動して、さらに階層動作を作ることができます。
ガイダンス / シナリオ	
シナリオ	プルダウンメニューから、移動先のシナリオ番号を選択します。
着信先	空欄

3

[追加・変更]をクリックします。

ポップアップが表示されます。

4

表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

シナリオ 05 へ接続する動作が [登録済み応答動作] に反映されます。

登録済み応答動作(シナリオ01: 16件 残: 963/1000件)			
ダイヤル(階層)※3	動作	ガイダンス/シナリオ	着信先
1 2 1	着信	12.ただいまお繋ぎします	005.オブA問合せ窓口
1 2 2	着信	12.ただいまお繋ぎします	006.オブB問合せ窓口
1 3	着信	12.ただいまお繋ぎします	002.製品問合せ窓口
2	ガイダンス	02.利用製品問合せ	
2 1	ガイダンス	06.利用方法問合せ	
2 1 1	ガイダンス	07.製品A操作方法窓口	
2 1 1 1	着信	12.ただいまお繋ぎします	007.製品A操作方法窓口
2 1 1 2	シナリオ	05	
9	着信	12.ただいまお繋ぎします	001.総合窓口

画面上の青い文字「05」をクリックすると、シナリオ 05 の画面にジャンプすることができます。

登録済み応答動作(シナリオ05: 8件 残: 960/1000件)			
ダイヤル(階層)※3	動作	ガイダンス/シナリオ	着信先
(初回動作)	ガイダンス	20.操作方法	
1	ガイダンス	10.契約内容の確認	
1 1	着信	無し	001.総合窓口
1 2	ガイダンス	10.契約内容の確認	
1 2 4	ガイダンス	11.故障トラブル	
1 2 4 1	着信	12.ただいまお繋ぎします	002.製品問合せ窓口
4	先頭に戻る		
0	切断	99.終了ガイダンス	

IVR のシナリオを一覧表示する

登録済みの IVR のシナリオを一覧表示して確認することができます。

1 IVR の画面を開き(⇒ P.155)、[IVR シナリオ一覧] タブをクリックします。

ユーザー名: 108
ログアウト

- パスワード変更
- 時計設定
- カレンダー設定
- 内線一覧
- ▼ 電話帳
- 電話帳転送
- ボイスメール
- 留守番
- ユーザガイダンス転送
- ▼ 電話帳の各種転送
- 外線転送
- オートダイヤル登録
- メロディ転送
- IVR
- ですくdeRSS
- タイム連動
- Webカメラ
- アドレス登録
- MFP

ヘルプ?

Top > IVR > IVRシナリオ設定

IVRシナリオ設定 **IVRシナリオ一覧**

IVRシナリオ動作

電話をかけた相手のダイヤル操作に応じた動作や再生するガイダンスを指定します。

シナリオ選択

シナリオ番号 ※1 シナリオ一括削除

※1 シナリオ番号を変更すると編集するシナリオが切り替わります ※2 シナリオ番号で選択中のシナリオが対象

登録済み応答動作(シナリオ01: 16件 残: 963/1000件) ▼拡大 縮小▲

ダイヤル(階層) ※3	動作	ガイダンスシナリオ	着信先
(初回動作)	ガイダンス	00初回ガイダンス	
1	ガイダンス	01新規問合せ	
1 1	ガイダンス	04新製品購入	
1 1 1	着信	12.たたいまお禁じます	003.製品A問合せ窓口
1 1 2	着信	12.たたいまお禁じます	004.製品B問合せ窓口
1 1 T	リプレイ		
1 2	ガイダンス	05.オプション購入	
1 2 1	着信	12.たたいまお禁じます	005.オプA問合せ窓口
1 2 2	着信	12.たたいまお禁じます	006.オプB問合せ窓口

※3 ダイヤル(階層)をクリックすると設定値が応答動作追加・変更欄に表示されます
※4 シナリオ構成異常時、グレー表示されます(上位階層無し、上位階層がガイダンス以外、動作がガイダンスで下位階層無し)

応答動作追加・変更

ダイヤル(階層)	<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value=""/>	<input type="text" value=""/>	<input type="text" value=""/>
動作	<input type="text" value="ガイダンス"/>			
ガイダンスシナリオ	ガイダンス	<input type="text" value="00初回ガイダンス"/>		
着信先	<input type="text" value=""/>			

追加・変更 削除

[IVR シナリオ一覧] タブの内容が表示されます。

- このタブでは、登録されているすべてのシナリオが表示されます。

ユーザー名: 108
ログアウト

- パスワード変更
- 時計設定
- カレンダー設定
- 内線一覧
- ▼ 電話帳
- 電話帳転送
- ボイスメール
- 留守番
- ユーザガイダンス転送
- ▼ 電話帳の各種転送
- 外線転送
- オートダイヤル登録
- メロディ転送
- IVR
- ですくdeRSS
- タイム連動
- Webカメラ
- アドレス登録
- MFP

ヘルプ?

Top > IVR > IVRシナリオ一覧

IVRシナリオ設定 **IVRシナリオ一覧**

登録済み応答動作一覧

登録済み応答動作の一覧です。

応答動作一覧ダウンロード

シナリオ番号 ▼拡大 縮小▲

シナリオ	ダイヤル(階層)	動作	ガイダンスシナリオ	着信先
01	(初回動作)	ガイダンス	00初回ガイダンス	
01	1	ガイダンス	01新規問合せ	
01	1 1	ガイダンス	04新製品購入	
01	1 1 1	着信	無し	003.製品A問合せ窓口
01	1 1 2	着信	12.たたいまお禁じます	004.製品B問合せ窓口
01	1 1 T	リプレイ		
01	1 2	ガイダンス	05.オプション購入	
01	1 2 1	着信	12.たたいまお禁じます	005.オプA問合せ窓口
01	1 2 2	着信	12.たたいまお禁じます	006.オプB問合せ窓口
01	1 3	着信	12.たたいまお禁じます	002.製品問合せ窓口
01	2	ガイダンス	02.利用製品問合せ	
01	2 1	ガイダンス	06.利用方法問合せ	
01	2 1 1	ガイダンス	07.製品A操作方法窓口	
01	2 1 1 1	着信	12.たたいまお禁じます	007.製品A操作方法窓口



- [シナリオ番号] で番号を選択すると、選択した番号のシナリオが表示領域内に移動します。
- 画面右上の[拡大]をクリックすると、表示される領域が拡大され、下のほうのリストが表示されます。同様に[縮小]をクリックすると、表示領域が縮小されます。

IVRシナリオ設定 IVRシナリオ一覧

登録済み応答動作一覧

登録済み応答動作の一覧です。

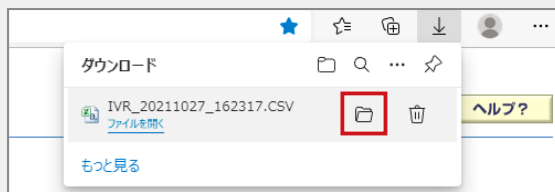
応答動作一覧ダウンロード

シナリオ番号 01 ▼

シナリオ	実行(階層)	動作	ガイダンスシナリオ	着信先
01	(初回動作)	ガイダンス	00:初回ガイダンス	
01	1	ガイダンス	05:製品Bの問い合わせ	
01	1 1	着信	12:ただいまお禁じます	001:製品Bお客様窓口
01	1 2	ガイダンス	10:契約内容の確認	
01	1 2 4	ガイダンス	11:故障トラブル	
01	1 2 4 1	着信	12:ただいまお禁じます	002:製品Bカスタマ窓口
01	1 2 5	1階層戻る		
01	2	ガイダンス	01:製品Aの問い合わせ	
01	2 1	着信	01:製品Aの問い合わせ	004:製品Aお客様窓口
01	4	先頭に戻る		
01	0	切所	99:終了ガイダンス	
05	(初回動作)	ガイダンス	00:初回ガイダンス	
05	1	ガイダンス	05:製品Bの問い合わせ	
05	1 1	着信	無し	001:製品Bお客様窓口
05	1 2	ガイダンス	10:契約内容の確認	
05	1 2 4	ガイダンス	11:故障トラブル	
05	1 2 4 1	着信	12:ただいまお禁じます	002:製品Bカスタマ窓口
05	1 2 4 2	シナリオ	▶01	

MEMO

[応答動作一覧ダウンロード] をクリックすると、シナリオ一覧を PC のダウンロードフォルダに保存できます。画面上部のツールバーに表示されたダウンロード情報のポップアップで ([フォルダに表示]) をクリックすると、ダウンロードフォルダを確認できます。



- ファイルは PC 上に CSV 形式で「IVR_ 保存日付 _ 保存時刻 .CSV」のようなファイル名で保存されます。例えば、保存日時が 2021 年 10 月 27 日 16 時 23 分 17 秒の場合、以下のようなファイル名になります。
例: IVR_20211027_162317.CSV

ですく deRSS の設定

管理 一般

「ですく deRSS」を利用すると、インターネットの RSS サイトから新聞の見出しなどのコンテンツ情報を受信して、電話機のディスプレイにスクロール表示させることができます。

ここでは、「ですく deRSS」を利用するかどうかを設定する方法について説明します。「ですく deRSS」を利用する場合は、コンテンツの表示方法や利用日、更新間隔などを使い勝手に合わせて設定できます。

MEMO

- 「ですく deRSS」の設定は、テナントごとに設定します。Web 設定で設定するときは、設定対象のテナントに所属する内線番号でログインしてください。設定した値は、ログインした内線が所属するテナントに設定されます。
- ですく deRSS では、https から始まる URL のサイト (SSL/TLS で暗号化されている RSS サイト) の情報は表示できません。

ですく deRSS の利用設定をする

1 Web 設定を起動します。
参照) 第 1 章の「Web 設定の起動と終了」(→ P.3)

2 左メニューで [ですく deRSS] をクリックします。

[ですく deRSS] の利用設定項目が表示されます。

※1 ですく deRSS 利用するが選択された時のみ必須設定項目です

3 以下の設定を行います。

利用設定

ですくdeRSS利用設定

インターネット経由でRSSサイトよりRSS情報(コンテンツ情報)を受信し、電話機に表示するための、各種設定を行います。

ですくdeRSS利用	<input type="radio"/> 利用しない <input checked="" type="radio"/> 利用する
提供元	RSS (全角18文字/半角36文字以内)
RSSサイト(URL)	http://www.xxxx.yyy (半角128文字以内) ※1
実行曜日	<input checked="" type="checkbox"/> 月 <input checked="" type="checkbox"/> 火 <input checked="" type="checkbox"/> 水 <input checked="" type="checkbox"/> 木 <input checked="" type="checkbox"/> 金 <input checked="" type="checkbox"/> 土 <input checked="" type="checkbox"/> 日 ※1
動作時間	00 : 00 ~ 00 : 00 (00:00~00:00:24時間動作) ※1
インターバル	<input type="radio"/> 自動更新しない(システム起動時1回のみ取得) <input checked="" type="radio"/> 自動更新する 時間 30 分(自動更新する選択時のみ有効、5~1440)

※1 ですくdeRSS利用するが選択された時のみ必須設定項目です

項目	内容
ですく deRSS 利用	<p>ですく deRSS 機能を利用するかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 機能を有効にする場合は [利用する] を、利用を中止する場合は [利用しない] をクリックします。[利用する] を選択した場合のみ、以降の設定項目が有効になります。 初期設定は [利用しない] です。
提供元	<p>RSS の提供元名称を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ここで入力した内容が、電話機のディスプレイに RSS が表示される際のヘッダー情報になります。 全角 18 文字 / 半角 36 文字まで入力できます。
RSS サイト(URL)	<p>RSS 提供元サイトの URL を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 半角 128 文字まで入力できます。
実行曜日	<p>機能を利用する曜日をチェックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 初期設定では、すべての曜日がチェックされています。
動作時間	<p>コンテンツ表示の開始時刻と終了時刻を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 初期設定では、00:00 ~ 00:00 (24 時間) に設定されています。 開始時刻と終了時刻は、24 時間表示 (00:00 ~ 23:59) で設定してください。
インターバル	<p>コンテンツの更新方法と更新間隔を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動更新しない場合は、[自動更新しない(システム起動時 1 回のみ取得)] をクリックします。 自動更新する場合は、[自動更新する] をクリックし、[時間] に更新間隔を入力します。 初期設定では、30 分ごとに自動更新する設定になっています。 更新間隔は、5 ~ 1440 分の範囲で設定できます。

4 [設定] をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化] をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。

ポップアップが表示されます。

5 表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

設定した内容が保存されます。

セーフティモード / チャイムのタイマ設定(タイマ連動) 管理 一般

セーフティモードへ切り替える時刻とスピーカからチャイム音を鳴らす時刻を曜日ごとに設定できます。ここでは、以下の2つの操作について説明します。

- セーフティモードへの切り替え時刻を設定する(セーフティ) (→ P.171)
- チャイム音を鳴らす時刻を設定する(チャイム) (→ P.173)

MEMO

チャイムタイマ連動設定は、テナントごとに設定します。Web 設定で設定するときは、設定対象のテナントに所属する内線番号でログインしてください。設定した値は、ログインした内線が所属するテナントに設定されます。

セーフティモードへの切り替え時刻を設定する(セーフティ)

セーフティグループ(セーフティ A/ セーフティ B)ごとに、セーフティモードに切り替わる時刻を曜日ごとに設定します。

以降、ここで設定した曜日と時刻になると、自動的にセーフティモードに切り替わります。

1 Web 設定を起動します。

参照 第 1 章の「Web 設定の起動と終了」(→ P.3)

2 左メニューで[タイマ連動]をクリックします。

[タイマ連動]の[セーフティ]タブの設定項目が表示されます。

セーフティA							
日	月	火	水	木	金	土	休日/祝祭日
--	--	--	--	--	--	--	--

セーフティB							
日	月	火	水	木	金	土	休日/祝祭日
--	--	--	--	--	--	--	--

3 [セーフティ A] または [セーフティ B] で、切替時刻を設定する曜日をクリックします。

セーフティ タイム

セーフティタイム連動

セーフティモードに切り替わるための時刻設定を行います。
各曜日をクリックし設定画面を表示してください。

セーフティA

日	月	火	水	木	金	土	休日/祝祭日
---	---	---	---	---	---	---	---

セーフティB

日	月	火	水	木	金	土	休日/祝祭日
---	---	---	---	---	---	---	---

注意: 開始時間無しの場合は「---」を表示します

4 [開始時間] に、セーフティモードに切り替える時刻を入力します。

00:00 ~ 23:59 の範囲で指定できます。

時刻を入力しないと、選択した曜日は、終日セーフティモードに切り替わりません。

セーフティ タイム

セーフティタイム連動設定 (セーフティA: 日曜日)

開始時間: [00:00] (00:00~23:59) *1

コピー先 日 月 火 水 木 金 土 休日/祝祭日

*1 未入力の場合は切替無しとなります

設定 初期化

5 ここでの設定を他の曜日にコピーする場合、[コピー先] でコピー先の曜日にチェックを入れます。

MEMO

[休日 / 祝祭日] にチェックを入れると、[カレンダー設定] の [特定日設定] で休日に設定した曜日と、[祝祭日設定] で祝祭日に設定された日付が対象になります (→ P.16)。

6 [設定] をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化] をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。

ポップアップが表示されます。

7 表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

選択した曜日のセーフティモード切り替え時刻が登録され、以降、対象の曜日でこの時刻になると、セーフティモードに自動的に切り替わります。

セーフティ タイム

セーフティタイム連動

セーフティモードに切り替わるための時刻設定を行います。
各曜日をクリックし設定画面を表示してください。

セーフティA

日	月	火	水	木	金	土	休日/祝祭日
00:00	---	---	---	---	---	---	---

セーフティB

日	月	火	水	木	金	土	休日/祝祭日
---	---	---	---	---	---	---	---

注意: 開始時間無しの場合は「---」を表示します

チャイム音を鳴らす時刻を設定する(チャイム)

電話機のスピーカおよび外部スピーカからチャイム音を鳴らす時間帯を曜日ごとに設定します。最大 20 回分の時間帯 ([時間帯 1] ~ [時間帯 20]) を指定できます。

工事設定

この機能を使用する場合は、販売店にご相談ください。

- 1 左メニューで [タイム連動] (⇒ P.171) をクリックしたあと、[チャイム] タブをクリックします。

タイム連動

ヘルプ?

Top > タイム連動 > セーフティ

セーフティ **チャイム**

セーフティタイム連動

セーフティモードに切り替わるための時刻設定を行います。各曜日をクリックし設定画面を表示してください。

セーフティA

日	月	火	水	木	金	土	※日/祝祭日
00:00	---	---	---	---	---	---	---

セーフティB

日	月	火	水	木	金	土	※日/祝祭日
---	---	---	---	---	---	---	---

注意: 開始時間無しの場合は「-」を表示します

[チャイム] タブに切り替わり、チャイムタイム連動の設定内容が表示されます。

タイム連動

ヘルプ?

Top > タイム連動 > チャイム

セーフティ **チャイム**

チャイムタイム連動

電話機のスピーカおよび外部スピーカからチャイム音を鳴動する時刻設定を行います。各曜日をクリックし設定画面を表示してください。

	日	月	火	水	木	金	土	※日/祝祭日
00:00								
01:00								
02:00								
03:00								
04:00								
05:00								
06:00								
07:00								
08:00								
09:00								
10:00								
11:00								
12:00								
13:00								
14:00								
15:00								
16:00								
17:00								

- 2 設定する曜日をクリックします。

セーフティ **チャイム**

チャイムタイム連動

電話機のスピーカおよび外部スピーカからチャイム音を鳴動する時刻設定を行います。各曜日をクリックし設定画面を表示してください。

	日	月	火	水	木	金	土	※日/祝祭日
00:00								
01:00								
02:00								
03:00								
04:00								
05:00								
06:00								
07:00								
08:00								

時間帯の設定項目に切り替わります。

3 [鳴動時間 1]の[鳴動時間]に開始時刻を入力します。

- 00:00 ~ 23:59 の範囲で指定できます。

4 手順 3 に従って、[鳴動時間 2]～[鳴動時間 20]の項目を設定します。

- 必要な鳴動時間のみ設定します。
- 不要な鳴動時間を削除するには[削除]をクリックします。
- どの鳴動時間にも時刻を入力しないと、その曜日は終日チャイムが鳴りません。

5 ここでの設定を他の曜日にコピーする場合、[コピー先]でコピー先の曜日にチェックを入れます。

6 [設定]をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化]をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。

ポップアップが表示されます。

7 表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

選択した曜日のチャイム音の鳴動時刻が登録され、以降、対象の曜日でこの時刻になると、チャイムが鳴ります。

	日	月	火	水	木	金	土	休日/祝祭日
00:00	00:00							
01:00								
02:00								
03:00								
04:00								
05:00								
06:00								
07:00								
08:00								
09:00								

Web カメラの設定(Web カメラ)

管理

セーフティモードと連動して動作させる Web カメラを利用するための情報やセキュリティモードとの連動情報を設定できます。連動情報の設定時にカメラの連動テストを行うこともできます。

Web カメラの利用情報を設定する(カメラ情報)

セーフティモードと連動して動作する Web カメラの利用設定を行います。Web カメラの設定は、接続されているカメラごとに行うことができます。

1 Web 設定を起動します。

参照) 第 1 章の「Web 設定の起動と終了」(→ P.3)

2 左メニューで [Web カメラ] をクリックします。

The screenshot shows a user settings page. On the left is a sidebar menu with various options. The 'Webカメラ' option is highlighted with a red box. The main content area is titled '設定画面' (Settings Screen) and contains a 'Top' link, a 'はじめに' (Getting Started) link, and a 'ご注意' (Important Notice) section with two bullet points: 'ブラウザのJavaScriptおよびCookieの設定は、必ず有効にしてお使いください。各項目の詳細は、添付の取扱説明書を参照してください。' and 'パスワードを定期的に変更してください。'

[Web カメラ] の設定項目が表示されます。

The screenshot shows the 'Webカメラ' (Web Camera) settings page. The left sidebar menu has 'Webカメラ' selected. The main content area is titled 'Webカメラ' and includes a 'ヘルプ?' (Help?) button. Below the title is a breadcrumb 'Top > Webカメラ > カメラ情報' and a 'カメラ情報' (Camera Information) tab. The 'Webカメラ情報' (Web Camera Information) section contains a note: 'セーフティモードに連動して動作するWebカメラの設定を行います。各カメラ番号をクリックし設定画面を表示してください。' Below this is a table with 9 columns: 'カメラ番号' (Camera Number), '動作設定' (Operation Setting), and 'アクセス先' (Access Point). The table lists cameras 1 through 9, all with '無効' (Disabled) in the '動作設定' column and '0.0.0.0:80' in the 'アクセス先' column.

カメラ番号	動作設定	アクセス先
カメラ1	無効	0.0.0.0:80
カメラ2	無効	0.0.0.0:80
カメラ3	無効	0.0.0.0:80
カメラ4	無効	0.0.0.0:80
カメラ5	無効	0.0.0.0:80
カメラ6	無効	0.0.0.0:80
カメラ7	無効	0.0.0.0:80
カメラ8	無効	0.0.0.0:80
カメラ9	無効	0.0.0.0:80

3 情報を登録するカメラ番号をクリックします。

カメラ情報

Webカメラ情報

セーフティ機能に連動して動作するWebカメラの設定を行います。
各カメラ番号をクリックし設定画面を表示してください。

カメラ番号	動作設定	アクセス先
カメラ1	無効	0.0.0.0:80
カメラ2	無効	0.0.0.0:80
カメラ3	無効	0.0.0.0:80
カメラ4	無効	0.0.0.0:80
カメラ5	無効	0.0.0.0:80
カメラ6	無効	0.0.0.0:80
カメラ7	無効	0.0.0.0:80
カメラ8	無効	0.0.0.0:80
カメラ9	無効	0.0.0.0:80

選択したカメラの設定項目に切り替わります。

4 [有効] を選択し、以下の項目を設定します。

- [無効] を選択すると、選択したカメラは利用できません。

カメラ情報

カメラ1

(*)は有効に設定した場合の必須設定項目です。

動作設定		<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
IPアドレス(*)	0 . 0 . 0 . 0	<各0~255>
ポート番号(*)	80	<1~65535>
アクセス用ディレクトリ	<半角256文字以内>	
カメラ種別	Panasonic	
BASIC 認証	設定	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
	ユーザ名	<全角16文字/半角32文字以内> ※1
	パスワード	<全角16文字/半角32文字以内> ※1

※1 BASIC認証:有効の場合に設定してください

(*)の付いた項目は必ず登録してください。

項目	内容	
IP アドレス *	カメラの IP アドレスを半角で入力します。 ● 000.000.000.000 ~ 255.255.255.255 の範囲で指定できます。	
ポート番号 *	カメラのポート番号を半角で入力します。 ● 1 ~ 65535 の範囲で指定できます。	
アクセス用ディレクトリ	セーフティメール送信用のメールサーバアドレスを入力します。 ● 半角 256 文字まで入力できます。	
カメラ種別	プルダウンメニューからカメラの製造メーカーを選択します。	
BASIC 認証	設定	BASIC 認証が必要な場合、[有効] を選択し、以下の項目を設定します。
	ユーザ名	BASIC 認証用のユーザ名を入力します。
	パスワード	BASIC 認証用のパスワードを入力します。

5 [設定] をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化] をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。

ポップアップが表示されます。

6

表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

選択したカメラの利用情報が設定されます。

カメラ情報

Webカメラ情報

セーフティ機能に連動して動作するWebカメラの設定を行います。
各カメラ番号をクリックし設定画面を表示してください。

カメラ番号	動作設定	アクセス先
カメラ1	有効	192.168.1.50:80
カメラ2	無効	0.0.0.0:80
カメラ3	無効	0.0.0.0:80
カメラ4	無効	0.0.0.0:80
カメラ5	無効	0.0.0.0:80
カメラ6	無効	0.0.0.0:80
カメラ7	無効	0.0.0.0:80
カメラ8	無効	0.0.0.0:80
カメラ9	無効	0.0.0.0:80

● メール送信の設定(アドレス登録)

管理

本システムの主装置から「セーフティメール通知」、「外線着信メール通知」および「着信履歴通知」を送信する際の送信先メールアドレスを登録できます。登録したメールアドレスへのテスト送信を行うこともできます。ここでは、以下の3つの操作について説明します。

- セーフティメール通知の送信先を登録する(セーフティ) (→ P.178)
- 外線着信メール通知の送信先を設定する(外線着信) (→ P.181)
- 不在着信履歴通知の送信先を登録する(着信履歴関連) (→ P.183)

セーフティメール通知の送信先を登録する(セーフティ)

セーフティメール通知とは、セーフティモードの起動、モード解除、センサ検知時に登録済みの通知先へメールを送信してお知らせする機能です。ここでは、メールの送信先やお知らせする情報などを設定し、送信テストを行う方法について説明します。最大5件のメールアドレスを登録できます。

工事設定

メール送信サーバ情報の設定およびEメール機能の利用設定が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。

1 Web 設定を起動します。

参照)第1章の「Web 設定の起動と終了」(→ P.3)

2 左メニューで[アドレス登録]をクリックします。

<p>ユーザ名:108 ログアウト</p> <p>パスワード変更 時計設定 カレンダー設定 内線一覧 ▽ 電話帳 電話帳転送 ボイスメール 留守番 ユーザガイド転送 ▽ 電話帳の各種転送 外線転送 オートダイヤル登録 メモ帳転送 IVR ですくdeRSS タイム連動 Webカメラ アドレス登録 MFP</p>	<p>設定画面</p> <p>Top</p> <p>はじめに</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブラウザのJavaScriptおよびCookieの設定は、必ず「有効」にしてご利用ください。 ・各項目の詳細は、添付の取扱説明書を参照してください。 ・パスワードを定期的に変更してください。
--	--

つづく →

[アドレス登録]の[セーフティ]タブの設定項目が表示されます。

3 以下の項目を設定します。

(*)の付いた項目は必ず登録してください。

項目		内容
メールアドレス *		セーフティメール通知の送信先メールアドレスを入力します。64文字までの半角英数字を入力できます。
グローバルIPアドレス通知		チェックを入れると、IP電話サービス対応パッケージのWAN側IPアドレスが変更されたときにメールが送信されます。
セーフティメール通知動作	検知	チェックを入れると、セーフティモード中にWebカメラのセンサが検知されたときにメールが送信されます。
	セット	チェックを入れると、セーフティモードが起動したときにメールが送信されます。
	解除	チェックを入れると、セーフティモードが解除されたときにメールが送信されます。

4 [設定]をクリックします。

ポップアップが表示されます。

5 表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

セーフティメール通知の設定が有効になります。

6 テストメールを送信するメールアドレスの[メール送信テスト]にチェックを入れ、[メール送信テスト]をクリックします。

セーフティ 外線着信 着信履歴関連

セーフティメール通知情報

セーフティ機能が動作した場合に、メール送信または外線転送する設定を行います。
登録したメールアドレスの送信テストを行います。(複数指定送信が可能です。)
(*)は必須設定項目です。

No	メールアドレス(*) (半角64文字以内)	グローバル IPアドレス通知	セーフティ メール通知動作			メール送信 テスト ※1
			検知	セット	解除	
1	xxxx@yyyy.co.jp	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※1 設定を反映させてからメール送信テスト行ってください

[設定](#)

ポップアップが表示されます。

7 表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

チェックを入れたメールアドレスにテストメールが送信され、確認メッセージが表示されます。

外線着信メール通知の送信先を設定する(外線着信)

外線着信メール通知とは、外線自動転送の転送結果(成功/失敗)を指定のメールアドレスにお知らせする機能です。ここでは、テナントごとに外線着信メール通知の送信先アドレスや監視する転送先、着信履歴送信の有無などを設定し、送信テストを行う方法について説明します。最大20件のメールアドレスを登録できます。

工事設定

- メール送信/受信サーバ情報の設定およびEメール機能の利用設定が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。
- 登録できるメールアドレスの数を変更することもできます。詳しくは、販売店にご相談ください。

1 [アドレス登録]画面を表示して(⇒P.178)、[外線着信]タブをクリックします。

No	メールアドレス(*) (半角64文字以内)	グローバルIPアドレス通知	セーフティメール通知動作		メール送信テスト※1
			検知	セット	解除
1	xxxx@yyyy.co.jp	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※1 設定を反映させてからメール送信テスト行ってください
[設定]

[アドレス登録]の[外線着信]タブの設定項目に切り替わります。

2 以下の項目を設定します。

登録エリア No	メールアドレス(*) (半角64文字以内)	外線転送 ※1								着信履歴	メール送信テスト ※2
		転送先1	転送先2	転送先3	転送先4	転送先5	転送先6	転送先7	転送先8		
1	xxxx@yyyy.co.jp	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
19		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
20		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※1 転送先1 : 外線転送設定-外線転送関連 相手先1に発信します
 転送先2 : 外線転送設定-外線転送関連 相手先2に発信します
 転送先3 : 外線転送設定-外線転送関連 相手先3に発信します
 転送先4 : 外線転送設定-外線転送関連 相手先4に発信します
 転送先5 : 外線転送設定-外線転送関連 相手先5に発信します
 転送先6 : 外線転送設定-外線転送関連 相手先6に発信します
 転送先7 : 外線転送設定-外線転送関連 相手先7に発信します
 転送先8 : 外線転送設定-外線転送関連 相手先8に発信します
 ※2 設定を反映させてからメール送信テスト行ってください
 [設定]



(*)の付いた項目は必ず登録してください。

項目	内容
メールアドレス *	外線着信メール通知の送信先メールアドレスを入力します。 64文字までの半角英数字を入力できます。
外線転送 転送先 1 ～ 転送先 8	外線自動転送の結果を確認する転送先にチェックを入れます。 複数の転送先を選択することもできます。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>MEMO</p> <p>転送先 1～8 は、[外線転送] の [関連設定] タブで登録します (→ P.136)。</p> </div>
着信履歴	チェックを入れると、不在着信履歴も送信されます。 <ul style="list-style-type: none"> [アドレス登録] の [着信履歴関連] タブで、不在着信履歴の送信タイミングや対象の相手先などを設定できます (→ P.183)。

3 [設定] をクリックします。
ポップアップが表示されます。

4 表示されたポップアップで [OK] をクリックします。
外線着信メール通知の設定が有効になります。

5 テストメールを送信するメールアドレスの [メール送信テスト] にチェックを入れ、[メール送信テスト] をクリックします。

セーフティ 外線着信 着信履歴関連

外線着信メール通知情報

外線自動転送が成立した場合又は成立しなかった場合に、メール送信する設定を行います。
外線着信に不応答だった場合に、着信履歴としてメール送信する設定を行います。
尚、ご利用可能な通知先メールアドレス数は工事保守中のみ指定可能です。
登録したメールアドレスの送信テストを行います。(複数指定送信が可能です。)
(*1)は必須設定項目です。

登録 エリア No	メールアドレス(*) (半角64文字以内)	外線転送 ※1								着信履歴	メール送信 テスト ※2
		転送先 1	転送先 2	転送先 3	転送先 4	転送先 5	転送先 6	転送先 7	転送先 8		
1	xxx@yyy.co.jp	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
19		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
20		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※1 転送先1 : 外線転送設定-外線転送関連 相手先1に発信します
 転送先2 : 外線転送設定-外線転送関連 相手先2に発信します
 転送先3 : 外線転送設定-外線転送関連 相手先3に発信します
 転送先4 : 外線転送設定-外線転送関連 相手先4に発信します
 転送先5 : 外線転送設定-外線転送関連 相手先5に発信します
 転送先6 : 外線転送設定-外線転送関連 相手先6に発信します
 転送先7 : 外線転送設定-外線転送関連 相手先7に発信します
 転送先8 : 外線転送設定-外線転送関連 相手先8に発信します
 ※2 設定を反映させてからメール送信テスト行ってください

設定

ポップアップが表示されます。

6 表示されたポップアップで [OK] をクリックします。
チェックを入れたメールアドレスにテストメールが送信され、確認メッセージが表示されます。

不着信履歴通知の送信先を登録する (着信履歴関連)

外線からの着信に無応答だった場合の不着信履歴を送信するタイミングや履歴を確認する相手先などを設定する方法について説明します。

工事設定

メール送信 / 受信サーバ情報の設定および E メール機能の利用設定が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。

1 [アドレス登録] 画面を表示して (⇒ P.178)、[着信履歴関連] タブをクリックします。

アドレス登録

ヘルプ?

ユーザ名: 108
ログアウト

パスワード変更
時計設定
カレンダー設定
内線一覧
▼ 電話帳
電話帳転送
ボイスメール
留守番
ユーザガイド転送
▼ 電話帳の各種転送
外線転送
オートダイヤル登録
メモ転送
IVR
ですくdeRSS
タイム通勤
Webカメラ
アドレス登録

Top > アドレス登録 > セーフティ

セーフティ 外線着信 **着信履歴関連**

セーフティメール通知情報

セーフティ機能が動作した場合に、メール送信する設定を行います。
登録したメールアドレスの送信テストを行います。(複数指定送信が可能です。)
(*は必須設定項目です。)

No	メールアドレス(*) (半角64文字以内)	グローバル IPアドレス通知	セーフティ メール通知動作			メール送信テスト ※1
			検知	セット	解除	
1	xxxx@yyyy.co.jp	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※1 設定を反映させてからメール送信テスト行ってください

[設定]

[アドレス登録]の[着信履歴関連]タブの設定項目に切り替わります。

2 以下の項目を設定します。

セーフティ 外線着信 **着信履歴関連**

着信履歴関連設定

外線着信に無応答だった場合に、着信履歴としてメール送信を行う場合のメール送信動作設定を行います。
(*は必須設定項目です。)

メール送信件数(*) 10 (1~100)

メール送信間隔 10 分

送信不応答履歴種別 全て 電話帳登録済みのみ

[設定] [初期化]

(*の付いた項目は必ず登録してください。

項目	内容
メール送信件数 *	不着信の件数を入力します。ここで入力した件数に達すると、不着信履歴が[外線着信]タブで設定したメールアドレスに送信されます (⇒ P.181)。
メール送信間隔	プルダウンメニューから不着信履歴のメールを送信する間隔(分)を選択します。 初期設定は、10分です。
送信不応答履歴種別	不着信履歴の対象を選択します。 全て : すべての不着信履歴を送信します。 電話帳登録済みのみ : 電話帳に登録された相手に対する不着信履歴のみ送信します。

3 [設定]をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化]をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。

ポップアップが表示されます。

4 表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

外線着信メール通知と合わせて不在着信履歴を送信する場合の送信タイミングが設定されます。

● プリンタ複合機(MFP)の名称変更

管理

主装置に接続されているすべてのプリンタ複合機(MFP)の名称を登録または変更することができます。

プリンタ複合機(MFP)の名称を登録 / 変更する

- 1 Web 設定を起動します。
参照 第 1 章の「Web 設定の起動と終了」(→ P.3)
- 2 左メニューで [MFP] をクリックします。

[MFP] 画面 ([プリンタ名称変更] 画面) に切り替わります。

No	プリンタ名
プリンタ1	<input type="text"/>
プリンタ2	<input type="text"/>
プリンタ3	<input type="text"/>
プリンタ4	<input type="text"/>
プリンタ5	<input type="text"/>
プリンタ6	<input type="text"/>
プリンタ7	<input type="text"/>
プリンタ8	<input type="text"/>
プリンタ9	<input type="text"/>
プリンタ10	<input type="text"/>
プリンタ11	<input type="text"/>
プリンタ12	<input type="text"/>
プリンタ13	<input type="text"/>
プリンタ14	<input type="text"/>
プリンタ15	<input type="text"/>

第 2 章
機能設定

3 プリンタ名称を入力または変更します。

プリンタ名称は、全角 5 文字、半角 10 文字以内で入力してください。

4 [設定] をクリックします。

ポップアップが表示されます。

5 表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

指定したプリンタ名称が設定されます。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。

索引

C

Com@WILL ソフトフォン…………… 143

I

IVR…………… 153

M

MFP…………… 185

W

Web カメラ…………… 175

あ

アドレス登録…………… 178

外線着信メール通知…………… 181

セーフティメール…………… 178

不在着信履歴通知…………… 183

お

オートダイヤル登録…………… 140

音声自動応答 (IVR)…………… 153

か

外線転送…………… 133

関連設定…………… 136

タイマ連動設定…………… 133

転送先設定…………… 138

階層 (IVR)…………… 153

外部保存設定…………… 74

各種転送の設定…………… 95

各部の名称…………… 5

月日指定…………… 16, 20

カレンダー設定…………… 16

き

起動…………… 3

機能設定…………… 8

休日設定

月日指定…………… 16

曜日指定…………… 19

休日設定 (年月日指定)…………… 25

共通電話帳…………… 39

確認…………… 39

新規登録…………… 42

編集 / 削除…………… 45

共通電話帳グループ…………… 46

確認…………… 46

情報登録…………… 47

け

圏外転送…………… 125

外線着信…………… 127

専用線着信…………… 130

内線着信…………… 125

こ

個別電話帳…………… 39

確認…………… 49

新規登録…………… 51

編集 / 削除…………… 53

個別電話帳グループ…………… 55

確認…………… 55

情報登録…………… 56

コメント登録…………… 76

し

自動時刻設定…………… 14

シナリオ…………… 153

終了…………… 7

祝祭日設定…………… 20

解除…………… 24

月日指定…………… 20

変動日指定…………… 22

祝祭日設定 (年月日指定)…………… 28

手動時計設定…………… 13

せ

セーフティモード切り替え…………… 171

た

タイマ連動…………… 171

セーフティ…………… 171

チャイム…………… 173

て

ですく deRSS…………… 169

転送…………… 95

電話機の各種転送…………… 95

電話帳…………… 39

データ取り込み…………… 59

バックアップ…………… 57

電話帳転送…………… 57

と

ドアホン一覧	36
確認	36
名称登録	37
動作環境	1
時計設定	13
自動	14
手動	13

な

内線一覧	32
確認	32
名称登録	34

は

パスワード	10
初期化	12
変更	10

ふ

不在転送	
外線着信	100
専用線着信	103
内線着信	98
発番号別	106
不在モード設定	95
不在理由設定	97
プリンタ複合機(MFP)	
名称登録	185

へ

ヘルプ	6
変動日設定	22

ほ

ボイスメール	60
PC上に保存	66
一覧表示	61
外部保存先設定	74
管理	60
検索フィルタ	64
コメント登録	76
コメント付加	70
削除	69
通知先設定	71

む

無応答転送	
外線着信	118
関連設定	124
専用線着信	121
内線着信	115

め

メロディ	
音声ファイルの取り込み	151
編集	149
メロディ転送	149

ゆ

ユーザアイコン	9
ユーザガイドンス	90
新規登録	92
編集	90
ユーザ種別	2

よ

曜日指定	19
------	----

ら

ランプ設定	143
-------	-----

る

留守番	77
関連設定	87
手動切替設定	82
タイマ連動設定	77

ろ

ログイン	3
ログインパスワード	10
録音通知先設定	71

わ

話中転送	108
外線着信	110
専用線着信	112
内線着信	108

お問い合わせ窓口のご案内

このたびは、当社の商品をお求めいただき、誠にありがとうございます。
商品についてのお問い合わせ、ご相談、アフターサービス(修理)などにつきましては、
お求めになられました販売店または下記の当社窓口にご相談ください。
なお、お客様との電話応対時においては、お問い合わせ・ご相談内容等の正確な把握、
今後のサービス向上のために、通話を録音させていただく場合があります。

《サクサグループ》

■お客様窓口(商品についてのお問い合わせ、ご相談)

サクサ株式会社

●お客様相談室:



ナビダイヤル ゼロゼロワン サクサ

0570-001-393

050-5507-8039

上記窓口・電話番号は都合により、変更になる場合がございます。その際は、お買い求め頂いた販売店
にご相談いただくか、または、当社ホームページ(<http://www.saxa.co.jp>)より最新情報を入手して
ください。

PHS・IP電話など、ナビダイヤル(0570で始まる番号)がご利用できない場合は、050-5507-8039
にお問い合わせください。



当社では、今後も環境に配慮した製品の開発を推進し、サクサブランドのエコ商品をグループ一体となって生み出すことにより、地球環境保全に貢献していきたいと考えています。

サクサエコマークは、下記の条件を満たした商品に適用します。

サクサエコ商品認定基準

<環境に配慮した材料の採用>

- ・当社の定めた含有禁止物質を製品には使用しません。
- ・当社の定めた含有抑制物質については、その使用量を把握管理し抑制に努めます。
- ・酸性雨で地中に溶けだし人体に影響がある鉛については、使用量を把握管理し抑制に努めます。
- ・焼却時にダイオキシンが発生する恐れのある、ポリ塩化ビニル（PVC）や特定臭素難燃剤（PBDE 及び PBB）の使用を抑制します。
- ・廃棄時の環境影響に配慮した当社の基準で推奨するプラスチック材料や金属材料を使用します。

<リサイクルしやすい設計>

- ・リサイクルを容易にするために、プラスチック部品には材料名を表示します。
- ・リサイクルを考慮しプラスチック材料はできる限り統一しています。
- ・プラスチック材料への二次加工を抑制した設計を行います。

<環境に配慮した梱包材>

- ・緩衝材に発泡スチロールはできる限り使用しないようにしています。

<省エネルギー>

- ・省エネルギーを考慮した設計を行います。

<事前評価>

- ・設計・製造にあたっては、当社の定めた製品アセスメントを実施し、製品が環境に与える影響を評価しています。



リチウムイオン電池の
リサイクルに
ご協力ください

この装置は、クラス A 機器です。
この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

本製品は、外国為替及び外国貿易法で定める規制対象貨物・技術に該当する製品です。
この製品を輸出する場合または国外に持ち出す場合は、日本国政府の輸出許可が必要です。

This product designed for use in Japan is a strategic product regulated under the Japanese Law. When you plan to export or take this product out of Japan, please obtain a permission from the Japanese Government.

サクサ株式会社

この資料の内容は、2022年6月現在のものです。

1622BT | 226-1 | D

4438089600